

佐久市埋蔵文化財調査報告書 第218集

岩村田遺跡群

東一本柳遺跡Ⅱ

長野県佐久市岩村田東一本柳遺跡 第2次調査

2014. 3

佐久市教育委員会

佐久市埋蔵文化財調査報告書 第218集

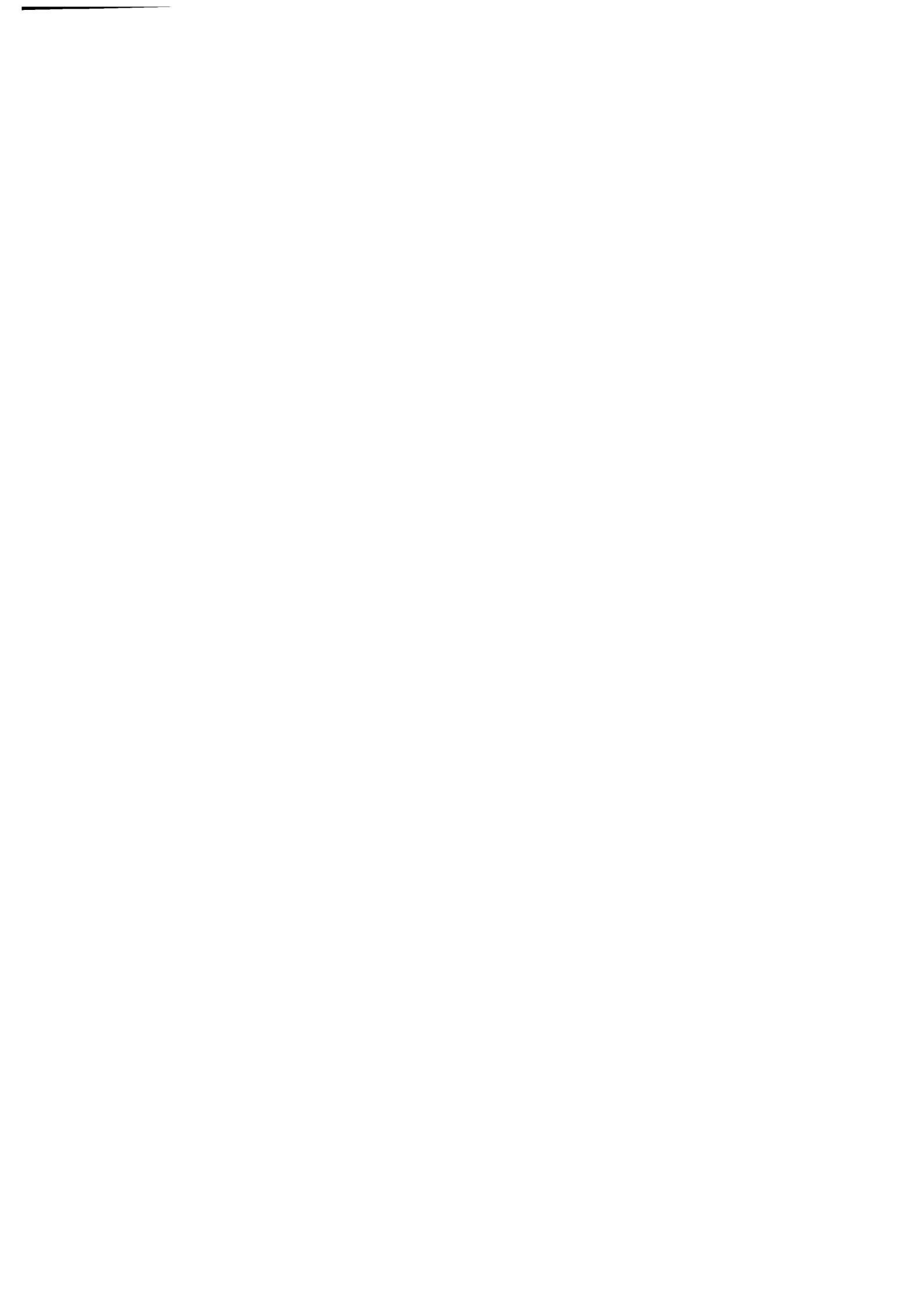
岩村田遺跡群

東一本柳遺跡Ⅱ

長野県佐久市岩村田東一本柳遺跡 第2次調査

2014. 3

佐久市教育委員会





東一本柳遺跡ⅡA地区M2号溝状遺構



東一本柳遺跡ⅡA地区M2号土層断面

検出長36.8m・幅2.08～2.8m・深さ108～135cm、断面は「V」に近い「U」字形で溝底幅は狭く、溝底の東西端は高さ等しく中央がやや低い。下層から弥生時代後期箱清水期の壺・甕・鉢・高坏・有孔鉢・蓋・台坏甕が出土。周辺遺跡の溝状遺構と結ばれる環濠とみられる。



1. 陽形土製品(1:2)

(東一本柳遺跡ⅡA地区Ⅳい7Gr出土)



2. 人形土器の腕(1:2)

(東一本柳遺跡ⅡA地区M2号確認面出土)

佐久市西一里塚遺跡群で弥生時代後期の腕など顔以外の人体表現を持った人形土器が出土している。2は人差し指と小指をかく人の右腕部分で、外側・内側とも赤彩されている。

1は陽形の土製品で中央の穿孔は貫通している。胎土赤彩とも人形土器の腕と思われる2に酷似する。

3は坏部・脚部が等しく赤彩される高坏で、坏部底面に擦痕が見られ器台の機能も考えられる。



3. 高坏(1:2)

(東一本柳遺跡ⅡA地区M2号2層出土)



B地区H1・4・6号住居址 石製品・石器



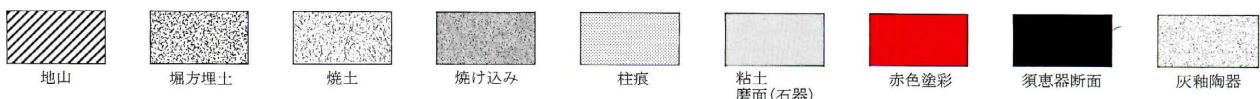
B地区 H4号住居址 土製紡錘車・H1号住居址 みがき石・H4号住居址 土製品(紡錘車?)

例 言

1. 本書は、佐久市が行う市営住宅相生団地の建設工事に伴う岩村田遺跡群東一本柳遺跡Ⅱの発掘調査報告書である。
2. 調査原因者 佐久市建設部建築住宅課
3. 調査主体者 佐久市教育委員会
4. 遺跡名及び所在地 東一本柳遺跡Ⅱ (IHIPⅡ) 佐久市岩村田2248-1
5. 調査期間及び面積
開発面積 4,395.16㎡
A地区(調査面積 1,300㎡) 発掘調査 平成21年6月8日～平成21年7月21日
整理調査 平成21年7月21日～平成21年7月28日
平成24年5月10日～平成24年7月20日
平成25年5月21日～平成25年3月31日
B地区(調査面積 2,782㎡) 発掘調査 平成22年8月9日～平成22年10月8日
平成23年10月11日～平成23年11月30日
整理調査 平成22年11月22日～平成23年3月31日
平成23年4月11日～平成24年3月30日
平成24年4月6日～平成24年7月20日
平成25年5月21日～平成26年3月31日
6. 本遺跡の調査は、A地区を林 幸彦が担当した。A地区の報告書作成は遺構・遺物トレスおよび編集を副島充子、遺物実測・遺物観察表を狩野小百合・塚 益子・清水律子・副島充子・田中ひさ子・広瀬梨恵子・柳沢孝子、遺物撮影・遺物写真図版編集を磯貝律子、遺構写真図版編集を中山清美が行った。
B地区を上原 学が担当した。
7. 本書で扱っている座標は、世界測地系である。
8. 本書及び関係資料等は、佐久市教育委員会の責任下に保管されている。

凡 例

1. 遺構の略記号は、竪穴住居址(H)・竪穴状遺構(Ta)・掘立柱建物址(F)・土坑(D)・溝状遺構(M)・単独ピット(P)である。
2. 挿図の縮尺は、遺構 1/40 1/80・1/120・1/160 遺物 1/4・1/2・1/1である。
挿図中にスケールを示した。
3. 遺構の海拔標高は各遺構毎に統一し、水系標高を標高として記した。
4. 土層の色調は1988年版「新版 標準土色帖」に基づいた。
5. 遺物挿図番号と遺物写真番号及び遺物観察表番号は一致する。
6. 調査区は公共座標の区割りにしたが、間隔は4m×4mに設定した。
7. 遺構名は変更等により欠番が生じている。
8. 挿図中のスクリーントーンは、以下のことを示す。



目 次

例言・凡例・目次

第Ⅰ章 発掘調査の経緯

第1節 経過と周辺遺跡	1
第2節 調査体制	2

第Ⅱ章 A地区調査の概要

第1節 調査体制	2
第2節 調査日誌	2
第3節 基本層序	2
第4節 検出遺構・遺物の概要	2

第Ⅲ章 A地区遺構と遺物

第1節 竪穴住居址(H)	7
第2節 竪穴状遺構(Ta)	11
第3節 土坑(D)	13
第4節 溝状遺構(M)	25
第5節 ピット(P)	34
第6節 グリッド遺物・表採遺物	34
第7節 まとめ	34

写真図版 一～十四(A地区)

第Ⅳ章 B地区調査の概要

第1節 調査体制	57
第2節 調査日誌	57
第3節 検出遺構・遺物の概要	58
第4節 基本層序	58

第Ⅴ章 B地区遺構と遺物

第1節 竪穴住居址(H)	60
第2節 竪穴状遺構(Ta)	75
第3節 井戸跡	76
第4節 掘立柱建物址(F)	77
第5節 溝状遺構(M)	79
第6節 土坑(D)	81
第7節 ピット(P)	87
第8節 遺構外遺物	98
第9節 まとめ	98

写真図版 十五～三十七(B地区)

抄録・奥付

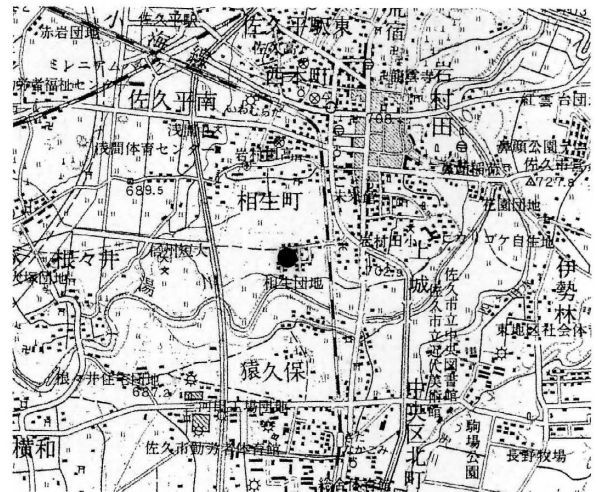
第I章 発掘調査の経緯

第1節 経過と周辺遺跡

岩村田遺跡群は、佐久市岩村田湯川右岸台地上にある。東一本柳遺跡は遺跡群の西部に位置し、今回、佐久市が市営住宅相生団地の建設工事を計画した。平成21年5月試掘調査を実施した結果、竪穴住居址・溝址等が確認された。

佐久市建築住宅課と当教育委員会の保護協議の結果、記録保存目的の発掘調査を行う事となった。

東一本柳遺跡及び周辺遺跡は、弥生時代中期～中世の大複合遺跡である。北西の久保遺跡、五里田遺跡、西一本柳遺跡Ⅰ～ⅩⅧ、北一本柳遺跡Ⅰ～Ⅲ、東大門遺跡、東大門先遺跡Ⅰ・Ⅱの調査では、弥生時代中期・後期、古墳時代中期・後期、奈良時代、平安時代・中世の集落・墓域が調査されていて、遺構・遺物を述べるには枚挙に遑がない。この多くの検出遺構中で弥生時代後期の環濠であろうと指摘・推測されている溝状遺構が多数検出されている。北一本柳遺跡ⅣのM1・M26、宮の前遺跡M1、東大門遺跡M1、西一本柳遺跡ⅩⅧ、今回調査のA地区M1号溝状遺構、これらは、東西400m・南北200mの楕円形状に繋がりそうであるが、詳細は未検証でありあくまでも推定である。第2図上でみると、南北200m東西280mの楕円形に結ばれる岩村田高校第2グラウンドから国道141号バイパスにかけて展開する総面積5万㎡を超える弥生時代後期の環濠も想定できる。一本柳遺跡Ⅲ・ⅣのM1、西一本柳遺跡ⅦのM1、西一本柳遺跡ⅥのM2、西一本柳遺跡ⅩⅠのM1、西一本柳遺跡ⅩⅣのM12である。



第1図 東一本柳遺跡Ⅱ位置図(1:50,000)



第2図 東一本柳遺跡Ⅱ周辺遺跡(1:10,000)

第2節 調査体制

調査主体者 佐久市教育委員会 教育長 木内 清(平成21年5月退任) 土屋 盛夫(平成21年5月就任)
事務局 社会教育部長 内藤 孝徳(～平成21年6月)工藤 秀康(平成21年7月～平成22年3月)
伊藤 明弘(平成23・24年度) 矢野 光宏(平成25年度)
社会教育部次長 金沢 英人(平成21年4月～6月)
藤牧 浩 (平成23年度)
文化財課長 森角 吉晴(平成21・22年度)
吉澤 隆 (平成23・24年度)
三石 宗一(平成25年度)
文化財調査係長 三石 宗一(平成21～24年度) 比田井 清美(平成25年度)
文化財調査係 林 幸彦(～23年度) 並木 節子(～24年度) 須藤 隆司 小林 眞寿
羽毛田 卓也(～24年度) 冨沢 一明 神津 格(～平成21年9月)
上原 学 神津 一明(平成23年9月～) 井出 泰章(平成21年10月～
平成23年9月)出沢 力(～平成23年9月) 久保 浩一郎(平成24年～)
嘱託職員 林 幸彦(平成24年度～)
調査主任 佐々木 宗昭 森泉 かよ子

第Ⅱ章 A地区調査の概要

第1節 調査体制

調査担当者	林 幸彦	佐々木宗昭	調査副主任	堺 益子		
調査員	赤羽根充江	浅沼勝男	浅沼ノブ江	阿部和人	飯塚一男	岡村千代美
	磯貝律子	市川光吉	岩崎重子	柏木義雄	狩野小百合	河原田三男
	神津千春	里見理生	澤井知春	清水澄生	清水律子	副島充子
	大工原達江	田中ひさ子	中澤 登	中山清美	広瀬梨恵子	本田慶二
	堀籠保子	依田三男	柳沢孝子			

第2節 調査日誌

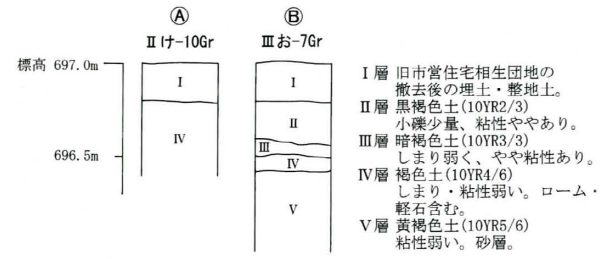
平成21年5月8・11・14日 試掘調査。竪穴住居址等の遺構を確認する。
平成21年6月8日 器材搬入、重機による表土除去。遺構確認。遺構掘り下げて随時記録。
7月13日 埋め戻し終了。器材一部撤収。
7月21日 現場最終撤去。
7月21日～28日 遺物洗浄。
平成24年5月10日～7月20日 図面・写真等記録の整理及び修正。遺物への注記、遺物接合・復元、遺物実測・遺物写真撮影。
平成25年5月21日～11月29日 版下作成・原稿の執筆。
平成26年3月 報告書刊行

第3節 基本層序

遺構は第Ⅳ層褐色土の上面で確認された。調査区南東の低地には第Ⅱ層の黒褐色土の堆積が厚くみられた。各遺構の壁下部や底面は、第Ⅴ層の砂層で脆く崩れやすかった。

第4節 検出遺構・遺物の概要

遺構 竪穴住居址2軒(古墳時代後期2軒)竪穴状遺構11基(中世)、土坑69基、溝状遺構10本、ピット330基
遺物 弥生後期土器、土師器、須恵器、陶磁器類、土製品、石製品(砥石・敲石・磨石・石臼)、占銭。



東一本柳遺跡II A地区基本層序(1:40)



東一本柳遺跡II A地区トレンチ設定図(1:1,000)

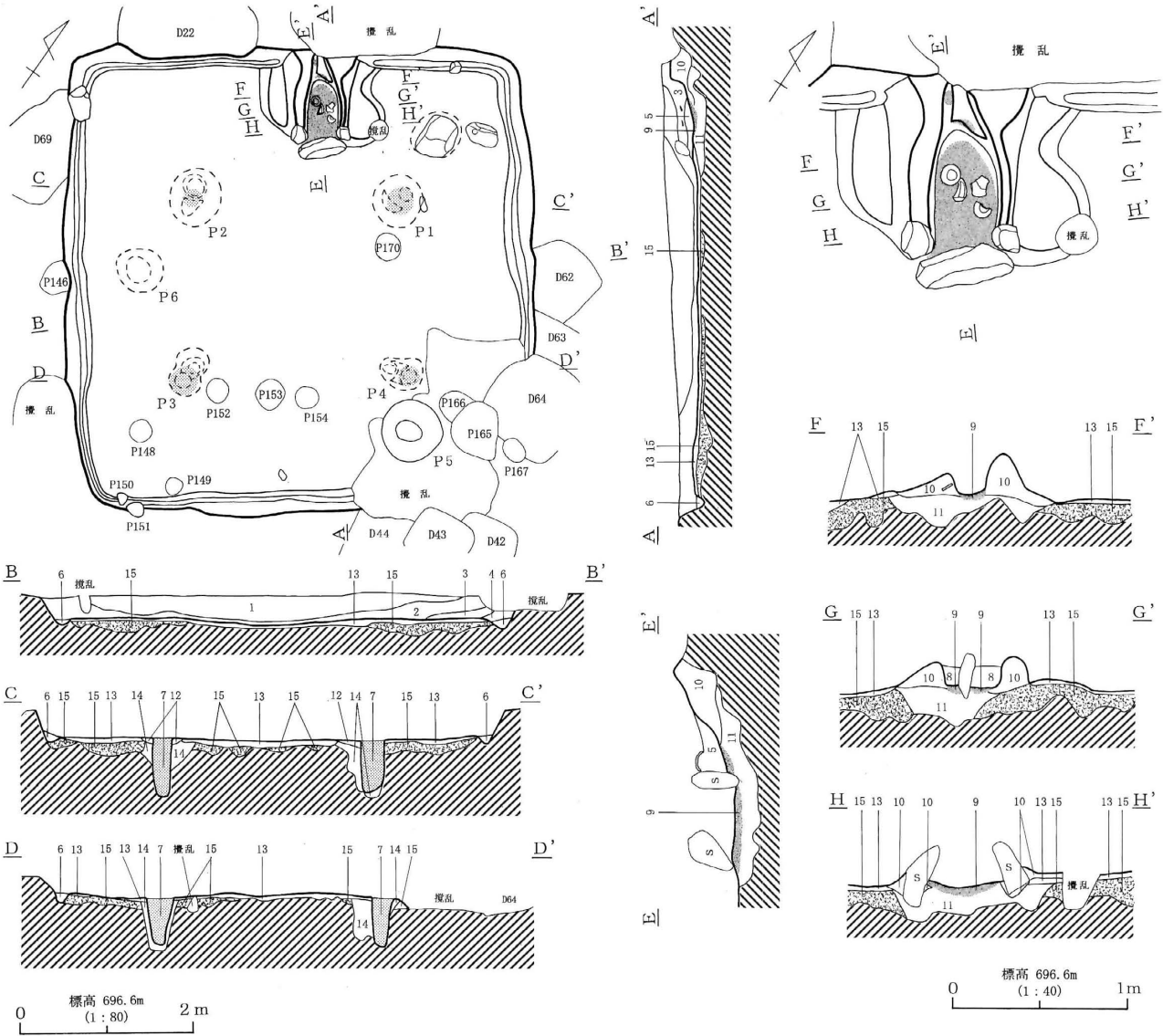


第3図 東一本柳遺跡II A地区全体図(1:200)

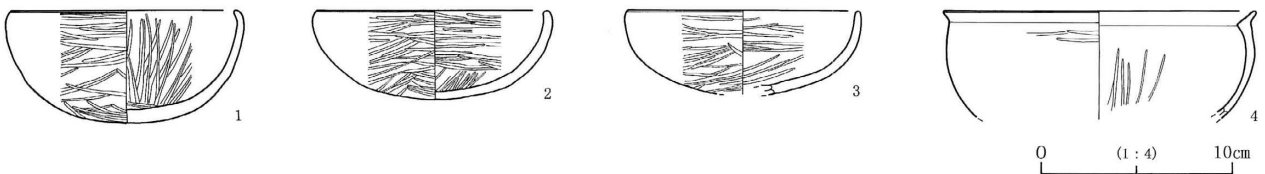
第三章 A地区遺構と遺物

第1節 竪穴住居址

(1) H1号住居址

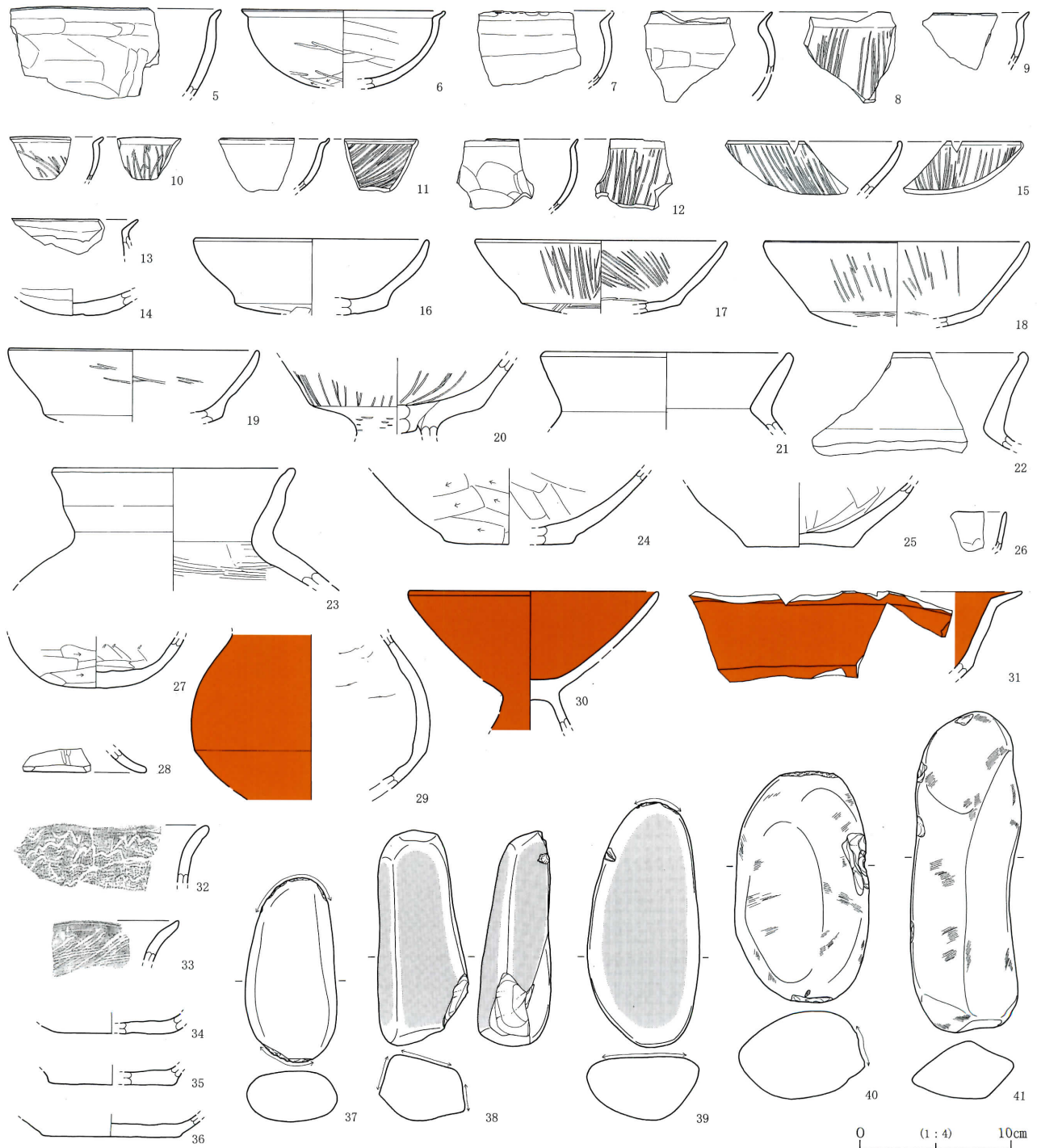


- H1
- 1層 黒褐色土(10YR2/2)
 - 2層 黒褐色土(10YR2/3) 黄褐色土の小ブロック含む。
 - 3層 褐色土(10YR4/4) 黄褐色土の小ブロック多量。
 - 4層 黒褐色土(10YR2/3) 黄褐色土の小ブロック多量。
 - 5層 極暗赤褐色土(5YR2/3) 焼土ブロック・粘土多量。
カマド構築土(壁体・天井部)のブロック
(焼土化した堅いもの)多く含む。
 - 6層 赤褐色土(5YR4/6) 周溝覆土。
 - 7層 黒褐色土(10YR2/3) 柱痕。
 - 8層 極暗赤褐色土(5YR2/3)
 - 9層 赤褐色土(5YR4/6) 焼土。(焼けこみ、上面使用面)
 - 10層 暗赤褐色土(5YR3/6) 焼土小ブロック・焼土粒子多量。
粘土質。(くずれ)
 - 11層 極暗褐色土(7.5YR2/3)
 - 12層 褐色土(10YR4/4) 黄褐色土P1の粒子多量。
 - 13層 暗褐色土(10YR3/4) 黄褐色土の小ブロック含む。
堅い。(床)
 - 14層 濃い黄褐色土(10YR4/3) 黄褐色土の粒子多量。
 - 15層 暗褐色土(10YR3/4) 黄褐色土の小ブロック多量。(掘方埋土)



第4図 A地区 H1号住居址(1)

IVう・え-4・5Grにあり、D62~D64・D69、P146・148・149~154・170に切られる。北壁5.14m・残存東壁3.34m・残存南壁3.0m・西壁5.12mの方形を呈する。壁高は33cm、主軸方位はN-35°-Wを示す。カマドは北壁中央に粘土と石で構築され、火床に安山岩の支脚石が残る。P1~P4は支柱穴で、柱痕は径20~28cm、桁行き2.2m・梁行き2.5m。P5は貯蔵穴であろうか、断面逆梯子形で径75cm深さ62cm。覆土は自然堆積であった。全体に堅く締まる床で、壁寄りには軟弱であった。壁下には壁溝が巡る。遺物は、土師器1~28、弥生後期土器29~33、かわらけ34~36、敲石37、磨石38~41がある。弥生土器とかかわらけは混入。1~14は土師器坏で、半球状で口縁端部が内斜するもの4~13、半球状で口縁部がやや内弯する1~3がある。よくヘラミガキされる。15~20は土師器高坏で、坏部下端に



第5図 A地区 H1号住居址(2)

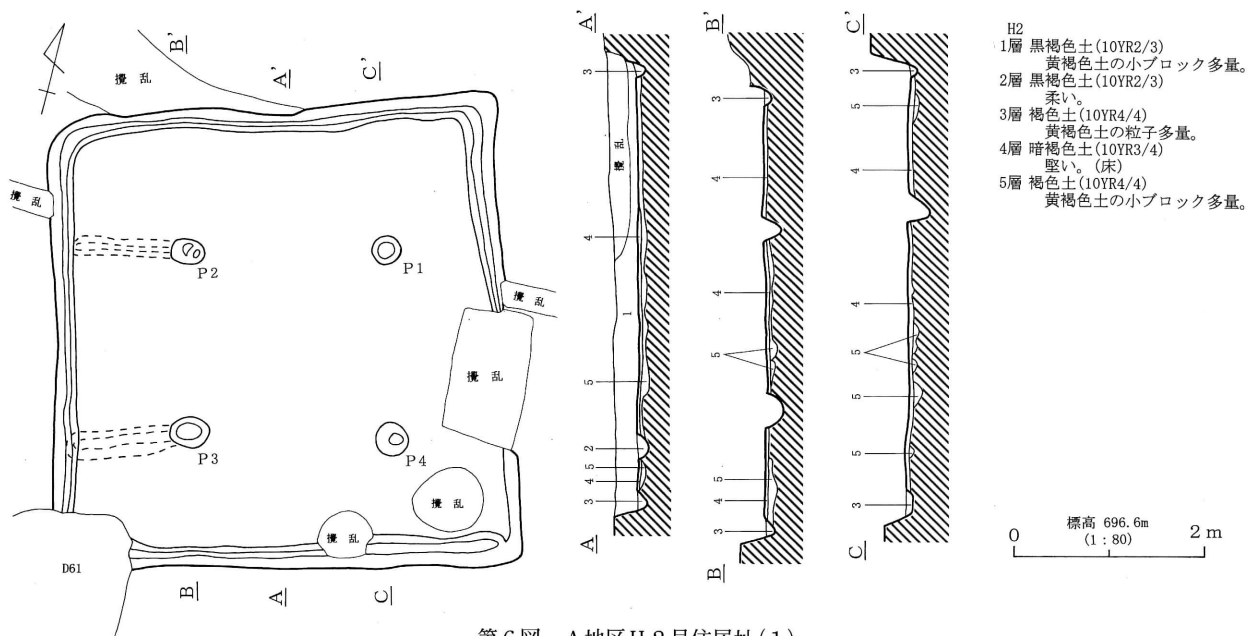
明確な段がある16・19、坏部下端に稜がある17・18・20がある。21・22・24・25は甕、23は有段口縁の壺である。これらの土師器から本址は、5世紀後半～6世紀初頭に位置づけられよう。

第1表 A地区H1号住居址出土遺物一覧表

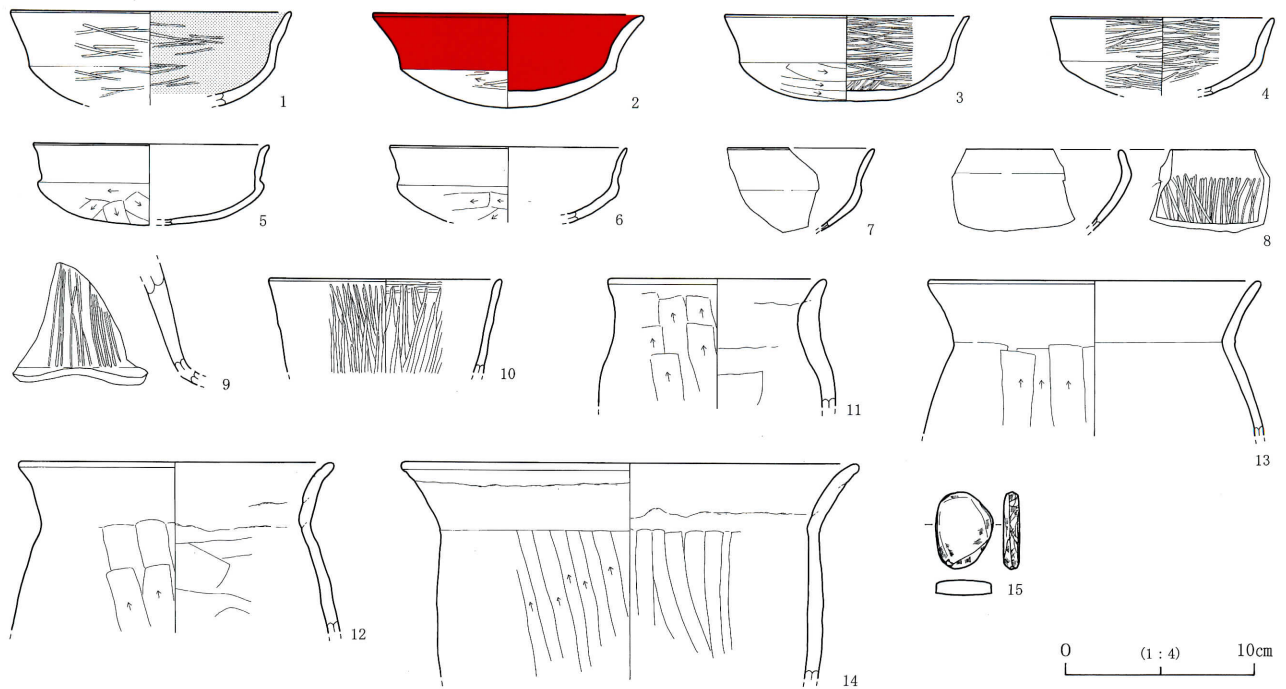
(cm:g)

H1			法量			成形・調整・文様		推定値< >残存値()丸底●	
No.	種別	器種	口径(長)	底径(幅)	器高(厚)	内面	外面	備考	出土位置
1	土師器	坏	11.9	●	6.1	ヘラミガキ	ヘラミガキ	完全実測	No.9
2	土師器	坏	12.2	●	4.8	ヘラミガキ	ヘラミガキ	完全実測	カマド
3	土師器	坏	<12.2>	●	4.5	ヘラミガキ	ヘラミガキ	回転実測	1区床
4	土師器	坏	<16.4>	-	(5.7)	ヘラミガキ	ヘラミガキ	回転実測	1区ホリ方
5	土師器	坏	-	-	-	ナデ	ナデ	破片実測	カマド
6	土師器	坏	<13.4>	●	(5.1)	ナデ	ヘラケズリ→ヘラミガキ	回転実測	1区ホリ方
7	土師器	坏	-	-	(4.7)	ナデ、暗文	ナデ	破片実測	Ⅱ区
8	土師器	坏	-	-	(5.8)	ナデ、暗文	ナデ	破片実測	Ⅲ区ホリ方
9	土師器	坏	-	-	(2.9)	ナデ	ナデ	破片実測	Ⅲ区
10	土師器	坏	-	-	(2.5)	ナデ、暗文	ナデ、ミガキ(?)	破片実測	Ⅳ区床
11	土師器	坏	-	-	(3.4)	ナデ、暗文	ナデ	破片実測	No.4
12	土師器	坏	-	-	(4.4)	ナデ、暗文	ナデ	破片実測	P5
13	土師器	坏	-	-	(2.3)	ナデ	ナデ	破片実測	Ⅲ区
14	土師器	坏	-	-	(1.8)	ナデ、剝離	ナデ	破片実測	Ⅱ区
15	土師器	高坏	-	-	(3.5)	ナデ、暗文	ナデ	破片実測	Ⅲ区
16	土師器	高坏	<15.4>	-	(5.0)	ナデ	ヘラナデ	回転実測	No.1
17	土師器	高坏	<16.6>	-	(4.8)	ヘラミガキ	ハケ目→ヘラミガキ	回転実測	カマド
18	土師器	高坏	<17.4>	-	(5.6)	ハケ目→ヘラミガキ	ハケ目→ヘラミガキ	回転実測	No.8
19	土師器	高坏	<16.4>	-	(4.7)	ヘラミガキ	ヘラミガキ	回転実測	1区、カマド
20	土師器	高坏	-	-	(4.9)	ナデ、暗文	ナデ、暗文、爪のあと?	回転実測	No.10
21	土師器	甕	<16.6>	-	(5.0)	ナデ	ナデ	回転実測	Ⅱ区、カマド
22	土師器	甕	-	-	(6.3)	ナデ	ナデ	破片実測	Ⅰ区床
23	土師器	壺	<15.8>	-	(8.0)	ナデ	ナデ	回転実測	No.6
24	土師器	甕	-	<8.4>	(5.0)	ヘラナデ	ヘラケズリ	回転実測	カマド、ホリ方
25	土師器	甕	-	<7.0>	(3.7)	ナデ→ヘラケズリ	ナデ	回転実測	P1
26	土師器	ミニチュア	-	-	(2.5)	-	-	破片実測	P2
27	土師器	壺	-	-	(3.3)	ヘラナデ	ヘラケズリ	完全実測	No.7
28	弥生	台付甕	-	-	(1.6)	ナデ	ナデ→ヘラミガキ	破片実測	Ⅱ区、ホリ方
29	弥生	壺	-	-	(10.8)	ナデ、頸部赤色塗彩	赤色塗彩	回転実測	Ⅲ区、2層
30	弥生	高坏	<16.3>	-	(9.1)	坏部ヘラミガキ→赤色塗彩、脚部ヘラナデ	ヘラミガキ→赤色塗彩	完全実測	Ⅰ区
31	弥生	高坏	-	-	(5.6)	赤色塗彩	赤色塗彩	破片実測	Ⅰ区、Ⅳ区検出面
32	弥生	甕	-	-	-	ナデ、櫛描波状文	櫛描波状文	破片実測	Ⅳ区
33	弥生	甕	-	-	-	ナデ、櫛描斜走文	櫛描斜走文	破片実測	Ⅳ区検出面
34	かわらけ	皿	-	<7.8>	(1.4)	ロクロナデ	ロクロナデ、底部右回転糸切り	回転実測	Ⅱ区
35	かわらけ	皿	-	<8.4>	(1.3)	ロクロナデ	ロクロナデ、底部回転糸切り	回転実測	Ⅳ区
36	かわらけ	皿	-	<9.2>	(1.5)	ロクロナデ	ロクロナデ、底部回転糸切り	回転実測	Ⅳ区
No.	器種	素材	最大長	最大幅	最大厚	重量	所見	出土位置	
37	敲石	安山岩	12.2	6.0	3.4	314.64	上下端部に敲打痕	No.5	
38	磨石	輝石安山岩	14.2	5.9	4.3	488.12	正面と両側にすり面、右側と上端部に使用痕	Ⅰ区ホリ方	
39	磨・敲石	花崗岩	16.1	7.3	4.3	599.73	正面にすり面、上端部に敲打痕	Ⅰ区ホリ方	
40	磨・敲石	角閃石安山岩	15.1	8.8	5.8	1039.20	全体にすり、上下端部と右側に敲打痕	Ⅳ区	
41	磨石	輝石安山岩	21.1	7.3	3.9	783.92	全体にすり	No.3	

(2) H2号住居址



第6図 A地区H2号住居址(1)



第7図 A地区 H2号住居址(2)

第2表 A地区H2号住居址出土遺物一覧表

(cm)

H2			法 量			成形・調整・文様		推定値<>残存値()丸底●	
No.	種別	器種	口径(長)	底径(幅)	器高(厚)	内 面	外 面	備 考	出土位置
1	土師器	環	<14.8>	-	(4.9)	ヘラミガキ、黒色処理	ヘラミガキ	回転実測	覆土
2	土師器	環	<14.4>	●	4.9	ナデ、赤色塗彩	口縁部ヨコナデ、赤色塗彩、底部ヘラケズリ→ヘラミガキ	回転実測	覆土
3	土師器	環	<13.0>	●	4.5	ヘラミガキ	口縁部ヨコナデ、底部ヘラケズリ	回転実測	覆土
4	土師器	環	<11.8>	-	(4.1)	ヘラミガキ	ヘラミガキ	回転実測	覆土
5	土師器	環	<12.6>	●	(4.3)	ナデ	口縁部ヨコナデ、底部ヘラケズリ	回転実測	覆土
6	土師器	環	<12.6>	-	(4.0)	ナデ	口縁部ヨコナデ、底部ヘラケズリ	回転実測	覆土
7	土師器	環	-	-	(4.4)	ナデ	ナデ	破片実測	覆土
8	土師器	環	-	-	(4.3)	ナデ、暗文	ナデ	破片実測	覆土
9	土師器	高環	-	-	(6.5)	ナデ	ナデ→ヘラミガキ		
10	土師器	鉢	<12.4>	-	(5.0)	ヘラミガキ	ヘラミガキ	回転実測	覆土
11	土師器	甕	<11.6>	-	(6.8)	ヘラナデ	ヘラケズリ	回転実測	覆土
12	土師器	甕	<16.6>	-	(9.1)	ヘラナデ	ヘラケズリ	回転実測	覆土
13	土師器	甕	<17.6>	-	(8.3)	ナデ	ヘラケズリ	回転実測	覆土
14	土師器	甕	<24.4>	-	(11.5)	ヘラナデ	ヘラケズリ	回転実測	覆土
15	弥生土器	土器片円板未製品	最大長 4.0	最大幅 3.0	最大厚 0.8	周囲に成形痕、すりあり			カクラン

Ⅲい・う-7・8Grにあり、D61に切られ、東壁の中央付近が攪乱で破壊されている。北壁4.66m・東壁5.04m・残存南壁4.16m・残存西壁4.06mの方形を呈し、壁高は46cm、長軸方位はN-15°-Wを示す。カマドは東壁に構築されていたのであろうか、他の壁からは確認されなかった。

P1~P4は支柱穴で、深さ18~22cmと浅い、桁行き2.0m梁行き2.0m。覆土は、黄褐色土の小ブロックを多量に含む人為的な堆積であった。全体に堅く締まる床で、壁寄りには軟弱であった。東壁南側を除く壁下には、壁溝が巡る。

遺物は、土師器1~14、土器片円板未製品の弥生土器片15がある。

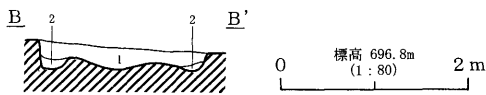
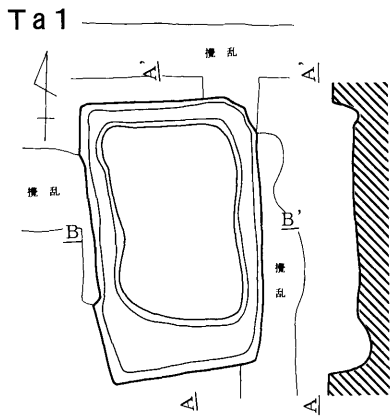
須恵器坏蓋模倣の坏1~7、須恵器坏身模倣の坏8がある。甕11~13は最大径が体部にあり、14は口縁部にある。10の鉢は、内外面よくヘラミガキされ口縁部から体部は直線的である。混入遺物の15は、研磨痕・敲打痕・ケズリ痕がうかがえる。

本址は6世紀後半に位置づけられる。

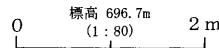
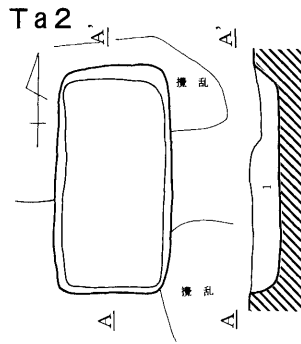
第2節 竪穴状遺構

Ta1号竪穴状遺構

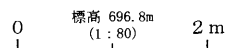
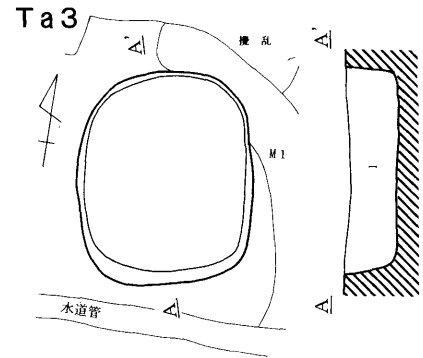
IVい・う-8・9 Grにあり北東壁から東壁、西壁の一部を攪乱で破壊される。規模は北壁1.52m・東壁2.56m・南壁1.32m・西壁2.76mの長方形で壁高は35cmを測り、長軸方位はN-4°-Wを示す。床は堅固でなく窪みが見られる。全壁下に壁溝?が巡る。遺物は皆無で本址の時期は不明。



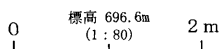
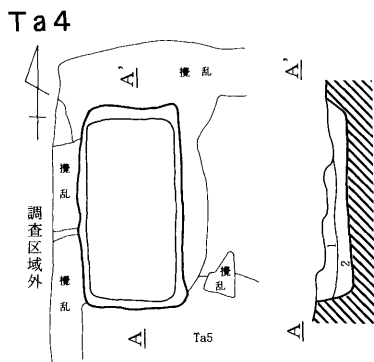
Ta1
1層 暗褐色土(10YR3/3) 黄褐色土の粒子含む。
2層 暗褐色土(10YR3/4) 黄褐色土の小ブロック多量。



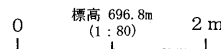
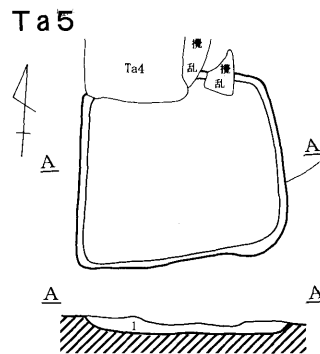
Ta2
1層 暗褐色土(10YR3/3)
黄褐色土の粒子含む。



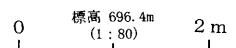
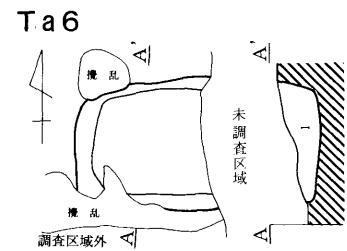
Ta3
1層 暗褐色土(10YR3/4)
黄褐色土の小ブロック多量。



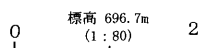
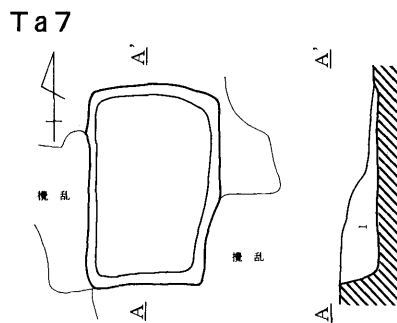
Ta4
1層 暗褐色土(10YR3/3) 黄褐色土の粒子含む。
2層 暗褐色土(10YR3/4) 黄褐色土のブロック多量。



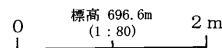
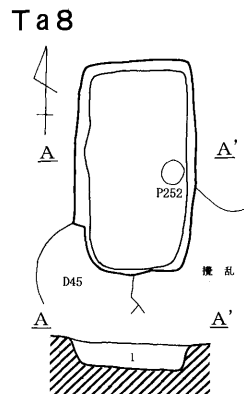
Ta5
1層 暗褐色土(10YR3/3) 黄褐色土の小ブロック多量。



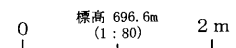
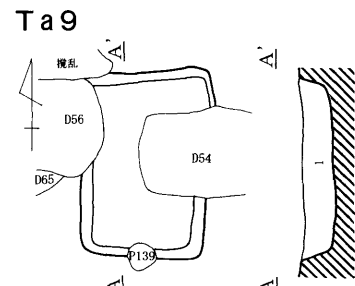
Ta6
1層 褐色土(10YR4/4) 黄褐色土の
ブロックが主。暗褐色土の
小ブロック含む。



Ta7
1層 暗褐色土(10YR3/4) 黄褐色土のブロック多量。



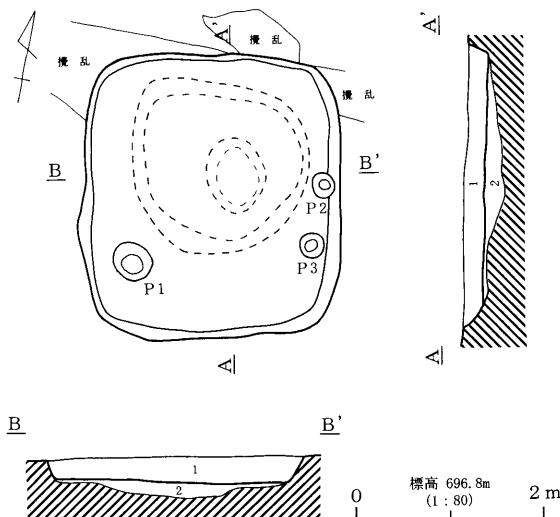
Ta8
1層 黒褐色土(10YR2/3) 黄褐色土ブロック多量。



Ta9
1層 黒褐色土(10YR3/2) 黄褐色土と
黒褐色土の小ブロック多量。

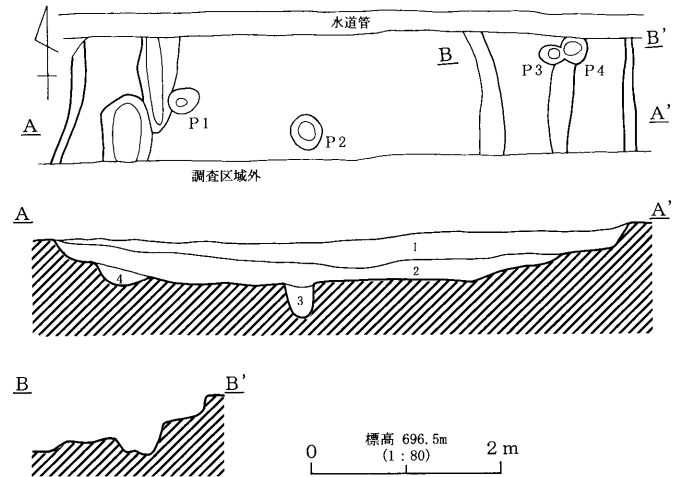
第8図 A地区 竪穴状遺構(1)

Ta10



Ta10
1層 暗褐色土(10YR3/3) 黄褐色土の小ブロック含む。
2層 暗褐色土(10YR3/4) 黄褐色土の小ブロック多量。
(掘方埋土)

Ta11



Ta11
1層 黒褐色土(10YR3/2)
2層 暗褐色土(10YR3/3) 黄褐色土の粒子含む。
3層 黒褐色土(10YR3/2)
4層 黒褐色土(10YR3/2) 黄褐色土の小ブロック多量。

第9図 A地区 竪穴状遺構(2)

第3表 A地区竪穴状遺構一覧表

(残存値) <検出値>

遺構名	検出位置	平面形	北壁長	南壁長	東壁長	西壁長	壁高	主軸方位(長軸方位)	備考(柱穴規模・重複・時期等)
Ta1	IV-い・う-8・9	長方形	152	132	256	276	35	N-4°-W	
Ta2	IV-い・う-5	長方形	96	96	208	212	41	N	
Ta3	IV-え9	隅丸長方形	142	138	154	156	55	N-9°-W	M1を切る。
Ta4	IV-い・う-10	長方形	92	80	184	160	56	N-1°-W	Ta5を切る。
Ta5	IV-う-9・10	台形	(72)	204	152	(172)	27	N-84°-E	Ta4に切られる。
Ta6	IV-え1	長方形	<104>	<88>	-	84	54	N-88°-E	
Ta7	IV-い・う-7	長方形	104	92	172	184	59	N-6°-E	
Ta8	IV-い・う-2	長方形	98	76	204	200	36	N	D45・P252に切られる。
Ta9	III-い・う-10	長方形	(116)	100	176	(88)	41	N-2°-E	D54・D56・P139に切られる。
Ta10	IV-あ9	長方形	208	210	252	258	41	N-10°-W	P1 44×36×25 P2 26×22×14 P3 29×27×15
Ta11	IV-お-2~4	-	東西軸長 584	<120>	<128>	62	-		P1 (32)×27×27 P2 41×33×35 P3 (23)×20×17 P4 (27)×27×36

Ta2号竪穴状遺構 IVい・う-5Grにあり、北東壁から西壁、東壁の一部を攪乱で破壊される。規模は北壁0.96m・東壁2.08m・南壁0.96m・西壁2.12mの長方形で壁高は41cmを測り、長軸方位はNを示す。床は、多くの窪みが見られたが、明確なピットは把握できなかった。遺物は皆無で本址の時期は不明。

Ta3号竪穴状遺構 IVえ-9Grにあり、M1を切る。規模は北壁1.42m・東壁1.54m・南壁1.38m・西壁1.56mの隅丸長方形で壁高は55cmを測り、長軸方位はN-16°-Wを示す。床は、平坦で貼床はないが比較的堅固である。覆土は、黄褐色土の小ブロックを多量に含み人為的な堆積と思われる。遺物皆無で本址の時期は不明。

Ta4号竪穴状遺構 IVい・う-10Grにあり、Ta5を切る。規模は北壁0.92m・東壁1.84m・南壁0.80m・西壁1.60mの長方形で壁高は56cmを測り、長軸方位はN-1°-Wを示す。床は、多くの窪みが見られたが、明確なピットは把握できなかった。遺物は、皆無で本址の時期は不明。

Ta5号竪穴状遺構 IVう-9・10Grにあり、Ta4に切られる。規模は残存北壁0.72m・東壁1.52m・南壁2.04m・残存西壁1.72mの台形で壁高は27cmを測り、長軸方位はN-84°-Eを示す。床は、平坦で貼床はないが比較的堅固である。遺物は、皆無で本址の時期は不明。

Ta6号竪穴状遺構 IVえ-1Grにあり、遺構東部は未調査区(ガス管等埋設)に伸びる。規模は検出北壁1.04m・検出南壁0.88m・西壁0.84mの長方形で壁高は54cmを測り、長軸方位はN-88°-Eを示す。床は、平坦で貼床はないが比較的堅固である。遺物は、皆無で本址の時期は不明。

Ta7号竪穴状遺構 IVい・う-7Grにあり遺構上部を攪乱に破壊される。規模は北壁1.04m・東壁1.

72m・南壁0.92m・西壁1.84mの長方形で壁高は59cmを測り、長軸方位はN-6°-Eを示す。床は、平坦で貼床はないが比較的堅固である。覆土は黄褐色土のブロックを多量に含み人為的な堆積と思われる。

遺物は、皆無で本址の時代は不明。

T a 8号竪穴状遺構 IVい・う-2GrにありD45・P252に切られる。規模は北壁0.98m・東壁2.04m・南壁0.76m・西壁2.00mの長方形で壁高は36cmを測り、長軸方位はNを示す。床は、平坦で貼床はないが比較的堅固である。覆土は、黄褐色土のブロックを多量に含み人為的な堆積と思われる。遺物は皆無で本址の時期は不明。

T a 9号竪穴状遺構 IIIい・う-10GrにありD54・D56・P139に切られる。規模は残存北壁1.16m・東壁1.76m・南壁1.00m・残存西壁0.88mの長方形で壁高は41cmを測り、長軸方位はN-2°-Eを示す。床は平坦で、軟弱である。覆土は、黄褐色土と黒褐色土の小ブロックを多量に含み人為的な堆積と思われる。遺物は皆無で本址の時期は不明。

T a 10号竪穴状遺構 IVあ-9Grにあり、規模は北壁2.08m・東壁2.52m・南壁2.10m・西壁2.58mの長方形で壁高は41cmを測り、長軸方位はN-10°-Wを示す。掘方埋土の上部に薄い平坦な床が認められた。ピットは3基検出された。相対する東西壁下のP1・P3は、支柱穴であろうか。遺物は皆無で本址の時期は不明。

T a 11号竪穴状遺構 IVお-2～4Grにあり大半は南側の未調査区域に伸びる。規模は東西軸長5.84mで大型である。壁高は62cmと深い。床はほぼ平坦で堅い。ピットは4基検出された。西壁下に一段のテラスが、東壁下に2段のテラスがある。西側テラス下には、溝状の窪みがみられた。遺物は皆無で本址の時期は不明。

T a 1・T a 2・T a 4・T a 7・T a 8・T a 9の竪穴状遺構は、すべて長軸を北にして東西一直線上に配置されている。竪穴状遺構の時代であるが、弥生時代・古墳時代の遺構を切っていること、調査区全体から弥生時代後期・古墳時代後期・中世の遺物が出土し、奈良平安時代の遺物は見られないことから、漠然ではあるが多くの土坑やピット同様中世の所産であろう。

第3節 土坑

D 1号土坑

IVえ-8Grにあり、長軸長は1.02m・短軸長1.00mの円形で断面は逆梯形、壁高は25cmを測り、南北軸方位はN-68°-Eを示す。長辺50cm厚さ28cmの礫がみられた。遺物は第15図1の須恵質陶器播鉢が出土した。本址の年代は、1から14世紀か15世紀であろう。

D 2号土坑

IVう-5・6GrにありD10・D12・M5・P66・P69に切られる。残存長軸長1.4m・短軸長1.2mの楕円形で断面は逆梯形、壁高は18cmを測り長軸方位はN-43°-Wを示す。底面に据え置かれたような壺(第15図5)がやや傾く正位で確認された。まわりから壺・甕・鉢・高坏片が出土している。遺物はすべて弥生時代後期で第15図4・6・7は塗彩される。本址の時期は弥生時代後期箱清水式期に位置づけられる。

D 3号土坑

IVう-9Grにあり、長軸長は1.45m・短軸長1.17mの楕円形で断面は逆梯形、底面に深さ32cmのピットがある。壁高は14cmを測り、長軸方位はN-36°-Wを示す。12～20cmの安山岩が5個みられた。遺物は弥生時代後期壺・甕、須恵器甕が出土した。小片であり本址の年代は、不明である。

D 4号土坑

IVえ-7Grにあり、長軸長は0.9m・短軸長0.48mの楕円形で断面は逆梯形、壁高は28cmを測り、長軸方位はN-80°-Wを示す。出土遺物は皆無であり、本址の時期は不明である。

D 5号土坑

IVう・え-6Grにあり、M5を切る。残存長軸長は0.7m・残存短軸長0.65mの楕円形で断面は逆梯形、

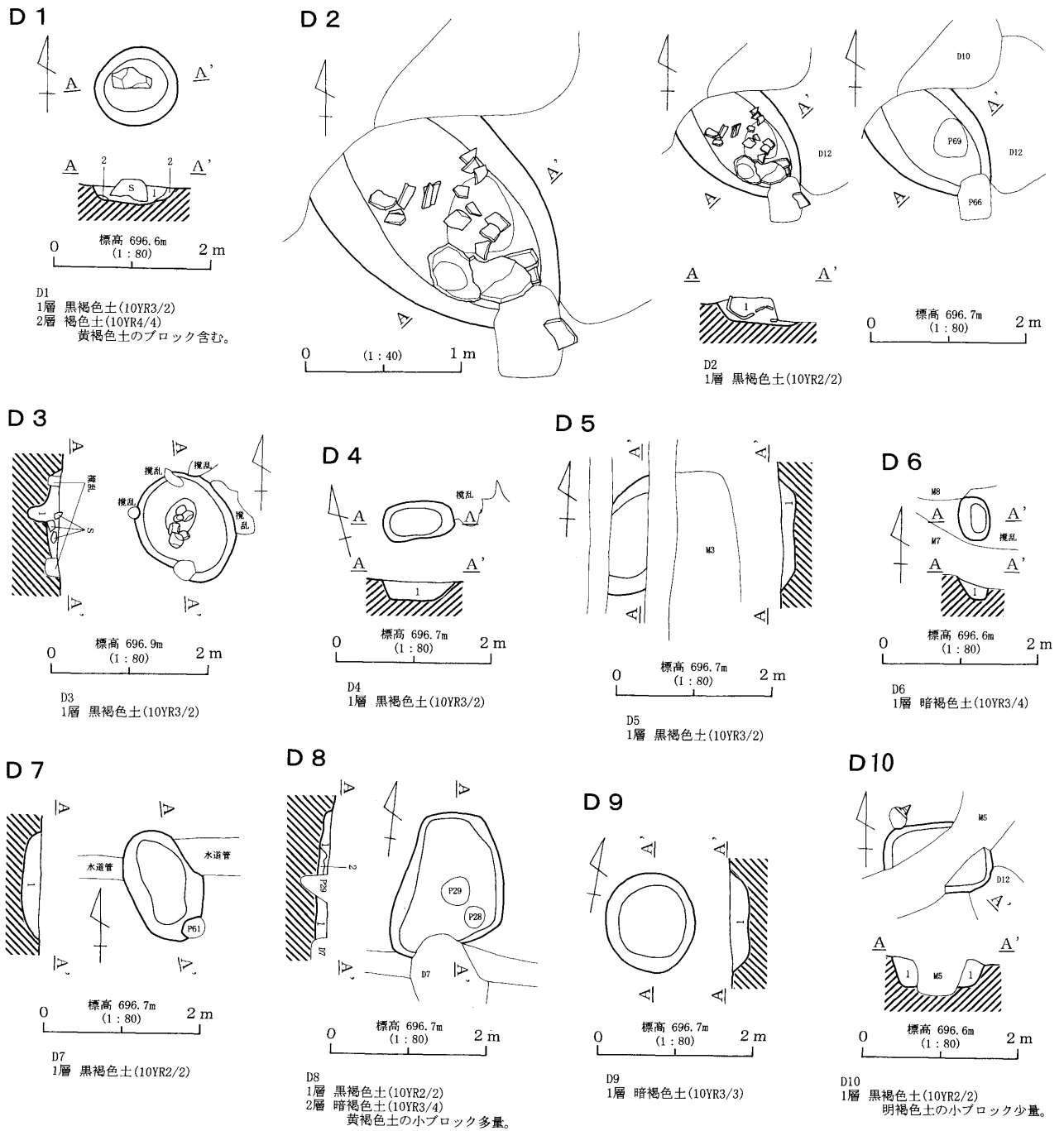
壁高は24cmを測り、長軸方位はN-40°-Eを示す。出土遺物は皆無であり、本址の時期は不明である。

D 6 号土坑

IVう・え-7 Gr にあり、長軸長は0.56m・短軸長0.42mの楕円形で断面は逆梯形、壁高は30cmを測り、長軸方位はN-4°-Wを示す。出土遺物は皆無であり、本址の時期は不明である。

D 7 号土坑

IVい-3 Gr にありD 8・P 219を切り、P 61に切られる。長軸長は1.45m・短軸長0.93mの楕円形で断面は鍋底形、壁高は26cmを測り、長軸方位はN-16°-Wを示す。遺物は弥生時代後期壺・甕が出土した。小片であり本址の年代は、不明である。



第10図 A地区 土坑(1)

D 8号土坑

IVい-3 Gr にありM10を切り、D 7・P 28・P 29に切られる。残存長軸長は1.66m・短軸長1.44mの不整形で断面は逆梯形、壁高は22cmを測り、長軸方位はN-9°-Wを示す。遺物は弥生時代後期壺・鉢・高坏が出土した。小片であり本址の年代は、不明である。

D 9号土坑

IVい-4 Gr にあり長軸長は1.3m・短軸長1.15mの楕円形で断面は逆梯形、壁高は27cmを測り、長軸方位はN-23°-Wを示す。遺物は弥生時代後期壺・鉢が出土した。小片であり本址の年代は不明である。

D 10号土坑

IVう-5・6 Gr にありD 2を切り、D 12・M 5に切られる。長軸長は1.4m・短軸長0.91mの長方形で断面は逆梯形、壁高は43cmを測り、長軸方位はN-85°-Eを示す。遺物は弥生時代後期赤彩される壺・鉢、甕が出土した。本址の時期は、弥生時代後期箱清水式期のM 5に切れ、同期のD 2を切っていることから、弥生時代後期箱清水式期に位置づけられる。

D 11号土坑

IVあ-4 Gr にありP 286に切られる。長軸長は2.04m・短軸長1.72mの不整形で、壁高は24cmを測り、長軸方位はNを示す。北寄り底面に長軸長1.04m・短軸長0.92mの円形で深さ31cmの落ち込みが見られた。別遺構の可能性もあるが把握できなかった。遺物は弥生時代後期壺・甕が出土した。小片であり本址の年代は、不明である。

D 12号土坑

IVう・え-5 Gr にありD 2・D 10を切る。長軸長は0.92m・短軸長0.74mの楕円形で断面は逆梯形、壁高は15cmを測り、長軸方位はN-36°-Wを示す。出土遺物は皆無であり、本址の時期は不明である。

D 13号土坑

IVい-3・4 Gr にあり、M10を切る。長軸長は1.12m・短軸長0.8mの楕円形で断面は逆梯形、壁高は29cmを測り、長軸方位はN-61°-Eを示す。出土遺物は皆無であり、本址の時期は不明である。

D 14号土坑

Ⅲあ-8・9 Gr にあり、P 76に切られる。残存長軸長は1.0m・短軸長0.92mの楕円形で断面は逆梯形、壁高は27cmを測り、長軸方位はN-24°-Eを示す。出土遺物は皆無であり、本址の時期は不明である。

D 15号土坑

Ⅲお-9 Gr にあり、長軸長は1.44m・短軸長1.06mの長方形で、断面は逆梯形、壁高は35cmを測り、長軸方位はN-86°-Wを示す。遺物は第15図7～9の内耳土鍋、弥生時代後期の壺小片が出土した。本址の年代は、内耳土鍋を根拠とすれば15世紀であろう。

D 16号土坑

Ⅲい-9 Gr にありP 100・P 101に切られる。長軸長は1.7m・短軸長1.1mで、壁高は111cmを測り、長軸方位はN-76°-Wを示す。北寄り底面から北壁を袋状に挟む深さ87cmの掘り込みが見られた。別遺構の可能性もあるが把握できなかった。遺物は弥生時代後期壺、土師器甕・坏、須恵器甕が出土した。小片であり本址の年代は、不明である。

D 17号土坑

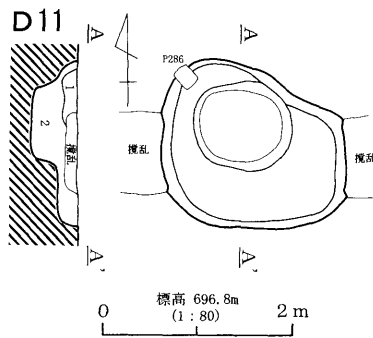
IVえ-5 Gr にありD 18を切りD 69に切られる。長軸長は1.22m・短軸長1.18mの楕円形で断面は逆梯形壁高は25cmを測り、長軸方位はN-17°-Eを示す。出土遺物は皆無であり本址の時期は不明である。

D 18号土坑

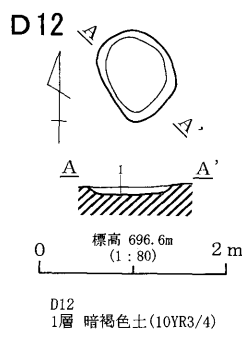
IVえ-5 Gr にありP 310を切り、D 17・P 309に切られる。残存長軸長は1.74m・短軸長1.54mの楕円形で断面は逆梯形、壁高は48cmを測り、長軸方位はN-14°-Wを示す。遺物は弥生時代後期壺・鉢・甕が出土した。小片であり本址の年代は、不明である。

D 19号土坑

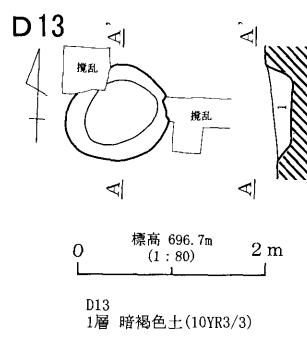
IVい-4 Gr にあり、P 223に切られる。長軸長は1.16m・短軸長1.14mの方形で断面は鍋底、壁高は18cmを測り、長軸方位はN-5°Wを示す。出土遺物は皆無であり、本址の時期は不明である。



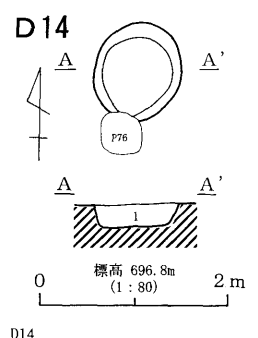
D11
1層 黒褐色土(10YR2/3)
2層 にぶい黄褐色土(10YR4/3)
黄褐色土・黒褐色土の小ブロック
多量。人為的。



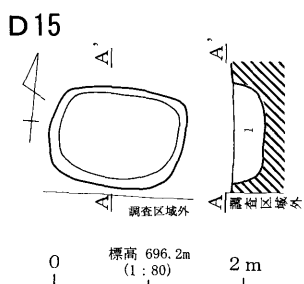
D12
1層 暗褐色土(10YR3/4)



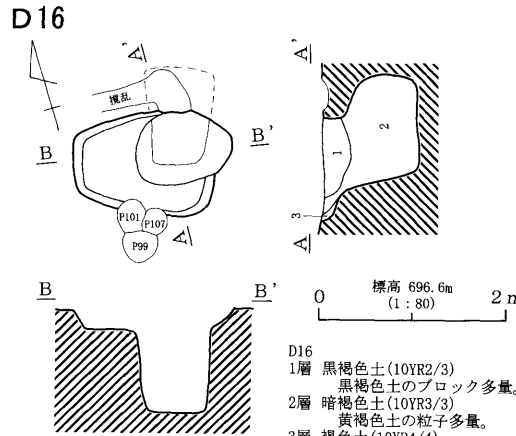
D13
1層 暗褐色土(10YR3/3)



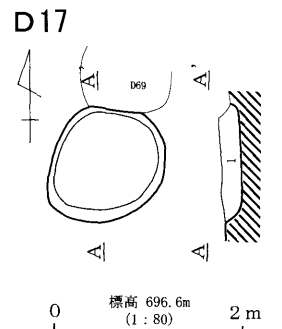
D14
1層 暗褐色土(10YR3/4)
黄褐色土の小ブロック含む。



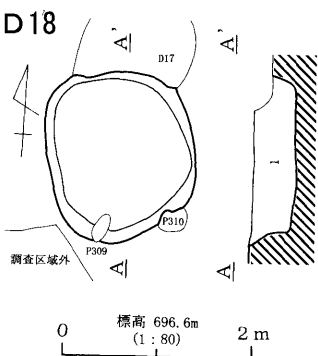
D15
1層 黒褐色土(10YR2/2)



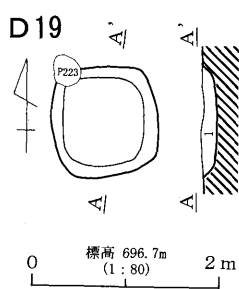
D16
1層 黒褐色土(10YR2/3)
黒褐色土のブロック多量。
2層 暗褐色土(10YR3/3)
黄褐色土の粒子多量。
3層 褐色土(10YR4/4)
黄褐色土の小ブロック多量。



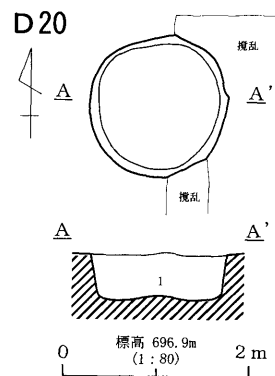
D17
1層 暗褐色土(10YR3/4)
黄褐色土の小ブロック多量。



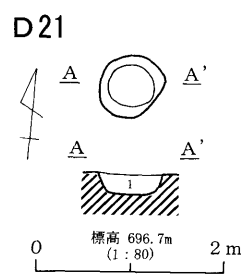
D18
1層 黒褐色土(10YR2/3)
黄褐色土の小ブロック含む。



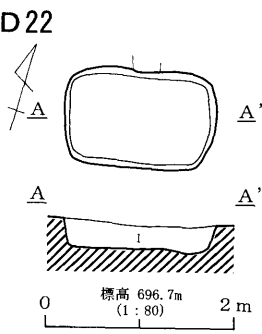
D19
1層 暗褐色土(10YR3/4)
黄褐色土の小ブロック
多量。



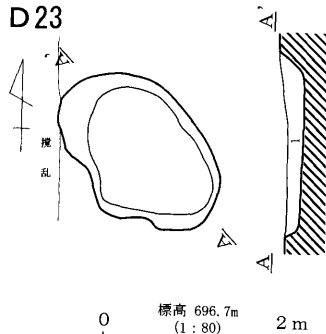
D20
1層 暗褐色土(10YR3/4)
黄褐色土の小ブロック多量。



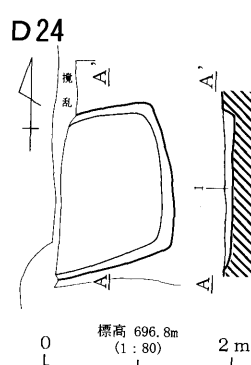
D21
1層 暗褐色土(10YR3/3)



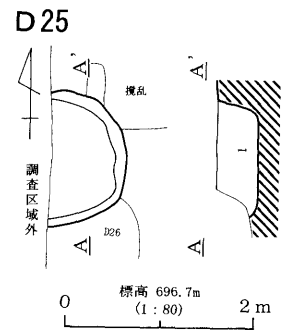
D22
1層 暗褐色土(10YR3/4)
黄褐色土の小ブロック含む。



D23
1層 暗褐色土(10YR3/4)
黄褐色土の小ブロック含む。



D24
1層 黒褐色土(10YR3/2)



D25
1層 にぶい黄褐色土(10YR4/3)
黄褐色土の粒子が主。
黒褐色土の小ブロック含む。

D20号土坑

IVあ・い-5Grにあり、長軸長は1.48m・短軸長1.44mの円形で断面は逆梯形、壁高は52cmを測り、南北軸方位はN-83°-Eを示す。出土遺物は皆無であり、本址の時期は不明である。

D21号土坑

IVい・う-4Grにあり、長軸長は0.72m・短軸長0.65mの円形で断面は逆梯形、壁高は23cmを測り、長軸方位はN-64°-Eを示す。出土遺物は皆無であり、本址の時期は不明である。

D22号土坑

IVう-5GrにありH1を切る。長軸長は1.62m・短軸長1.02mの長方形で断面は逆梯形、壁高は40cmを測り、長軸方位はN-78°-Eを示す。出土遺物は皆無であり、本址の時期は不明である。

D23号土坑

IVう-5・6GrにありM3・M5を切る。長軸長は1.98m・短軸長1.24mの楕円形で断面は逆梯形、壁高は29cmを測り、長軸方位はN-38°-Wを示す。出土遺物は皆無であり、本址の時期は不明である。

D24号土坑

IVい-10Grにあり、西側は調査区域外に伸びる。南北長は1.66m・検出東西長1.18mの方形とみられ、断面は逆梯形、壁高は16cmを測り、南北軸方位はN-13°-Wを示す。出土遺物は皆無であり、本址の時期は不明である。

D25号土坑

IVえ-10Grにあり、西側は調査区域外に伸び、M1を切り、D26に切られる。南北長は1.42m・検出東西長0.78mの円形とみられ、断面は逆梯形、壁高は49cmを測り、南北軸方位はNを示す。出土遺物は皆無であり、本址の時期は不明である。

D26号土坑

IVえ-10Grにあり、西側は調査区域外に伸び、M1・D25を切る。南北長は1.2m・検出東西長1mの円形で、断面は鍋底、壁高は43cmを測り、南北軸方位はNを示す。出土遺物は皆無であり、本址の時期は不明である。

D27号土坑

IIIえ-9・10Grにあり、D28に切られる。長軸長は1m・短軸長0.73mの長方形で、断面は逆梯形、壁高は24cmを測り、南北軸方位はN-85°-Eを示す。出土遺物は皆無であり、本址の時期は不明である。

D28号土坑

IIIえ-10Grにあり、D27・D29を切る。長軸長は1.5m・短軸長1.04mの楕円形で、断面は逆梯形、壁高は70cmを測り、長軸方位はN-80°-Eを示す。出土遺物は皆無であり、本址の時期は不明である。

D29号土坑

IIIえ-10GrにありD30を切り、D28に切られる。残存長軸長は1.94m・短軸長1.94mの円形で、断面は逆梯形、壁高は69cmを測り、東西軸方位はN-79°-Eを示す。出土遺物は皆無であり、本址の時期は不明である。

D30号土坑

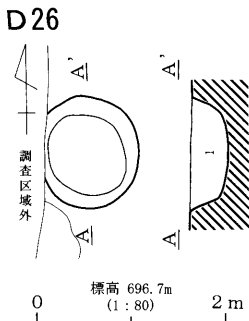
IIIえ・お-10GrにありD29に切られ、西側は調査区域外に伸びる。残存南北長は1.4m・残存東西長0.64mの楕円形で、断面は鍋底、壁高は52cmを測り、南北軸方位はN-52°-Eを示す。出土遺物は皆無であり、本址の時期は不明である。

D31号土坑

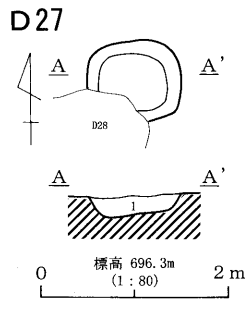
IVえ-2Grにあり、P275に切られる。長軸長は1m・短軸長0.96mの方形で、断面は逆梯形、壁高は41cmを測り、南北軸方位はN-15°-Eを示す。出土遺物は皆無であり、本址の時期は不明である。

D32号土坑

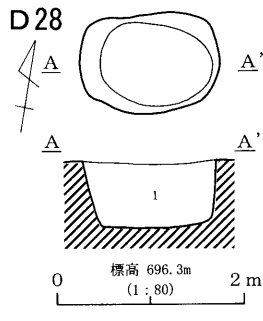
IVう・え-2GrにありP51・P52に切られる。長軸長は1.64m・短軸長1.04mの台形で、断面は逆梯形、壁高は48cmを測り、長軸方位はN-9°-Wを示す。出土遺物は皆無であり、本址の時期は不明である。



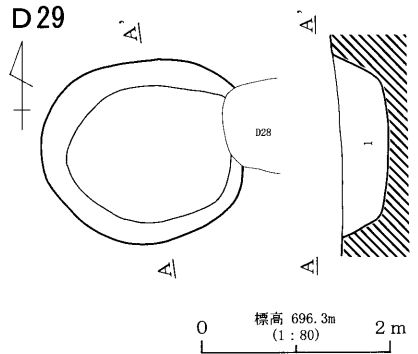
D26
1層 暗褐色土(10YR3/4)
黄褐色土のブロック含む。



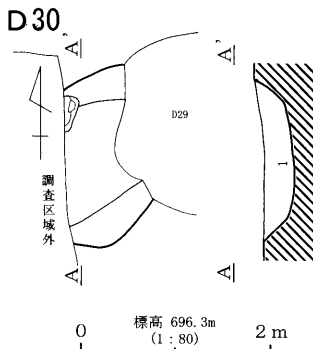
D27
1層 暗褐色土(10YR3/3)



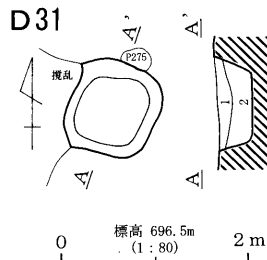
D28
1層 暗褐色土(10YR3/4)
黄褐色土の粒子多量。



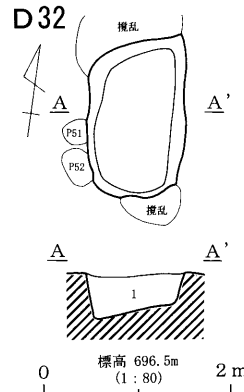
D29
1層 暗褐色土(10YR3/3)
黄褐色土の小ブロック含む。



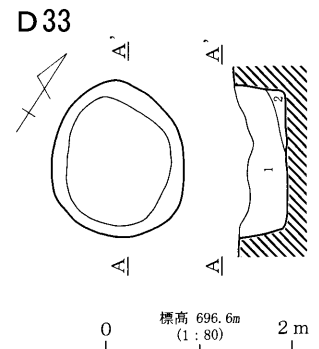
D30
1層 黒褐色土(10YR2/2)



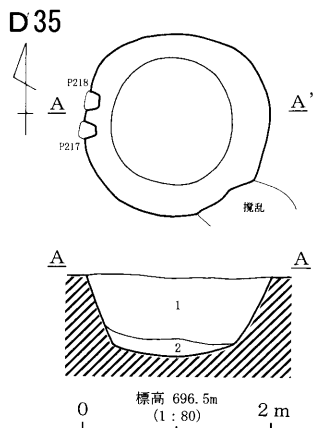
D31
1層 黒褐色土(10YR2/3)
2層 暗褐色土(10YR3/3)
黄褐色土の粒子・
小ブロック含む。



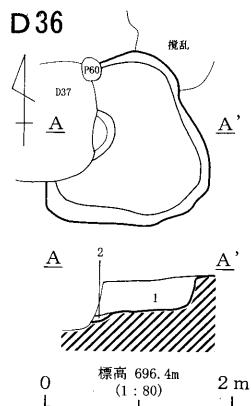
D32
1層 黒褐色土(10YR2/3)



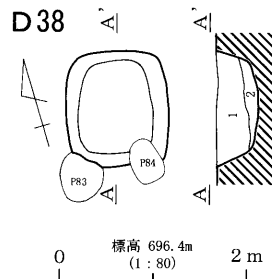
D33
1層 黒褐色土(10YR2/3)
2層 暗褐色土(10YR3/4)
黄褐色土の粒子多量。



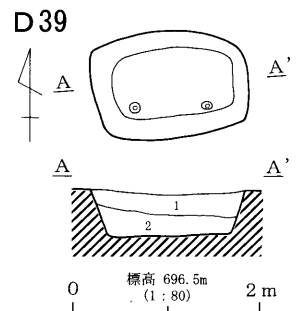
D35
1層 黒褐色土(10YR2/3)
黄褐色土の粒子含む。
2層 黒褐色土(10YR3/2)



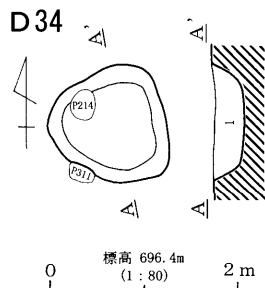
D36
1層 黒褐色土(10YR2/3)
黄褐色土の粒子含む。
2層 黒褐色土(10YR3/2)



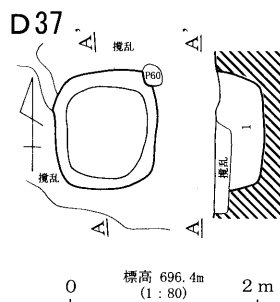
D38
1層 暗褐色土(10YR3/3)
黄褐色土の粒子少量。
2層 暗褐色土(10YR3/3)
黄褐色土の小ブロック多量。



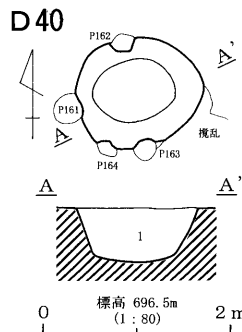
D39
1層 黒褐色土(10YR2/3)
2層 暗褐色土(10YR3/4)
黄褐色土の粒子多量。



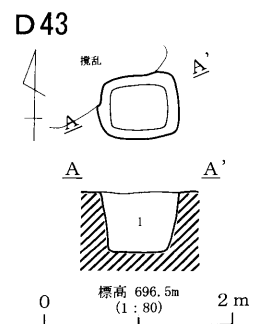
D34
1層 黒褐色土(10YR2/3)
黄褐色土の小ブロック少量。



D37
1層 黒褐色土(10YR2/3)
黄褐色土のブロック多量。



D40
1層 暗褐色土(10YR3/4)
黄褐色土の粒子・
小ブロック多量。



D43
1層 暗褐色土(10YR3/4)
黄褐色土の
小ブロック多量。

D33号土坑

IVう-3GrにありD63・M9を切る。長軸長は1.66m・短軸長1.38mの楕円形で、断面は逆梯形、壁高は64cmを測り、長軸方位はN-35°-Wを示す。出土遺物は皆無であり、本址の時期は不明である。

D34号土坑

IVえ-3GrにありD63を切り、P214・P311に切られる。南北軸長は1.22m・東西軸長1.24mの不整形で、断面は逆梯形、壁高は37cmを測り、南北軸方位はN-13°-Wを示す。出土遺物は皆無であり、本址の時期は不明である。

D35号土坑

IVう-2・3Grにあり、P217・P218に切られる。南北軸長・東西軸長1.96mの円形で、断面は鍋底、壁高は89cmを測り、南北軸方位はNを示す。出土遺物は皆無であり、本址の時期は不明である。

D36号土坑

IVう-1・2GrにありP58・P59を切り、D37・P60に切られる。長軸長は1.84m・短軸長1.74mの不整形で、断面は逆梯形、壁高は44cmを測り、長軸方位はN-16°-Wを示す。中央に浅いピットがある。出土遺物は皆無であり、本址の時期は不明である。

D37号土坑

IVう-1・2GrにありD36を切り、P45・P60に切られる。長軸長は1.25m・短軸長1.07mの長方形で、断面は逆梯形、壁高は57cmを測り、長軸方位はN-2°-Wを示す。出土遺物は皆無であり、本址の時期は不明である。

D38号土坑

IIIう-9Grにあり、P83・P84に切られる。長軸長は1.21m・短軸長1.1mの長方形で、断面は鍋底、壁高は50cmを測り、長軸方位はN-13°-Eを示す。出土遺物は皆無であり、本址の時期は不明である。

D39号土坑

IIIう-10Grにあり、長軸長は1.64m・短軸長1.14mの長方形で、断面は逆梯形、壁高は55cmを測り、長軸方位はN-84°-Eを示す。底面に径10cm深さ10cmの2基ピットがある。出土遺物は皆無であり、本址の時期は不明である。

D40号土坑

IVえ-3Grにあり、D41・D42を切り、P161～P164に切られる。長軸長は1.38m・短軸長1.1mの楕円形で、断面は鍋底、壁高は57cmを測り、長軸方位はN-87°-Eを示す。出土遺物は皆無であり、本址の時期は不明である。

D41号土坑

IVえ-3・4Grにあり、D40・D43・P159～P161に切られる。残存長軸長は1.16m・短軸長1.1mの長方形で、断面は逆梯形、壁高は32cmを測り、長軸方位はN-8°-Wを示す。出土遺物は皆無であり、本址の時期は不明である。

D42号土坑

IVえ-3Grにあり、D40・D43・P162に切られる。残存長軸長は0.93m・残存短軸長0.54mの長方形で、断面は逆梯形、壁高は34cmを測り、長軸方位はN-9°-Wを示す。出土遺物は皆無であり、本址の時期は不明である。

D43号土坑

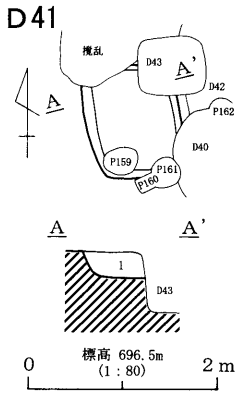
IVえ-3・4Grにあり、D41・D42を切る。長軸長は0.86m・短軸長0.67mの長方形で、断面は逆梯形、壁高は65cmを測り、長軸方位はN-85°-Eを示す。出土遺物は皆無であり、本址の時期は不明である。

D44号土坑

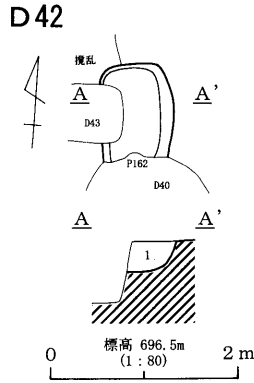
IIけ-2Grにあり、D55・M2を切る。南北軸長は1.32m・東西軸長1.38mの方形で、断面は逆梯形、壁高は47cmを測り、南北軸方位はNを示す。出土遺物は皆無であり、本址の時期は不明である。

D45号土坑

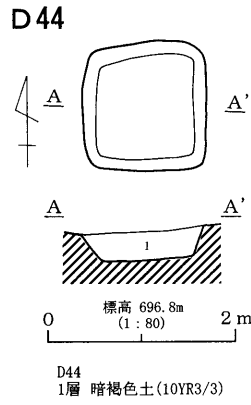
IVう-2Grにあり、Ta8を切る。南北軸長は1.18m・東西軸長1.2mの円形で、断面は逆梯形、



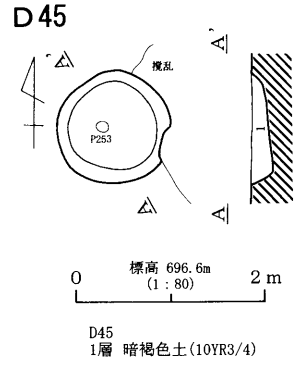
D41
1層 暗褐色土(10YR3/3)
黄褐色土の
小ブロック含む。



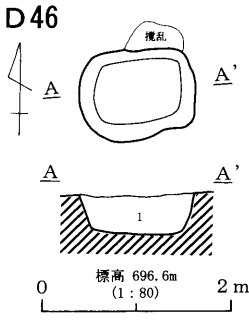
D42
1層 暗褐色土(10YR3/3)
黄褐色土の
粒子多量。



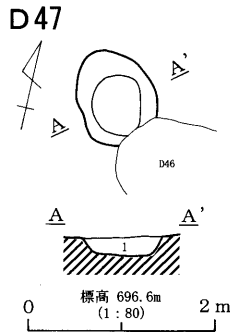
D44
1層 暗褐色土(10YR3/3)



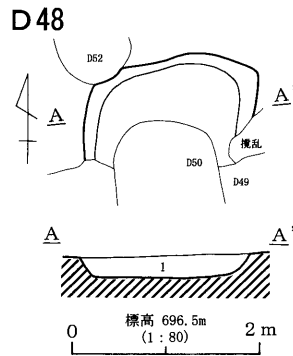
D45
1層 暗褐色土(10YR3/4)



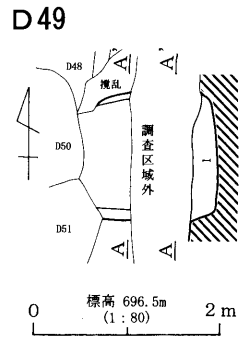
D46
1層 暗褐色土(10YR3/3)
黄褐色土の
小ブロック含む。



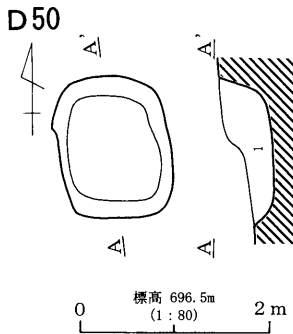
D47
1層 暗褐色土(10YR3/4)
黄褐色土の
粒子多量。



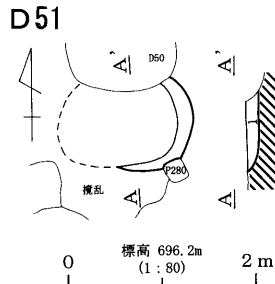
D48
1層 暗褐色土(10YR3/4)



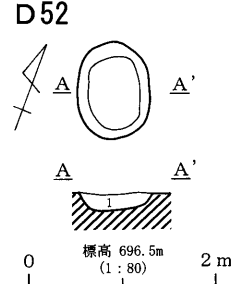
D49
1層 黒褐色土(10YR2/3)



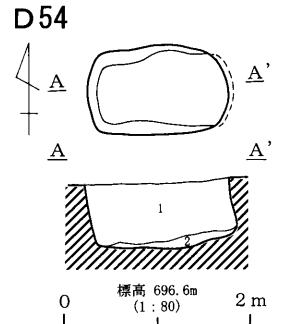
D50
1層 暗褐色土(10YR3/4)
黄褐色土の粒子多量。



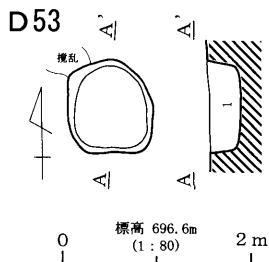
D51
1層 黒褐色土(10YR2/3)



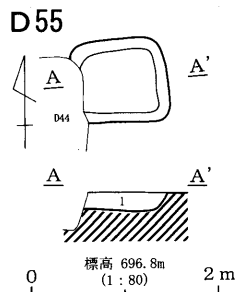
D52
1層 暗褐色土(10YR3/3)



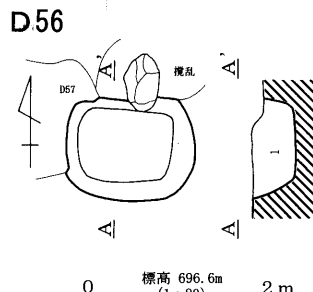
D54
1層 黒褐色土(10YR2/3)
2層 暗褐色土(10YR3/3)
黄褐色土の粒子多量。



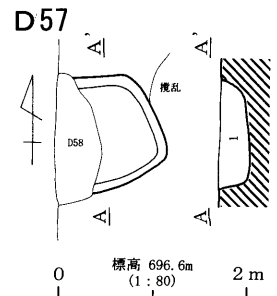
D53
1層 暗褐色土(10YR3/3)
黄褐色土の小ブロック少量。



D55
1層 暗褐色土(10YR3/3)
黄褐色土の粒子・
小ブロック含む。



D56
1層 暗褐色土(10YR3/4)
黄褐色土の粒子・小ブロック多量。



D57
1層 暗褐色土(10YR3/3)
黄褐色土の粒子多量。

壁高は32cmを測り、南北軸方位はNを示す。出土遺物は皆無であり、本址の時期は不明である。

D46号土坑

IVい・う-2・3 Grにあり、D47を切る。長軸長は1.2m・短軸長0.95mの長方形で、断面は逆梯形、壁高は48cmを測り、長軸方位はN-85°-Eを示す。出土遺物は皆無であり、本址の時期は不明である。

D47号土坑

IVい-2・3 Grにあり、D46に切られる。長軸長は0.94m・短軸長0.82mの楕円形で、断面は逆梯形、壁高は23cmを測り、長軸方位はN-50°-Wを示す。出土遺物は皆無であり、本址の時期は不明である。

D48号土坑

IVい・う-1 Grにあり、D50・D52に切られる。長軸長は1.71m・残存短軸長0.7mの方形?で、断面は逆梯形、壁高は39cmを測り、長軸方位はN-85°-Eを示す。出土遺物は皆無であり、本址の時期は不明である。

D49号土坑

IVう-1 GrにありD50・D51に切られる。長軸長は1.33m・残存短軸長0.51mの方形?で断面は逆梯形、壁高は30cmを測り、長軸方位はNを示す。出土遺物は皆無であり、本址の時期は不明である。

D50号土坑

IVい・う-1 GrにありD48・D49・D51を切る。長軸長は1.5m・短軸長1.17mの長方形で断面は逆梯形、壁高は21cmを測り長軸方位はN-4°-Wを示す。出土遺物は皆無であり、本址の時期は不明である。

D51号土坑

IVう-1 Grにあり、D49を切り、D50に切られる。長軸長は約1.5m・残存短軸長0.84mの楕円形か?断面は逆梯形、壁高は42cmを測り、長軸方位はN-84°-Wを示す。出土遺物は皆無であり、本址の時期は不明である。

D52号土坑

IVい-1・2 Grにあり、D48を切る。長軸長は1.02m・短軸長0.76mの楕円形で、断面は逆梯形、壁高は20cmを測り、長軸方位はN-20°-Wを示す。出土遺物は皆無であり本址の時期は不明である。

D53号土坑

IVい-2 Grにあり、長軸長は1m・短軸長0.9mの方形で、断面は逆梯形、壁高は38cmを測り、南北軸方位はNを示す。出土遺物は皆無であり、本址の時期は不明である。

D54号土坑

Ⅲい-10 GrにありT a 9を切る。長軸長は1.5m・短軸長0.95mの長方形で、断面は東壁が袋状となる逆梯形、壁高は77cmを測り、長軸方位はEを示す。出土遺物は皆無であり、本址の時期は不明である。

D55号土坑

Ⅱけ-2 GrにありM 2を切り、D44に切られる。残存長軸長は0.9m・短軸長0.88mの長方形で、断面は逆梯形、壁高は31cmを測り、長軸方位はN-85°-Eを示す。遺物は、土師器甕・坏が出土した。小片であり本址の年代は、不明である。

D56号土坑

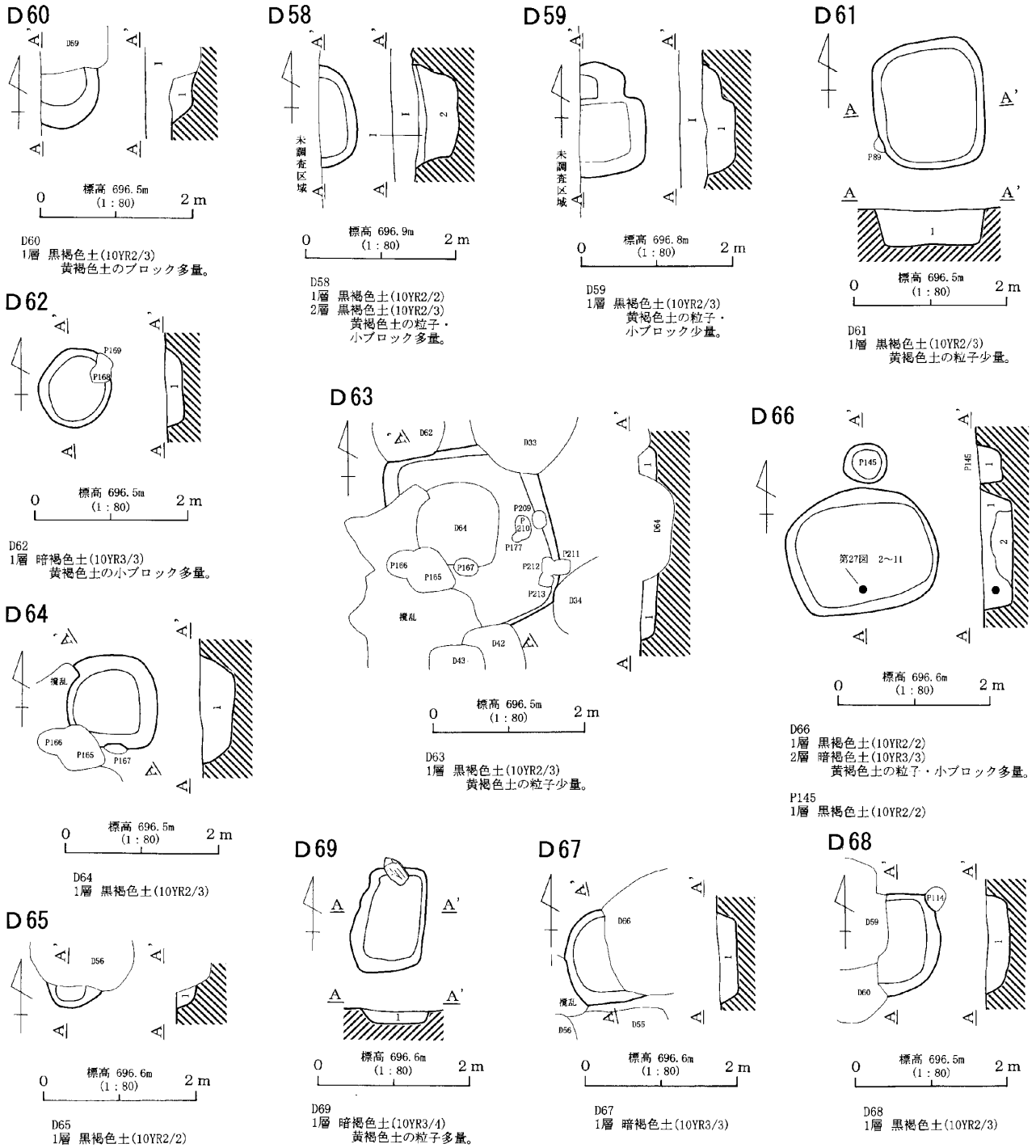
Ⅲい-10・IVい-1 Grにあり、T a 9・D65を切り、D57に切られる。長軸長は1.38m・短軸長1.06mの楕円形で、断面は逆梯形、壁高は42cmを測り、長軸方位はN-84°-Wを示す。出土遺物は皆無であり、本址の時期は不明である。

D57号土坑

Ⅲい-10・IVい-1 Grにあり、D56を切り、D58に切られる。長軸長は1.2m・残存短軸長0.62mの方形?で、断面は逆梯形、壁高は23cmを測り、南北軸方位はN-16°-Wを示す。出土遺物は皆無であり、本址の時期は不明である。

D58号土坑

IVい-1 Grにあり、D57を切る。長軸長は1.36m・検出短軸長0.49mの楕円形?で、断面は逆梯形、壁高は56cmを測り、長軸方位はNを示す。出土遺物は皆無であり、本址の時期は不明である。



第14図 A地区 土坑(5)

D59号土坑

IVう-1 Gr にあり、D60・D68を切る。長軸長は1.56m・検出短軸長0.86mのテラスを北側に持つ長方形で、壁高は42cmを測り、南北軸方位はNを示す。遺物は弥生時代後期の赤彩壺と無彩の壺が出土した。小片であり本址の年代は、不明である。

D60号土坑

IVう-1 Gr にあり、D68を切り、D59に切られる。残存南北長は0.78m・検出東西長0.73mの円形?で、壁高は26cmを測る。出土遺物は皆無であり、本址の時期は不明である。

D61号土坑

Ⅲう-8Grにあり、H2・P89を切る。長軸長は1.68m・短軸長1.45mの長方形で、断面は逆梯形、壁高は50cmを測り、長軸方位はN-9°-Wを示す。出土遺物は皆無であり、本址の時期は不明である。

D62号土坑

Ⅳう-4Grにあり、H1・D63を切り、P168・P169に切られる。長軸長は1.03m・短軸長0.97mの楕円形で、断面は逆梯形、壁高は28cm、長軸方位はNを示す。出土遺物は皆無であり、本址の時期は不明である。

D63号土坑

Ⅳう・え-3・4Grにあり、H1を切り、D33・D34・D42・D62・D64・P165～P167・P177・P209～P213に切られる。長軸長は2.4m・短軸長2.04mの長方形で、断面は逆梯形、壁高は23cm、長軸方位はN-12°-Wを示す。出土遺物は皆無であり、本址の時期は不明である。

D64号土坑

Ⅳう・え-3・4Grにあり、H1・D63を切り、P165～P167に切られる。長軸長は1.18m・短軸長1.17mの方形、断面は逆梯形、壁高は48cm、南北軸方位はNを示す。出土遺物は皆無であり、本址の時期は不明である。

D65号土坑

Ⅲい-10Grにあり、D56に切られる。残存南北長は0.28m・残存東西長0.72mの楕円形?で、断面は逆梯形?、壁高は34cmである。出土遺物は皆無であり、本址の時期は不明である。

D66号土坑

Ⅲい-10Grにあり、D67を切る。長軸長は1.93m・短軸長1.63mの長方形、断面は逆梯形、壁高は45cm、長軸方位はN-77°-Eを示す。遺物は覆土1層中から10点の古銭がまとまって出土した。北宋銭の元祐通寶・政和通寶が各2点、至道元寶・聖宋元寶・嘉祐通寶・咸平元寶・皇宋通寶が各1点、唐銭の開元通寶1点である。本址の時期は、漠然と中世となろうか。

D67号土坑

Ⅲい-10Grにあり、D66に切られる。南北軸長は1.24m・残存東西軸長0.58mの楕円形?で、断面は逆梯形、壁高は29cm、南北軸方位はN-10°-Wを示す。出土遺物は皆無であり、本址の時期は不明である。

D68号土坑

Ⅲう-10Grにあり、D59・D60に切られる。長軸長は1.33m・残存短軸長0.7mの楕円形?で、断面は逆梯形、壁高は33cm、南北軸方位はNを示す。出土遺物は皆無であり、本址の時期は不明である。

D69号土坑

Ⅳえ-5Grにあり、H1・D17を切る。長軸長は1.38m・短軸長0.9mの長方形、断面は逆梯形、壁高は18cm、長軸方位はN-5°-Eを示す。出土遺物は皆無であり、本址の時期は不明である。

第4表 A地区土坑一覧表(1)

(残存値) <検出値>

遺構名	検出位置	平面形	長軸方位	長軸長 (東西長)	短軸長 (南北長)	壁高	備考 (重複関係・出土遺物)	
D1	Ⅳ-え8	円形	N-68°-E	102	100	25	中世 鉢	
D2	Ⅳ-う5・う6	(楕円形)	N-43°-W	(140)	120	18	D10・D12・M5・P66・P69に切られる。弥生土器	
D3	Ⅳ-う9	楕円形	N-36°-W	145	117	14	弥生土器・須恵器	壺・甕・鉢・高坏
D4	Ⅳ-え7	楕円形	N-80°-W	90	48	28		
D5	Ⅳ-う6・え6	(楕円形)	N-40°-E	(70)	(65)	24	M5を切る。	
D6	Ⅳ-う7・え7	楕円形	N-4°-W	56	42	30		
D7	Ⅳ-い3	楕円形	N-16°-W	145	93	26	P61に切られ、D8・P219を切る。弥生土器	
D8	Ⅳ-い3	不整形	N-9°-W	(166)	144	22	M10を切る。P28・P29・D7に切られる。弥生土器	
D9	Ⅳ-い4	楕円形	N-23°-W	130	115	27	弥生土器	
D10	Ⅳ-う5・う6	長方形	N-85°-E	140	91	43	D2を切る。M5・D12に切られる。弥生土器	
D11	Ⅳ-あ4	不整形	N	204	172	24	P286に切られる。弥生土器	
D12	Ⅳ-う5・え5	楕円形	N-36°-W	92	74	15	D2・D10を切る。	
D13	Ⅳ-い3・い4	楕円形	N-61°-E	112	80	29	M10を切る。	
D14	Ⅲ-あ8・あ9	楕円形	N-24°-E	(100)	92	27	P76に切られる。	

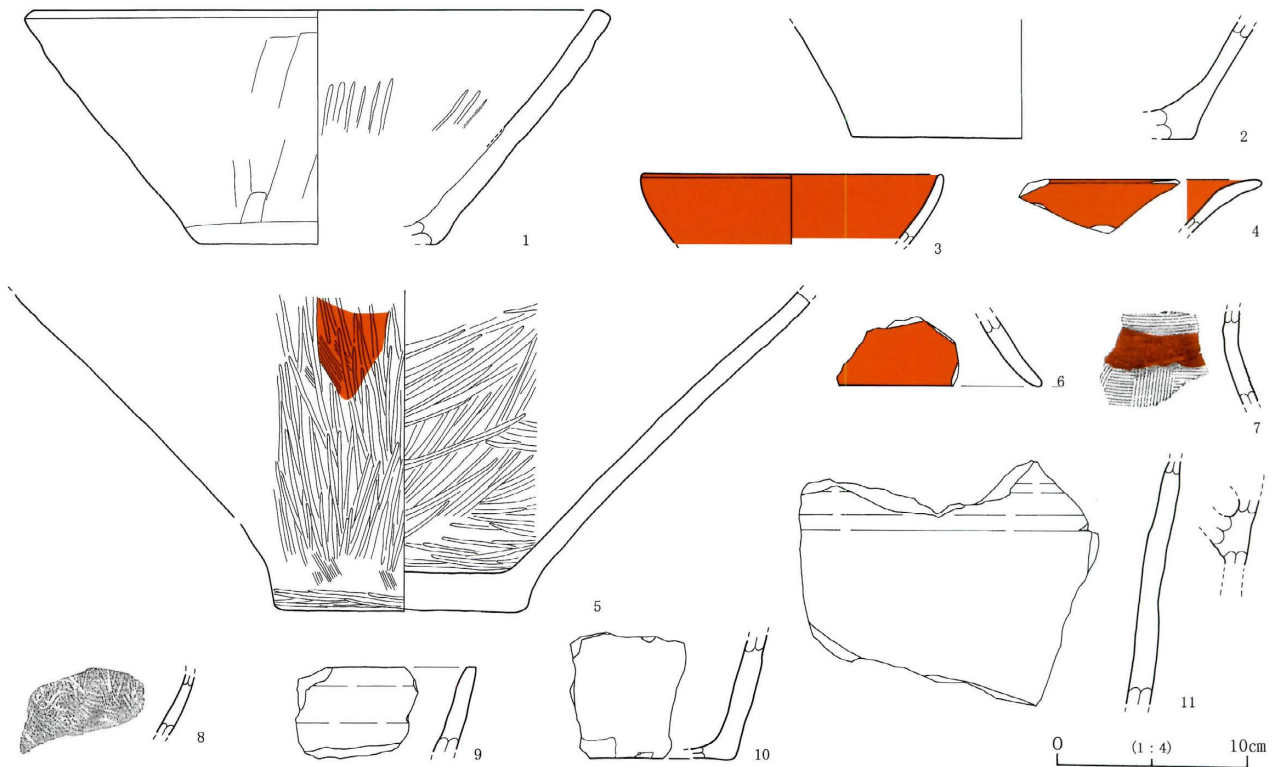
第5表 A地区土坑一覧表(2)

(残存値) <検出値>

遺構名	検出位置	平面形	長軸方位	長軸長 (東西長)	短軸長 (南北長)	壁高	備考 (重複関係・出土遺物)
D15	Ⅲ-お9	長方形	N-86°-W	144	106	35	弥生土器 中世 土鍋
D16	Ⅲ-い9	不整形	N-76°-W	170	110	111	P100・P101に切られる。弥生土器・土師器・須恵器
D17	Ⅳ-え5	楕円形	N-17°-E (122)	118	25	25	D69に切られ、D18を切る。
D18	Ⅳ-え5	楕円形	N-14°-W (174)	154	48	48	P310を切る。P309・D17に切られる。弥生土器
D19	Ⅳ-い4	方形	N-5°-W	116	114	18	P223に切られる。弥生土器
D20	Ⅳ-あ5・い5	円形	N-83°-E	148	144	52	
D21	Ⅳ-い4・う4	円形	N-64°-E	72	65	23	
D22	Ⅳ-う5	長方形	N-78°-E	162	102	40	H1を切る。
D23	Ⅳ-う5・う6	楕円形	N-38°-W	198	124	29	M3・M5を切る。
D24	Ⅳ-い10	(方形)	N-13°-W	<118>	166	16	
D25	Ⅳ-え10	(円形)	N	142	<78>	49	M1を切る。D26に切られる。
D26	Ⅳ-え10	(円形)	N	120	<100>	43	M1・D25を切る。
D27	Ⅲ-え9・え10	長方形	N-85°-E	100	73	24	D28に切られる。
D28	Ⅲ-え10	楕円形	N-80°-E	150	104	70	D27・D29を切る。
D29	Ⅲ-え10	円形	N-79°-E (194)	194	69	69	D30を切る。D28に切られる。
D30	Ⅲ-え10・お10	(楕円形)	N-52°-E	<64>	<140>	52	D29に切られる。
D31	Ⅳ-え2	(方形)	N-15°-E	100	96	41	P275に切られる。
D32	Ⅳ-う2・え2	台形	N-9°-W	164	104	48	P51・P52に切られる。
D33	Ⅳ-う3	楕円形	N-35°-W	166	138	64	M9・D63を切る。
D34	Ⅳ-え3	不整形円形	N-13°-W	124	122	37	D63を切る。P214・P311に切られる。
D35	Ⅳ-う2・う3	円形	N	196	196	89	P217・P218に切られる。
D36	Ⅳ-う1・う2	不整形	N-16°-W	184	174	44	P58・P59を切る。D37・P60に切られる。
D37	Ⅳ-う1・う2	長方形	N-2°-W	125	107	57	D36を切る。P45・P60に切られる。
D38	Ⅲ-う9	長方形	N-13°-E	121	110	50	P83・P84に切られる。
D39	Ⅱ-う10	長方形	N-84°-E	164	114	55	
D40	Ⅳ-え3	楕円形	N-87°-E	138	110	57	D41・D42を切る。P161~P164に切られる。
D41	Ⅳ-え3・え4	長方形	N-8°-W (116)	110	32	32	D40・D43・P159・P160・P161に切られる。
D42	Ⅳ-え3	長方形	N-9°-W (93)	(54)	34	34	D40・D43・P162に切られる。
D43	Ⅳ-え3・え4	方形	N-85°-E	86	67	65	D41・D42を切る。
D44	Ⅱ-け2	方形	N	138	132	47	M2・D55を切る。
D45	Ⅳ-う2	円形	N	120	118	32	Ta8を切る。
D46	Ⅳ-い2・い3・う2・う3	長方形	N-85°-E	120	95	48	D47を切る。
D47	Ⅳ-い2・い3	楕円形	N-50°-W	94	82	23	D46に切られる。
D48	Ⅳ-い1・う1	方形?	N-85°-E (171)	(70)	39	39	D50・D52に切られる。
D49	Ⅳ-う1	方形?	N	133	(51)	30	D50・D51に切られる。
D50	Ⅳ-い1・う1	長方形	N-4°-W	150	117	21	D48・D49・D51を切る。
D51	Ⅳ-う1	(楕円形)	N-84°-W	<150>	(84)	42	D49を切る。D50に切られる。
D52	Ⅳ-い1・い2	楕円形	N-20°-W	102	76	20	D48を切る。
D53	Ⅳ-い2	方形	N	100	90	38	
D54	Ⅲ-い10	長方形	E	150	95	77	Ta9を切る。
D55	Ⅱ-け2	長方形	N-85°-E (90)	88	31	31	M2を切る。D44に切られる。土師器 甕・坏
D56	Ⅲ-い10・Ⅳ-い1	楕円形	N-84°-W	138	106	42	Ta9・D65を切る。D57に切られる。
D57	Ⅲ-い10・Ⅳ-い1	方形?	N-16°-W	120	(62)	23	D56を切る。D58に切られる。
D58	Ⅳ-い1	楕円形?	N	136	<49>	56	D57を切る。
D59	Ⅳ-う1	長方形	N	156	<86>	42	D60・D68を切る。弥生土器 壺
D60	Ⅳ-う1	円形?	-	<73>	(78)	26	D68を切る。D59に切られる。
D61	Ⅲ-う8	長方形	N-9°-W	168	145	50	H2・P89を切る。
D62	Ⅳ-う4	楕円形	N	103	97	28	H1・D63を切る。P168・P169に切られる。
D63	Ⅳ-う3・う4・え3	長方形	N-12°-W	240	204	23	H1を切る。D33・D34・D42・D62・D64・P165~P167・P177・P209~P213に切られる。
D64	Ⅳ-う3・う4・え3・え4	方形	N	118	117	48	H1・D63を切る。P165~P167に切られる。
D65	Ⅲ-い10	楕円形?	-	(72)	(28)	34	D56に切られる。
D66	Ⅲ-い10	長方形	N-77°-E	193	163	45	D67を切る。古銭
D67	Ⅲ-い10	楕円形?	N-10°-W	(58)	124	29	D66に切られる。
D68	Ⅲ-う10	楕円形?	N	133	(70)	33	D59・D60に切られる。
D69	Ⅳ-え5	長方形	N-5°-E	138	90	18	H1・D17を切る。

第6表 A地区 土坑出土遺物一覧表

D1・2・15		法 量			成形・調整・文様		推定値<>残存値()丸底●		
No.	種別	器種	口径(長)	底径(幅)	器高(厚)	内 面	外 面	備 考	出土位置
1	瓦貫	撻鉢	<31.0>	<13.4>	<12.5>	撻目	ヘラナデ・ナデ	回転実測、在地産 中世	D1
2	弥生土器	壺	-	<18.0>	(6.3)	剥落	ナデ	回転実測	D2、No.4
3	弥生土器	鉢	<16.0>	-	(3.7)	ヘラミガキ、赤色塗彩	ヘラミガキ、赤色塗彩	回転実測	D2、No.14
4	弥生土器	高坏	-	-	(2.8)	赤色塗彩	赤色塗彩	破片実測	D2、覆土
5	弥生土器	壺	-	13.5	(17.1)	ヘラミガキ	ハケ目→ヘラミガキ、赤色塗彩	完全実測	D2、No.1
6	弥生土器	高坏	-	-	(3.7)	ナデ	赤色塗彩	破片実測	D2、覆土
7	弥生土器	壺	-	-	-	赤色塗彩、ほとんど剥離	赤色塗彩、櫛描T字文		D2、覆土
8	弥生土器	甕	-	-	-	ナデ→ヘラミガキ	櫛描波状文		D2、覆土
9	内耳	土鍋	-	-	(4.9)	ナデ	ナデ	破片実測	D15、覆土
10	内耳	土鍋	-	-	(6.8)	ナデ	ナデ	破片実測	D15、覆土
11	内耳	土鍋	-	-	-	ナデ	ナデ	破片実測	D15、覆土



第15図 A地区 土坑(6)

第4節 溝状遺構

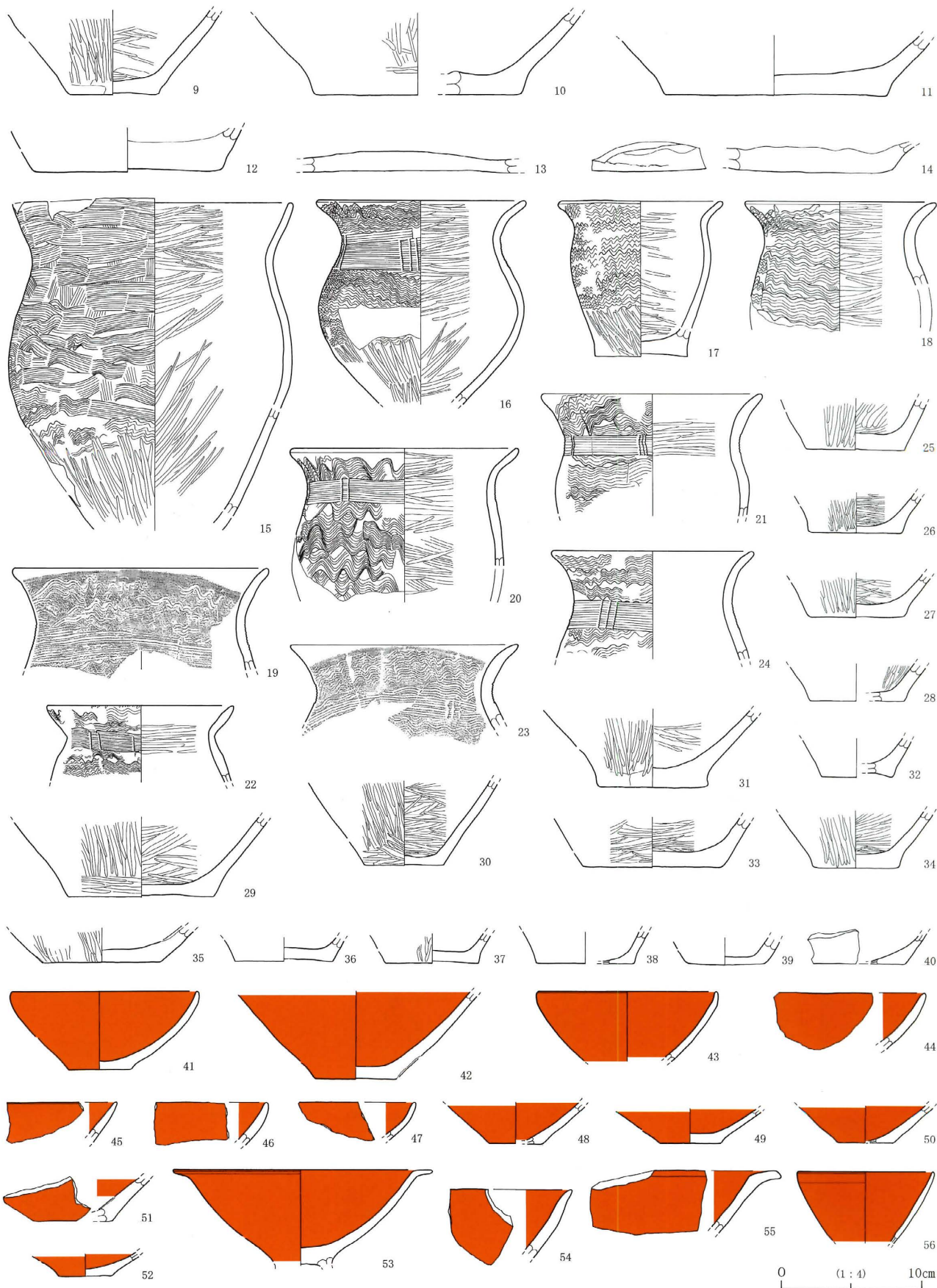
M1号溝状遺構 IVえ・お-9・10Grにあり、Ta3・D25・D26に切られる。径は溝外側5.6m、幅0.3～0.7m深さ5～31cm、正円形で断面形は蒲錐形、北で溝が切れる。遺物は、第21図1～7が出土した。弥生時代後期の甕1・3、T字文・赤彩の壺2、内外面赤彩される鉢? 4、混入のかわらけ5～7がある。主体部は未検出円形周溝墓とみられる。本址の時期は弥生時代後期箱清水式期に位置づけられる。

M2号溝状遺構 IIけ・こ-1～10Grにあり、D44・D55に切れ、北・西側の調査区域外に伸びる。検出長36.8m・幅2.08～2.8m・深さ108～135cm、断面は「V」に近い「U」字形で溝底幅は狭く、溝底の東西端は高さ等しく中央がやや低い。東端にのみ砂層がみられた。遺物は下層の2・3層から弥生時代後期箱清水式期(1～132)の壺・甕・鉢・高坏・器台・有孔鉢・蓋・台坏甕、上層の1層から古墳時代の土師器(133～145)1・2層から磨石・凹石が出土した。第18図75の器台は、内外面よくヘラミガキされ、内外面に赤彩される。接地面の擦れと接合部調整の違いから不明瞭な段を有する方を脚部とした。74も内外面赤彩される器台脚部である。本址の時期は弥生時代後期箱清水式期に位置づけられる。

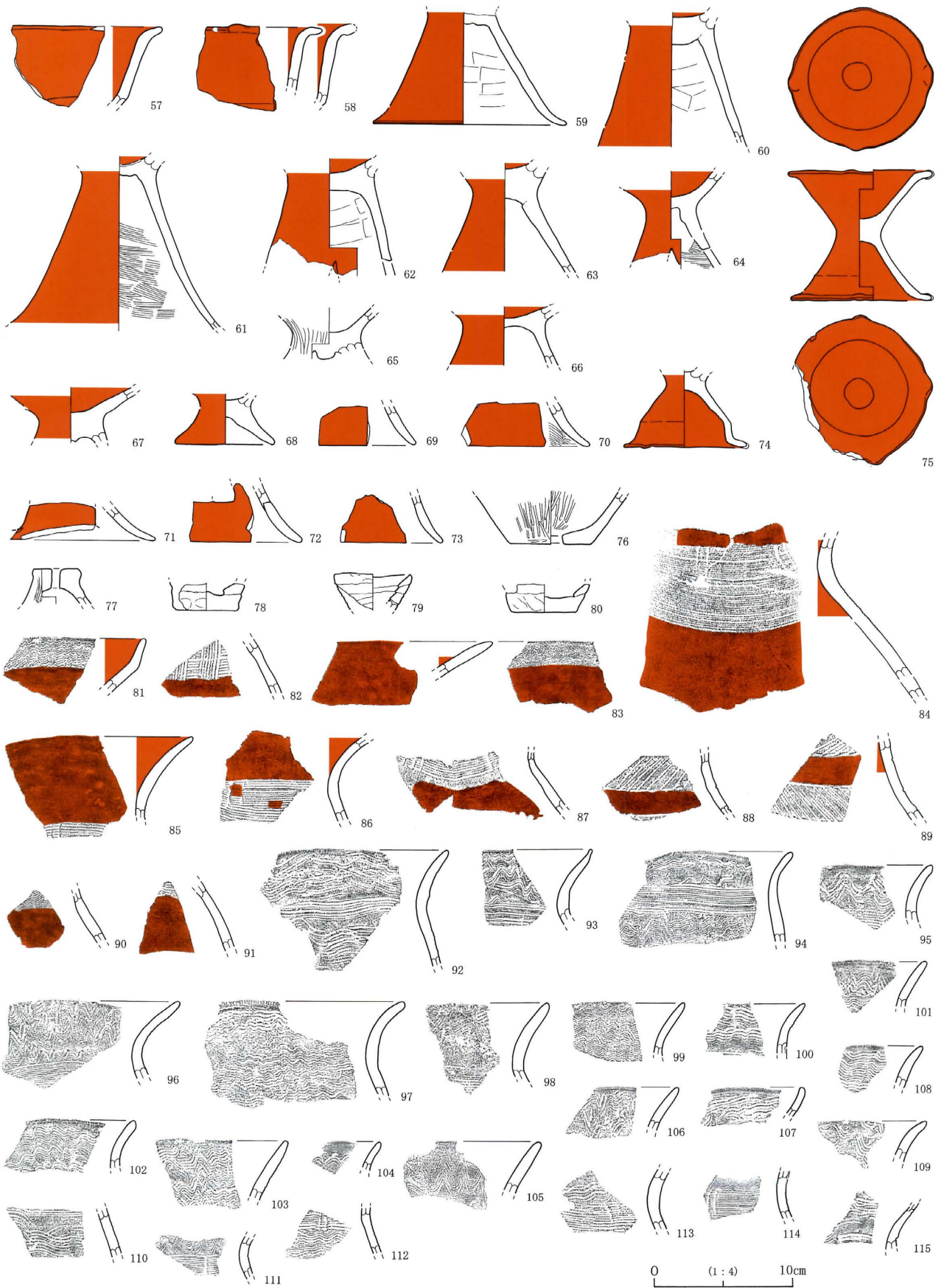
M3号溝状遺構 IIけ・こ-6・7、IVあ～え5・6Grにあり、P328・P329・P331～P334に切れ、M5を切る。D5・D23・M2との重複関係は不明である。南北調査区域外に伸び検出長22.16m・幅1～1.2m・深さ4～18cm、断面浅い逆梯形。溝底南に緩く傾斜北端と南端の比高は25cm。遺物は弥生時代後期の赤彩壺・甕、須恵器甕、時期不明灰釉碗が出土した。(第21図8～12)本址の時期は不明。

M4号溝状遺構 IVえ-6・7Grにあり、長さ3m・幅0.94～1.8m・深さ17～47cmの不整形、断面は鍋底形である。遺物は、第21図13・14の高坏や弥生時代後期甕・壺・鉢等の土器片10点が出土した。本址の時期は、弥生時代後期であろう。

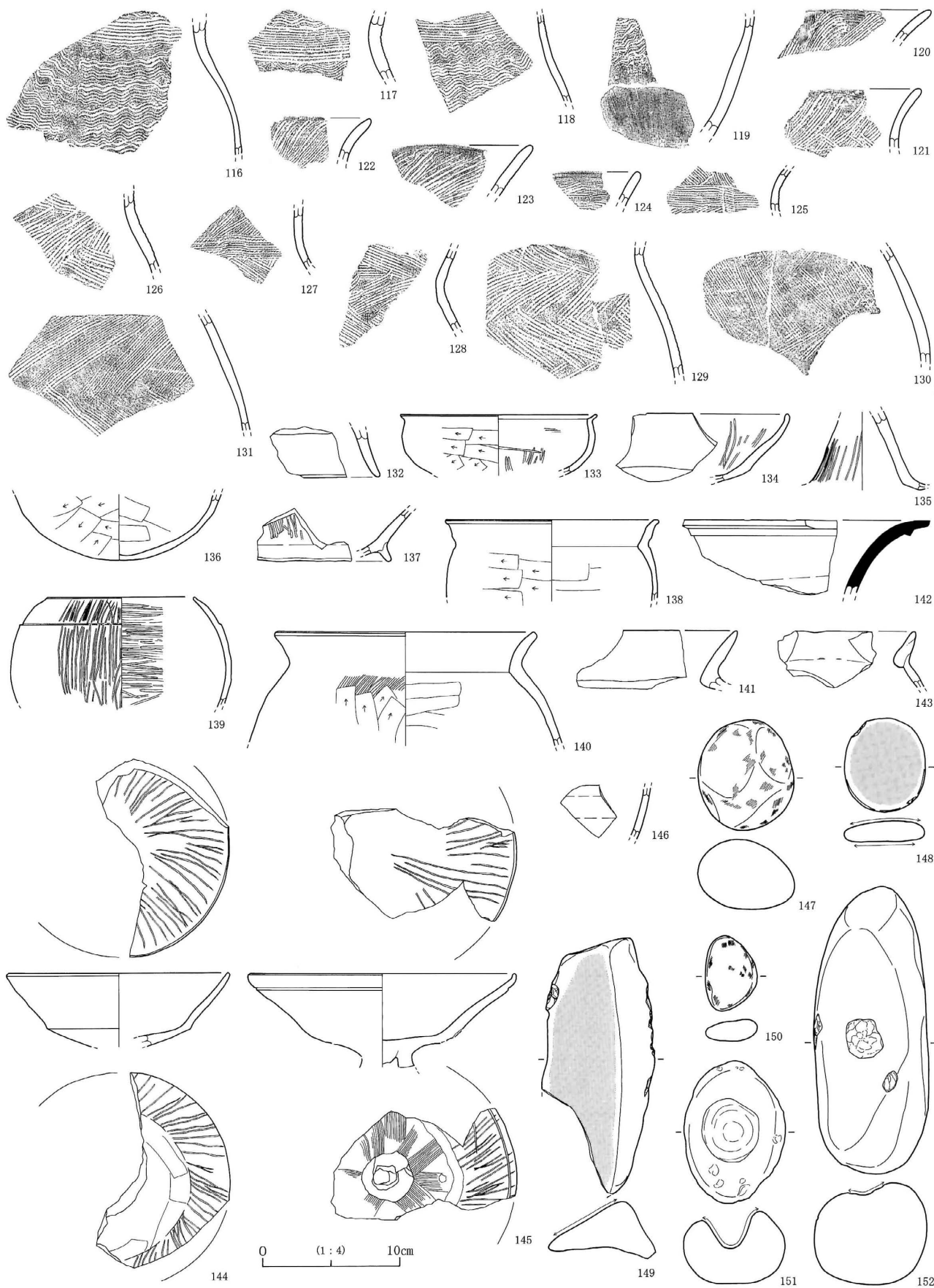
M5号溝状遺構 IVい・う-5・6GrにありD5・D23・M3に切られる。径は溝外側6.6m、幅0.74～0.86m・深さ3～53cm、断面形は逆梯形、半円形であるが西側に対峙する半円形の溝が存在したのか否かは、Ta7と攪乱で不明。遺物は、第21図15～23の赤彩高坏・壺・甕が出土した。かわらけ等は混入である。本址の時期は、弥生時代後期であろう。



第17图 A地区 M2号沟状遗構(2)

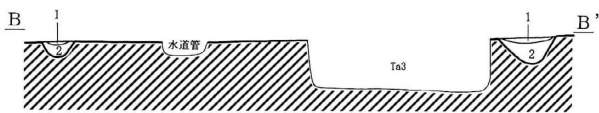
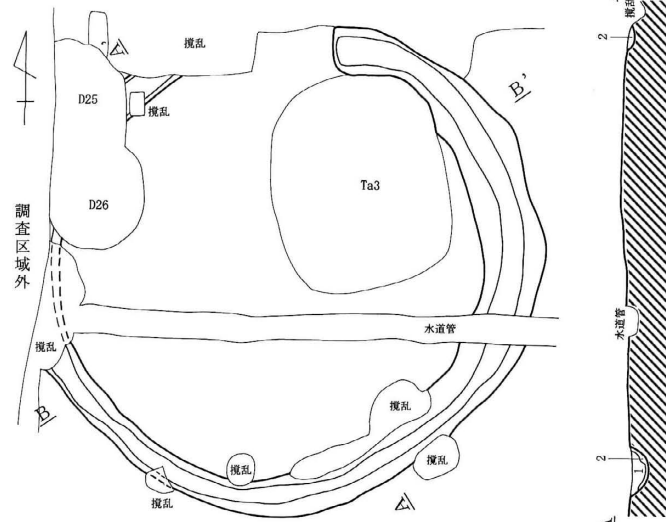


第18图 A地区 M2号沟状遗構(3)



第19图 A地区 M2号沟状遗構(4)

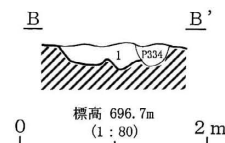
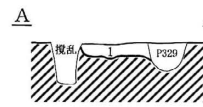
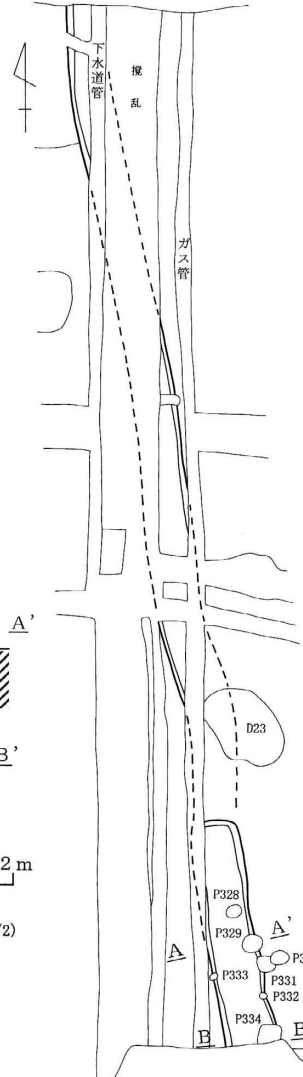
M 1



標高 696.7m
(1:80) 2m

M1
1層 暗褐色土(10YR3/3)
2層 褐色土(10YR4/4) 明黄褐色土の小ブロック多量。

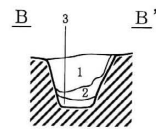
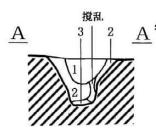
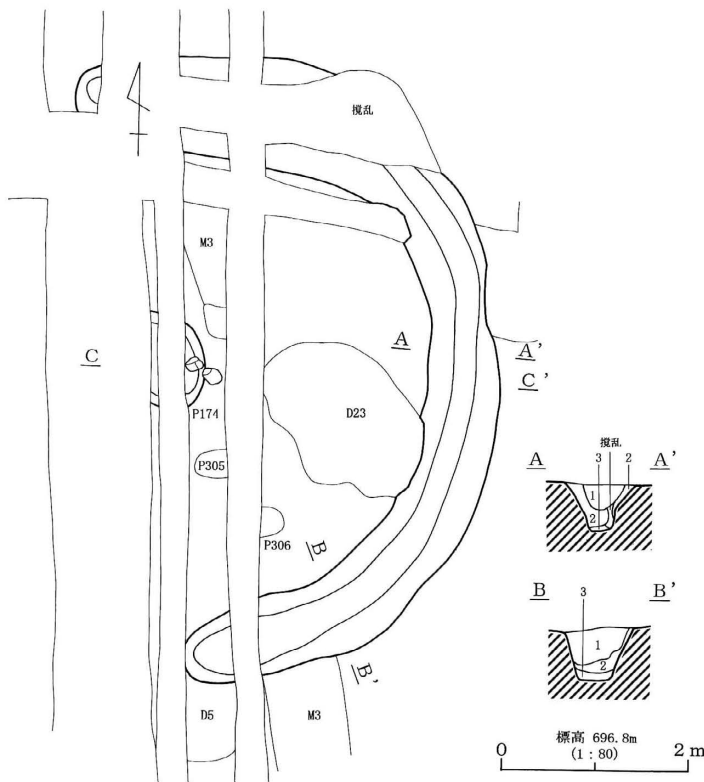
M 3



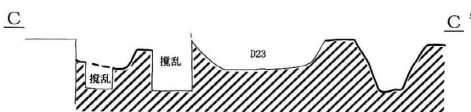
標高 696.7m
(1:80) 2m

M3
1層 黒褐色土(10YR2/2)

M 5

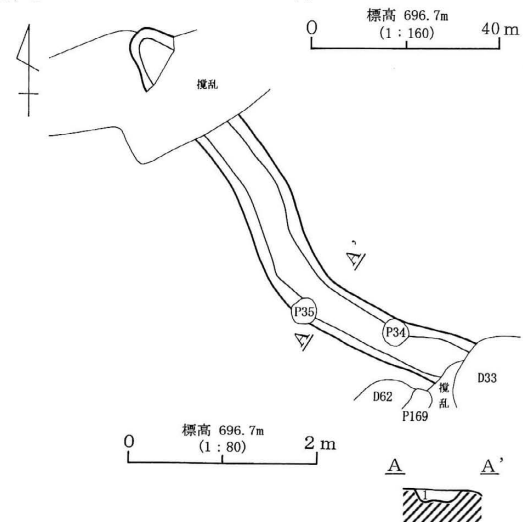


標高 696.8m
(1:80) 2m



M5
1層 黒褐色土(10YR2/2)
2層 褐色土(10YR4/4) 黄褐色土の粒子多量。
3層 黄褐色土(10YR5/6) 明黄褐色土が主。

M 9



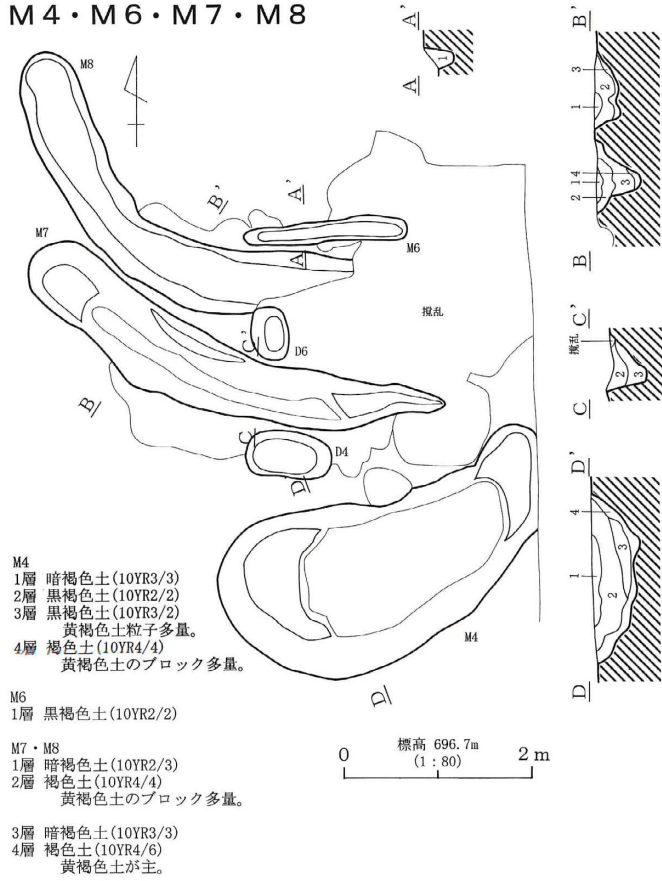
標高 696.7m
(1:80) 2m



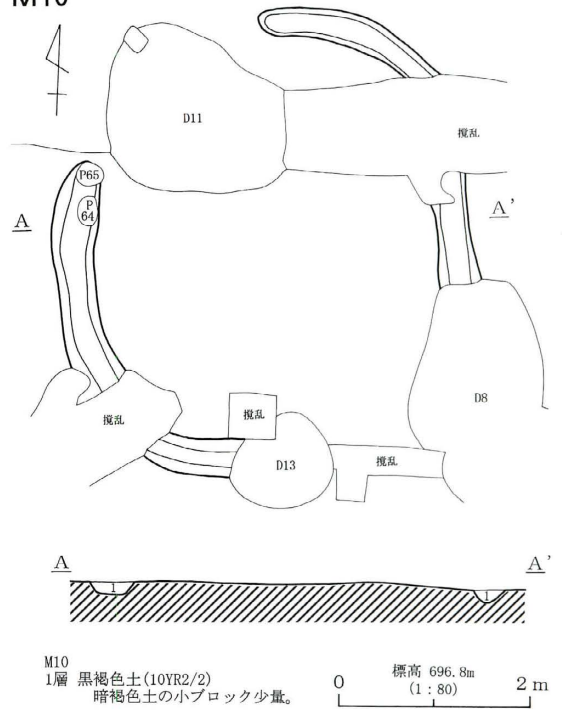
M9
1層 黒褐色土(10YR2/2)

第20図 A地区 M1号・M3号・M5号・M9号溝状遺構

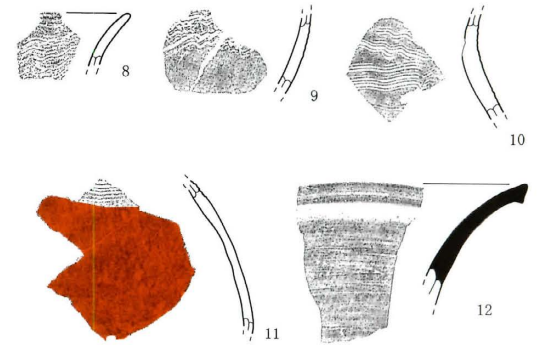
M4・M6・M7・M8



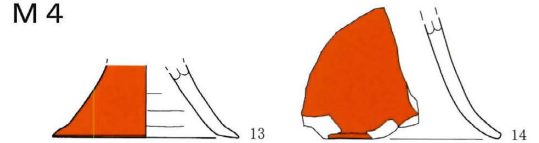
M10



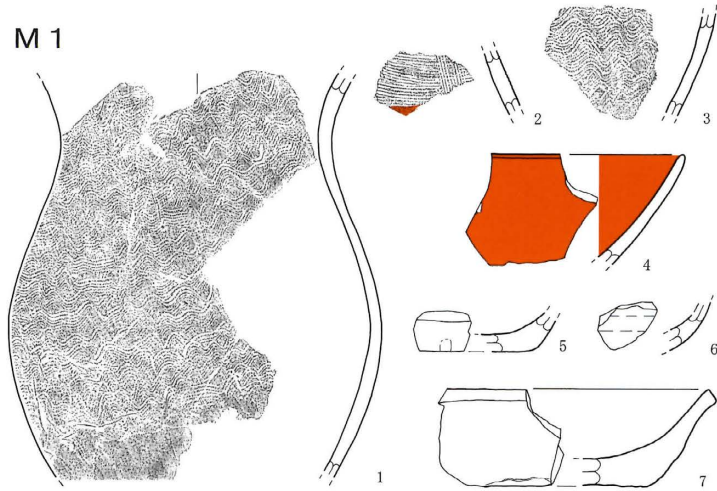
M3



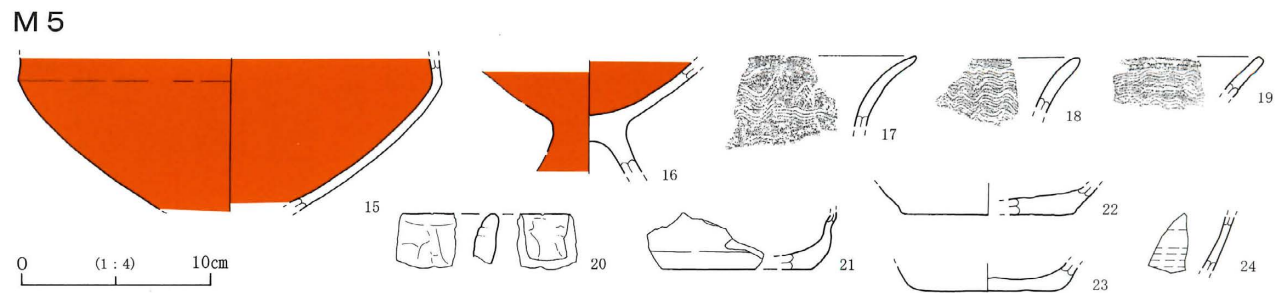
M4



M1



M5



第21図 A地区 M4号・M6号・M7号・M8号・M10号溝状遺構およびM1号・M3号・M4号・M5号溝状遺構出土遺物

第7表 A地区 溝状遺構出土遺物一覧表(1)

M1			法 量			成形・調整・文様		推定値<>残存値()丸底●	
No.	種別	器種	口径(長)	底径(幅)	器高(厚)	内 面	外 面	備 考	出土位置
1	弥生土器	甕	-	-	(21.4)	ミガキ	櫛描波状文、ヘラミガキ	回転実測	覆土、No.1
2	弥生土器	壺	-	-	-	ナデ	赤色塗彩、櫛描T字文	断面実測	覆土
3	弥生土器	甕	-	-	-	ナデ	櫛描波状文	断面実測	覆土
4	弥生土器	高坏か鉢	-	-	-	赤色塗彩	赤色塗彩	破片実測	覆土
6	弥生土器	碗	-	-	-	-	-	-	-
5	かわらけ	皿	-	-	(2.1)	ナデ	ナデ	破片実測	覆土
7	かわらけ	皿	-	-	5.1	ナデ	ナデ	破片実測	覆土
M2			法 量			成形・調整・文様		推定値<>残存値()丸底●	
No.	種別	器種	口径(長)	底径(幅)	器高(厚)	内 面	外 面	備 考	出土位置
1	弥生土器	壺	-	5.9	(21.8)	口縁部ヘラミガキ・赤色塗彩 体部ヘラナデ	ヘラミガキ、赤色塗彩、頸部櫛描横線文、体部焼成後穿孔	完全実測	W区1層
2	弥生土器	壺	-	-	(4.2)	赤色塗彩、剥離	赤色塗彩	破片実測、突起あり	No.4
3	弥生土器	壺	-	-	(7.5)	赤色塗彩	赤色塗彩	破片実測	W区2層
4	弥生土器	壺	-	-	(3.2)	赤色塗彩	赤色塗彩	破片実測	W区2層
5	弥生土器	壺	-	7.6	(1.6)	ヘラナデ、一部ヘラミガキ、剥離	ヘラミガキ→赤色塗彩、底部ヘラミガキ	完全実測	W区1層
6	弥生土器	壺	-	15.2	(10.8)	ハケ目、ナデ	ヘラミガキ、赤色塗彩	完全実測	No.13
7	弥生土器	壺	-	-	(13.6)	剥離	赤色塗彩	破片実測	W区2層
8	弥生土器	壺	17.7	6.2	18.6	ヘラミガキ、口縁部赤色塗彩	ヘラミガキ、赤色塗彩	完全実測	W区2層、No.17
9	弥生土器	壺	-	6.6	(6.2)	ヘラミガキ	ヘラミガキ	完全実測	No.17
10	弥生土器	壺	-	<15.0>	(5.8)	剥離	ナデ→ヘラミガキ	回転実測	No.17
11	弥生土器	壺	-	<15.8>	(3.9)	ナデ	ナデ	回転実測	W区2層
12	弥生土器	壺	-	<13.7>	(3.27)	剥離	ナデ→ヘラミガキ	回転実測	No.14
13	弥生土器	壺	-	-	-	剥離	ナデ→ヘラミガキ	断面実測	W区2層
14	弥生土器	壺	-	<15.0>	(2.3)	剥離	ナデ	破片実測	W区2層
15	弥生土器	甕	<20.3>	-	(23.9)	ヘラミガキ	櫛描文 縦→横(破状)、ヘラミガキ	-	-
16	弥生土器	甕	<15.0>	-	(14.7)	ヘラミガキ	櫛描波状文、櫛描簾状文(15本3連止)、ヘラミガキ	回転実測	M1
17	弥生土器	甕	<11.8>	6.6	11.2	ヘラミガキ	櫛描波状文、ヘラミガキ	回転実測	W区2層、No.12
18	弥生土器	甕	13.6	-	(9.3)	ヘラミガキ	ハケ目、櫛描波状文	完全実測	W区2層
19	弥生土器	甕	<16.6>	-	(7.4)	ヘラミガキ	櫛描波状文(口縁部・胴部)→櫛描簾状文(11本・1連止)	回転実測	W区2層
20	弥生土器	甕	16.5	-	(11.1)	ハケ目→ヘラミガキ	櫛描波状文、櫛描簾状文(11本2連止)	完全実測	W区2層、No.16
21	弥生土器	甕	<16.0>	-	(8.9)	ヘラミガキ	櫛描波状文(口縁部・胴部)→櫛描簾状文(8本・3連止)	回転実測	W区2層
22	弥生土器	甕	<13.4>	-	(5.5)	ヘラミガキ、赤色塗彩(付着)	櫛描波状文(口縁部・胴部)→櫛描簾状文(13本・2連1連止)、口縁部キザ目	回転実測	E区2層
23	弥生土器	甕	<16.4>	-	(6.2)	ヘラミガキ	櫛描波状文(口縁部・胴部)、櫛描簾状文(9本・3連止)	回転実測	W区2層
24	弥生土器	甕	<14.6>	-	(7.8)	ヘラミガキ、赤色塗彩(付着)	櫛描波状文(口縁部・胴部)→櫛描簾状文(6本2段・3連止)、赤色塗彩(付着)	回転実測	W区2層
25	弥生土器	甕	-	7.0	(3.7)	ヘラミガキ	ヘラミガキ	完全実測	W区2層
26	弥生土器	甕	-	6.6	(2.9)	ヘラミガキ	ヘラミガキ	完全実測	W区2層
27	弥生土器	甕	-	6.8	(3.2)	ヘラミガキ	ヘラミガキ	完全実測	W区2層
28	弥生土器	甕	-	<3.1>	(2.7)	ヘラミガキ	ナデ→ヘラミガキ	回転実測	W区2層
29	弥生土器	甕	-	<10.4>	(5.8)	ヘラミガキ	ヘラミガキ	完全実測	W区2層
30	弥生土器	甕	-	5.7	(6.1)	ヘラミガキ	ヘラミガキ	完全実測	W区2層
31	弥生土器	甕	-	7.9	(5.6)	ヘラミガキ	ヘラミガキ	完全実測	W区2層
32	弥生土器	甕	-	<5.0>	(2.8)	ナデ→ヘラミガキ	ナデ	回転実測	W区2層
33	弥生土器	甕	-	10.1	(3.7)	ヘラミガキ	ヘラミガキ	完全実測	W区2層
34	弥生土器	甕	-	<6.2>	(4.1)	ヘラミガキ	ヘラミガキ	完全実測	W区2層
35	弥生土器	甕	-	<8.4>	(2.5)	ナデ→ヘラミガキ	ナデ→ヘラミガキ	回転実測	W区2層
36	弥生土器	甕	-	7.0	(1.7)	ナデ→ヘラミガキ	ナデ→ヘラミガキ	完全実測	No.17
37	弥生土器	甕	-	6.7	(2.1)	ナデ→ヘラミガキ	ナデ→ヘラミガキ	完全実測	W区2層
38	弥生土器	甕	-	<7.0>	(2.3)	ナデ	ナデ→ヘラミガキ	回転実測	No.16
39	弥生土器	甕	-	5.7	(2.0)	ナデ→ヘラミガキ	ナデ→ヘラミガキ	完全実測	W区2層
40	弥生土器	甕	-	-	(2.2)	ナデ	ナデ→ヘラミガキ	破片実測	W区2層
41	弥生土器	鉢	<13.3>	4.4	5.7	ヘラミガキ→赤色塗彩	ヘラミガキ→赤色塗彩、底部ヘラミガキ	完全実測	E区2層
42	弥生土器	鉢	-	5.8	(6.3)	ヘラミガキ→赤色塗彩	ヘラミガキ→赤色塗彩	完全実測	W区2層
43	弥生土器	鉢	<12.6>	-	(5.0)	ヘラミガキ→赤色塗彩、磨耗	ヘラミガキ→赤色塗彩、磨耗	回転実測	W区2層
44	弥生土器	鉢	-	-	(4.1)	赤色塗彩	赤色塗彩	破片実測	W区2層
45	弥生土器	鉢	-	-	(3.0)	赤色塗彩	赤色塗彩	破片実測	W区2層
46	弥生土器	鉢	-	-	(3.2)	赤色塗彩	赤色塗彩	破片実測	W区2層
47	弥生土器	鉢	-	-	(2.9)	赤色塗彩	赤色塗彩	破片実測	E区2層
48	弥生土器	鉢	-	<3.8>	(3.1)	赤色塗彩	赤色塗彩	回転実測	E区2層
49	弥生土器	鉢	-	4.4	(2.6)	ヘラミガキ→赤色塗彩	ヘラミガキ→赤色塗彩、底部ヘラミガキ	完全実測	W区2層
50	弥生土器	鉢	-	<4.0>	(2.8)	赤色塗彩	赤色塗彩	回転実測	W区2層
51	弥生土器	鉢	-	-	(3.2)	赤色塗彩	赤色塗彩	破片実測	E区2層
52	弥生土器	鉢	-	3.8	(1.7)	赤色塗彩	赤色塗彩	完全実測	W区2層
53	弥生土器	高坏	<18.5>	-	(7.0)	ヘラミガキ→赤色塗彩	ヘラミガキ→赤色塗彩	完全実測	W区2層
54	弥生土器	鉢・高坏	-	-	(5.5)	赤色塗彩	赤色塗彩	破片実測	W区2層
55	弥生土器	高坏	-	-	(4.7)	赤色塗彩	赤色塗彩	破片実測	W区2層
56	弥生土器	高坏	9.6	-	(5.2)	ヘラミガキ→赤色塗彩	ヘラミガキ→赤色塗彩	完全実測	W区1層
57	弥生土器	高坏	-	-	(5.7)	赤色塗彩	赤色塗彩	破片実測	W区2層
58	弥生土器	高坏	-	-	(6.2)	赤色塗彩	赤色塗彩	破片実測	E区1層
59	弥生土器	高坏	-	<13.7>	(8.0)	ヘラナデ	ヘラミガキ→赤色塗彩	完全実測	No.1
60	弥生土器	高坏	-	-	(9.7)	坏部ヘラミガキ→赤色塗彩、脚部ヘラナデ	ヘラミガキ→赤色塗彩	完全実測	W区2層
61	弥生土器	高坏	-	-	(12.4)	坏部ヘラミガキ→赤色塗彩、脚部ハケ目	ヘラミガキ→赤色塗彩	完全実測	No.9
62	弥生土器	高坏	-	-	(8.4)	坏部ヘラミガキ→赤色塗彩、脚部ヘラナデ	ヘラミガキ→赤色塗彩	完全実測、三角透しあり	No.5、E区2層
63	弥生土器	高坏	-	-	(7.8)	坏部ヘラミガキ→赤色塗彩、脚部ナデ	ヘラミガキ→赤色塗彩	完全実測	No.11
64	弥生土器	高坏	-	-	(7.0)	坏部 赤色塗彩、脚部ナデ	赤色塗彩	完全実測、三角透しあり	No.6
65	弥生土器	台付壺	-	-	(3.6)	ナデ	ヘラミガキ	完全実測	W区2層
66	弥生土器	高坏	-	-	(4.3)	坏部 赤色塗彩、脚部 ナデ	赤色塗彩	回転実測	W区2層
67	弥生土器	高坏	-	-	(4.0)	坏部 赤色塗彩、脚部 ナデ	赤色塗彩	完全実測	No.10
68	弥生土器	高坏	-	<6.8>	(3.7)	坏部 赤色塗彩、脚部 ナデ	赤色塗彩	回転実測	W区2層
69	弥生土器	高坏	-	-	(2.8)	ナデ	赤色塗彩	破片実測	W区2層
70	弥生土器	高坏	-	-	(3.1)	ハケ目	赤色塗彩	破片実測	W区2層
71	弥生土器	高坏	-	-	(2.4)	ナデ	赤色塗彩	破片実測、透しあり(2ヶ所)	W区2層

第8表 A地区 溝状遺構出土遺物一覧表(2)

M2			法 量			成 形 ・ 調 整 ・ 文 様		推定値 > 残存値() 丸底●	
No.	種別	器種	口径(長)	底径(幅)	器高(厚)	内 面	外 面	備 考	出土位置
72	弥生土器	高坏	-	-	(4.2)	ナデ	赤色塗彩	破片実測、三角の透しあり	W区2層
73	弥生土器	高坏	-	-	(3.4)	ナデ	赤色塗彩	破片実測	E区2層
74	弥生土器	器台	-	8.8	(5.5)	ヘラミガキ→赤色塗彩	ヘラミガキ→赤色塗彩	完全実測、脚部に突起あり	W区2層
75	弥生土器	器台	10.3	(10.0)	9.4	ヘラミガキ→赤色塗彩	ヘラミガキ→赤色塗彩	完全実測、口唇部・脚部に突起あり(4ヶ所)	No.8
76	弥生土器	有孔鉢	-	<5.8>	(3.8)	ヘラミガキ	ヘラミガキ、底部ヘラミガキ	回転実測、底部に焼成前穿孔1孔	W区2層
77	弥生土器	蓋	3.2	-	(2.5)	ナデ	ヘラミガキ	完全実測、つまみ部に焼成前穿孔1孔	W区1層
78	弥生土器	手づくね土器	-	4.3	(1.9)	ナデ	ナデ	完全実測	W区1層
79	弥生土器	手づくね土器	<5.4>	-	(2.5)	ナデ	ナデ	回転実測	E区2層
80	弥生土器	手づくね土器	-	4.6	(2.0)	ナデ	ナデ	完全実測	No.17
81	弥生土器	壺	-	-	-	口縁部 赤色塗彩	口縁部 櫛描波状文、赤色塗彩		E区1層
82	弥生土器	壺	-	-	-	ナデ	櫛描「字文」、赤色塗彩		E区1層
83	弥生土器	壺	-	-	-	口縁部 赤色塗彩、口縁部 赤色塗彩	赤色塗彩		E区2層
84	弥生土器	壺	-	-	-	ナデ、頸部 赤色塗彩	櫛描横線文、櫛描縹状文、赤色塗彩(ほとんども剥落)		E区2層
85	弥生土器	壺	-	-	-	口縁部 赤色塗彩	櫛描波状文、赤色塗彩		E区2層
86	弥生土器	壺	-	-	-	口縁部 赤色塗彩、頸部~胴部 ハケ目	櫛描縹状文、赤色塗彩		E区2層
87	弥生土器	壺	-	-	-	ナデ、胴部 ハケ目→ナデ	櫛描縹状文、赤色塗彩		W区1層
88	弥生土器	壺	-	-	-	剥落	ヘラ描斜走文、赤色塗彩		E区2層
89	弥生土器	壺	-	-	-	ナデ、赤色塗彩	ヘラ描斜走文、頸部 赤色塗彩		E区2層
90	弥生土器	壺	-	-	-	ナデ	櫛描波状文、赤色塗彩		W区2層
91	弥生土器	壺	-	-	-	ナデ	櫛描波状文、赤色塗彩		W区1層
92	弥生土器	壺	-	-	-	ヘラミガキ	櫛描波状文(口縁部)→櫛描縹状文→櫛描波状文(胴部)		W区2層
93	弥生土器	壺	-	-	-	ヘラミガキ	櫛描波状文(口縁部)→櫛描縹状文(1連止)		W区2層
94	弥生土器	壺	-	-	-	ヘラミガキ	櫛描波状文(口縁部・胴部)→櫛描横線文		E区1層
95	弥生土器	壺	-	-	-	ナデ	櫛描横線文→櫛描波状文(口縁部)		F区1層
96	弥生土器	壺	-	-	-	ナデ、ヘラミガキ	櫛描波状文(口縁部)→櫛描横線文		W区2層
97	弥生土器	壺	-	-	-	ヘラミガキ	櫛描波状文(L口縁部・胴部)、口唇部キザミ口		W区2層
98	弥生土器	壺	-	-	-	ヘラミガキ	櫛描波状文(口縁部)→櫛描縹状文		W区2層
99	弥生土器	壺	-	-	-	ヘラミガキ	櫛描波状文		W区2層
100	弥生土器	壺	-	-	-	ヘラミガキ	櫛描波状文(口縁部)→櫛描横線文		W区2層
101	弥生土器	壺	-	-	-	ヘラミガキ	櫛描波状文		W区2層
102	弥生土器	壺	-	-	-	ナデ	櫛描波状文		W区2層
103	弥生土器	壺	-	-	-	ヘラミガキ	櫛描波状文、口唇部面取り		E区2層
104	弥生土器	壺	-	-	-	ヘラミガキ	櫛描波状文		W区2層
105	弥生土器	壺	-	-	-	ヘラミガキ	櫛描波状文		W区2層
106	弥生土器	壺	-	-	-	ヘラミガキ	櫛描波状文		W区2層
107	弥生土器	壺	-	-	-	ヘラミガキ	櫛描波状文	口縁部内弯	W区2層
108	弥生土器	壺	-	-	-	ヘラミガキ	櫛描波状文		W区2層
109	弥生土器	壺	-	-	-	ヘラミガキ	櫛描波状文		W区2層
110	弥生土器	壺	-	-	-	ヘラミガキ	櫛描縹状文→櫛描波状文		W区2層
111	弥生土器	壺	-	-	-	ヘラミガキ	櫛描波状文→櫛描縹状文		W区2層
112	弥生土器	壺	-	-	-	ヘラミガキ	櫛描波状文→櫛描縹状文(4連止)		W区2層
113	弥生土器	壺	-	-	-	ヘラミガキ	櫛描波状文→櫛描縹状文(2連止?)		W区2層
114	弥生土器	壺	-	-	-	ヘラミガキ	櫛描波状文→櫛描縹状文(3連止?)		W区2層
115	弥生土器	壺	-	-	-	ヘラミガキ	櫛描波状文→櫛描縹状文(3連止?)		W区2層
116	弥生土器	壺	-	-	-	ヘラミガキ	櫛描波状文(口縁部・胴部)→櫛描横線文		No.15
117	弥生土器	壺	-	-	-	ヘラミガキ	櫛描波状文(口縁部・胴部)→櫛描縹状文		W区2層
118	弥生土器	壺	-	-	-	ヘラミガキ	櫛描横線文→櫛描波状文		W区2層
119	弥生土器	壺	-	-	-	ヘラミガキ	櫛描波状文→ヘラミガキ		W区2層
120	弥生土器	壺	-	-	-	ヘラミガキ	櫛描斜走文		E区2層
121	弥生土器	壺	-	-	-	ヘラミガキ	櫛描斜走文		No.17
122	弥生土器	壺	-	-	-	ヘラミガキ	櫛描斜走文		W区2層
123	弥生土器	壺	-	-	-	ヘラミガキ	櫛描斜走文		E区2層
124	弥生土器	壺	-	-	-	ヘラミガキ	櫛描斜走文		W区2層
125	弥生土器	壺	-	-	-	ヘラミガキ	櫛描斜走文(口縁部・胴部)→櫛描縹状文(2連止)		W区2層
126	弥生土器	壺	-	-	-	ヘラミガキ	櫛描横線文→櫛描斜走文		W区2層
127	弥生土器	壺	-	-	-	ヘラミガキ	櫛描斜走文→櫛描横線文		W区2層
128	弥生土器	壺	-	-	-	ヘラミガキ	櫛描斜走文		W区2層
129	弥生土器	壺	-	-	-	ヘラミガキ	櫛描斜走文		W区2層
130	弥生土器	壺	-	-	-	ヘラミガキ	櫛描斜走文		W区1層・2層
131	弥生土器	壺	-	-	-	ヘラミガキ	櫛描斜走文→櫛描縹状文		E区2層
132	弥生土器	台付壺	-	-	(3.6)	ナデ	ヘラミガキ	破片実測	W区2層
133	土師器	坏	<14.2>	-	(4.3)	ヘラミガキ	ヘラケズリ	回転実測	E区1層
134	土師器	高坏	-	-	(4.9)	ナデ、ヘラミガキ	ナデ、ヘラミガキ	破片実測	E区検出面
135	土師器	高坏	-	-	(5.6)	ナデ	ナデ、ヘラミガキ	完全実測	E区1層、5トレンチ
136	土師器	坏	-	-	(4.7)	ヘラナデ	ヘラケズリ	回転実測	E区1層、E区II層、5トレンチ
137	土師器	高坏	-	-	(3.7)	ナデ、ヘラミガキ	ナデ、ヘラミガキ	破片実測、坏脚下部端部に縁あり	E区1層
138	土師器	壺	<15.2>	-	(5.8)	ヘラナデ	ヘラケズリ	回転実測	W区1層
139	土師器	鉢	<10.6>	-	(7.9)	横のヘラミガキ	横のヘラミガキ	回転実測	E区検出面
140	土師器	壺	<18.4>	-	(8.2)	ナデ	ハケ目→ヘラケズリ	回転実測	E区1層
141	土師器	壺	-	-	(4.2)	ナデ	ハケ目→ナデ	破片実測	E区1層
142	須恵器	壺	-	-	(5.3)	ロクロナデ	ロクロナデ	破片実測	E区検出面
143	土師器	壺	-	-	(3.9)	ナデ	ナデ	破片実測	W区1層
144	土師器	高坏	<16.0>	-	(5.3)	ヘラミガキ	ヘラミガキ、坏底部ヘラナデ	回転実測	E区1層
145	土師器	高坏	<19.0>	-	(6.6)	ヘラミガキ	ヘラミガキ、坏底部ハケ目	回転実測	E区1層
146		碗	-	-	-				検出面
No.	器 種	素 材	最大長	最大幅	最大厚	重量	所 見	出 土 位 置	
147	磨石	花崗岩	8.0	7.0	5.0	326.24	全体にすり	W区2層	
148	磨石	安山岩	6.7	5.7	1.7	73.80	正面にすり面	W区2層	
149	磨石	輝石安山岩	18.7	8.1	3.7	563.64	正面にすり面	W区1層	
150	磨石	花崗岩	5.4	3.8	1.5	36.14	全体にすり	E区2層	
151	凹石	軽石	10.5	7.3	(高さ) 5.3	271.66	凹径 4.1×4.7 凹深 2.3	No.3	
152	凹石?	輝石安山岩	21.0	8.2	7.3	1534.14	凹径 2.5×2.8 凹深 0.5 正面にくぼみ	No.7	

第9表 溝状遺構出土遺物一覧表(3)

M3・4・5			法 量			成形・調整・文様		推定値< > 残存値() 丸底●	
No.	種別	器種	口径(長)	底径(幅)	器高(厚)	内 面	外 面	備 考	出土位置
8	弥生土器	甕	-	-	-	ヘラミガキ	櫛描波状文		M3
9	弥生土器	甕	-	-	-	ヘラミガキ	櫛描波状文→ヘラミガキ		M3
10	弥生土器	甕	-	-	-	ヘラミガキ	櫛描波状文		M3
11	弥生土器	壺	-	-	-	ナデ	櫛描横線文、赤色塗彩		M3
12	須恵器	甕	-	-	-	ロクロナデ	ロクロナデ		M3
13	弥生土器	高坏	-	<9.8>	(3.8)	ナデ	ヘラミガキ→赤色塗彩	回転実測	M4
14	弥生土器	高坏	-	-	(7.3)	ナデ	赤色塗彩	破片実測	M4
15	弥生土器	鉢	-	-	(8.2)	ヘラミガキ→赤色塗彩	ヘラミガキ→赤色塗彩	回転実測	M5、カクラン
16	弥生土器	高坏	-	-	(6.0)	坏部 赤色塗彩、脚部 ヘラナデ	赤色塗彩	完全実測	M5
17	弥生土器	甕	-	-	-	ヘラミガキ	櫛描波状文		M5
18	弥生土器	甕	-	-	-	ヘラミガキ	櫛描波状文		M5
19	弥生土器	甕	-	-	-	ヘラミガキ	櫛描波状文		M5
20	弥生土器	手づくね土器	-	-	(3.0)	指頭ナデ、押さえ	指頭ナデ、押さえ	破片実測	M5
21	かわらけ	皿	-	-	(3.0)	ナデ	ナデ、底部回転糸切り	破片実測	M5、覆土
22	かわらけ	皿	-	<9.2>	(1.5)	ナデ	ナデ	回転実測、内面 煤付着	M5
23	かわらけ	皿	-	<6.8>	(1.5)	ナデ	ナデ	回転実測	M5
24	灰釉陶器	碗	-	-	-	施釉	施釉	時期不明	M5、カクラン

M6号溝状遺構 IVう-7Grにあり、長さ1.76m・幅0.2~0.26m・深さ40cmで、東西にのびる。覆土はM5・M9・M10と同様の黒褐色土、断面は「U」字形である。遺物は皆無で、本址の時期等不明である。

M7号溝状遺構 IVう・え-7・8Grにあり、残存長4.6m・幅0.20~0.86m・深さ6~54cm、断面は逆梯形、溝底は中央深く両端がテラス状に浅い。遺物は弥生時代後期赤彩壺片2点のみで、本址の時期等不明。

M8号溝状遺構 IVう-7・8Grにあり、残存長4.4m・幅0.54~0.66m・深さ5~27cm、断面はやや南が下がる逆梯形で、溝底は北端が浅い。遺物は弥生時代後期赤彩壺片1点のみで、本址の時期等不明。

M9号溝状遺構 IVい・う-3・4Grにあり、D33・P34・P35に切られる。検出長5m・幅0.5m・深さ7~21cm、断面は逆梯形で溝底は北西端から南東端へ緩く傾斜する。遺物は弥生時代後期赤彩壺・鉢、甕の小片で本址の時期等不明である。

M10号溝状遺構 IVあ・い-3・4Grにあり、D8・D13・P28・P29・P64・P65に切られる。長軸長5m・短軸長4.4m・深さ6~19cm、平面形は方形、断面は逆梯形と「U」字形である。遺物は弥生時代後期壺片1片である。本址の時期等不明である。

第5節 ピット

ピットは227基が検出され、ほとんどが柱穴である。大半が中世竪穴状遺構・土坑周辺に位置する。明確な建物址は、捉えられなかった。P98から判読不明の古銭、P104から北宋銭の元豊通寶、P16・P18・P19・P66から弥生時代後期壺・甕小片、P32から土師器小片が出土した。P70からは第25図の土師器坏が出土した。

第6節 グリッド出土・表採遺物

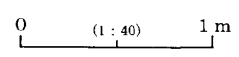
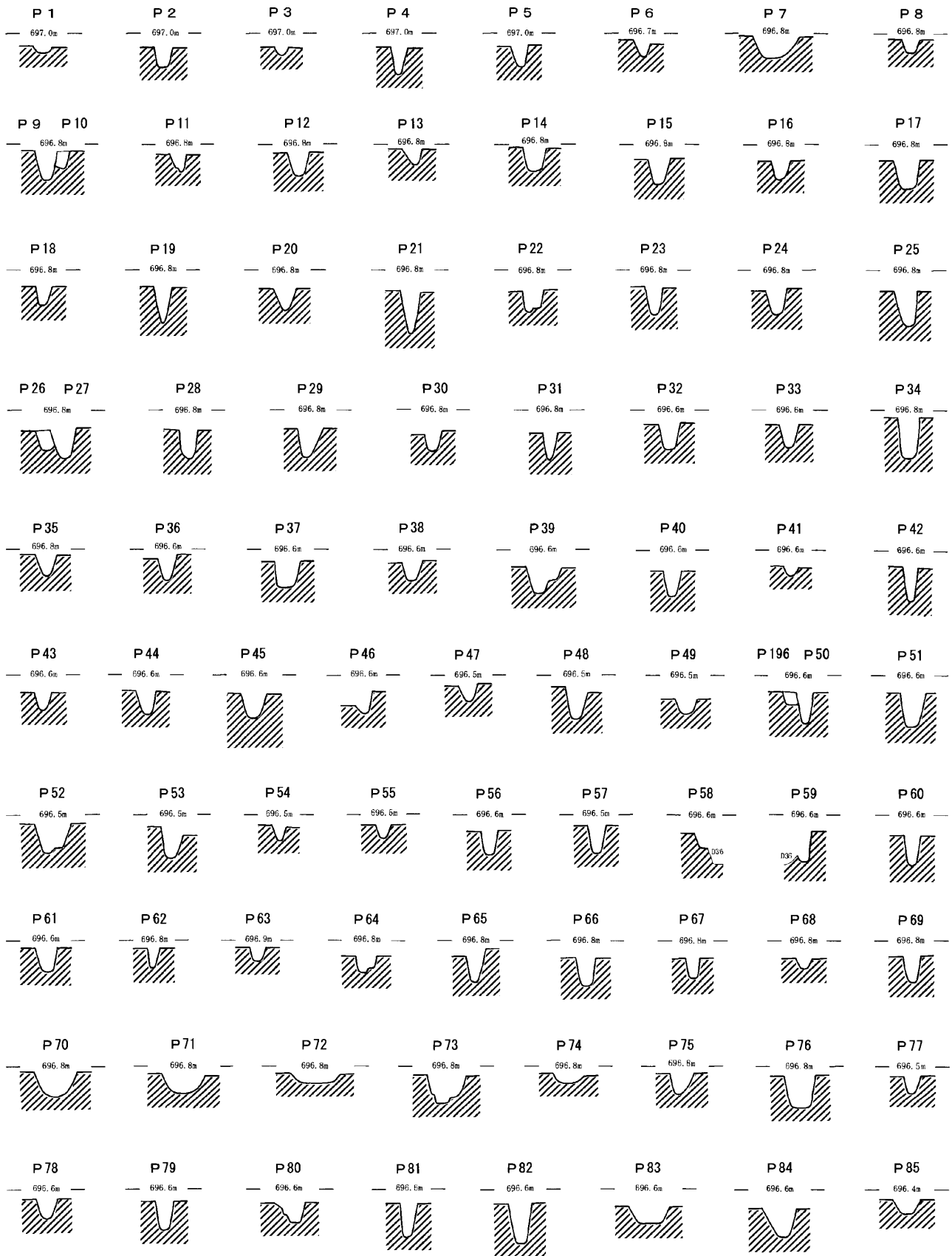
遺構外出土遺物には、縄文時代後期土器、弥生時代後期箱清水式期土器、土師器、須恵器、かわらけ、内耳土鍋、青磁、陶器、石器、古銭がある。

縄文時代後期では、堀之内式深鉢片1、後期の土器片円板2がある。弥生時代では、後期箱清水式期土器3~5、表が前面赤彩される人面付土器の左頬部分6、全面が赤彩され人差し指と小指を欠落する右腕7、部分的に赤彩される陽形土製品8がある。7と8の胎土や赤彩の色調は、同一個体を思わせる。6~8の時期は、漠然と弥生時代中期後半~後期後半であろうか。古墳時代では、5世紀後半~6世紀前半の半球状で口縁端部が内斜する坏9・10、高坏11がある。中世ではかわらけ12~17、内耳土鍋18~25、須恵質播鉢26、常滑の甕か壺27・28、龍泉窯の青磁碗29がある。

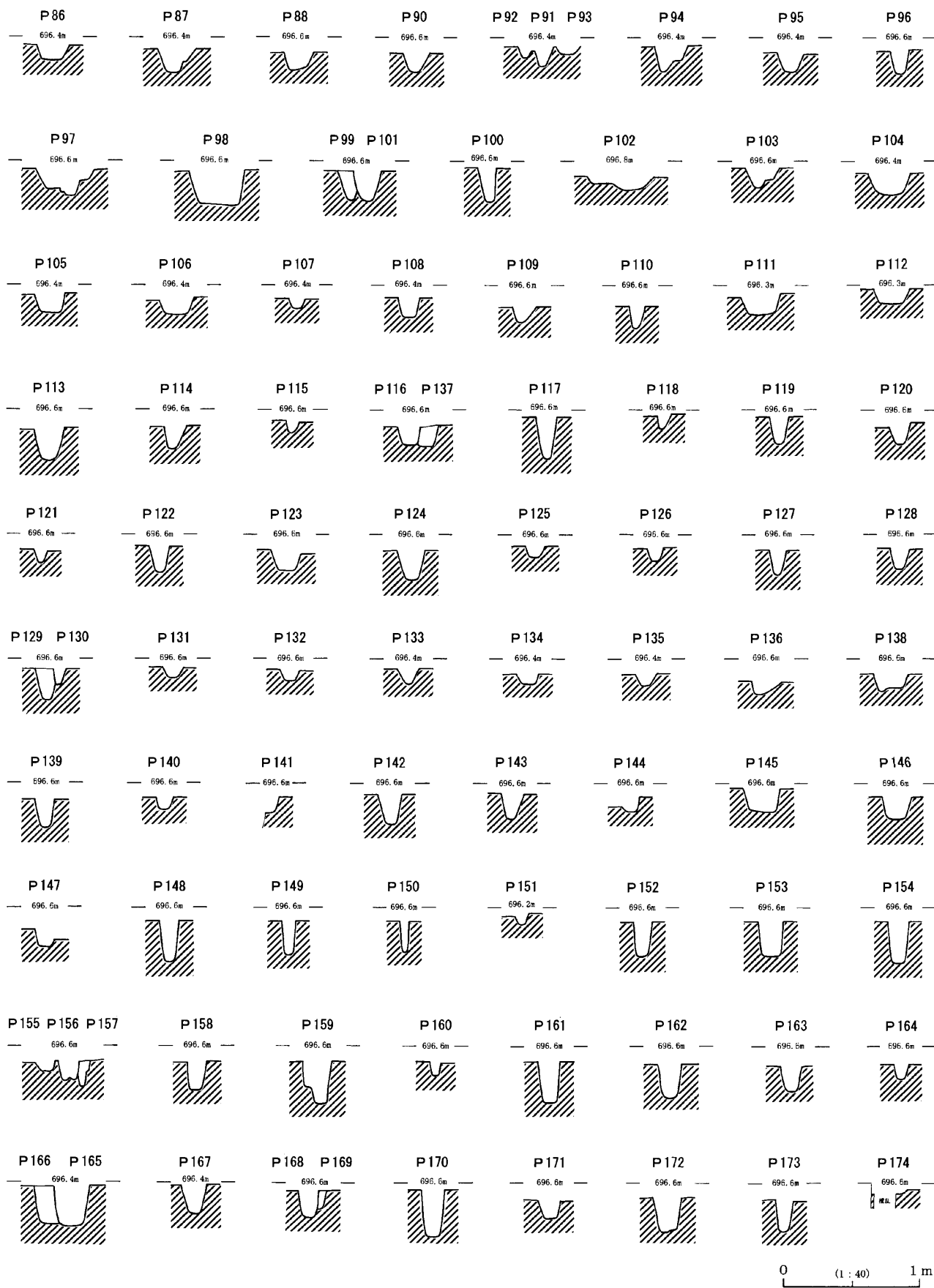
第7節 まとめ

遺構の中でM2溝状遺構が注目される。周辺の遺跡の調査で環濠であろうと指摘されている北一本柳遺跡ⅢのM1、西一本柳遺跡ⅩⅨのM1、北一本柳遺跡ⅢのM26等と本遺跡M2は、どうやら地図上では一つの環濠として結ばれそうである。弥生時代後期箱清水式期土器が主に出土している。

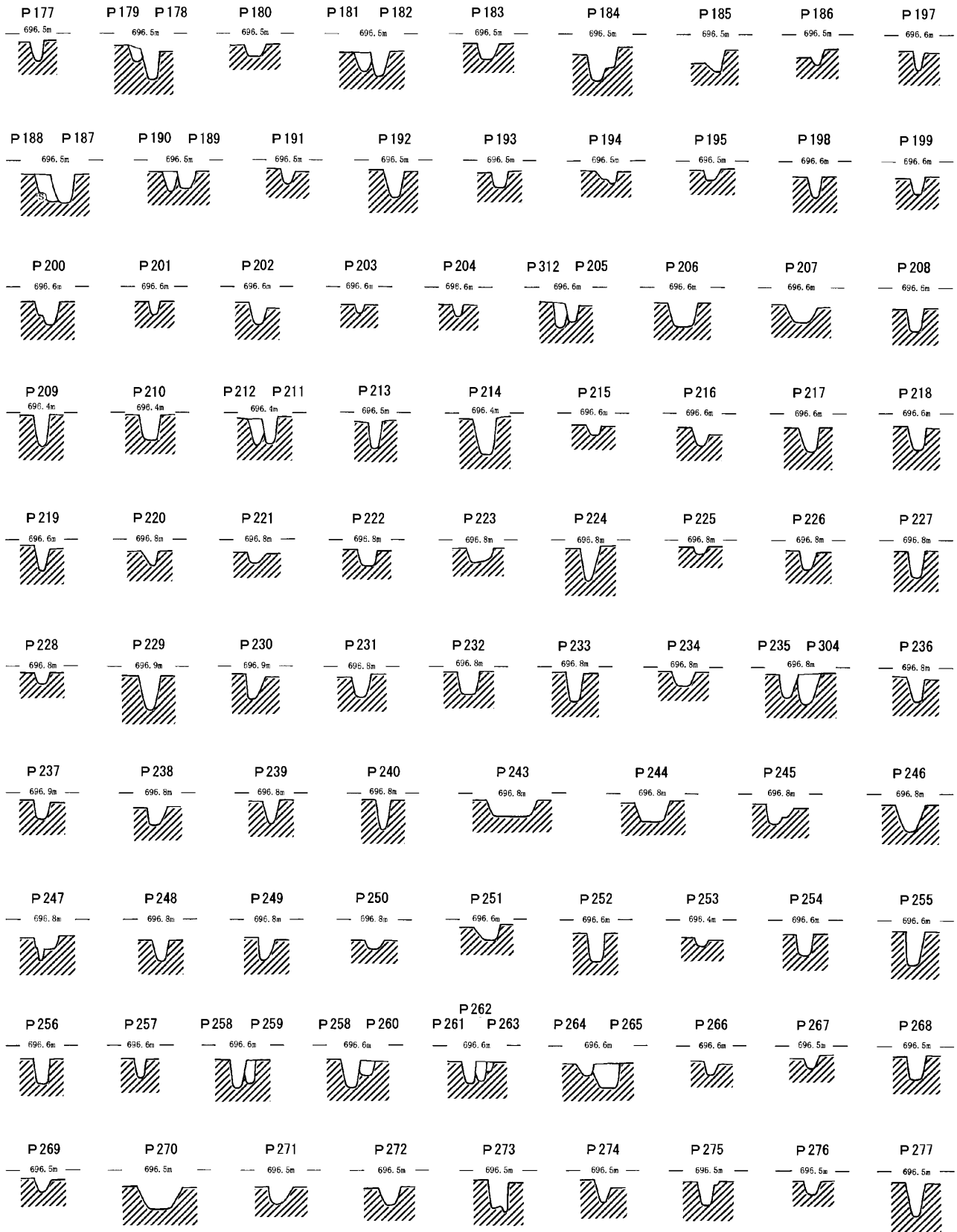
多くの中世の遺構群は、江戸時代の書物『四隣譚藪』に表されている大井氏の城下町賑わい「国府にまされり」の一角を占めるものであろう。同じ岩村田遺跡群の柳堂遺跡・観音堂遺跡と共に。



第22図 A地区 ピット断面図(1)

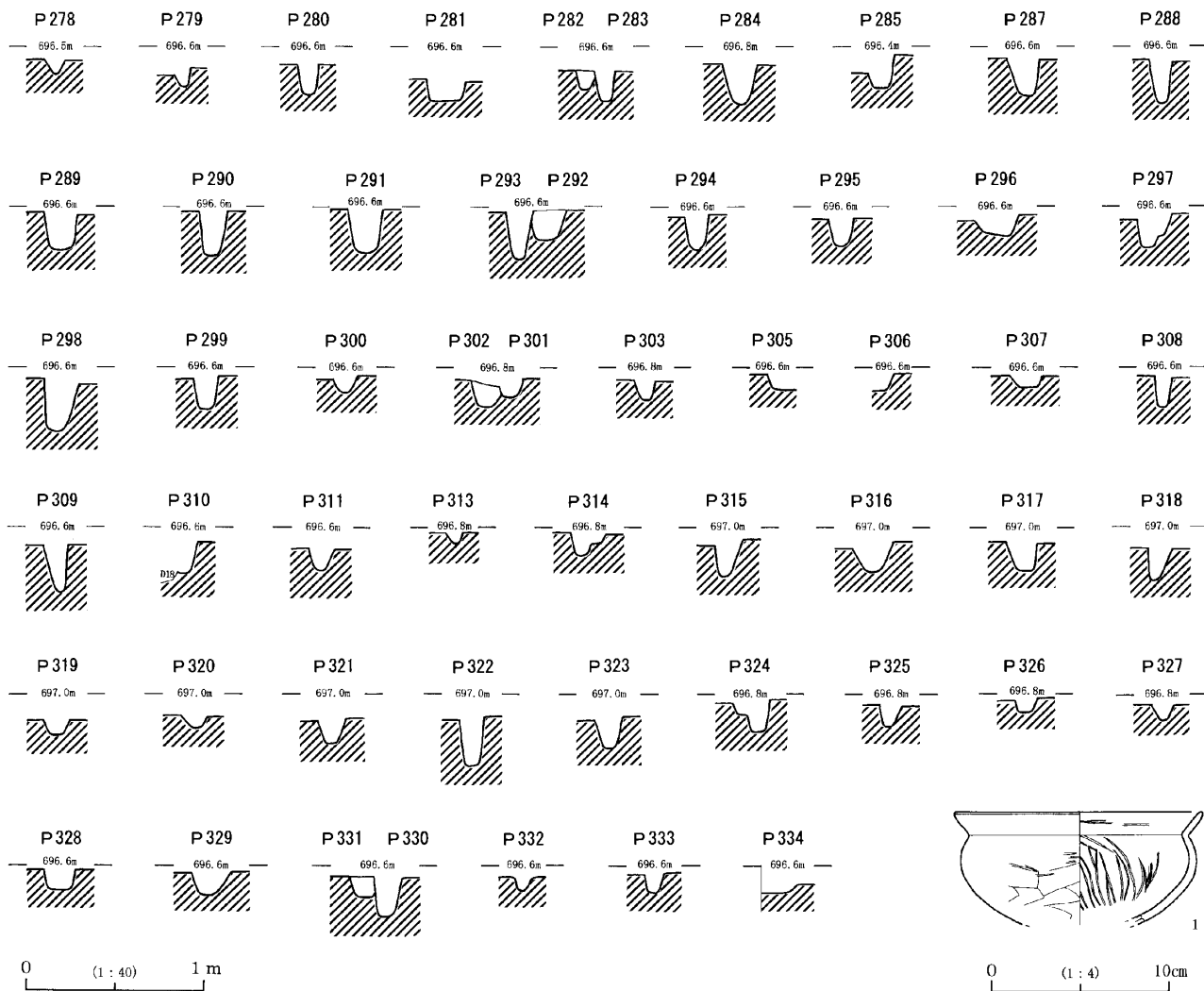


第23図 A地区 ピット断面図(2)



0 (1 : 40) 1 m

第24図 A地区 ピット断面図(3)



第25図 A地区 ピット断面図(4)およびP70出土遺物

第10表 A地区 ピット計測表(1)

(残存値) < 検出値 > (cm)

No.	検出位置	平面形	長径×短径×深さ	備考	No.	検出位置	平面形	長径×短径×深さ	備考
1	Ⅱ-こ2	円形	27×21×12	10YR2/3	27	Ⅳ-い2・い3	円形	32×29×44	P26を切る。10YR2/3
2	Ⅱ-こ2	円形	27×25×31	10YR2/3	28	Ⅳ-い3	円形	30×25×35	D8を切る。10YR2/3
3	Ⅱ-こ2	円形	23×19×14	柱痕あり。10YR3/4	29	Ⅳ-い3	円形	39×35×29	D8を切る。10YR2/3
4	Ⅱ-こ2	円形	28×26×41	10YR2/2	30	Ⅳ-い3	円形	27×24×35	10YR2/3
5	Ⅱ-こ2	円形	27×25×32	10YR2/3	31	Ⅳ-う3	方形	21×17×37	10YR2/3
6	Ⅱ-こ2	円形	22×20×30	10YR3/4	32	Ⅳ-う3	円形	32×31×39	P33に切られる。10YR2/3
7	Ⅳ-あ1	円形	65×<44>×31	1層 10YR3/3、2層 10YR2/3	33	Ⅳ-う3	楕円形	32×18×36	P32を切る。10YR2/3
8	Ⅳ-あ2	方形	26×25×23	10YR2/3	34	Ⅳ-う4	円形	29×26×58	M9を切る。10YR2/3
9	Ⅳ-あ2	円形	31×29×41	P10を切る。10YR3/3	35	Ⅳ-う4	円形	30×30×30	M9を切る。10YR2/3
10	Ⅳ-あ2	円形	24×(21)×25	P9に切られる。10YR2/3	36	Ⅳ-う2	不整形	28×26×30	10YR2/3
11	Ⅳ-あ2	円形	25×24×26	テラスあり。10YR2/3	37	Ⅳ-う2	円形	35×35×39	10YR2/3
12	Ⅳ-あ3	円形	33×30×35	10YR2/3	38	Ⅳ-う2	円形	33×31×29	10YR2/3
13	Ⅳ-あ4	円形	30×24×22	10YR2/3	39	Ⅳ-う2	円形	54×43×39	テラスあり。10YR2/3
14	Ⅳ-あ4	方形	34×27×34	10YR2/3	40	Ⅳ-う2	方形	24×22×42	10YR2/3
15	Ⅳ-あ2	円形	32×28×38	10YR2/3	41	Ⅳ-う2	円形	22×19×12	10YR2/3
16	Ⅳ-あ2	円形	29×26×29	10YR2/3	42	Ⅳ-う2・え2	円形	21×20×50	10YR2/3
17	Ⅳ-い2	円形	38×30×44	10YR2/3	43	Ⅳ-う2・え2	円形	25×23×27	10YR2/3
18	Ⅳ-い2	円形	25×23×27	10YR2/3	44	Ⅳ-え2	方形	26×25×34	10YR2/3
19	Ⅳ-い2	円形	30×24×52	10YR2/3	45	Ⅳ-う2	長方形	30×21×35	D37を切る。10YR2/3
20	Ⅳ-い2	円形	35×32×31	10YR2/3	46	Ⅳ-う2	方形	25×20×33	10YR2/3
21	Ⅳ-い1	円形	29×24×61	10YR2/3	47	Ⅳ-え2	円形	26×24×23	10YR2/3
22	Ⅳ-い1	円形	34×29×31	テラスあり。10YR2/3	48	Ⅳ-え2	円形	31×27×45	10YR2/3
23	Ⅳ-い2	円形	27×23×40	10YR2/3	49	Ⅳ-え2	方形	33×25×30	10YR2/3
24	Ⅳ-い2	円形	33×25×36	10YR2/3	50	Ⅳ-え3	円形	26×24×45	P196を切る。10YR2/3
25	Ⅳ-い2	円形	36×33×53	10YR2/3					
26	Ⅳ-い2・い3	円形	33×32×30	P27に切られる。10YR2/3					

第11表 A地区 ビット計測表(2)

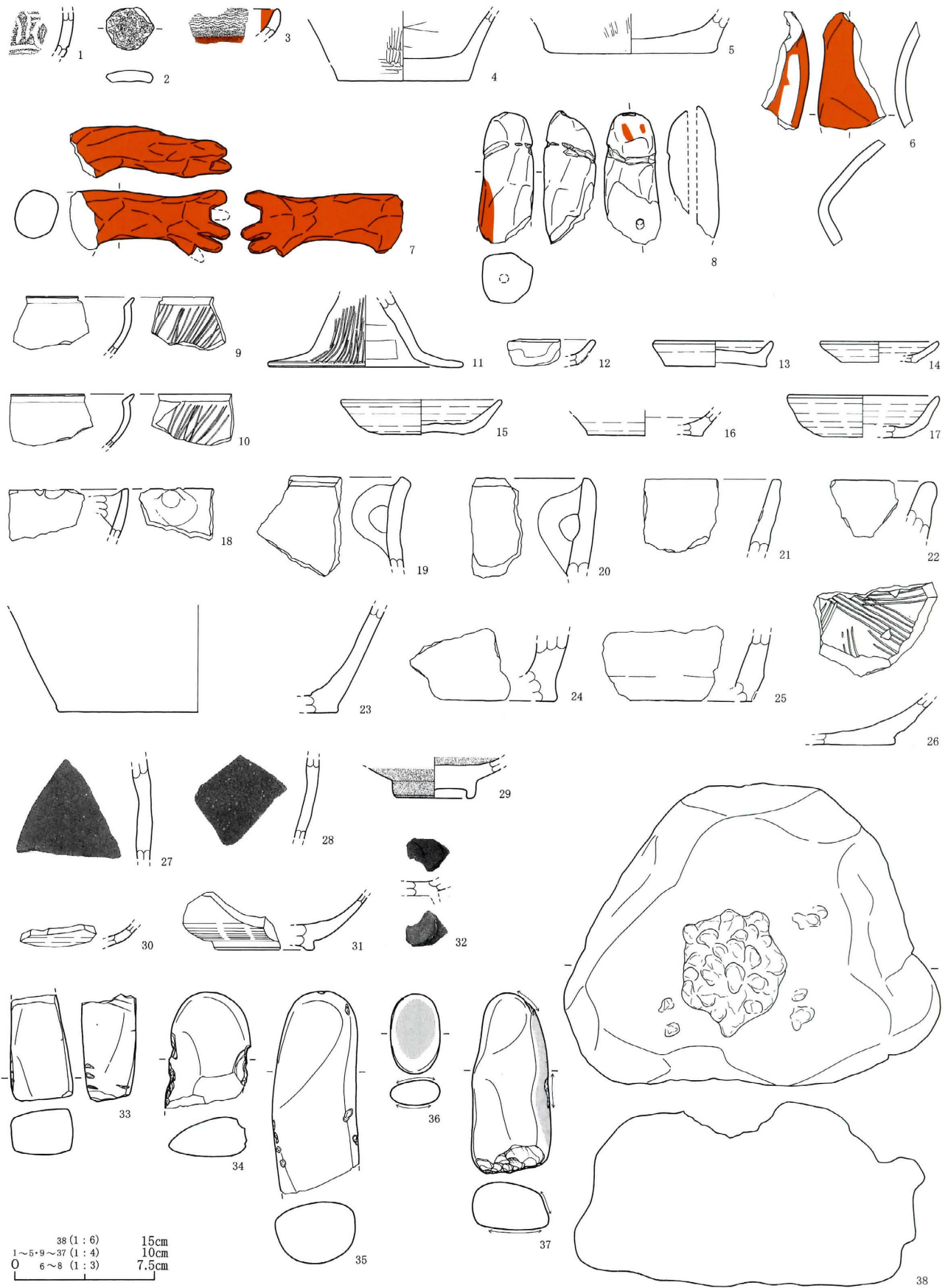
(残存値) <検出値> (cm)

No.	検出位置	平面形	長径×短径×深さ	備考	No.	検出位置	平面形	長径×短径×深さ	備考
51	Ⅳ-え2・え3	円形	32×27×49	D32を切る。10YR2/3	118	Ⅳ-い4	方形	22×21×21	10YR2/3
					119	Ⅲ-い9	円形	30×27×41	10YR2/3
52	Ⅳ-え2・え3	楕円形	51×28×43	D32を切る。10YR2/3	120	Ⅲ-い9	円形	34×25×33	10YR2/3
					121	Ⅲ-い10	方形	20×19×19	10YR2/3
53	Ⅳ-え2	円形	32×28×46	10YR2/3	122	Ⅲ-い10	円形	30×28×38	10YR2/3
54	Ⅳ-え1・え2	円形	22×20×24	10YR2/3	123	Ⅲ-う9・う10	楕円形	45×27×32	P141を切る。10YR2/3
55	Ⅳ-え1	円形	25×24×19	10YR2/3	124	Ⅲ-う10	方形	40×31×45	10YR2/3
56	Ⅳ-え1	円形	29×24×36	10YR2/3	125	Ⅲ-う9	方形	29×25×17	10YR2/3
57	Ⅳ-え1	円形	25×24×41	10YR2/3	126	Ⅲ-う9	方形	24×23×21	10YR2/3
58	Ⅳ-う1・え1	円形	29×(19)×21	D36に切られる。10YR2/3	127	Ⅲ-う9・う10	方形	25×25×37	10YR2/3
59	Ⅳ-う1	方形	(24)×24×45	D36に切られる。10YR2/3	128	Ⅲ-う9	円形	28×26×29	10YR2/3
60	Ⅳ-う1	円形	25×18×42	D36・D37を切る。10YR2/3	129	Ⅲ-う9	円形	(26)×30×40	P130に切られる。10YR2/3
61	Ⅳ-い3	円形	31×25×34	D7を切る。10YR2/3	130	Ⅲ-う9	方形	23×21×24	P129を切る。10YR2/3
62	Ⅳ-あ5	方形	19×19×30	10YR2/3	131	Ⅲ-う8	円形	28×26×13	10YR2/3
63	Ⅳ-あ4	方形	23×21×22	10YR2/3	132	Ⅲ-う8	方形	30×26×17	10YR2/3
64	Ⅳ-い4	楕円形	31×20×23	M10を切る。テラスあり。10YR2/3	133	Ⅲ-え9	円形	31×27×23	10YR2/3
65	Ⅳ-あ4	円形	28×25×48	M10を切る。10YR2/3	134	Ⅲ-え9	円形	31×29×16	10YR2/3
66	Ⅳ-う5・え5	方形	30×35×40	D2を切る。10YR2/2	135	Ⅲ-え9・え10	円形	32×24×19	10YR2/3
67	Ⅳ-え5	方形	22×21×31	10YR2/3	136	Ⅲ-え10	楕円形	25×16×21	10YR2/3
68	Ⅳ-え5・え6	円形	24×18×17	10YR2/3	137	Ⅲ-う10	円形	35×32×31	P116に切られる。10YR2/2
69	Ⅳ-う5	円形	25×22×19	D2を切る。10YR2/2	138	Ⅲ-う10	楕円形	56×37×25	P139を切る。テラスあり。10YR2/3
70	Ⅲ-あ8	円形	60×52×38	10YR2/3(10YR5/6の粒子多量)土師坏					
71	Ⅲ-あ8	円形	65×52×31	10YR2/3	139	Ⅲ-う10	円形	31×(25)×41	Ta9を切る。P138に切られる。10YR2/3
72	Ⅲ-あ8	円形	74×63×16	10YR2/3	140	Ⅲ-う9	円形	25×24×18	10YR2/3
73	Ⅲ-あ7	円形	56×52×45	テラスあり。10YR2/3	141	Ⅲ-う9	円形	25×(21)×24	P123に切られる。10YR2/3
74	Ⅲ-あ8	円形	49×44×15	10YR2/3(10YR5/6の粒子多量)	142	Ⅲ-い10	円形	35×33×43	10YR2/3
75	Ⅲ-あ8	円形	35×27×33	10YR2/3	143	Ⅳ-い1	円形	34×30×36	10YR2/3
76	Ⅲ-あ9・い9	方形	46×44×49	D14を切る。10YR2/3	144	Ⅳ-う3・う4	長方形	26×18×20	10YR2/3
77	Ⅳ-え3	円形	26×25×25	10YR2/3	145	Ⅲ-い10	円形	56×52×36	10YR2/2
78	Ⅲ-う9	円形	30×27×29	10YR2/3	146	Ⅳ-え5	円形	43×35×32	H1を切る。10YR2/3
					147	Ⅳ-え5	円形	32×28×27	10YR2/3
79	Ⅲ-う8・う9	円形	27×26×43	10YR2/3	148	Ⅳ-え4	円形	28×26×59	H1を切る。10YR2/3
					149	Ⅳ-え4	円形	21×20×49	H1を切る。10YR2/3
80	Ⅲ-う8	円形	46×36×30	テラスあり。10YR2/3	150	Ⅳ-え4	円形	13×12×45	H1を切る。10YR2/3
					151	Ⅳ-え4	円形	21×16×18	H1を切る。10YR2/3
81	Ⅲ-う8・う9	円形	26×20×48	10YR2/3	152	Ⅳ-え4	円形	29×29×52	H1を切る。10YR2/3
82	Ⅲ-う9	方形	35×27×58	10YR2/3	153	Ⅳ-え4	円形	37×34×50	H1を切る。10YR2/3
83	Ⅲ-う9	円形	58×48×24	D38を切る。10YR2/3	154	Ⅳ-え4	円形	29×26×61	H1を切る。10YR2/3
84	Ⅲ-う9	楕円形	47×33×43	D38を切る。10YR2/3	155	Ⅳ-え4	円形	29×29×14	10YR2/3
85	Ⅲ-え9	円形	40×36×24	10YR2/3	156	Ⅳ-え4	円形	27×23×28	P157を切る。10YR2/3
86	Ⅲ-え9	円形	49×42×13	10YR2/3	157	Ⅳ-え4	円形	26×(17)×38	P156に切られる。テラスあり。10YR2/3
87	Ⅲ-え8	円形	58×55×34	テラスあり。10YR2/3	158	Ⅳ-え4	円形	32×27×42	10YR2/3
88	Ⅲ-う8	円形	45×45×27	10YR2/3	159	Ⅳ-え4	円形	42×33×51	D41を切る。テラスあり。10YR2/3
89	Ⅲ-う8	方形	22×(18)×27	D61に切られる。10YR2/3	160	Ⅳ-え4	方形	18×15×19	D41・P161を切る。10YR2/3
90	Ⅲ-う7	円形	38×36×29	10YR2/3	161	Ⅳ-え3・え4	円形	32×31×58	D40・D41を切る。P160に切られる。10YR2/3
91	Ⅲ-え7	円形	30×28×28	10YR2/3	162	Ⅳ-え3	方形	26×24×48	D40・D42を切る。10YR2/3
92	Ⅲ-え7	円形	25×20×17	10YR2/3	163	Ⅳ-え3	円形	31×24×35	D40を切る。10YR2/3
93	Ⅲ-え7	円形	41×35×12	10YR2/3	164	Ⅳ-え3	方形	20×20×25	D40を切る。10YR2/3
94	Ⅲ-え8	円形	46×42×35	テラスあり。10YR2/3	165	Ⅳ-え4	方形	62×54×39	D64・P166を切る。10YR2/3
95	Ⅲ-え9	円形	38×35×25	10YR2/3	166	Ⅳ-え4	円形	(28)×37×58	P165に切られる。10YR2/3
96	Ⅲ-う9	円形	28×22×36	10YR2/3	167	Ⅳ-え3	円形	34×23×44	D64を切る。10YR2/3
97	Ⅲ-う9	円形	84×81×40	テラスあり。10YR2/3	168	Ⅳ-う4	円形	28×27×38	D62・P169を切る。10YR2/3
98	Ⅲ-う9	楕円形	79×52×50	古銭出土。10YR2/3	169	Ⅳ-う4	方形	22×(12)×28	D62を切る。P168に切られる。10YR2/3
99	Ⅲ-う9	円形	41×(30)×46	P100・P101に切られる。10YR2/3(10YR5/6の粒子多量)	170	Ⅳ-う4	円形	31×29×65	H1を切る。10YR2/3
					171	Ⅳ-え3	円形	35×27×28	10YR2/3
100	Ⅲ-い9・う9	円形	30×23×50	D16・P99・P101を切る。10YR2/3	172	Ⅳ-え3	長方形	40×27×50	P173を切る。テラスあり。10YR2/3
					173	Ⅳ-え3	方形	25×(21)×43	P172に切られる。10YR2/3
101	Ⅲ-い9・う9	円形	36×31×43	D16・P99を切る。P100に切られる。10YR2/3	174	Ⅳ-う6	円形	(90)×(21)×(22)	10YR2/2
					175	欠			
102	Ⅲ-あ7	楕円形	98×73×25	テラスあり。10YR2/3(10YR5/6の粒子多量)	176	欠			
103	Ⅲ-い9・う9	円形	48×39×30	P117に切られる。テラスあり。10YR2/3					
104	Ⅲ-お7	楕円形	62×42×33	古銭出土。10YR2/3					
105	Ⅲ-え9	方形	44×32×27	テラスあり。10YR2/3	177	Ⅳ-え3	円形	(10)×14×30	D63を切る。P210に切られる。10YR3/3
106	Ⅲ-え9	方形	50×48×26	10YR2/3	178	Ⅳ-え3	円形	33×31×50	P179を切る。10YR2/3
107	Ⅲ-え9	方形	25×24×15	10YR2/3	179	Ⅳ-え3	円形	24×(17)×23	P178に切られる。10YR2/3
108	Ⅲ-え9	方形	32×24×28	10YR2/3	180	Ⅳ-え3	円形	30×30×19	10YR2/3
109	Ⅲ-え10	楕円形	37×20×23	10YR2/3	181	Ⅳ-え3	円形	(25)×29×32	P182に切られる。10YR2/3
110	Ⅲ-う・え10	方形	24×22×35	10YR2/3	182	Ⅳ-え3	円形	32×24×40	P181を切る。10YR2/3
111	Ⅲ-え10	長方形	57×41×31	10YR2/3	183	Ⅳ-え3	円形	30×28×25	10YR2/3
112	Ⅲ-え10	長方形	53×37×25	10YR2/3					
113	Ⅲ-う10	方形	50×46×46	10YR2/3	184	Ⅳ-え2・え3	楕円形	42×32×48	10YR2/2
114	Ⅲ-う10	円形	33×29×36	D68を切る。10YR2/3	185	Ⅳ-え2	楕円形	29×17×30	10YR2/3
115	Ⅲ-う・え10	円形	21×20×19	10YR2/3	186	Ⅳ-え2	円形	19×15×22	10YR2/3
					187	Ⅳ-え2	方形	31×26×41	P188を切る。10YR2/3
116	Ⅲ-う10	円形	36×33×27	P137を切る。10YR2/3(10YR5/6の粒子多量)	188	Ⅳ-え2	円形	(34)×34×42	P187に切られる。10YR2/3
					189	Ⅳ-え2	円形	32×30×26	P190を切る。10YR2/3
117	Ⅲ-い9・う9	円形	32×30×52	P103を切る。10YR2/3(10YR5/6の粒子多量)	190	Ⅳ-え2	円形	26×21×30	P189に切られる。10YR2/3
					191	Ⅳ-え3	円形	21×17×20	P192に切られる。10YR2/3

第12表 A地区 ピット計測表(3)

(残存値) <検出値> (cm)

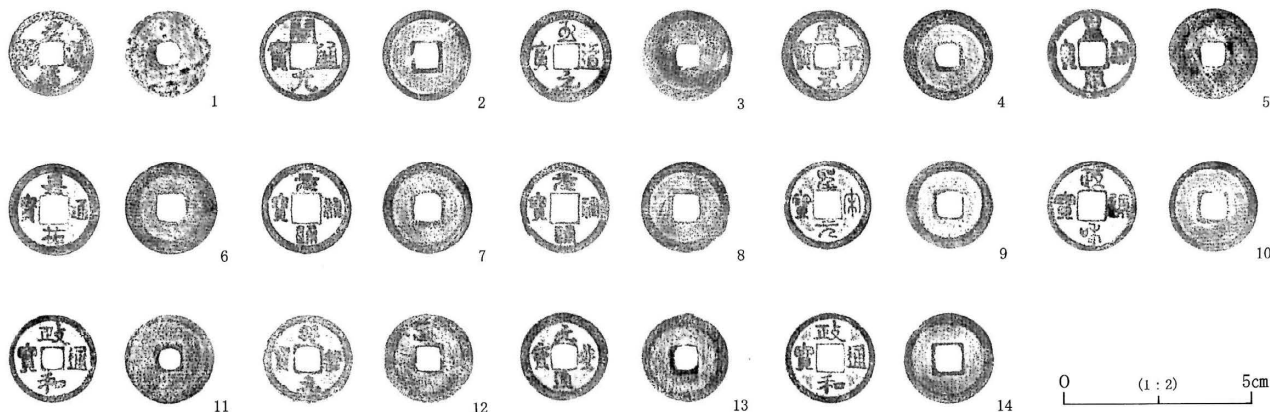
No.	検出位置	平面形	長径×短径×深さ	備考	No.	検出位置	平面形	長径×短径×深さ	備考
192	Ⅳ-え3	円形	32×23×38	P191を切る。10YR2/3					
193	Ⅳ-え2	円形	25×18×27	P194を切る。10YR2/3	262	Ⅳ-う2	方形	20×16×28	P263を切る。P261に切られる。10YR2/3
194	Ⅳ-え2・え3	円形	30×26×20	P193に切られる。テラスあり。10YR2/3	263	Ⅳ-う2	円形	14×(11)×14	P262に切られる。10YR2/3
					264	Ⅳ-う2	円形	24×24×16	P265を切る。10YR2/2
195	Ⅳ-え2・え3	円形	23×22×16	10YR2/3	265	Ⅳ-う2	楕円形	42×30×37	P264に切られる。10YR2/2
					266	Ⅳ-う2	円形	19×17×18	10YR2/3
196	Ⅳ-え3	円形	(19)×21×18	P50に切られる。10YR2/3	267	Ⅳ-う2・え2	円形	24×22×18	10YR2/3
197	Ⅳ-う3	方形	22×18×27	10YR2/3					
198	Ⅳ-う3	円形	22×21×31	10YR2/3	268	Ⅳ-え2	円形	29×28×35	10YR2/3
199	Ⅳ-う3	方形	22×18×26	10YR2/3	269	Ⅳ-え2	円形	24×23×20	10YR2/3
200	Ⅳ-う3	長方形	36×27×33	テラスあり。10YR2/3	270	Ⅳ-え2	円形	66×62×33	10YR2/2
201	Ⅳ-う3	円形	16×14×19	10YR2/3	271	Ⅳ-え2	円形	35×30×25	10YR2/2
202	Ⅳ-う3	方形	26×21×34	10YR2/3	272	Ⅳ-え2	円形	32×26×29	10YR2/2
					273	Ⅳ-え2	円形	33×29×46	テラスあり。10YR2/3
203	Ⅳ-う3・え3	円形	15×14×13	10YR2/3	274	Ⅳ-え2	円形	24×21×33	10YR2/3
					275	Ⅳ-え2	楕円形	33×23×35	D31を切る。テラスあり。10YR2/3
204	Ⅳ-う3	円形	19×17×16	10YR2/3	276	Ⅳ-え2	円形	24×19×22	10YR2/3
205	Ⅳ-う3	方形	20×20×25	P312を切る。10YR2/3	277	Ⅳ-え1	円形	30×25×49	10YR2/2
206	Ⅳ-う3	楕円形	42×29×33	P207を切る。10YR2/3	278	Ⅳ-え2	円形	25×23×17	10YR2/3
207	Ⅳ-う3	円形	45×35×26	P206に切られる。10YR2/3	279	Ⅳ-う1	方形	16×16×20	10YR2/3
208	Ⅳ-う3	方形	26×21×37	10YR2/3	280	Ⅳ-う1	方形	22×21×35	D51を切る。10YR2/3
209	Ⅳ-う3	円形	24×20×40	D63を切る。10YR2/3	281	Ⅳ-う2	長方形	43×25×33	10YR2/3
210	Ⅳ-う3	楕円形	33×20×37	D63・P177を切る。10YR2/3	282	Ⅳ-う2	方形	20×20×10	P283に切られる。10YR2/3
211	Ⅳ-え3	方形	22×22×39	D63・P212を切る。10YR2/3	283	Ⅳ-う2	方形	22×21×33	P282を切る。10YR2/3
212	Ⅳ-え3	長方形	24×(16)×41	D63を切る。P211に切られる。10YR2/3					
213	Ⅳ-え3	方形	19×16×37	D63を切る。10YR2/3	284	Ⅳ-あ3・い3	円形	42×33×46	10YR2/3
214	Ⅳ-え3	方形	33×27×55	D34を切る。10YR2/3	285	Ⅳ-う2	円形	29×27×38	10YR2/3
215	Ⅳ-う3	円形	23×22×14	10YR2/3	286	Ⅳ-あ4	方形	24×18×27	D11を切る。10YR2/3
216	Ⅳ-う3	方形	23×20×27	10YR2/3	287	Ⅳ-い1	円形	37×33×40	10YR2/3
217	Ⅳ-う3	長方形	26×25×37	D35を切る。10YR2/3	288	Ⅳ-い1	円形	27×24×52	10YR2/2
218	Ⅳ-う3	方形	23×22×34	D35を切る。10YR2/3	289	Ⅳ-い1	円形	38×36×43	10YR2/3
219	Ⅳ-い3	方形	21×19×37	D7に切られる。10YR2/3	290	Ⅳ-い1	円形	31×29×48	10YR2/3
220	Ⅳ-い3	長方形	24×17×21	10YR2/3	291	Ⅳ-い1	円形	38×33×50	10YR2/3
221	Ⅳ-い3	円形	26×24×17	10YR2/3	292	Ⅳ-い1	円形	44×(39)×33	P293に切られる。10YR2/3
222	Ⅳ-い3	円形	29×26×23	10YR2/3	293	Ⅳ-い1	円形	32×26×53	P292を切る。10YR2/3
223	Ⅳ-い4	楕円形	40×28×20	D19を切る。10YR2/3	294	Ⅳ-い1	円形	25×24×40	10YR2/3
224	Ⅳ-あ4	円形	30×29×49	10YR2/3	295	Ⅳ-い2	円形	29×28×32	10YR2/3
225	Ⅳ-い4	方形	20×18×10	10YR2/3	296	Ⅳ-い2	円形	46×(35)×25	P297に切られる。10YR2/2
226	Ⅳ-い4	円形	23×22×26	10YR2/3	297	Ⅳ-い2	楕円形	39×24×35	P296を切る。テラスあり。10YR2/3
					298	Ⅳ-い2	円形	42×38×60	10YR2/3
227	Ⅳ-い4・い5	方形	24×22×38	10YR2/3	299	Ⅳ-い2	円形	26×25×38	10YR2/3
228	Ⅳ-あ5	不整形	22×16×15	10YR2/3					
229	Ⅳ-あ4	方形	33×29×48	10YR2/3	300	Ⅳ-い1・い2	円形	32×26×22	10YR2/3
230	Ⅳ-あ4	方形	29×23×35						
231	Ⅳ-あ4	円形	29×22×31	10YR2/3	301	Ⅳ-あ3	方形	24×(24)×23	P302を切る。10YR2/3
232	Ⅳ-あ3	方形	31×25×27	10YR2/3	302	Ⅳ-あ3	円形	32×29×33	P301に切られる。10YR2/3
233	Ⅳ-あ3	方形	26×26×42	10YR2/3	303	Ⅳ-あ4	方形	25×24×23	10YR2/3
					304	Ⅳ-あ3	円形	36×35×45	P235に切られる。10YR2/3
234	Ⅱ-こ3・Ⅳ-あ3	円形	32×28×20	10YR2/3	305	Ⅳ-う6	長方形	(32)×29×19	10YR2/3
					306	Ⅳ-う6	円形	(25)×29×22	10YR2/3
235	Ⅳ-あ3	方形	35×28×32	P304を切る。10YR2/3	307	Ⅳ-え5	方形	34×24×13	10YR2/3
236	Ⅳ-あ3	円形	(24)×24×35	10YR2/3	308	Ⅳ-え6	円形	22×21×35	10YR2/3
237	Ⅳ-あ5	方形	25×24×29	10YR2/3	309	Ⅳ-え5	楕円形	29×16×14	D18を切る。10YR2/3
238	Ⅳ-あ5	円形	27×20×39	10YR2/3	310	Ⅳ-え5	円形	33×(19)×34	D18に切られる。10YR2/3
239	Ⅳ-あ5	方形	25×23×35	10YR2/3	311	Ⅳ-え3	方形	29×(18)×24	D34を切る。10YR2/3
240	Ⅳ-あ5	円形	23×19×43	10YR2/3	312	Ⅳ-う3	方形	23×(22)×37	P205に切られる。10YR2/3
241	欠				313	Ⅳ-あ2	長方形	(29)×19×31	P314に切られる。10YR2/3
242	欠				314	Ⅳ-あ2	円形	40×35×25	P313を切る。テラスあり。10YR2/3
					315	Ⅱ-こ3	円形	33×27×42	10YR2/3
243	Ⅳ-あ2・あ3	円形	74×63×26	10YR2/2	316	Ⅱ-こ3	円形	48×39×34	10YR2/3
244	Ⅳ-あ2	円形	50×47×30	10YR2/2	317	Ⅱ-こ3	円形	35×31×32	10YR2/3
245	Ⅳ-あ2	円形	38×34×28	テラスあり。10YR2/3	318	Ⅱ-こ4	方形	29×26×36	10YR2/3
246	Ⅳ-あ2	円形	45×42×38	10YR2/3	319	Ⅱ-こ4	方形	29×29×17	10YR2/3
247	Ⅳ-あ2・い2	円形	46×34×38	テラスあり。10YR2/3	320	Ⅱ-こ4	円形	29×28×14	10YR2/3
					321	Ⅱ-こ4	円形	30×25×26	10YR2/3
248	Ⅳ-い2	方形	22×20×30	10YR2/3	322	Ⅱ-こ3	方形	28×26×52	10YR2/3
249	Ⅳ-い2	方形	26×21×31	10YR2/3	323	Ⅱ-こ3	円形	32×22×36	10YR2/3
250	Ⅳ-い2	円形	26×25×17	10YR2/3	324	Ⅱ-こ4	楕円形	40×26×35	テラスあり。10YR2/3
251	Ⅳ-い2	円形	38×(27)×28	10YR2/3	325	Ⅱ-こ4	方形	24×22×36	10YR2/3
252	Ⅳ-い2	円形	26×26×38	Ta8を切る。10YR2/3	326	Ⅱ-こ5	方形	24×23×17	10YR2/3
253	Ⅳ-う2	円形	21×20×12	10YR2/3	327	Ⅳ-あ5	円形	26×22×14	10YR2/3
254	Ⅳ-う2	方形	25×20×29	10YR2/3	328	Ⅳ-え6	円形	35×26×21	10YR2/3
255	Ⅳ-う2	方形	26×24×48	10YR2/3	329	Ⅳ-え6	円形	44×35×27	M3を切る。10YR3/3
256	Ⅳ-う2	方形	22×22×35	10YR2/3	330	Ⅳ-え5	円形	34×30×48	P331を切る。10YR2/3
257	Ⅳ-う2	方形	17×17×26	10YR2/3					
258	Ⅳ-う2	円形	28×(20)×40	P259・P260を切る。10YR2/3	331	Ⅳ-え5	円形	38×(26)×26	P330に切られる。M3を切る。10YR2/3
259	Ⅳ-う2	円形	21×(19)×32	P258に切られる。10YR2/3	332	Ⅳ-え5	円形	17×14×15	M3を切る。10YR2/3
260	Ⅳ-う2	円形	27×24×22	P258に切られる。10YR2/3	333	Ⅳ-え6	円形	23×16×21	M3を切る。10YR2/3
261	Ⅳ-う2	方形	23×20×31	P262を切る。10YR2/3	334	Ⅳ-え6	方形	45×(38)×13	M3を切る。10YR2/3



第26図 A地区 遺構外出土遺物

第13表 A地区 遺構外出土遺物一覧表

No.	遺構外	器種	法 量			成形・調整・文様		推定値<>残存値()丸底●	
			口径(長)	底径(幅)	器高(厚)	内 面	外 面	備 考	出土位置
1	縄文土器	深鉢	内面 弧状沈線					後期 堀之内	き7、カクラン
2	土師器	土製品	土器片 胴部片 研磨跡 径3.3cm 厚さ0.8cm						7トレンチ
3	弥生土器	壺	-	-	-	赤色塗彩	櫛描波状文(口縁部)、赤色塗彩	断面実測	お11
4	弥生土器	壺	-	9.4	(5.0)	ナデ	ヘラミガキ、底部ヘラミガキ	完全実測	8トレンチ
5	弥生土器	壺	-	<12.0>	(2.8)	ナデ	ヘラミガキ、底部ヘラミガキ	回転実測	6トレンチ
9	土師器	坏	-	-	(3.8)	暗文	ヘラナデ→一部ヘラミガキ	破片実測	6トレンチ
10	土師器	坏	-	-	(3.7)	暗文	ヘラナデ→一部ヘラミガキ	破片実測	6トレンチ
11	土師器	高坏	-	<14.0>	(5.2)	ヘラナデ	ヘラミガキ	回転実測	5トレンチ
12	かわらけ	皿	-	-	(1.9)	ナデ	ナデ	破片実測	4トレンチ
13	かわらけ	皿	8.4	7.3	1.8	ロクロナデ	ロクロナデ→回転糸切り	完全実測	か7
14	かわらけ	皿	<8.2>	<5.2>	1.5	ロクロナデ	ロクロナデ→回転糸切り	回転実測	カクラン
15	かわらけ	皿	<11.4>	<6.0>	2.5	ロクロナデ	ロクロナデ→回転糸切り	回転実測	カクラン
16	かわらけ	皿	-	<8.2>	(1.8)	ロクロナデ	ロクロナデ→回転糸切り	回転実測	カクラン
17	かわらけ	皿	<10.6>	<5.8>	3.0	ロクロナデ	ロクロナデ→回転糸切り	回転実測	カクラン
18	内耳	土鍋	-	-	(3.3)	ナデ→内耳貼付	ナデ	破片実測	き7、カクラン
19	内耳	土鍋	-	-	-	ナデ→内耳貼付	ナデ	断面実測	お11
20	内耳	土鍋	-	-	-	ナデ→内耳貼付	ナデ	断面実測	お6
21	内耳	土鍋	-	-	(5.2)	ナデ	ナデ	破片実測	4トレンチ
22		土鍋	-	-	(4.1)	ナデ	ナデ	破片実測、中世	カクラン
23	内耳	土鍋	-	<20.0>	(7.3)	ナデ	ナデ	回転実測	4トレンチ
24		土鍋	-	-	(5.2)	ナデ	ナデ	破片実測、中世	カクラン
25		土鍋	-	-	(5.4)	ナデ	ナデ	破片実測、中世	カクラン
26	須恵質陶器	掃針	-	-	(3.2)	掃目		破片実測	2トレンチ
27	常滑	甌	-	-	-			13世紀後半~14世紀前半	カクラン
28	常滑	甌	-	-	-			13世紀後半~14世紀前半	き7
29	青磁	碗	-	<5.4>	(2.9)	施釉	施釉	回転実測	4トレンチ
30		碗							8トレンチ
31		碗							3トレンチ
32		碗							カクラン
No.	器 種	素 材	最大長	最大幅	最大厚	重量	所 見		出土位置
6	人面付壺?人形(ひとがた)土器?		(6.3)	(3.5)	(0.7)		調整 内面:ナデ 外面:赤色塗彩、腕が剥離した肩~胴部か		カクラン
7	人形(ひとがた)土器?の手(左手)		(8.6)	(3.6)	(2.7)		調整 ナデ→赤色塗彩、2指欠損、右手の可能性も残る		7トレンチ
8	陽型土製品		(7.0)	(3.0)	(2.7)		孔径 推定(0.5) 調整 ナデ→赤色塗彩		え11、カクラン
33	砥石	凝灰岩	(7.6)	(4.4)	(3.8)	(189.36)	上部欠損、砥面数 4、両側に条痕		き7、カクラン
34	敲石	輝石安山岩	(8.3)	(6.1)	(2.9)	(164.96)	被熱あり?(一部黒化)下部欠損、両側に敲打痕		か7
35	敲石	安山岩	(14.7)	(6.3)	(4.7)	(487.63)	下部欠損、稜上に敲打痕		お6
36	磨石	輝石安山岩	5.7	3.5	1.9	59.43	正裏にすり面		お6、カクラン
37	磨・敲石	輝石安山岩	13.1	5.7	3.8	369.60	上下端部と右側に敲打痕、右側と裏面にすり面		か7
38	礎石	輝石安山岩	33.1	40.6	(高さ) 20.5	24420.0	凹径 11.1×14.0 凹深 3.6 中央にくぼみ		か4、カクラン



第27図 A地区 東一本柳遺跡II A地区出土古銭

第14表 東一本柳遺跡II A地区出土古銭一覧表

No.	銭名(字体)	初鑄年(西暦)	時代	法量		背文	出土位置	備考
				直径(mm)	重さ(g)			
1				23.0	3.25		H1 IV区	
2	開元通寶(真)	武徳四年(621)	唐	24.0	3.86		D66	
3	至道元寶(行)	至道元年(995)	北宋	24.5	3.22		D66	
4	咸平元寶(真)	真宗咸平元年(998)	北宋	24.0	3.24		D66	
5	皇宋通寶(篆)	元祐二年(1038)	北宋	24.0	3.33		D66	
6	嘉祐通寶(真)	嘉祐元年(1056)	北宋	24.5	3.33		D66	
7	元祐通寶(篆)	(1086)	北宋	24.0	3.74		D66	
8	元祐通寶(篆)	(1086)	北宋	24.5	3.57		D66	
9	聖宋元寶(篆)	建中靖国元年(1101)	北宋	23.5	3.26		D66	
10	政和通寶(篆)	政和元年(1111)	北宋	24.0	3.55		D66	
11	政和通寶(分楷)	政和元年(1111)	北宋	24.0	4.55		D66	
12				24.0	3.21		P98	
13	元豊通寶(行)	元豊元年(1078)	北宋	23.0	2.50		P104	
14	政和通寶(分楷)	政和元年(1111)	北宋	24.0	3.38		IV-い1	



岩村田遺跡群 東一本柳遺跡Ⅱ A地区全景(東から)



岩村田遺跡群 東一本柳遺跡Ⅱ H2号住居址周辺



H1号住居址 東から



H1号住居址掘方 北から



H1号住居址 カマド



H1号住居址 カマド出土状況



H 2 号住居址 西から



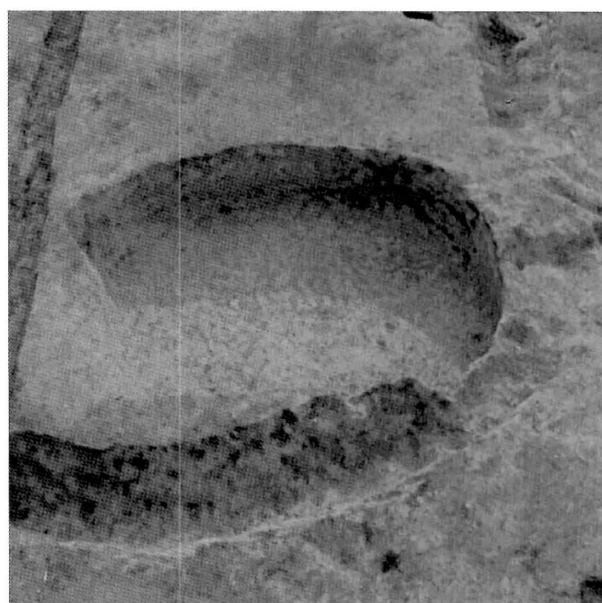
H 2 号住居址掘方 西から



T a 1 号竪穴状遺構 北から



T a 2 号竪穴状遺構 北から



T a 3 号竪穴状遺構 東から

図版四(A地区)



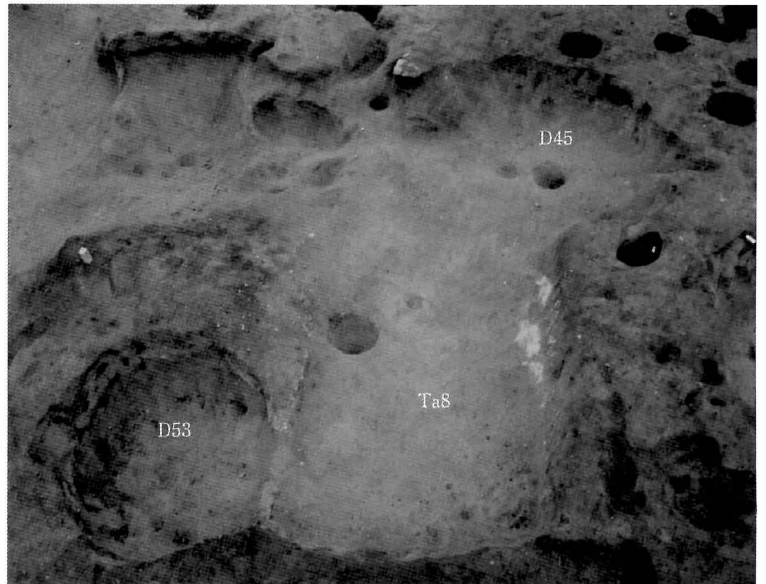
T a 4号竖穴状遺構 北から



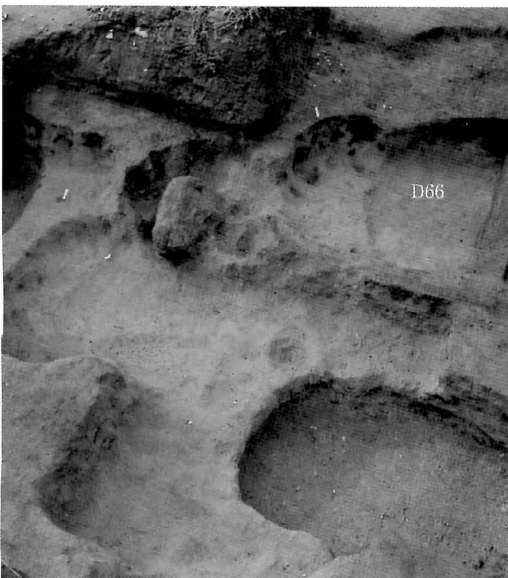
T a 6号竖穴状遺構 西から



T a 7号竖穴状遺構 北から



T a 8号竖穴状遺構 D45号・D53号土坑 北から



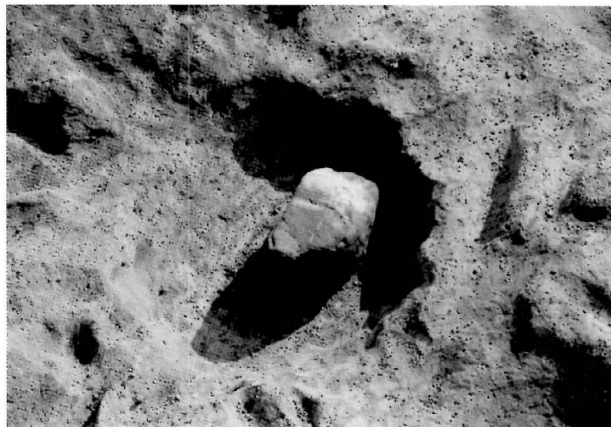
T a 9号竖穴状遺構 南から



T a 10号竖穴状遺構 西から



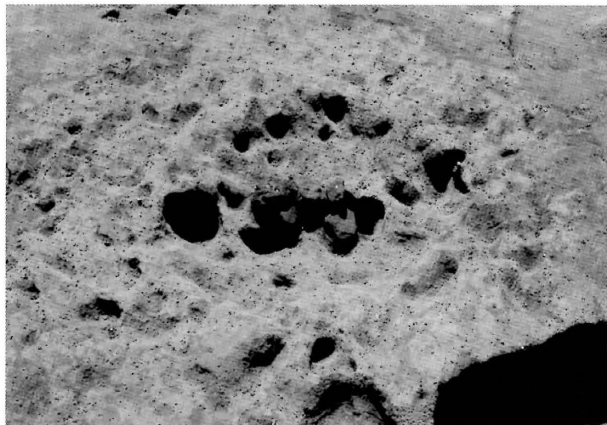
T a11号竖穴状遺構 西から



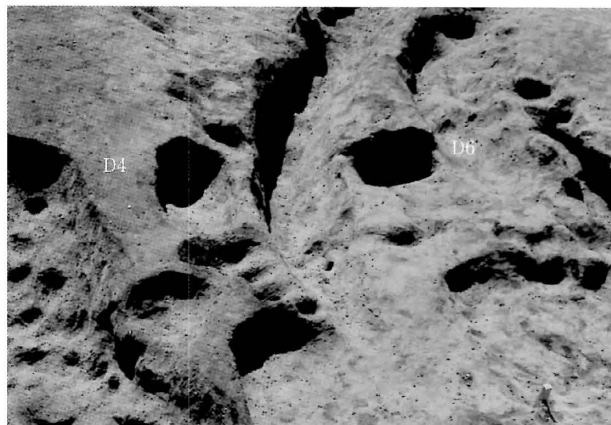
D 1号土坑



D 2号土坑



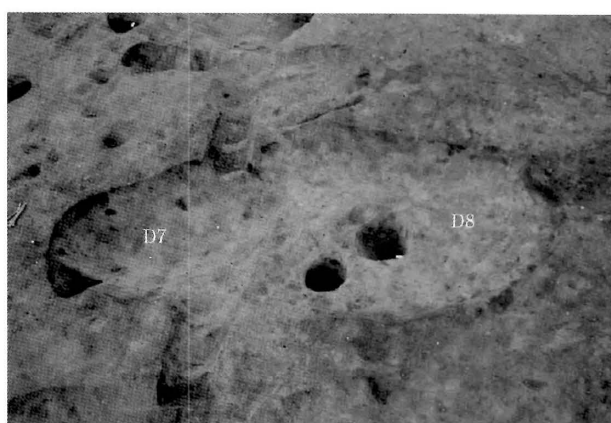
D 3号土坑



D 4号・D 6号土坑 東から

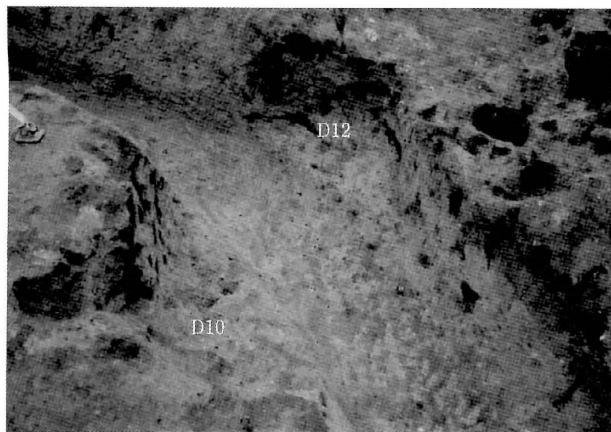


D 5号土坑 南東から

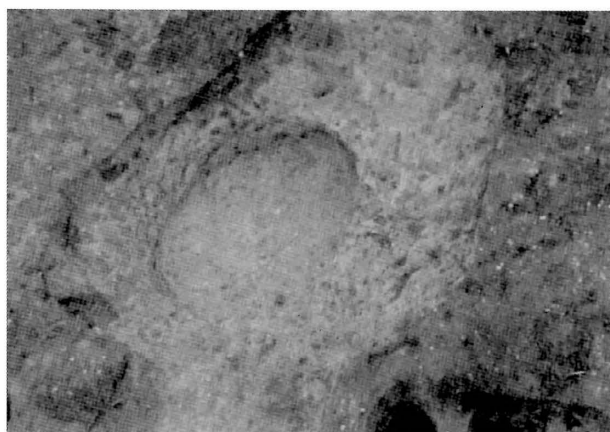


D 7号・D 8号土坑 東から

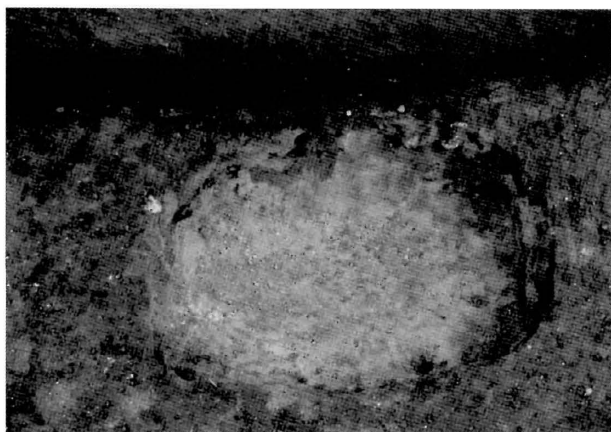
図版六(A地区)



D10号・D12号土坑 西から



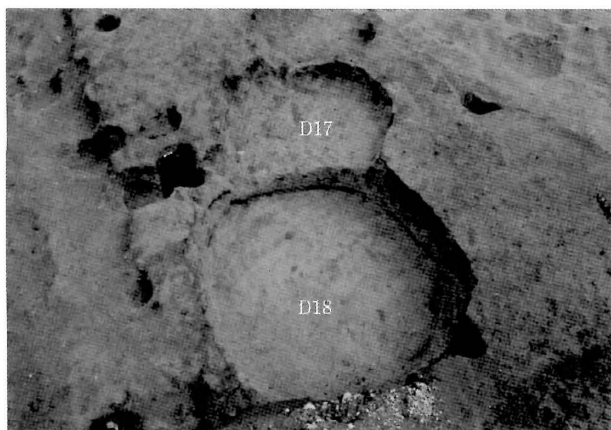
D11号土坑 西から



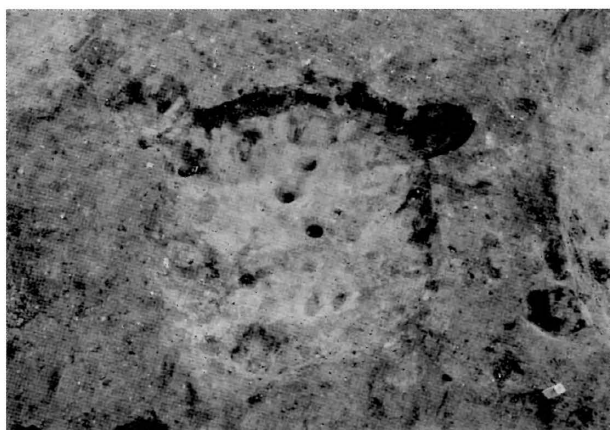
D15号土坑 北から



D16号土坑 南から



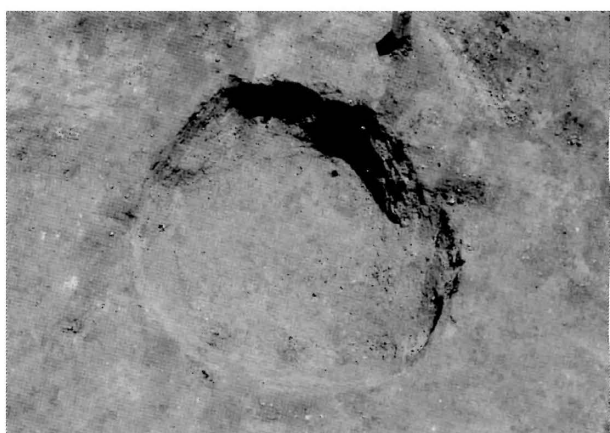
D17号・D18号土坑 南から



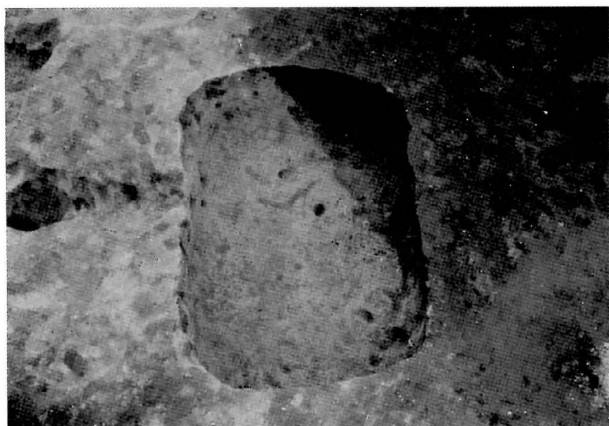
D19号土坑



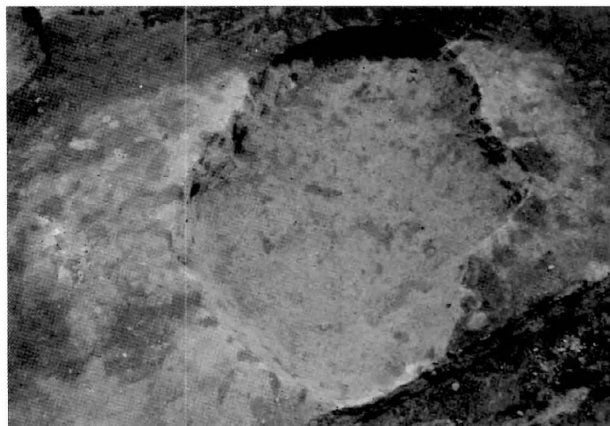
D20号土坑 東から



D21号土坑 西から



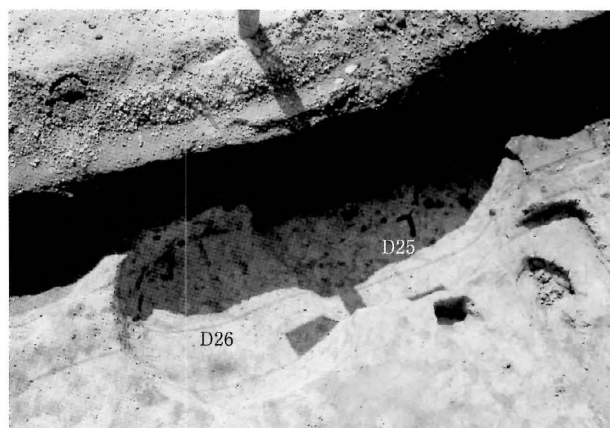
D22号土坑 西から



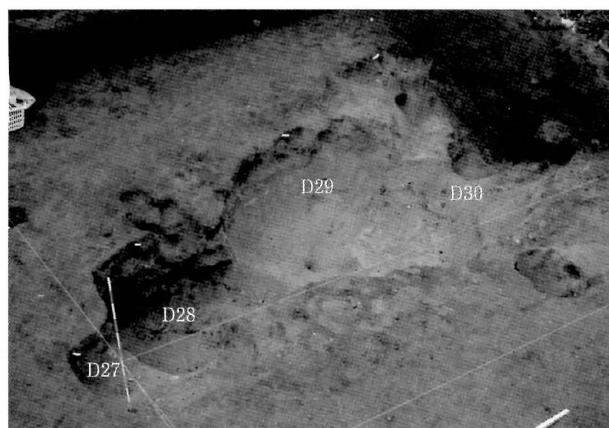
D23号土坑 西から



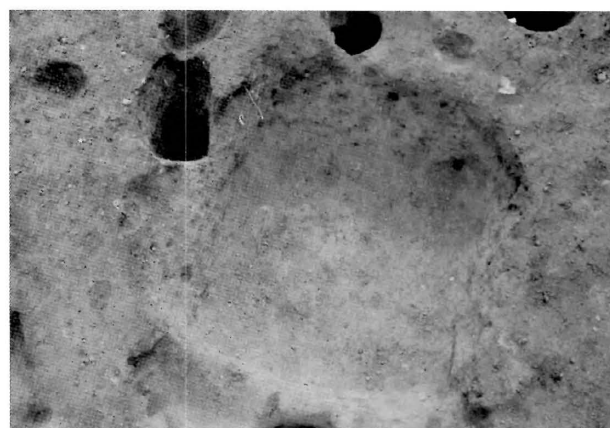
D24号土坑 東から



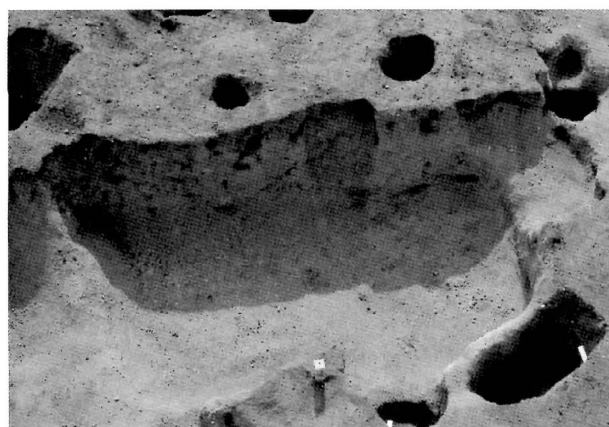
D25号・D26号土坑 東から



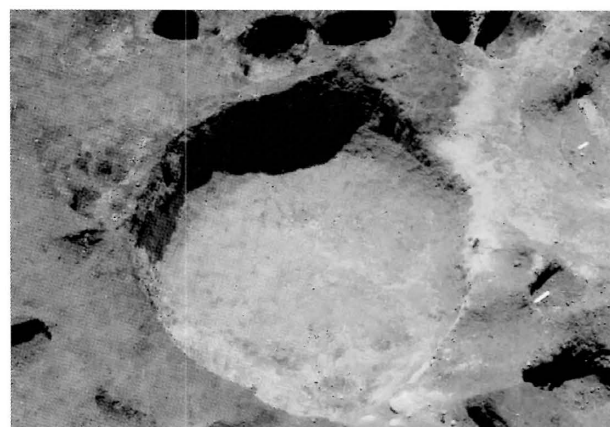
D27号・D28号・D29号・D30号土坑 北から



D31号土坑 西から

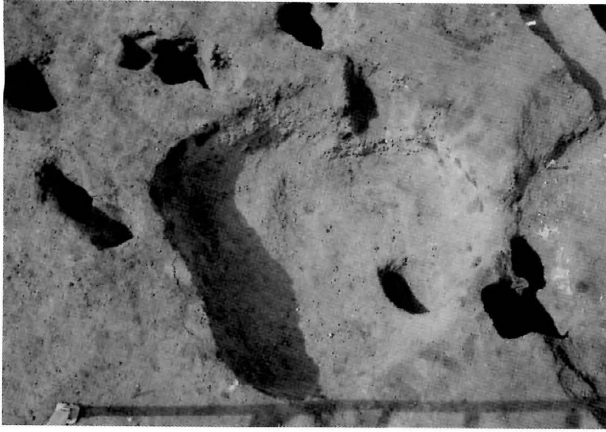


D32号土坑 西から

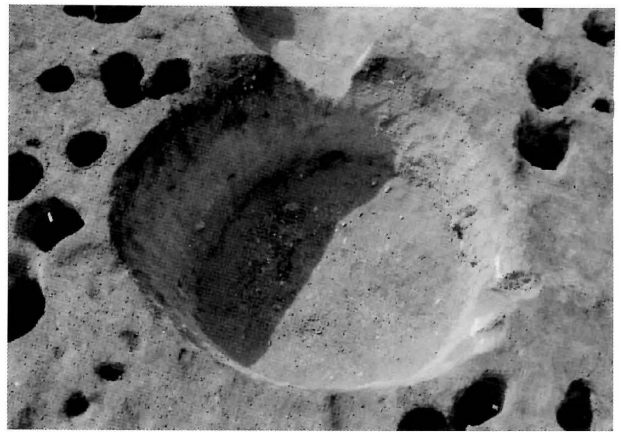


D33号土坑 西から

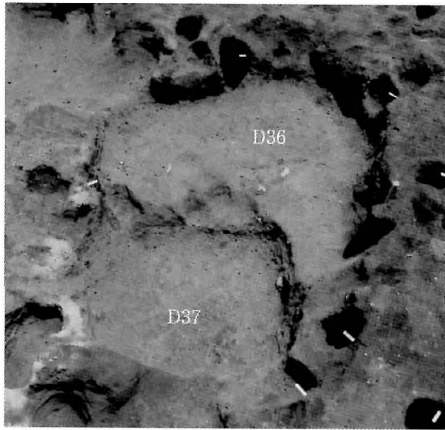
図版八(A地区)



D34号土坑 北から



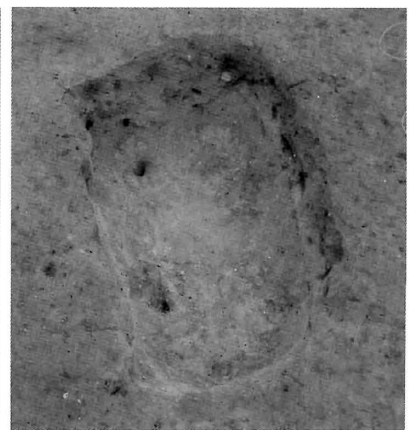
D35号土坑 北から



D36号・D37号土坑 西から



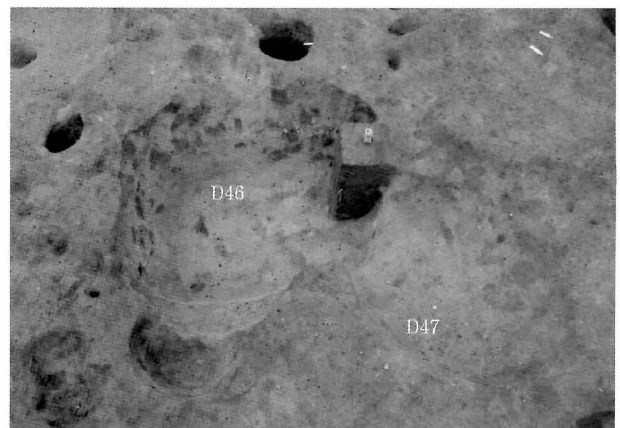
D38号土坑 北から



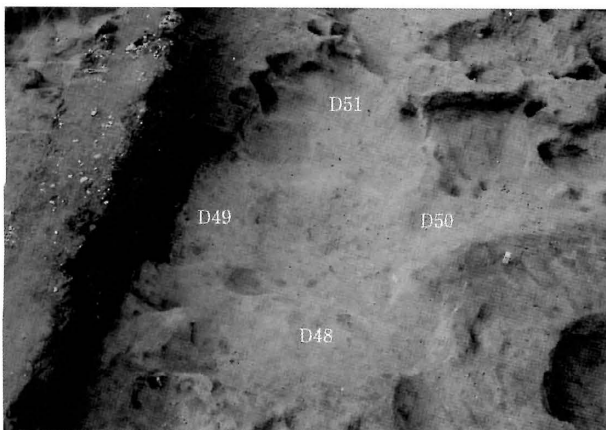
D39号土坑 東から



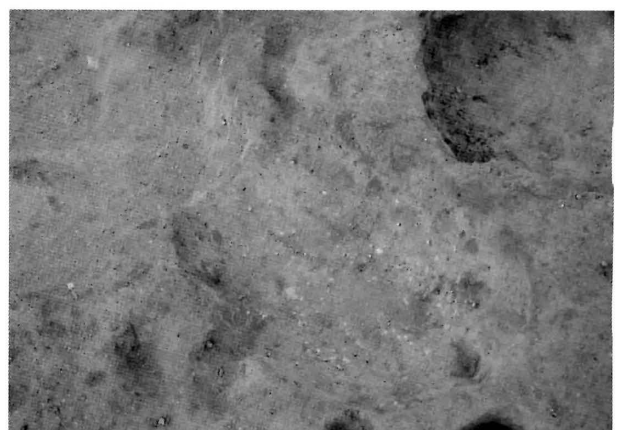
D40号土坑 南から



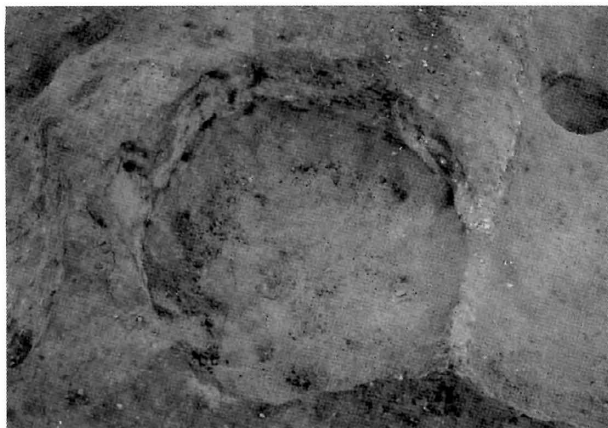
D46号・D47号土坑 北から



D48号・D49号・D50号・D51号土坑 北から



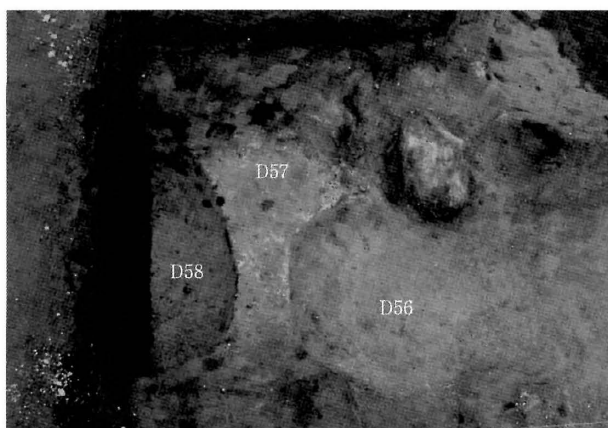
D52号土坑 北から



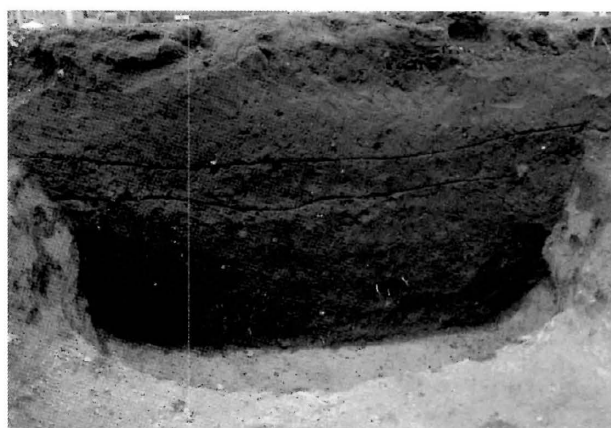
D53号土坑 北から



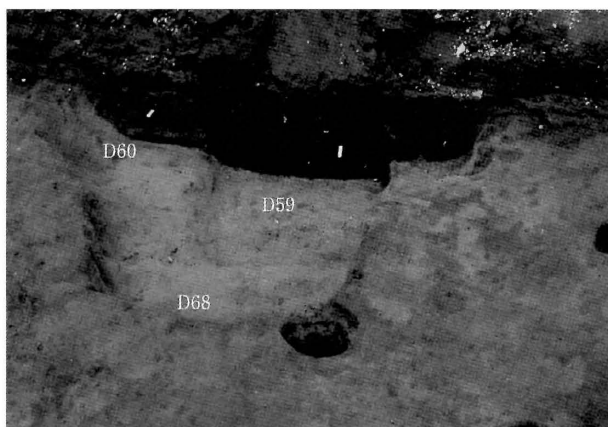
D54号土坑 東から



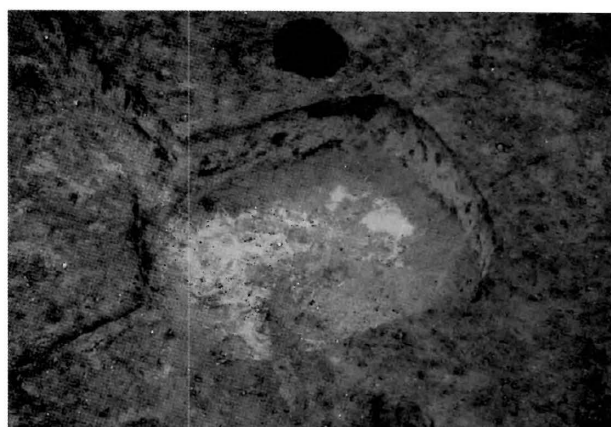
D56・D57・D58号土坑 南から



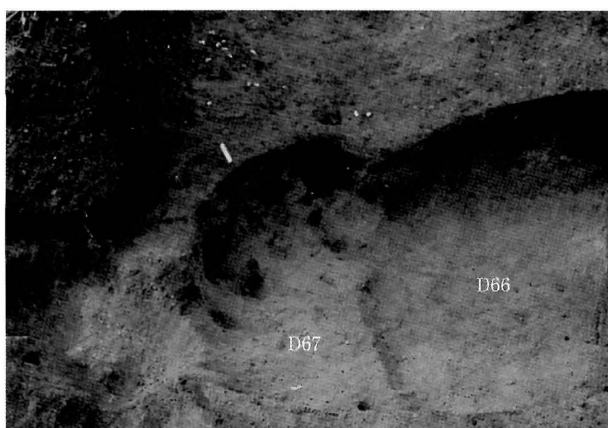
D58号土坑 東から



D59号・D60号・D68号土坑 東から



D61号土坑 西から



D66号・D67号土坑 南から



D66号土坑遺物出土状況



M1号溝状遺構 東から



M2号溝状遺構 東から



M2号溝状遺構 東から



M2号溝状遺構 東から



M2号溝状遺構 西から



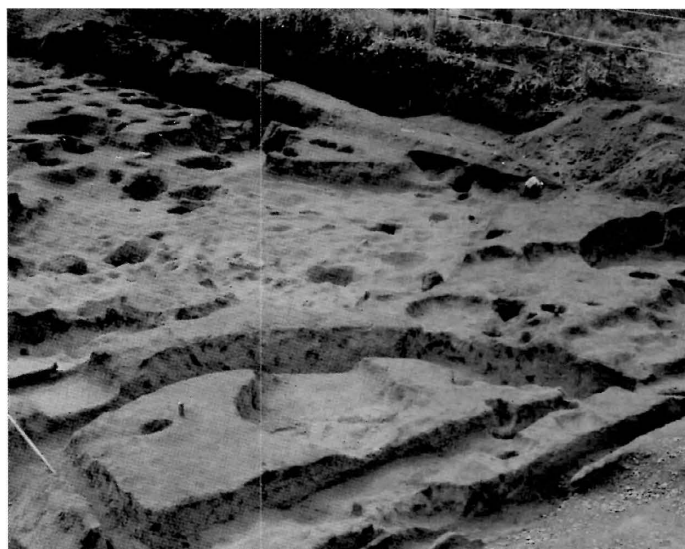
M3号溝状遺構 北から



M3号溝状遺構 北から



M4号溝状遺構 東から



M5号溝状遺構付近



M4号・M5号・M6号・M7号・M8号溝状遺構・Ta7号竪穴状遺構 北から



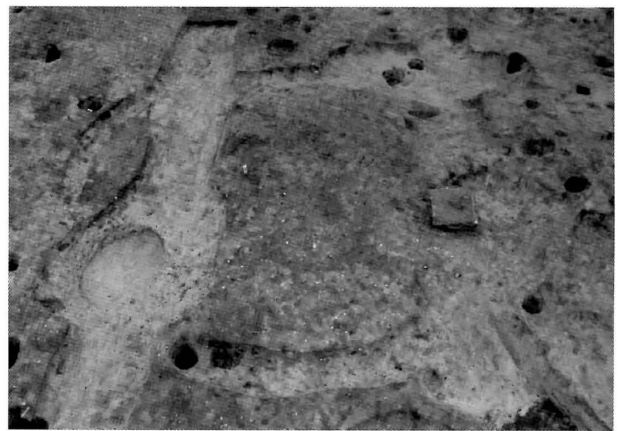
M5号溝状遺構 北から



M4号・M6号・M7号・M8号溝状遺構



M9号溝状遺構 北から



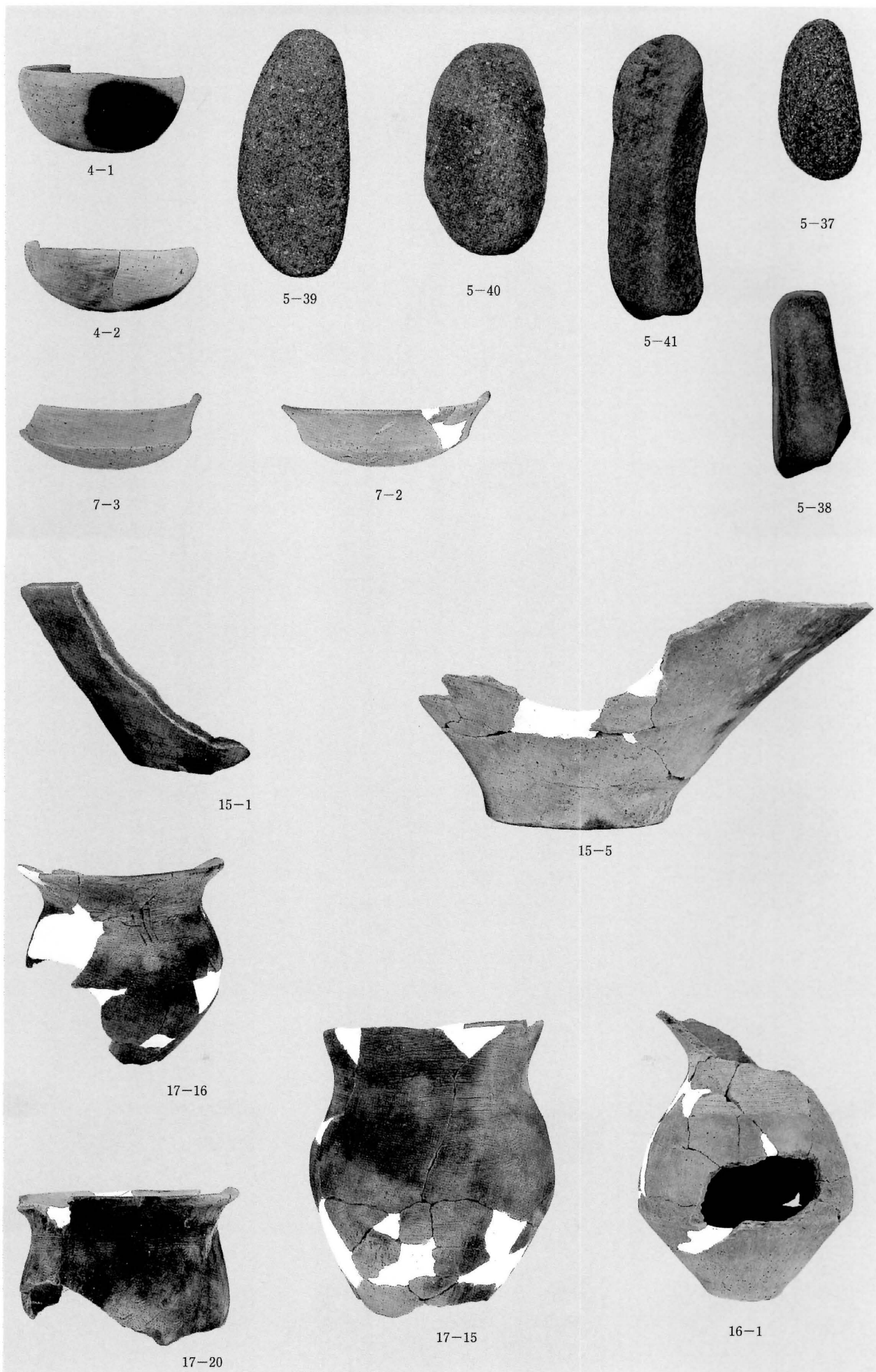
M10号溝状遺構 西から



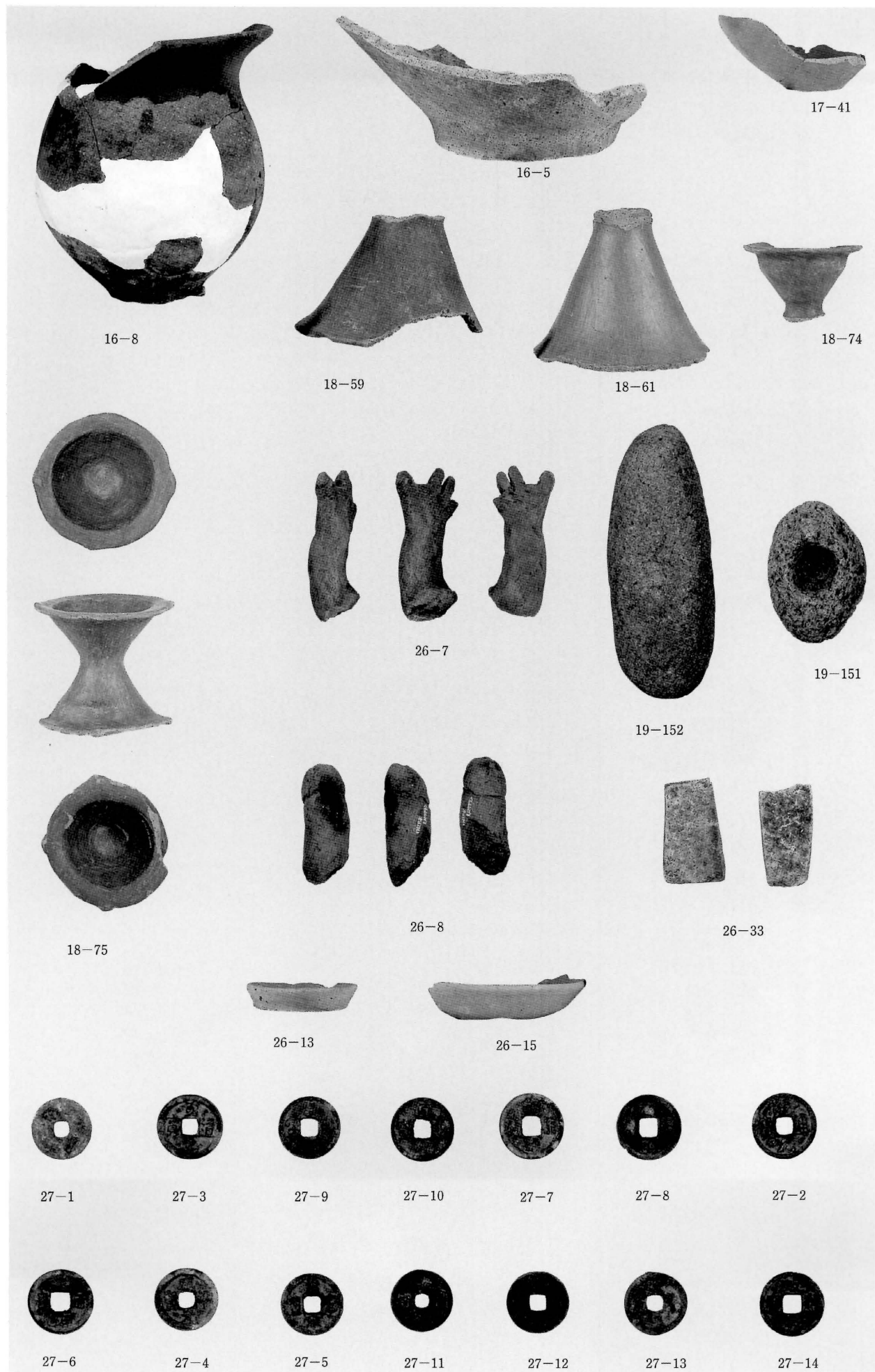
調査風景



全景 西から



图版十四(A地区)



第IV章 B地区調査の概要

第1節 調査体制

調査担当者	上原 学
調査員	浅沼勝男 阿部和人 安藤孝司 江原富子 小幡弘子 風間敏 狩野小百合 木内勇 小井戸秀元 小林百合子 堺益子 清水澄生 清水律子 滝沢三男 田中ひさ子 土屋武士 中嶋フクジ 中條勝良 比田井久美子 日向昭次 広瀬梨恵子 武者幸彦 由井重明 柳澤孝子 横尾敏雄 依田三男 渡辺長子 渡辺学

第2節 調査日誌

平成22年度

現場作業

8月9日～機材準備・防砂ネット設置。

8月10日～東側調査区表土除去・搬出作業開始。ハウス・トイレ設置。

8月18日～調査員による発掘調査開始。検出作業・遺構掘り下げ・図面作成・写真撮影。
基準杭設定作業。

9月7日 ハウス・トイレの移動。機材整理。

9月9日 西側調査区の表土除去作業開始。東側調査区調査終了。

9月9日～調査員による西側調査区発掘調査開始。検出作業・遺構掘り下げ・図面作成
・写真撮影。基準杭設定。

室内整理作業

11月22日～3月31日 遺物洗浄・注記・接合・図面修正・写真整理。

平成23年度

現場作業

10月11日～重機により、東側調査区の表土除去作業開始。駐車場造成・ハウス・トイレ設置。

10月12日～発掘調査機材準備・搬入。

10月13日～10月26日 調査員による発掘調査開始。検出作業・遺構掘り下げ・図面作成・写真撮影。
基準杭設定作業。

10月28日～重機により、西側調査区の表土除去作業開始。

10月31日～調査員による発掘調査開始。検出作業・遺構掘り下げ・図面作成・写真撮影。
基準杭設定作業。

室内整理作業

4月11日～ 室内整理作業。図面修正、写真整理、遺物注記・接合・復元・実測。

平成24年度

4月6日～ 室内整理作業。実測・遺構遺物トレース・遺構遺物図版作成・遺物実測・原稿作成。

平成25年度

5月21日～3月31日 室内整理作業。図版・原稿作成・校正。印刷製本。遺物・図面収納。

第3節 検出遺構・遺物の概要

平成22年度

遺構	縦穴住居址	4軒	古墳時代
	縦穴状遺構	3基	中近世
	井戸跡	2基	中近世
	溝状遺構	2条	古墳～近世
	土坑	65基	
	ピット	388個	

遺物	縄文土器片 中期・後期
	弥生土器(壺・甕)
	土師器(坏・高坏・甕・壺・甑)
	須恵器(坏)
	古銭(至道元寶・不明品)
	石製品・石器(砥石・すり石・敲石・五輪塔)
	陶磁器・土鍋

平成23年度

遺構	縦穴住居址	4軒	古墳時代
	(1軒はH22調査のH1と同一住居)		
	掘立柱建物址	3棟	古墳時代?
	溝状遺構	1条	中世
	ピット	13個	

遺物	弥生土器(壺・甕)
	土師器(坏・高坏・甕・壺・甑)
	石製品・石器(勾玉・管玉・白玉・石製模造品・すり石・敲石)

第4節 基本層序

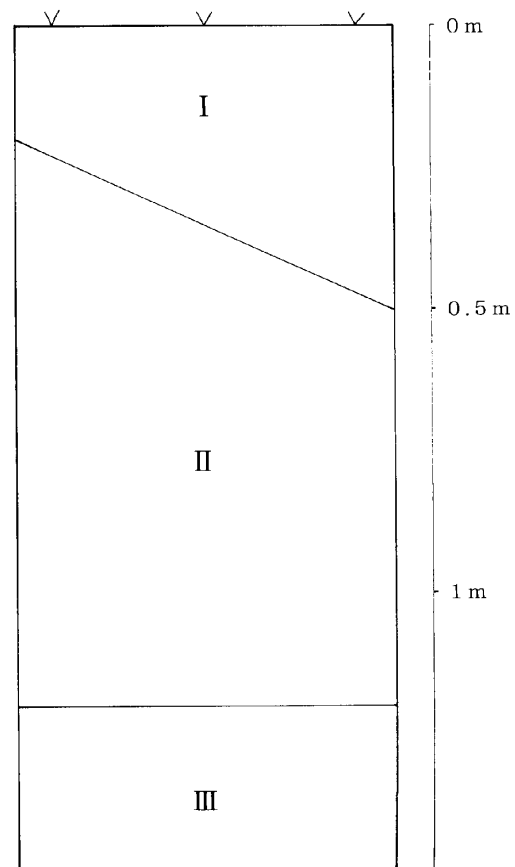
遺跡は、湯川からの比高差20m内外を測る右岸段丘端部から北方100mの地域に立地する。周辺の地層は基本的には北方に聳える浅間山の噴火による軽石流二次堆積物及び砂礫等の段丘堆積物が主体となる状況で、この上面に現在の表土が覆う形となっている。

今回調査を実施した地域の基本層序は以下のとおりである。

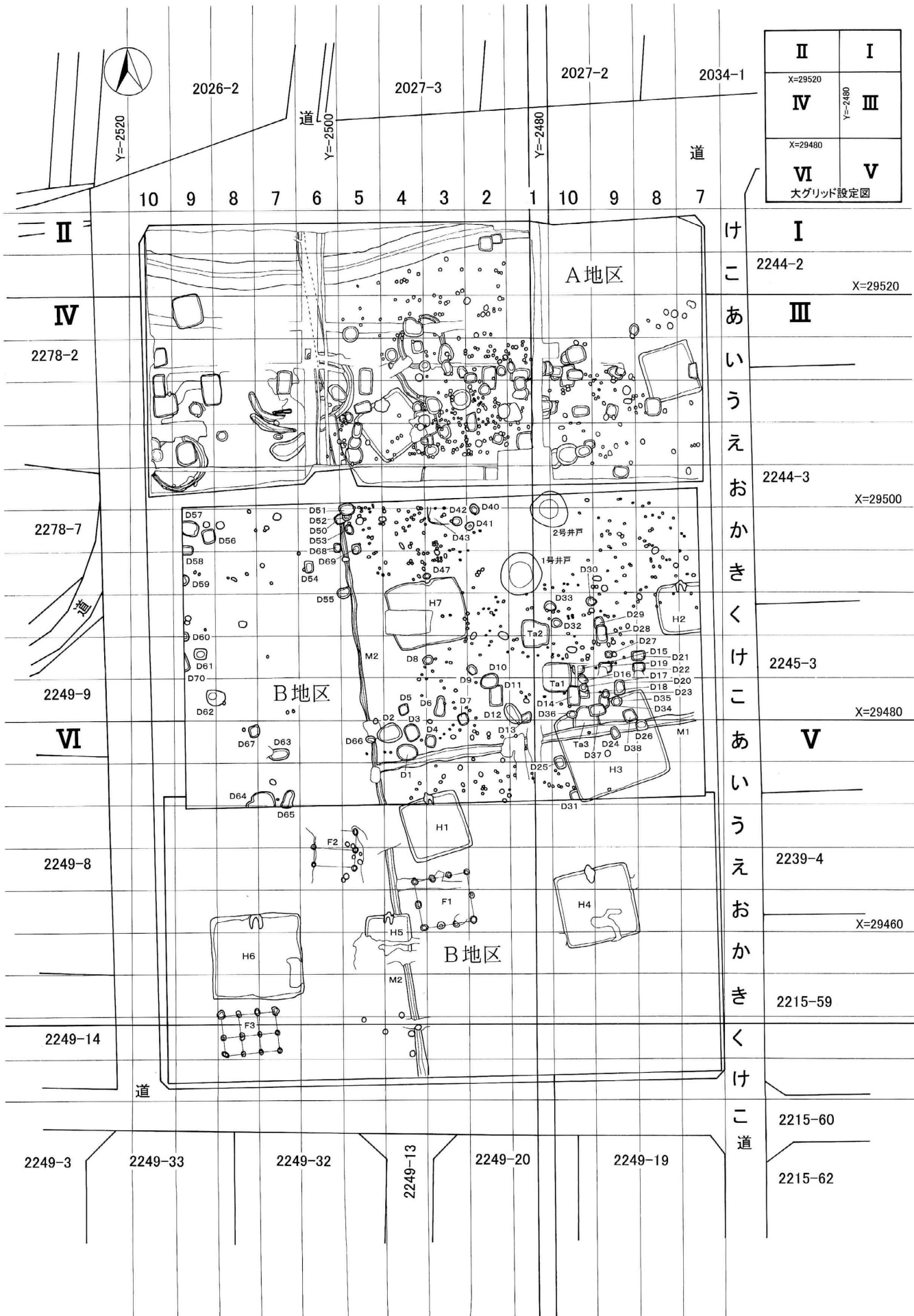
I層は層厚20～50cmを測る表土または市営住宅解体後の整地層である。

II層は層厚最大1mを測る調査区中央をおよそ東西方向に堆積する谷状の黒褐色土層である。今回の調査では、黒色土周辺の攪乱が著しいことから遺構の確認は黒色土除去後に実施したが、状態が良好であれば黒色土上面で可能と思われる。B地区北半部に主体的に認められる層である。

III層は軽石流二次堆積物である黄褐色ロームである。遺構確認はこの上面で実施した。



基本層序模式図



東一本柳遺跡Ⅱ全体図

第V章 B地区遺構と遺物

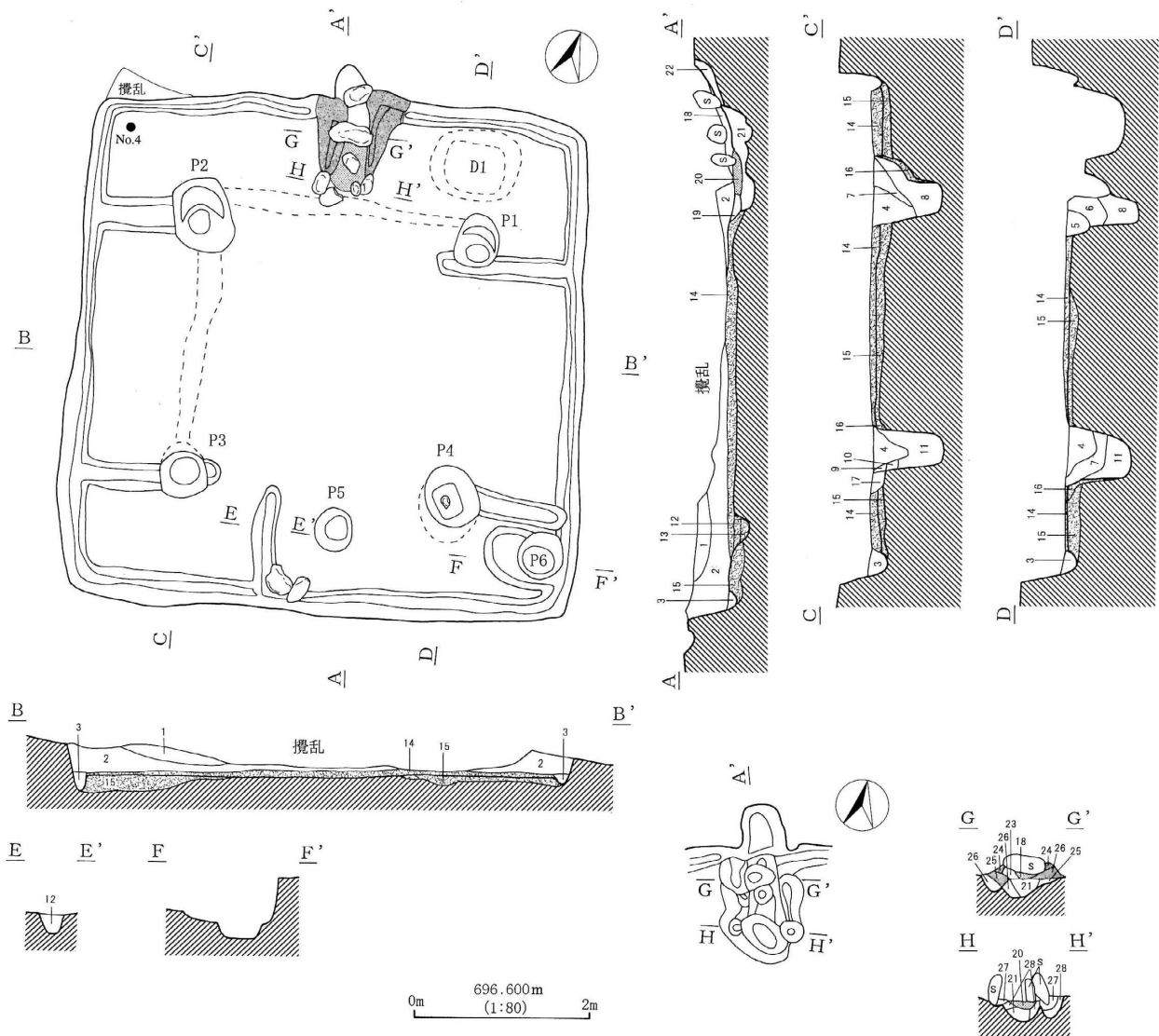
第1節 竪穴住居址(H)

H1号住居址

遺構はVI-4-うグリッドに位置する。開発事業の関係から北側の一部と南西側の調査はH22・23年度に分けて実施した。H23年度分の上部は攪乱によって覆土の多くが床面近くまで削り取られていた。

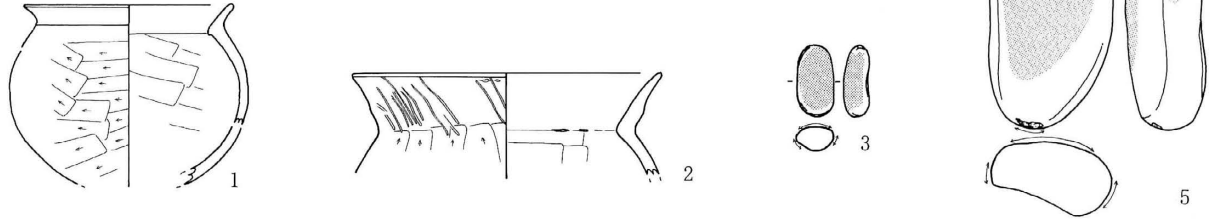
全体の調査規模は、南北5.6m、東西5.6m、検出面から床面までの深さは最大0.35mを測る。平面形態は方形である。床面は硬質で、壁際に幅10cm、深さは12cm内外の溝がカマド部を除き掘り込まれている。ピットは床面上で6個確認でき、P1～4が主柱穴で、柱穴から壁に向かって延びる間仕切状の溝が存在した。北東コーナーには、貯蔵穴と思われる土坑が掘方で確認できた。実際は床面上から掘り込まれていたと推察される。カマドは北壁の中央に構築されていた。両袖は粘土を主とし、先端部には川原石が埋め込まれ、天井に利用したと考えられる石材が一部残存していた。火床には径35cm、厚さ8cmの焼土が堆積しており、北端付近に自然石を利用した支脚石が設置されていた。掘方は上面に硬質の貼り床が存在し、直下にやや締まりのある暗褐色土が埋め込まれていた。

遺物は土師器小型甕、敲石、すり石、石製勾玉が出土した。本住居址の時期は土器の特徴から、古墳時代中期末から後期としたい。



H1号住居址遺構実測図

- 1 黒褐色土層 (10YR2/3) 礫・軽石・炭化物含む。
- 2 暗褐色土層 (10YR3/4) 礫多い。軽石・炭化物含む。
- 3 暗褐色土層 (10YR3/3) 礫・軽石含む。しまりなし。
- 4 暗褐色土層 (10YR3/3) 礫・砂・軽石・炭化物含む。
- 5 暗褐色土層 (7.5YR3/3) 礫・軽石・炭化物・焼土含む。
- 6 黒褐色土層 (10YR2/3) 礫・軽石・炭化物・焼土含む。
- 7 黒褐色土層 (10YR3/2) 礫・砂・軽石・炭化物含む。
- 8 褐色土層 (10YR4/4) 礫多く、砂・軽石含む。
- 9 黒褐色土層 (10YR2/3) 礫・軽石少量含む。
- 10 黄褐色土層 (10YR5/6) 礫・砂・軽石含む。
- 11 にぶい黄褐色土層 (10YR4/3) 砂主体。暗褐色土含む。
- 12 暗褐色土層 (10YR3/3) 礫・軽石・砂含む。
- 13 褐色土層 (10YR4/4) 礫多く含む。
- 14 褐色土層 (7.5YR4/3) 礫多く含む。硬質(床)。
- 15 暗褐色土層 (7.5YR3/4) 礫やや多く含む。やや硬質。
- 16 にぶい黄褐色土層 (10YR4/3) 礫・軽石含む。
- 17 黒褐色土層 (10YR2/3) 礫・砂・軽石含む。硬質。
- 18 暗褐色土層 (10YR3/3) 焼土層。
- 19 黒褐色土層 (7.5YR2/2) 灰・焼土・粘土・炭化物含む。
- 20 暗赤褐色土層 (2.5YR3/3) 焼土層。
- 21 暗赤褐色土層 (5YR3/2) 礫・焼土含む。
- 22 暗褐色土層 (7.5YR3/4) 礫・砂・粘土含む。
- 23 暗赤褐色土層 (2.5YR3/6) 袖の内壁が焼土化。
- 24 暗赤褐色土層 (5YR3/3) 一部焼土化。粘土層。
- 25 極暗赤褐色土層 (5YR2/3) 粘土層。焼土含む。
- 26 黒褐色土層 (5YR2/2) 礫粒・焼土少量含む。
- 27 極暗赤褐色土層 (5YR2/3) 炭化物・焼土・粘土含む。
- 28 暗褐色土層 (10YR3/4) 炭化物・粘土含む。



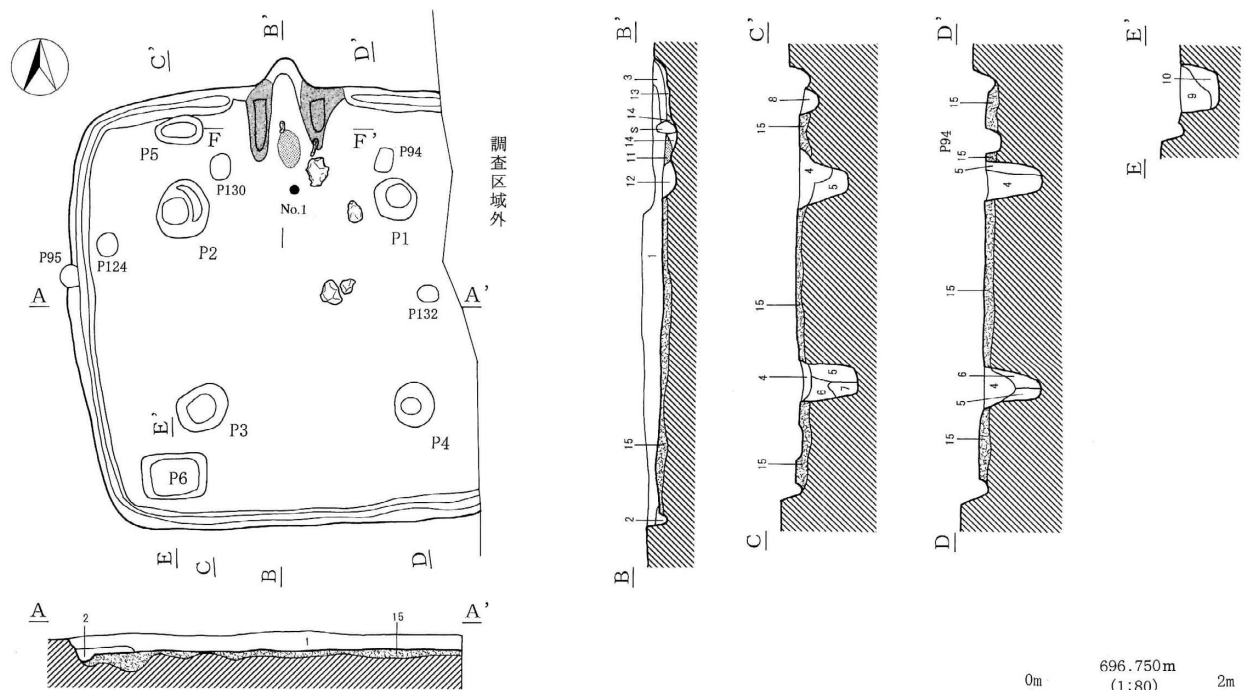
H 1 号住居址遺構・遺物実測図

番号	器種	器形	口径cm	底径cm	器高cm	調整・文様		残存率・部位	焼成	色調(外面)	備考
1	土師器	甕	[11.7]	-	(9.5)	口縁内外面横ナデ 外面ヘラケズリ 内面ナデ		口縁破片	良	5YR5/2 灰褐色他	Ⅱ区出土
2	土師器	甕	[16.2]	-	(5.3)	口縁内外面横ナデ 外面ヘラケズリ・ミガキ		口縁破片	良	5YR5/6 明赤褐色	Ⅱ区出土
番号	器種	器形	長さcm 長径cm	幅cm 短径cm	厚さcm 高さcm	重量g	色調	備考			
3	石器	すり石	3.7	2	1.3	3.02	2.5YR4/3他に にぶい赤褐色	正面裏にすり面 全体に滑らか Ⅰ区出土			
4	石製品	勾玉	2.8	1.7	0.35	14.4	10Y6/1 灰色	孔径0.4×0.2cmの楕円形 Ⅱ区出土			
5	石器	すり・敲石	13	6.5	4	511.86	5Y6/1 灰色	正面裏・側面にすり面 上下端部に敲打痕 Ⅲ区掘方から出土			

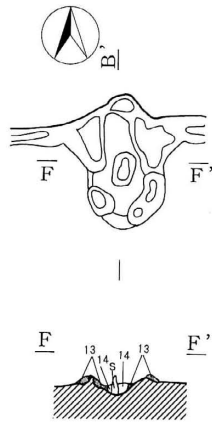
H 1 号住居址遺物観察表

[]推定値・〈 〉残存値

H 2 号住居址



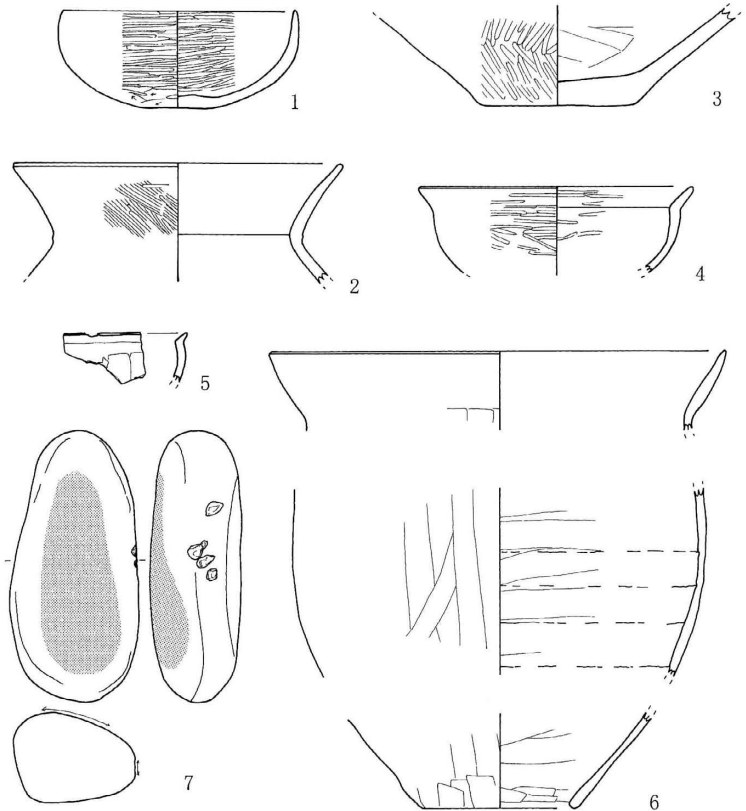
H 2 号住居址遺構実測図(1)



H 2 号住居址遺構実測図(2)

- 1 黒褐色土層 (10YR2/3) 0-1粒・軽石・炭化物含む。
- 2 暗褐色土層 (10YR3/4) 0-1粒・軽石・炭化物含む。
- 3 暗赤褐色土層 (5YR3/4) 0-1粒・軽石・炭化物・焼土・粘土粒含む。
- 4 暗褐色土層 (10YR3/3) 0-1粒・軽石含む。しまりなし。
- 5 暗褐色土層 (10YR3/4) 0-1粒・軽石含む。しまりなし。
- 6 褐色土層 (10YR4/4) 0-1粒主体。しまりなし。
- 7 暗褐色土層 (7.5YR3/3) 0-1粒・軽石含む。しまりなし。
- 8 暗褐色土層 (7.5YR3/4) 0-1粒・軽石含む。しまりなし。
- 9 暗褐色土層 (10YR3/3) 0-1粒・軽石・炭化物含む。しまりなし。
- 10 暗褐色土層 (10YR3/4) 0-1粒・軽石・炭化物含む。しまりなし。
- 11 暗赤褐色土層 (5YR3/4) 焼土層。
- 12 黒褐色土層 (5YR2/2) 0-1粒・粘土含む。
- 13 極暗褐色土層 (7.5YR2/3) 粘土・焼土含む。
- 14 暗褐色土層 (7.5YR3/3) 焼土・粘土含む。
- 15 にぶい黄褐色土層 (10YR4/3) 0-1粒主体。上面硬質。暗褐色土少量含む。

遺構はⅢ-8-くグリッドに位置し、東側の一部は調査区域外となる。規模は南北4.6m、東西は調査規模で4.4m、確認面から床面までの深さは最大0.25mを測る。平面形態は方形と思われる。床面は硬質で壁際に幅15cm内外、深さ12cm内外の溝がカマド部を除き掘り込まれている。ピットは床面上で6個確認でき、P 1～4が支柱穴である。カマドは北壁に構築され、粘土で構築された両袖が一部残存していた。東袖の先端部には扁平な石材が埋め込まれ、火床の北端部に自然石を利用した支脚石が設置されていた。火床と思われる位置には長径40cm、厚さ6cmの厚みで焼土が堆積していた。掘方は2～8cmの厚みでにぶい黄褐色土が埋め込まれ、上面に硬質面を持つ。



H 2 号住居址遺物実測図

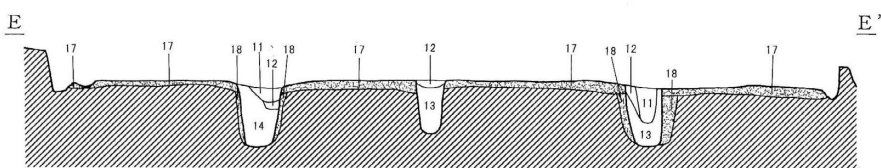
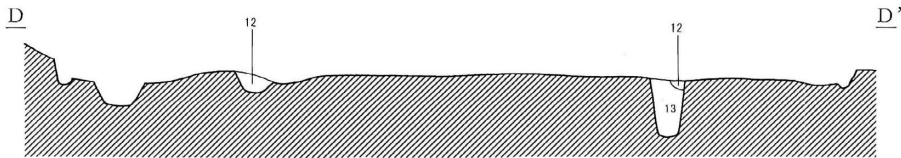
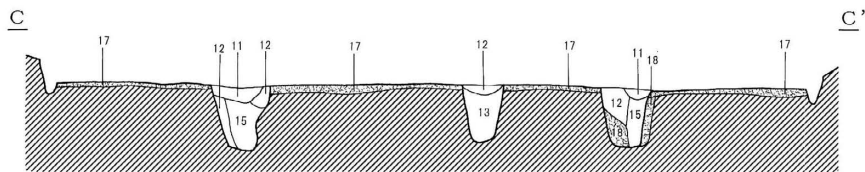
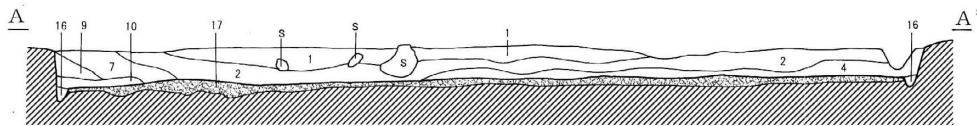
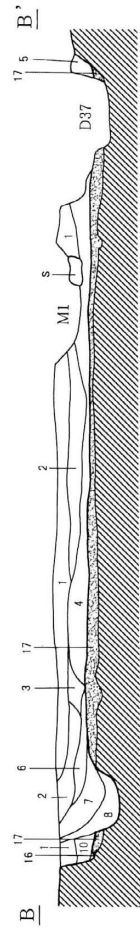
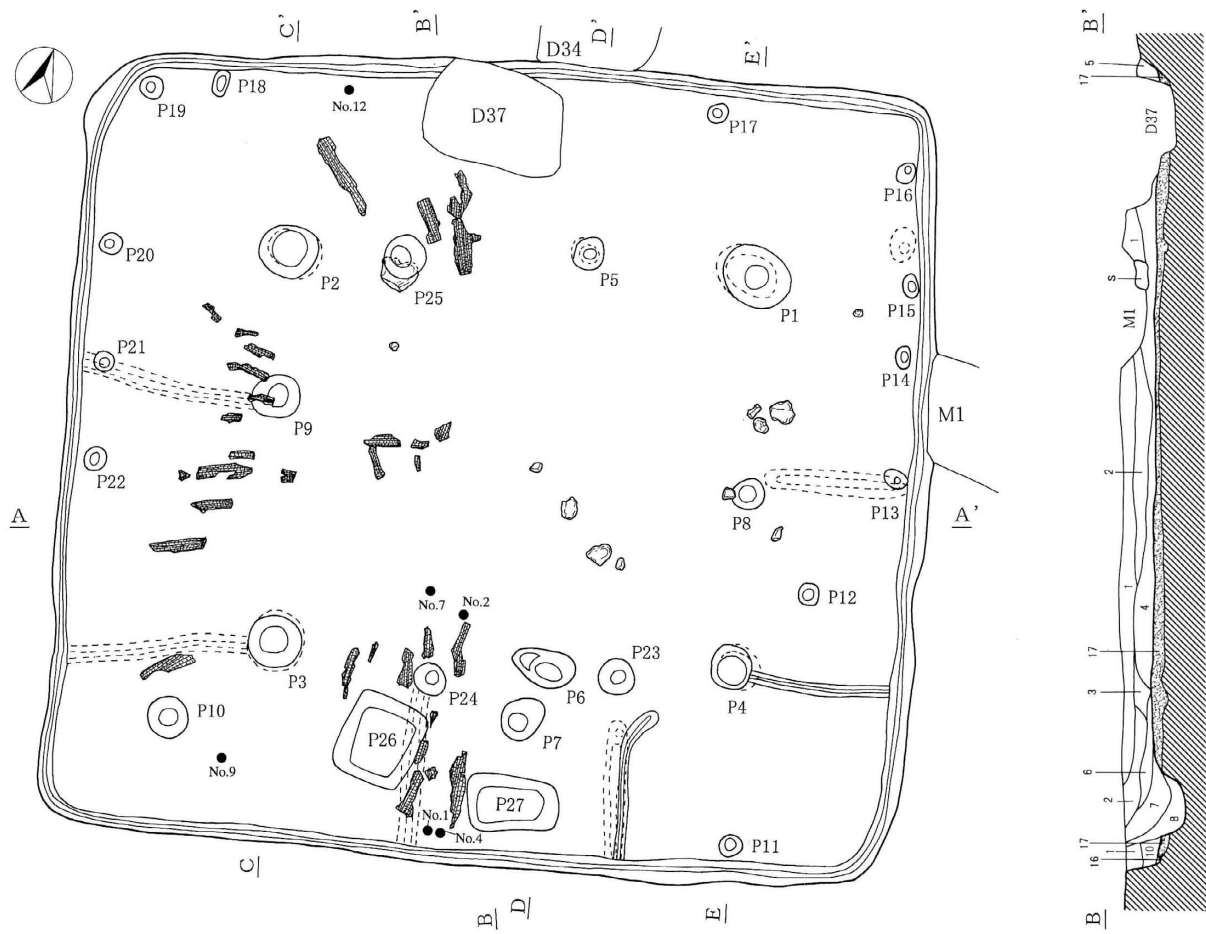
遺物は土師器の坏・甕・甔、敲石が出土した。土師器坏は丸底で口縁が素直に立ち上がる形態、口縁端部が僅かに外反する形態、口縁がヘルメット状に外反する形態が存在した。甕は表面にケズリを施す胴丸の形態である。本住居址の時期は、土師器坏の形態と長胴化した甕が見あたらないことから5世紀後葉から6世紀初め、古墳時代の中期末から後期初頭としたい。

番号	器種	器形	口径cm	底径cm	器高cm	調整・文様		残存率・部位	焼成	色調(外面)	備考
1	土師器	坏	12.3	丸底	5.1	口縁横ナデ	外面底部から体部へラケズリ・ミガキ	99	良	5YR4/6 赤褐色	I区出土
2	土師器	甕	17.4	-	(6.3)	口縁横ナデ・ハケナデ	胴部外面へラケズリ・ナデ	口縁・頸部周辺	良	7.5YR5/3 にぶい褐色	I区出土
3	土師器	壺	-	[8]	(5.1)	外面へラケズリ・ナデ	内面ハケナデ 底部へラケズリ	底部～胴下部	良	5YR5/3 にぶい赤褐色	I区出土
4	土師器	坏	[14.4]	-	(4.5)	口縁横ミガキ	外面体部ミガキ 内面ミガキ一部剥離	口縁～体部	良	5YR5/6 明赤褐色	II区出土
5	土師器	坏	-	-	(2.6)	口縁横ナデ	外面体部へラケズリ 内面ナデ	口縁～体部	良	2.5YR5/6 明赤褐色	III区出土
6	土師器	甔	[24.2]	(8.2)	-	口縁横ナデ	胴部外面へラケズリ 内面へラナデ 底部単孔	口縁～底部 破片	良	10YR6/3 にぶい黄褐色	III・IV区出土
番号	器種	器形	長さcm	幅cm	厚さcm	重量g	色調	備考			
7	石器	すり・敲石	14.2	6.9	4.8	688.44	7.5YR7/2 明褐色	正面にすり痕跡 側面に敲打痕跡			

H 2 号住居址遺物観察表

[] 推定値 < > 残存値

H 3 号住居址



0m 696.750m (1:80) 2m

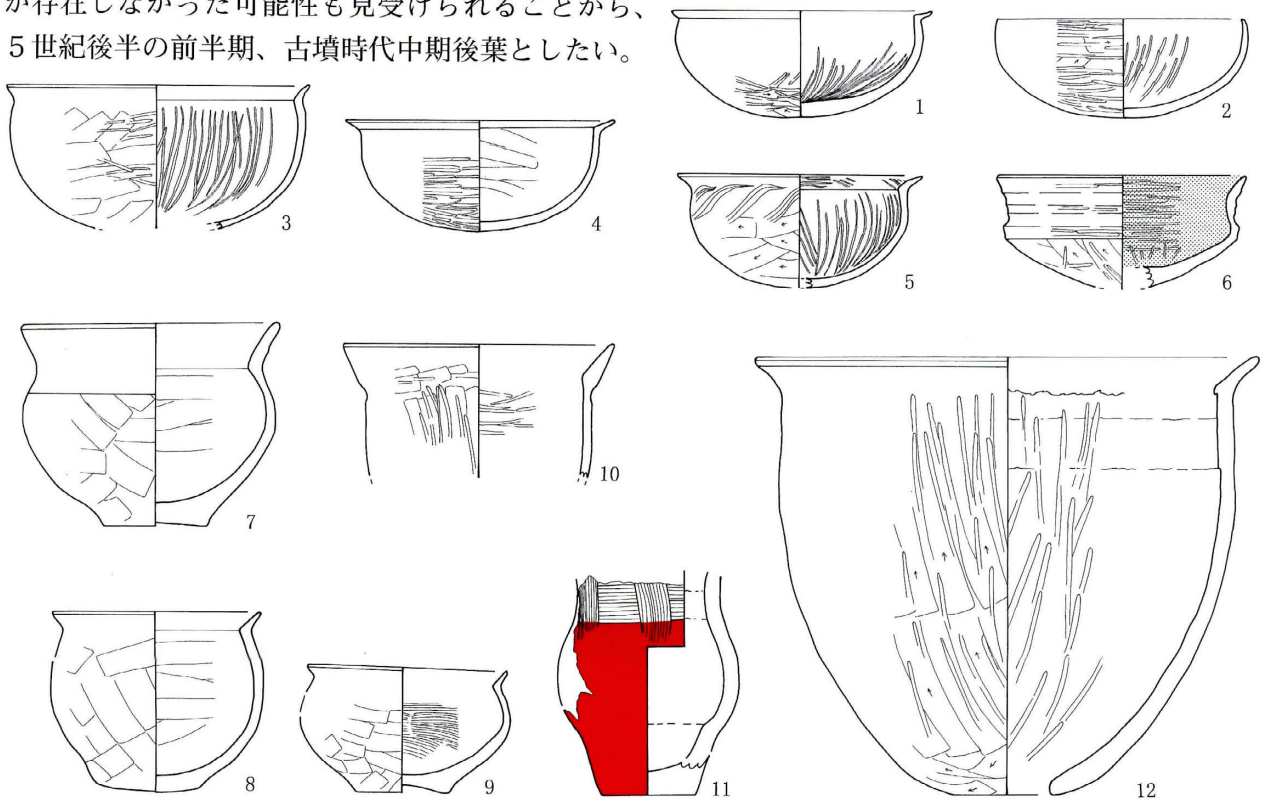
H 3 号住居址遺構実測図

- 1 黒褐色土層 (10YR2/3) 0-M粒・炭化物・軽石含む。
- 2 暗褐色土層 (10YR3/3) 0-M粒多く、炭化物・軽石含む。
- 3 黒褐色土層 (10YR2/3) 0-M粒・軽石・炭化物・焼土含む。
- 4 暗褐色土層 (10YR3/4) 0-M粒多く、炭化物・軽石含む。
- 5 黒褐色土層 (10YR2/3) 0-M粒多く、炭化物・軽石・焼土・粘土含む。
- 6 黒褐色土層 (10YR2/2) 炭化物多く含む。
- 7 にぶい黄褐色土層 (10YR4/3) 0-M多く含む。
- 8 黒褐色土層 (10YR2/3) 0-M含む。黒褐色土との混合土。
- 9 暗褐色土層 (10YR3/4) 0-M・軽石・炭化物含む。しまりなし。
- 10 褐色土層 (10YR4/6) 0-M7°ロック・暗褐色土含む。
- 11 黒褐色土層 (10YR2/3) 0-M・炭化物・軽石・砂やや多く含む。しまりなし。
- 12 暗褐色土層 (10YR3/4) 0-M主体。しまりなし。
- 13 にぶい黄褐色土層 (10YR4/3) 砂多く含む。しまりなし。
- 14 暗褐色土層 (10YR3/3) 0-M・砂・軽石・炭化物含む。
- 15 暗褐色土層 (10YR3/3) 0-M・軽石・炭化物含む。
- 16 暗褐色土層 (10YR3/3) しまりなし。(周溝)
- 17 にぶい黄褐色土層 (10YR4/3) 0-M主体。炭化物含む。上面一部硬質。
- 18 暗褐色土層 (10YR3/4) 0-M主体。しまりなし。

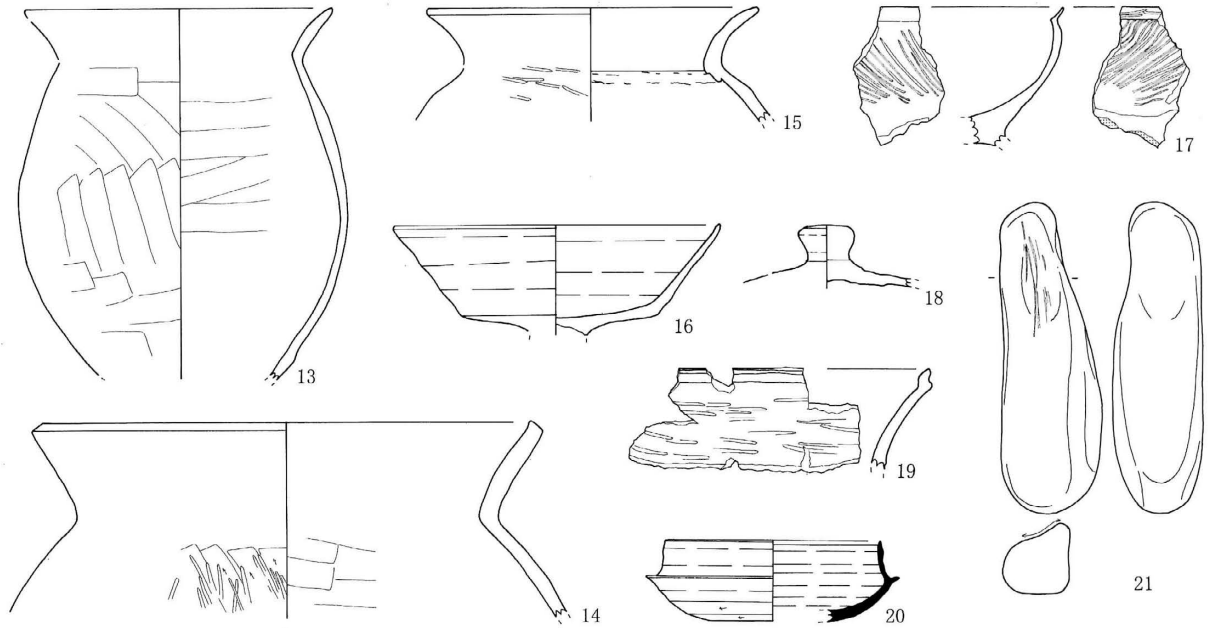
遺構はⅢ-9-こグリッドに位置し、M1及び北壁付近を中心として数基の土坑に切られる。南北8.4m、東西9.1m、確認面から床面までの深さは最大0.4mを測る大型の住居址である。平面形態は方形で、床面は全体的に硬質面を持つ。壁際には幅12cm内外、深さ12cm内外の溝が掘り込まれている。ピットは27個確認でき、P1～4が主柱穴、P5・8・9・23・24・25は補助的な柱、壁際の小ピットは壁柱穴と思われる。また、主柱穴及び補助的ピットから壁に向かって間仕切り状の溝が存在する箇所が認められた。カマド及び焼土の散布は確認できなかった。

遺物は土師器の坏・高坏・蓋・甕・甔、須恵器坏、敲石、弥生土器の小型壺が出土した。土師器坏は丸底半球状で口縁端部が僅かに外反する。高坏は土師器坏に脚が付く形態と坏部が大きく開く形態が存在する。甕は小型の甕と胴部がふくらむ形態が主流である。弥生土器は小型壺の破損品で混入品と思われるが、周辺には弥生時代の大規模集落が存在し、東側の西八日町遺跡では弥生土器と考えられる小型甕が古墳時代の住居址で使用されていたと考えられる状態で出土した例があることから、古墳時代に行った地面の掘削時にたまたま発見した弥生土器をそのまま使用した可能性も否定できない。

本住居址の時期は、底部丸底で口縁端部が僅かに外反する土師器坏が主体であり、長胴化した甕が見あたらないことから5世紀後半の特徴を持つ。さらに佐久地域周辺は5世紀中頃から後半にかけて順次カマドが導入されており、本住居址ではカマドが存在しなかった可能性も見受けられることから、5世紀後半の前半期、古墳時代中期後葉としたい。



H3号住居址遺物実測図(1)



H 3 号住居址遺物実測図(2)

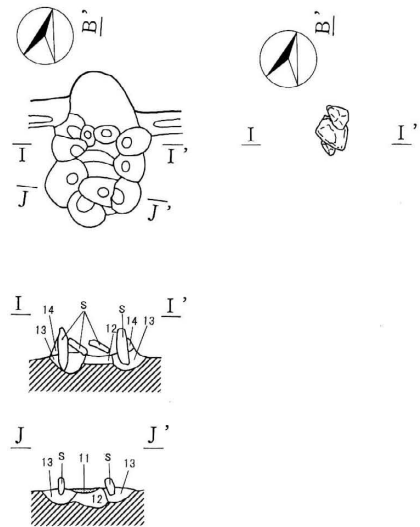
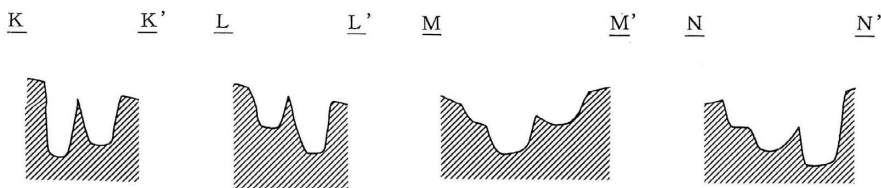
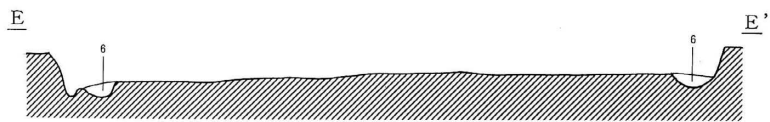
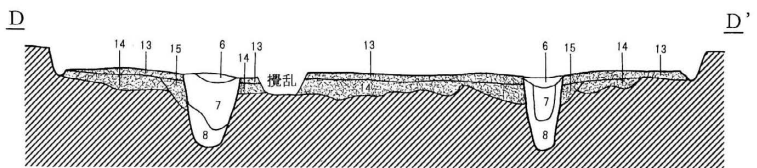
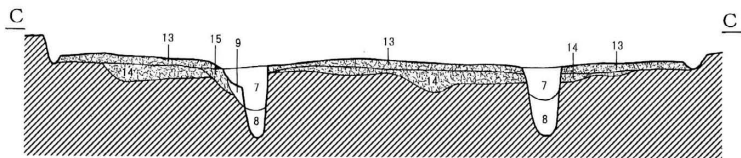
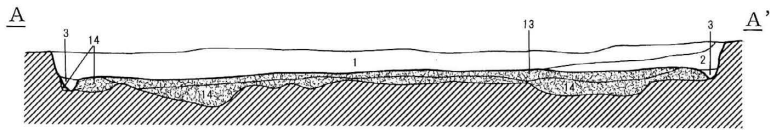
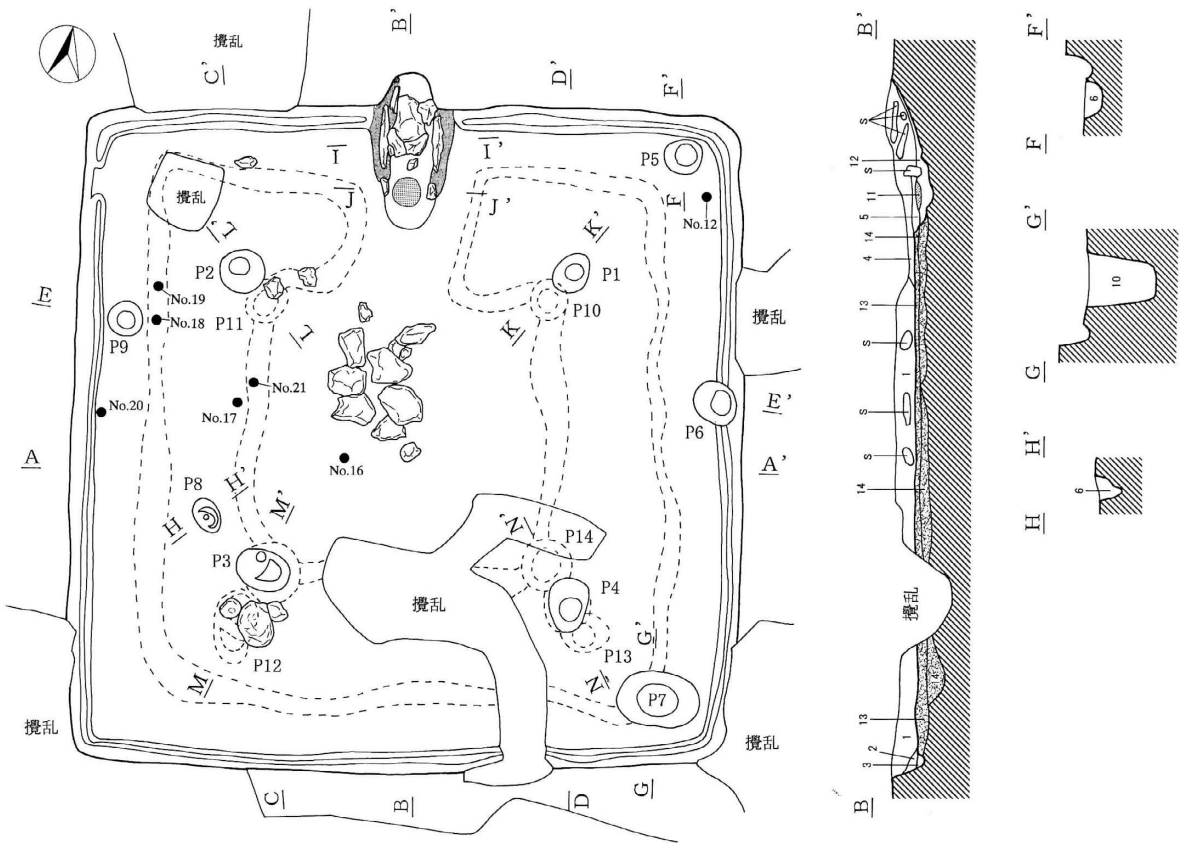
番号	器種	器形	口径cm	底径cm	器高cm	調整文様	残存率・部位	焼成	色調(外面)	備考
1	土師器	坏	13.8	丸底	5.6	口縁横ナデ・ミガキ 外面ヘラケズリ・ヘラナデ 内面ヘラナデ・放射状暗文	85	良	5YR5/4他 にぶい赤褐色	Ⅲ区出土
2	土師器	坏	13.1	丸底	5.3	口縁横ナデ 外面ヘラケズリ・ミガキ 内面ミガキ	60	良	10YR7/3他 にぶい橙色	Ⅱ・Ⅲ区出土
3	土師器	坏	[15.8]	丸底	(7.6)	口縁横ナデ・ミガキ 外面ヘラケズリ・ヘラナデ 内面ヘラナデ・放射状暗文	30	良	2.5YR5/6 明赤褐色	Ⅱ区出土
4	土師器	坏	[14.2]	丸底	5.9	口縁横ナデ 外面ヘラケズリ・ミガキ 内面ヘラナデ	45	良	2.5YR5/6 明赤褐色	Ⅲ区出土
5	土師器	坏	[13]	丸底	6	口縁横ナデ・ミガキ 外面ヘラケズリ・ミガキ 内面ヘラナデ・放射状暗文	30	やや良	2.5YR5/6他 明赤褐色	Ⅳ区出土
6	土師器	坏	[13]	丸底	(5.9)	口縁有段・横ナデ 外面ヘラケズリ・ミガキ 内面黒色処理	25	良	5YR7/6 橙色	Ⅳ区出土
7	土師器	小型甕	13.4	5.4	10.8	口縁横ナデ 外面・底部ヘラケズリ 内面ヘラナデ	95	良	5YR5/6 明赤褐色	Ⅲ区出土
8	土師器	小型甕	10.9	5.5	9.7	口縁横ナデ 外面・底部ヘラケズリ 内面ヘラナデ	75	やや良	5YR6/6他 橙色	Ⅱ区出土
9	土師器	小型甕	-	4.9	6.7	口縁欠損 外面ヘラケズリ・ナデ 内面ヘラナデ 底部ヘラケズリ	90	良	5YR5/2 灰褐色	Ⅲ区出土
10	土師器	甕	[14.2]	-	(7)	口縁横ナデ 口辺～外面ヘラケズリ・ナデ・ミガキ 内面ヘラナデ	口縁～胴部	良	7.5YR4/2 灰褐色	Ⅳ区出土
11	弥生土器	壺	-	4.9	(12)	頸部櫛描横線文・垂下文 外面赤色塗彩 内面ヘラナデ 底部ヘラケズリ	40	良	10R4/4 赤褐色	Ⅱ区出土
12	土師器	甕	26.4	6	23.3	口縁横ナデ 外面ヘラケズリ・ナデ 内面ヘラナデ・ミガキ 底部単孔	60	良	10YR7/3 にぶい黄橙色	Ⅱ区出土
13	土師器	甕	17	-	(20.7)	口縁横ナデ 外面ヘラケズリ・ナデ 内面ヘラナデ	80	やや不良	7.5YR5/1他 褐灰色	Ⅱ区P7出土
14	土師器	甕	[27.2]	-	(10.8)	口縁横ナデ 外面胴部ヘラケズリ・横ナデ・縦ミガキ	口縁～胴部	良	7.5YR6/4 にぶい橙色	Ⅲ・Ⅳ区出土
15	土師器	甕	18.5	-	(6.4)	口縁横ナデ 外面ナデ一部剥離 内面ヘラナデ	口縁～胴上部	やや良	10YR7/4 にぶい黄橙色	Ⅲ・Ⅳ区出土
16	土師器	高坏	18.1	-	(6)	脚部欠損 坏部体部内外面横ナデ・底部ヘラナデ 内面みこみ部ナデ	坏部70	良	2.5YR5/6 明赤褐色	Ⅱ区出土
17	土師器	高坏	-	-	(7.7)	坏部口縁横ナデ 口縁内面横ナデ・ミガキ 外面ミガキ 内面ミガキ	坏部破片	良	2.5YR5/6 明赤褐色	Ⅳ区出土
18	土師器	蓋	-	-	(4.5)	つまみ貼付 外面一部剥離 内面ナデ	つまみ部 周辺破片	良	5YR7/4 にぶい橙色	Ⅰ区出土
19	縄文土器	深鉢	-	-	(5.6)	口辺横沈線文 内外面ミガキ	口縁破片	良	7.5YR5/3 にぶい褐色	Ⅳ区、Ⅱ区掘方 出土
20	須恵器	坏	-	丸底	(4.5)	内外面口口ロナデ 外面底部回転ヘラケズリ	口縁～底部 破片	良好	N6/0 灰色	Ⅲ区出土
番号	器種	器形	長さcm	幅cm	厚さcm	重量g	色調	備考		
21	石器	すり・敲石	16.9	5.3	4.9	548.78	7.5YR6/3 にぶい褐色	先端部・側面に敲痕 側面すり・条痕あり		

H 3 号住居址遺物観察表

[]推定値・()残存率

H 4 号住居址

遺構はV-9-おグリッドに位置し、一部近年の攪乱に破壊されている。規模は南北6.8m、東西6.8m、確認面から床面までの深さは最大0.3mを測る。平面形態は方形で、床面は全体的に硬質で、壁際には幅10cm、深さ10cm内外の溝がカマド部を除き全周する。ピットは14個確認でき、P1～4が主柱穴で、P7は位置的に貯蔵穴である可能性がある。床面中央付近にはカマドに使用されたと考えられる石材が散在していた。住居廃棄時にカマドを破壊したと思われる。カマドは北壁中央に構築され



0m 696.800m (1:80) 2m

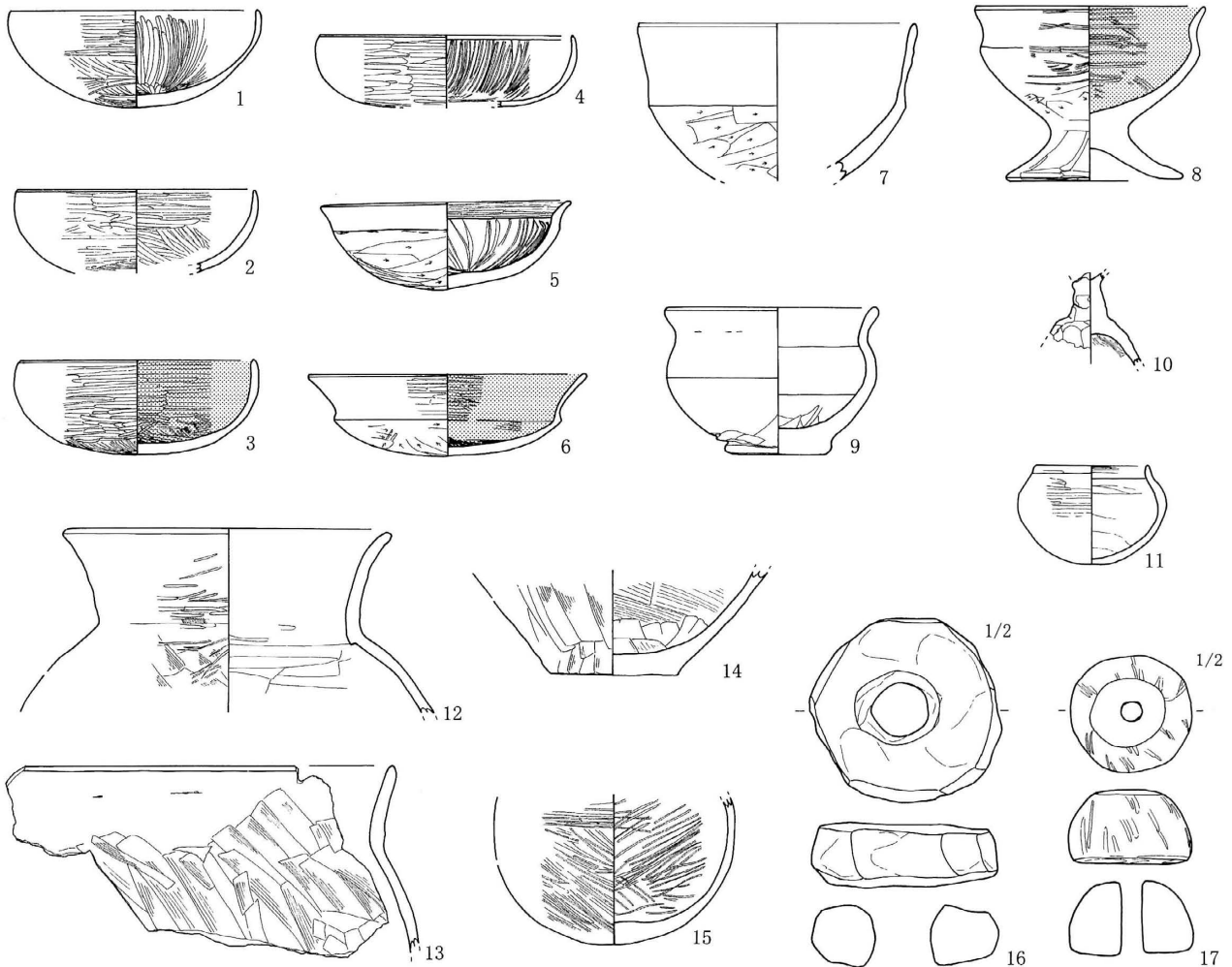
H 4 号住居址遺構実測図

- | | |
|--|------------------------------------|
| 1 暗褐色土層 (10YR3/3) ㊦-㊭・軽石・炭化物含む。 | 9 黒褐色土層 (10YR2/3) ㊦-㊭・砂・軽石含む。 |
| 2 暗褐色土層 (10YR3/4) ㊦-㊭・軽石・炭化物含む。 | 10 暗褐色土層 (10YR3/3) ㊦-㊭・砂・炭化物・軽石含む。 |
| 3 褐色土層 (10YR4/4) ㊦-㊭主体。しまりなし。 | 11 赤褐色土層 (2.5YR4/8) 火床。(焼土層) |
| 4 褐灰色土層 (7.5YR4/1) 焼土粒・粘土・炭化物含む。 | 12 極暗赤褐色土層 (5YR2/4) ㊦-㊭・軽石・焼土含む。 |
| 5 極暗赤褐色土層 (2.5YR2/4) 焼土多く、灰・粘土粒・炭化物含む。 | 13 暗褐色土層 (10YR3/3) ㊦-㊭多く含む。硬質。(床面) |
| 6 黒褐色土層 (10YR3/2) ㊦-㊭・軽石・砂含む。 | 14 暗褐色土層 (10YR3/4) ㊦-㊭主体。しまりややあり。 |
| 7 暗褐色土層 (10YR3/3) ㊦-㊭・軽石・砂・炭化物含む。 | 15 黒褐色土層 (10YR3/2) ㊦-㊭・軽石。 |
| 8 にぶい黄褐色土層 (10YR4/3) 砂多く、㊦-㊭・軽石含む。 | |

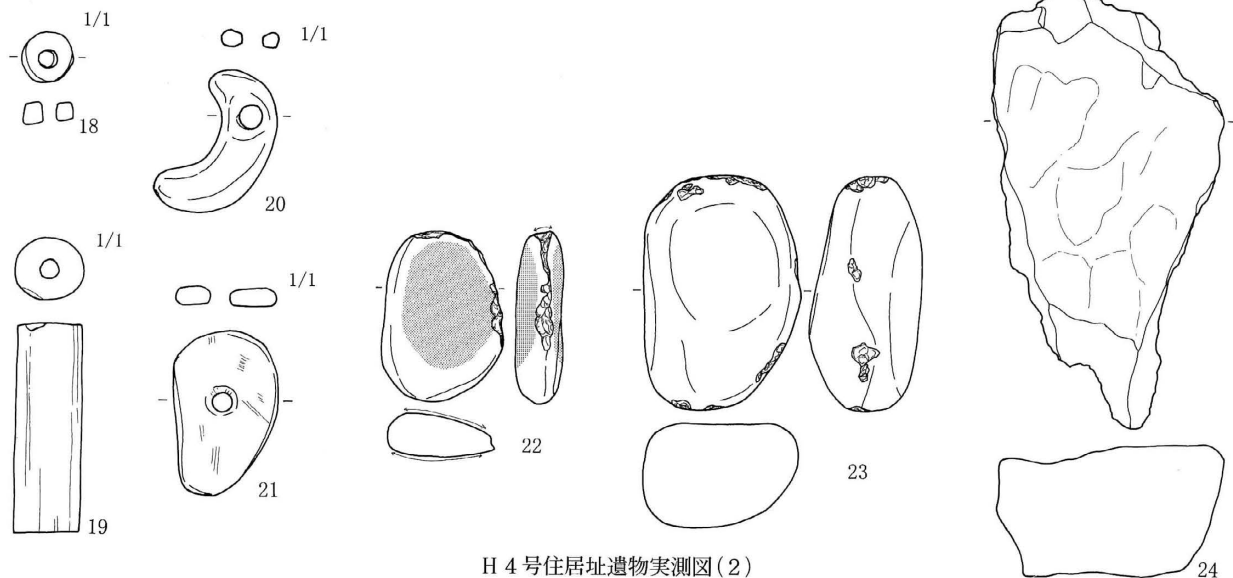
ており、粘土と石材を利用した両袖の一部と天井に架けられた天井石が部分的に残存していた。火床には径32cm、厚さ5cmの焼土が堆積し、火床のやや北側に自然石を利用した支脚石が設置されていた。掘方は住居址中央及びカマド前部、壁周辺部を高く残し、残りの部分をやや深く掘り下げた状態で、やや締めりのある暗褐色土が埋め込まれていた。

遺物は土師器の坏・高坏・鉢・甕・壺、滑石製白玉、石製管玉、石製勾玉等の石製品、紡錘車、環状土製品(紡錘車?)、敲石等が出土した。坏は丸底で口縁がやや内湾気味で半球状の形態、丸底で体部途中に明瞭な稜を伴い口縁がやや開く形態、丸底で口縁端部がやや外反する形態が存在する。高坏は坏部が体部途中に明瞭な稜を持ち口縁がやや外反する。脚部は低く裾部が大きく開く。甕は小型甕と、やや大型で胴丸が認められる。

本住居址の時期は土師器坏の形態が半球状及び、口縁端部がやや開く形態に加え、体部途中に明瞭な稜を有す坏が含まれ、高坏の坏部にも使用されていることから5世紀末から6世紀前葉、古墳時代中期末から後期初頭としたい。



H 4 号住居址遺物実測図(1)



H 4 号住居址遺物実測図(2)

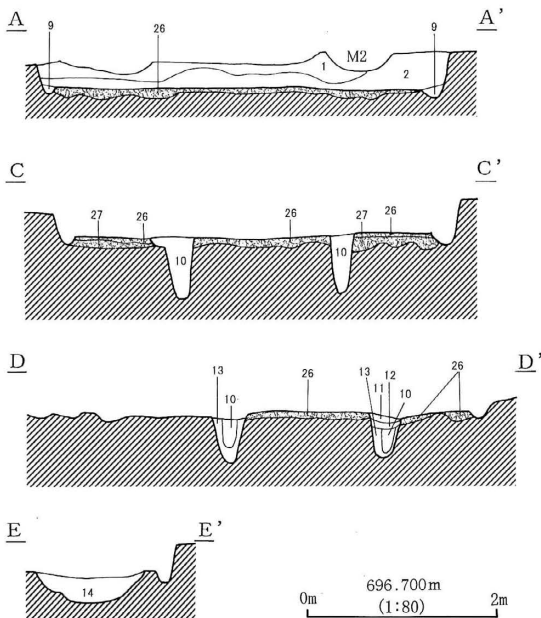
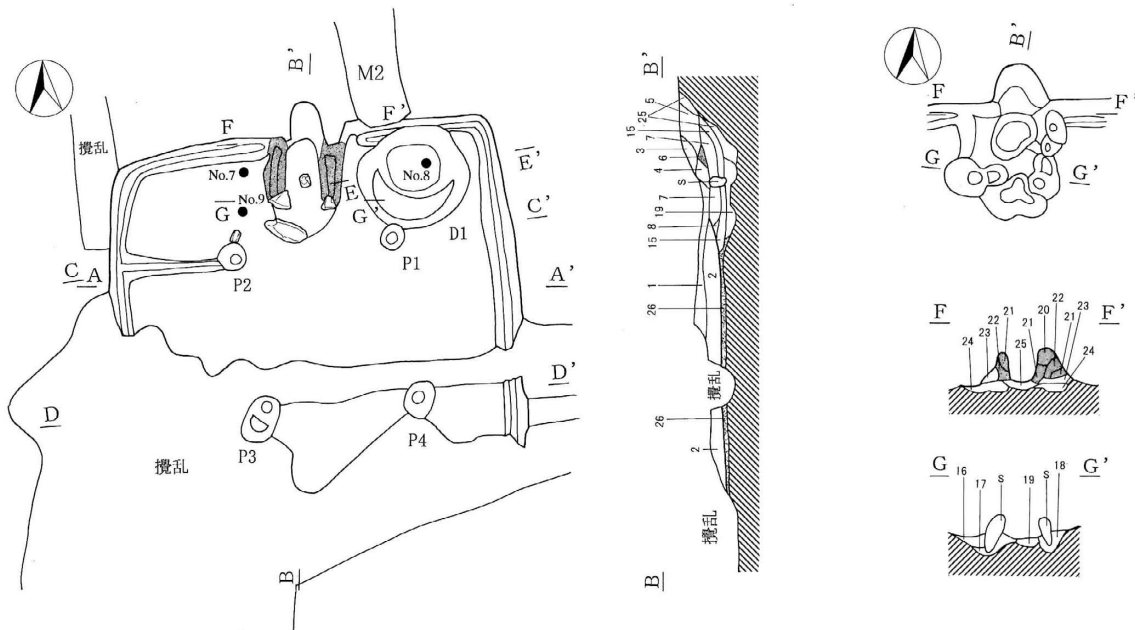
番号	器種	器形	口径cm	底径cm	器高cm	調整・文様	残存率・部位	焼成	色調(外面)	備考
1	土師器	坏	13.8	丸底	5.3	内外面ミガキ	90	良	7.5YR7/4 にぶい橙色	I区出土
2	土師器	坏	[13.2]	丸底	<4.6>	内外面ミガキ	30	良	2.5YR5/6 明赤褐色	IV区出土
3	土師器	坏	[13.4]	丸底	5.1	口縁横ナデ 内外面ミガキ 内面黒色処理	40	良	10YR7/3 にぶい黄褐色	I区出土
4	土師器	坏	[14.2]	丸底	<3.9>	内面ヘラナデ・ミガキ 外面底部～体部ヘラケズリ・ミガキ	25	良	7.5YR7/4 にぶい橙色	II区出土
5	土師器	坏	13.7	丸底	4.8	口縁横ナデ 内面放射状暗文 外面底部～体部ヘラケズリ・ミガキ	90	良	7.5YR6/6 褐色	IV区出土
6	土師器	坏	[15.2]	丸底	4.5	口縁横ナデ 底部～体部ヘラケズリ・ミガキ 内面黒色処理	70	良	10YR5/3 にぶい黄褐色	I区出土
7	土師器	鉢	[15.4]	-	<8.5>	口縁横ナデ 外面ヘラケズリ 内面ナデ	口縁～体部	良	5YR5/3 にぶい赤褐色	II区出土
8	土師器	高坏	[12.6]	9.5	9.5	坏部口縁横ナデ 外面ヘラケズリ 内面黒色処理 脚部外面ナデ・暗文風ミガキ 内面ナデ	70	良	5YR5/3 にぶい赤褐色	I・II区出土
9	土師器	小型甕	11.7	5.8	8.1	口縁横ナデ 外面ヘラケズリ 内面ヘラナデ	80	良	7.5YR7/4 にぶい橙色	I区カマド出土
10	土師器	不明	-	-	-	内外面ヘラ調整	破片	やや良	7.5YR6/4 にぶい橙色	II区出土
11	弥生土器	小型壺	[6.2]	丸底	5.4	外面ヘラケズリ 内面ヘラナデ	25	良	5YR6/6 褐色	III区・P7出土
12	土師器	甕	18.1	-	<10.1>	口縁横ナデ 外面ヘラケズリ 内面ヘラナデ	口縁100	良	7.5YR6/4 にぶい橙色	I区出土
13	土師器	甕	-	-	9.8	口縁横ナデ 外面斜めヘラケズリ 内面横ハケ目	口縁破片	良	5YR5/3 にぶい赤褐色	II区出土
14	土師器	甕	-	7	<5.7>	外面・底部ヘラケズリ 内面ヘラナデ	底部～胴下半	やや良	5YR5/6 明赤褐色	カマド出土
15	土師器	壺	-	丸底	<8.2>	外面ヘラケズリ後ミガキ 内面ナデ・ミガキ	25	やや良	7.5YR4/2他 灰褐色	I・II区カマド出土
番号	器種	器形	長さcm 長径cm	幅cm 短径cm	厚さcm 高さcm	重量g	色調	備考		
16	土製品	環状製品	5.1	5.2	1.8	46.65	7.5YR7/4 にぶい橙色	孔径1.5cm 表面ナデ・ケズリ II区出土		
17	土製品	紡錘車	下部3.3	上部2	2	24.17	N2/1 黒色	孔径0.55cm II区出土		
18	石製品	白玉	0.6	0.65	0.3	0.21	青白色	孔径0.2cm II区出土		
19	石製品	管玉	0.8	0.9	2.8	3.95	5G2/1 緑黒色	孔径0.25cm II区出土		
20	石製品	勾玉	2	1.2	0.5	1.31	10BG5/1 青灰色	孔径0.3cm II区出土		
21	石製品	石製模造品	2.2	1.4	0.35	1.88	10GY8/1他 明緑灰色	孔径0.25cm II区出土		
22	石器	すり・敲石	9	6.5	2.5	172.98	10YR7/3 にぶい黄褐色	長軸片側先端部・側面に敲打痕 表面すり痕		
23	石器	敲石	12.4	8.3	5.8	939.85	10Y5/1 灰色	長軸両端・側面に敲打痕 III区出土		
24	自然石	支脚石	19	11.5	8.3	2170	5Y6/1他 灰色	自然石を無加工で利用、被熱によって赤みを帯びている カマド出土		

H 4 号住居址遺物観察表

[]推定値、〈 〉残存値

H 5 号住居址

遺構はVI-5-かグリッドに位置し、南側半分は近年の攪乱に破壊されている。規模は東西4.2m、南北は調査規模の最大で2.5m、確認面から床面までの深さは最大0.3mを測る。残存部分の床面は硬質で壁際にカマド部を除き、幅15cm、深さ10cm内外の溝が巡る。ピットは4個の支柱穴が確認でき、確認面での直径25～40cm、深さは40～60cmを測る。北東コーナーには径1.1m、深さ28cmの貯蔵穴が掘り込まれている。カマドは北壁中央に構築され、粘土を積み上げた両袖が一部残存していた。先端



- 1 暗褐色土層 (10YR3/3) ㊦-㊦・軽石・炭化物含む。
- 2 にぶい黄褐色土層 (10YR4/3) ㊦-㊦・軽石・炭化物含む。
- 3 褐色土層 (7.5YR4/3) ㊦-㊦・軽石・粘土含む。

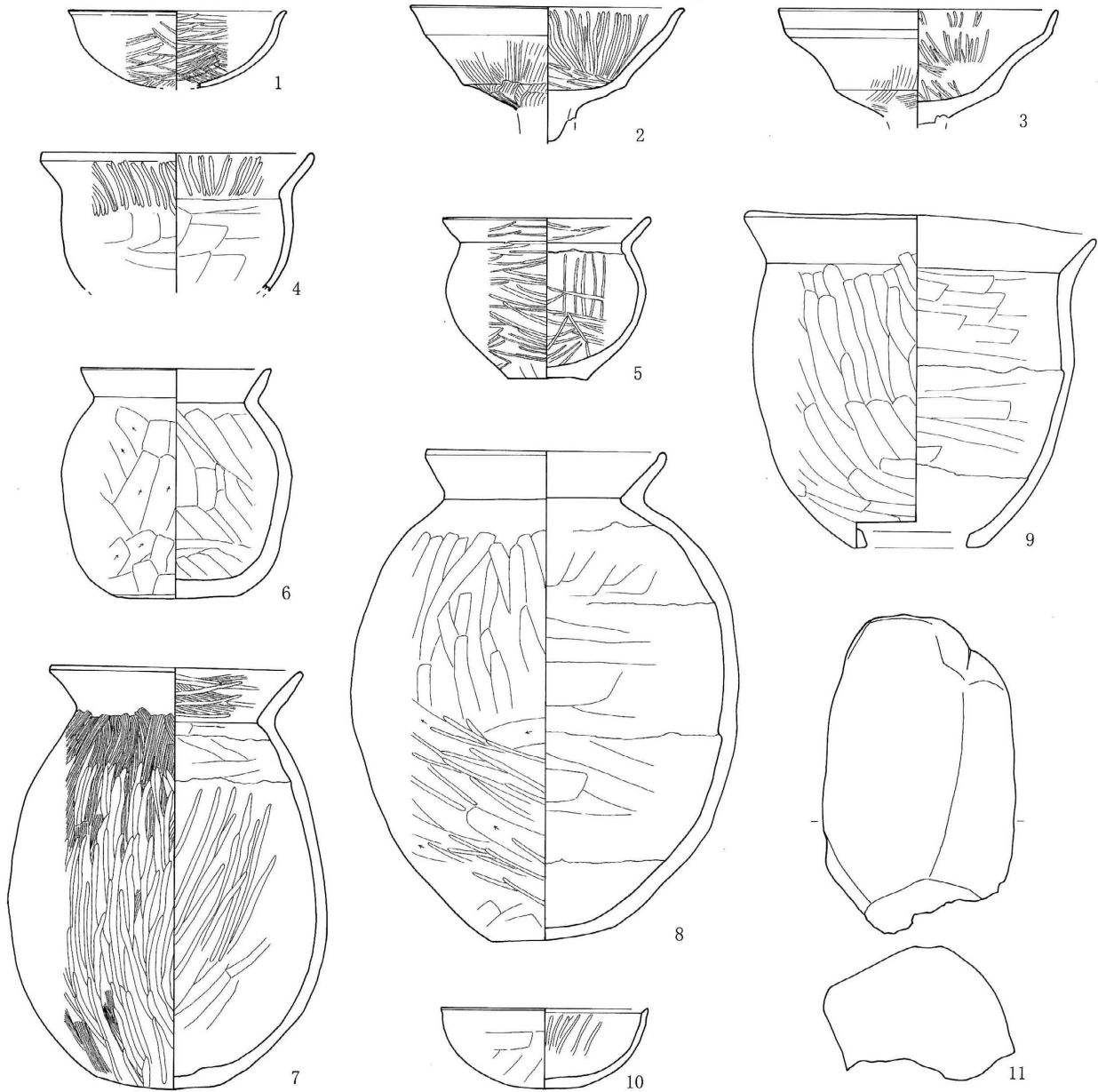
- 4 褐色土層 (7.5YR4/3) ㊦-㊦・軽石・粘土・焼土含む。
- 5 極暗褐色土層 (7.5YR2/3) ㊦-㊦・軽石・粘土・焼土・炭化物含む。
- 6 にぶい赤褐色土層 (5YR5/3) 粘土層。一部焼土化。
- 7 極暗赤褐色土層 (5YR2/4) ㊦-㊦・軽石・焼土・炭化物・粘土含む。
- 8 黒色土層 (7.5YR2/1) ㊦-㊦・軽石・焼土・灰含む。
- 9 暗褐色土層 (10YR3/4) ㊦-㊦・軽石含む。
- 10 暗褐色土層 (10YR3/3) ㊦-㊦・軽石含む。しまりなし。
- 11 黒褐色土層 (10YR2/3) ㊦-㊦・軽石含む。
- 12 褐色土層 (10YR4/6) ㊦-㊦⁷ツク含む。
- 13 褐色土層 (10YR4/4) ㊦-㊦多く、軽石含む。
- 14 暗褐色土層 (10YR3/3) ㊦-㊦・軽石・炭化物・焼土含む。
- 15 黒褐色土層 (5YR2/1) 灰・焼土・炭化物含む。
- 16 褐色土層 (7.5YR4/4) ㊦-㊦・軽石やや多く含む。
- 17 暗褐色土層 (7.5YR3/4) ㊦-㊦・軽石・焼土含む。
- 18 黒褐色土層 (7.5YR3/2) ㊦-㊦⁷ツク・炭化物含む。
- 19 褐色土層 (7.5YR4/3) ㊦-㊦やや多く、焼土・炭化物含む。
- 20 灰赤色土層 (2.5YR4/2) 粘土層。やや焼土化。
- 21 暗赤褐色土層 (2.5YR3/4) 粘土層。焼土化。
- 22 褐灰色土層 (5YR4/1) 粘土層。
- 23 暗赤褐色土層 (5YR3/2) ㊦-㊦・焼土・炭化物含む。
- 24 褐色土層 (7.5YR4/3) ㊦-㊦・焼土・炭化物含む。
- 25 暗褐色土層 (7.5YR3/4) ㊦-㊦・焼土・炭化物含む。
- 26 暗褐色土層 (10YR3/3) ㊦-㊦やや多く含む。硬質。(床)
- 27 黒褐色土層 (10YR2/3) ㊦-㊦・軽石含む。

H 5号住居址遺構実測図

部には石が埋め込まれ、前方に焚き口部天井石と思われる石が崩落し横たわっていた。火床と思われる周辺はやや赤みを帯びたまだらな極暗赤褐色土が堆積しており、中央付近に自然石を利用した支脚石が設置されていた。掘方は上面に硬質な暗褐色土、直下に黒褐色土が埋め込まれていた。

遺物は土師器の坏・高坏・鉢・甕・甑が出土した。坏は丸底で口縁端部が極僅かに反る形状である。高坏は坏部の体部下部に明瞭な稜を伴い口縁に向かって大きく開く形状である。甕は胴にふくらみを持つ形状とやや長胴化し、胴下部が下ぶくれ気味の形状が存在する。甑は大きな底部単孔で丸みをもって立ち上がり口縁部がやや外反する形状である。

時期は、丸底の口縁端部が僅かに反る土師器坏、高坏の坏部の形状及び下ぶくれ気味の甕の存在から5世紀後葉、古墳時代中期末頃としたい。



H 5 号住居址遺物実測図

番号	器種	器形	口径cm	底径cm	器高cm	調整・文様		残存率・部位	焼成	色調(外面)	備考
1	土師器	坏	[13]	丸底	(4.5)	口縁横ナデ 内外面ミガキ		25	良	10YR5/4 にぶい黄褐色	カマド出土
2	土師器	高坏	16.3	-	(7.9)	口縁横ナデ		坏部70	良	5YR5/3 にぶい黄褐色	カマド出土
3	土師器	高坏	[16.6]	-	(6.8)	口縁横ナデ 外面底部~体部ヘラケズリ・ハケ目 内面ミガキ		坏部25	良	2.5YR4/4 にぶい黄褐色	カマド出土
4	土師器	鉢	[16.2]	-	(8.2)	口縁縦ミガキ 外面ヘラケズリ 内面ヘラナデ		口縁~体部 破片	良	5YR7/6他 橙色	カマド出土
5	土師器	小型甕	12.5	4.8	9.6	口縁横ナデ・ミガキ 外面ヘラケズリ・ミガキ 内面ナデ・ミガキ 底部ヘラケズリ		90	良	7.5YR3/1 黒褐色	Ⅱ区出土
6	土師器	小型甕	[11.2]	7.6	13.6	口縁横ナデ 底部・外面ヘラケズリ 内面ヘラナデ		80	良	5YR6/4 にぶい橙色	Ⅰ区出土
7	土師器	甕	15	7.1	24.9	口縁外面横ナデ 口縁内面ハケ目・ミガキ 外面ヘラケズリ・ハケナデ・ミガキ 内面ヘラナデ・ミガキ		95	良	7.5YR6/3 にぶい褐色	Ⅱ区出土
8	土師器	甕	14.5	7.1	29	口縁横ナデ 外面ヘラケズリ・下半部ヘラケズリ・ミガキ 内面ヘラナデ		95	良	7.5YR6/4 にぶい橙色	Ⅰ区出土
9	土師器	甕	20.9	8	19.8	口縁横ナデ 外面ヘラケズリ 内面ヘラナデ		95	良	7.5YR6/6他 橙色	Ⅱ区出土
10	土師器	坏	12.4	丸底	4.8	口縁横ナデ 底部・外面ヘラケズリ 内面ヘラナデ		80	良	7.5YR7/4 にぶい橙色	カマド出土
番号	器種	器形	長さcm	幅cm	厚さcm	重量g	色調	備考			
11	自然石	支脚石	11.5	8.3	8.3	46.65	青灰褐色	下部・側面欠損 設置時に加工か? 下部被熱によりやや赤みを帯びる カマド出土			

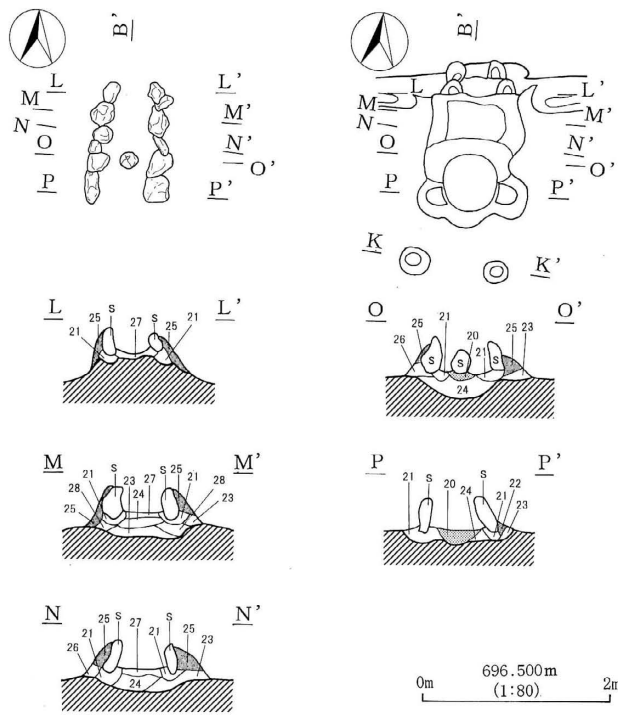
H 5 号住居址遺物観察表

[]推定値・〈 〉残存値

H 6 号住居址



H 6 号住居址遺構実測図(1)

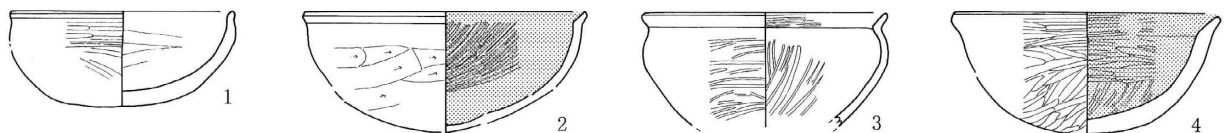


H 6号住居址遺構実測図(2)

遺構はVI-7-かグリッドに位置し、近年の攪乱に一部破壊されている。規模は東西8.4m、南北7.8m、確認面から床面までの深さ最大0.4mを測る。平面形態は方形である。床面は全体的に硬質で、北側寄りの床直上には凹凸感のある石が散在していた。壁際には幅10cm、深さ15cm内外の溝がカマド部分及び、北東コーナー、東・南壁の一部を除き存在する。ピットは掘方調査時を含め14個確認できた。主柱穴はP 1～4と思われるが、本址は比較的大型の住居であることから、主柱穴間に補助的な柱穴P 10・11・12・13・14が認められた。これらのピットから壁に向かって間仕切りと思われる溝も確認された。補助ピットの存在は掘方調査時の発見であるが、ピットの性格上、床面から掘り込まれていたと考えられる。カマドは北壁の中央に構築され、粘土で積み上げられた両袖及びカマド内壁部に埋め込まれた石材、火床が残存していた。火床には長径70cm、厚さ8cmの焼土が堆積し、火床の北端に自然石を利用し、部分的に面取して形を整えたやや大型の支脚石が設置されていた。掘方は土間状に硬質となった床面のみで、2～8cm厚の硬質面直下は地山のローム土となる。

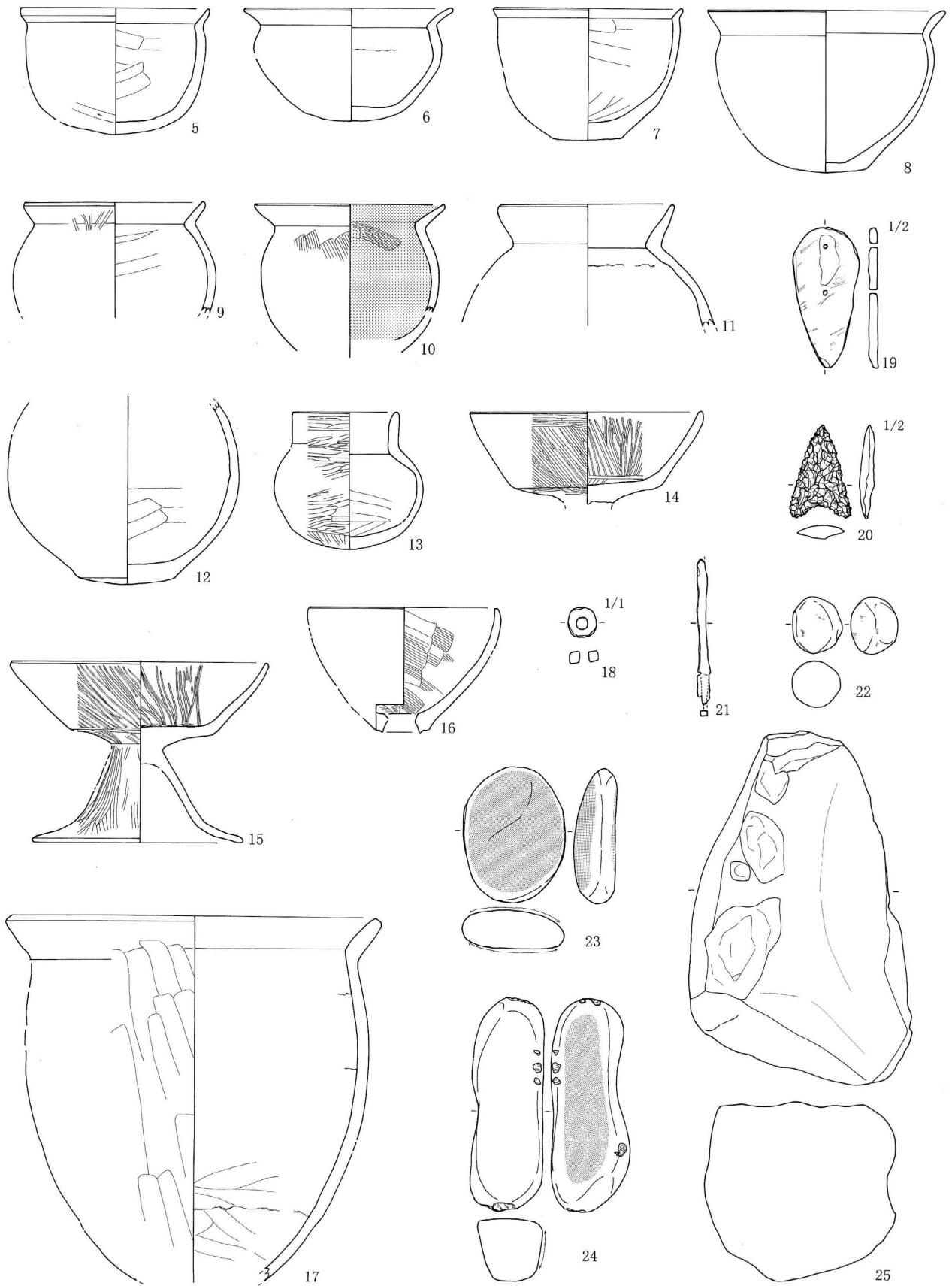
遺物は土師器の坏・高坏・甕・壺・甑・鉢、すり石・敲石、石鏃、石製品、鉄製品が出土した。坏は丸底半球状で口縁端部が僅かに外反する形状が主体をなす。甕は小型が多い。壺は丸底、口縁部はやや短く直上する。高坏は、ほぼ平らな底部から開き気味に立ち上がり、脚部は短く裾部は大きく開く。甑は小型と、大型が存在し、底部は単孔式である。石製品は白玉及び水滴形の形状で2孔を穿つ石製模造品が出土した。また、無茎の石鏃が出土しているが、混入遺物と考えたい。

本住居址の時期は、口縁端部が僅かに外反する土師器坏が主体であり、カマドが存在することから5世紀後葉、古墳時代中期末としたい。



H 6号住居址遺物実測図(1)

- 1 暗褐色土層 (10YR3/4) Ⅱ-Ⅲ・軽石・炭化物含む。
- 2 黒褐色土層 (10YR2/2) Ⅱ-Ⅲ・軽石・炭化物やや多く含む。
- 3 暗褐色土層 (10YR3/3) Ⅱ-Ⅲ・軽石・炭化物。
- 4 褐色土層 (10YR4/4) Ⅱ-Ⅲ・軽石やや多く含む。
- 5 褐色土層 (10YR4/6) Ⅱ-Ⅲ・軽石やや多く含む。
- 6 極暗赤褐色土層 (5YR2/4) 焼土・炭化物やや多く含む。
- 7 暗赤褐色土層 (5YR3/4) 焼土・炭化物やや多く含む。
- 8 赤褐色土層 (2.5YR4/6) 焼土・炭化物やや多く含む。
- 9 黒褐色土層 (5YR2/2) 焼土・灰・炭化物やや多く含む。
- 10 にぶい赤褐色土層 (2.5YR4/4) 焼土主体。灰含む。
- 11 黒褐色土層 (7.5YR2/2) Ⅱ-Ⅲ・軽石・炭化物含む。
- 12 暗褐色土層 (7.5YR3/4) Ⅱ-Ⅲ・軽石・炭化物含む。
- 13 暗褐色土層 (7.5YR3/3) Ⅱ-Ⅲ・軽石・炭化物含む。
- 14 褐色土層 (7.5YR4/4) Ⅱ-Ⅲ・軽石・炭化物・砂含む。
- 15 黒褐色土層 (10YR2/3) Ⅱ-Ⅲ・軽石・炭化物・砂含む。
- 16 褐色土層 (7.5YR4/3) Ⅱ-Ⅲ・軽石・炭化物含む。
- 17 褐色土層 (7.5YR4/3) Ⅱ-Ⅲ・軽石含む。
- 18 暗褐色土層 (7.5YR3/3) Ⅱ-Ⅲ・軽石含む。
- 19 極暗褐色土層 (7.5YR2/3) Ⅱ-Ⅲ・軽石含む。
- 20 明赤褐色土層 (2.5YR5/8) 焼土層。
- 21 褐色土層 (7.5YR4/3) 砂・Ⅱ-Ⅲ・粘土含む。
- 22 極暗赤褐色土層 (5YR2/4) 粘土層。やや赤みを帯びる。
- 23 暗赤褐色土層 (5YR3/3) 粘土・炭化物・焼土含む。
- 24 褐色土層 (7.5YR4/3) Ⅱ-Ⅲ・砂・粘土含む。
- 25 暗赤褐色土層 (2.5YR3/3) 粘土層。やや赤みを帯びる。
- 26 黒褐色土層 (5YR2/2) 粘土層。
- 27 黒褐色土層 (7.5YR3/2) 粘土・灰・Ⅱ-Ⅲ・軽石含む。
- 28 褐色土層 (7.5YR4/4) Ⅱ-Ⅲ・軽石多く含む。
- 29 にぶい黄褐色土層 (10YR4/3) Ⅱ-Ⅲやや多く含む。硬質。(床)
- 30 暗褐色土層 (10YR3/3) Ⅱ-Ⅲやや多く含む。硬質。(床)
- 31 褐色土層 (10YR4/4) 砂主体。
- 32 暗褐色土層 (10YR3/4) Ⅱ-Ⅲ・砂多く含む。



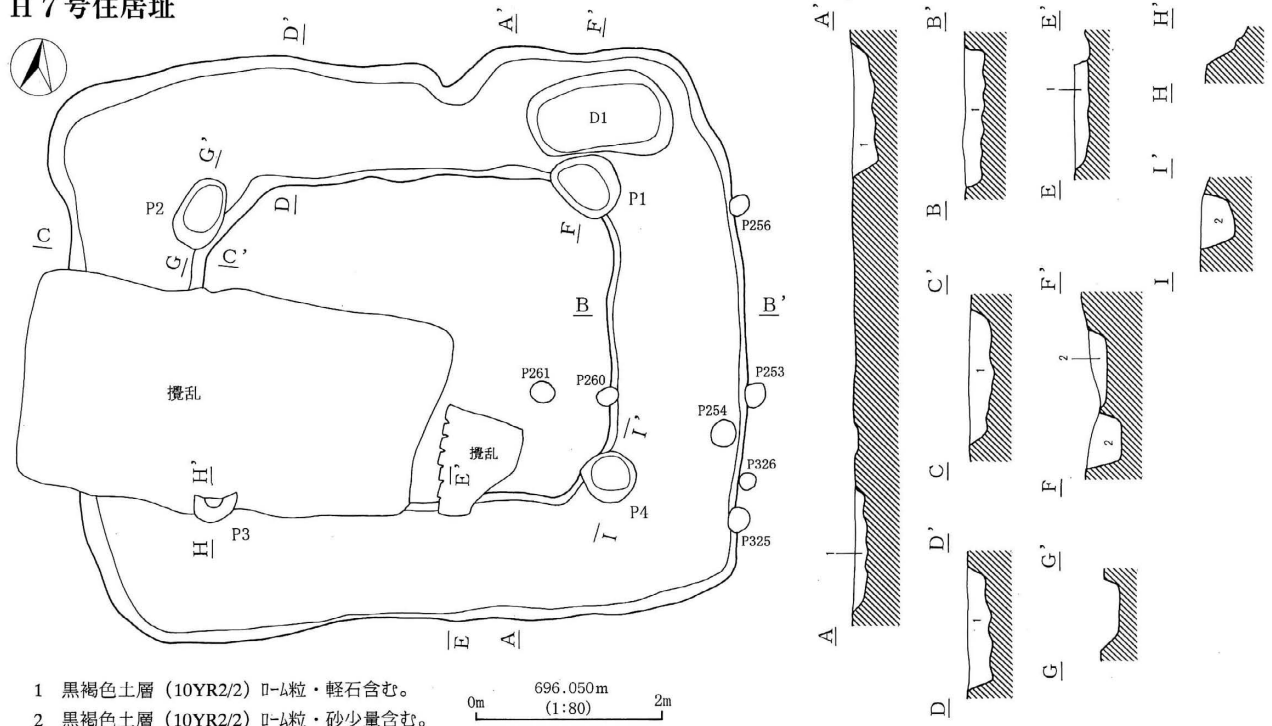
H 6号住居址遺物実測図(2)

番号	器種	器形	口径cm	底径cm	器高cm	調整文様		残存率・部位	焼成	色調(外面)	備考
						調整文様	調整文様				
1	土師器	坏	11.8	丸底	5.1	□縁横ナデ	外面ヘラケズリ・ミガキ 内面ヘラナデ 表面やや摩耗	65	やや不良	7.5YR6/4 にぶい褐色	I・IV区出土
2	土師器	坏	[15]	丸底	6.5	□縁横ナデ	外面ヘラケズリ・ミガキ 内面ヘラナデ・ミガキ・黒色処理	50	良	2.5YR4/6 赤褐色	カマド出土
3	土師器	坏	[13]	丸底	(6.1)	□縁横ナデ・ミガキ	外面ヘラケズリ・ミガキ 内面ミガキ	□縁～体部 上部	良	7.5YR6/6 褐色	II・III区出土
4	土師器	坏	[14.2]	丸底	6.4	□縁横ナデ・ミガキ	外面ヘラケズリ・ミガキ 内面 黒色処理	85	良	7.5YR5/4他 にぶい褐色	I・III区出土
5	土師器	鉢	[13.6]	丸底	9	□縁横ナデ	外面ヘラケズリ 内面ヘラナデ	60	良	7.5YR4/2 灰褐色	カマド出土
6	土師器	小型甕	[15]	6.7	8.1	□縁横ナデ	底部・体部外面ヘラケズリ 内面ヘラナデ	85	やや良	5YR6/8他 明赤褐色	D2出土
7	土師器	鉢	[13.4]	5.1	9.5	□縁横ナデ	底部・体部外面ヘラケズリ 内面ヘラナデ 表面やや摩耗	25	やや良	2.5YR5/6 明赤褐色	カマド出土
8	土師器	小型甕	[16.8]	6.2	11.7	□縁横ナデ	底部・体部外面ヘラケズリ 内面ヘラナデ	40	やや良	7.5YR7/4他 にぶい褐色	III・IV区出土
9	土師器	小型甕	[13]	-	(8)	□縁横ナデ	外面ヘラケズリ・ミガキ 内面ヘラナデ やや表面摩耗	□縁～胴 上部	やや良	7.5YR5/3 にぶい褐色	III・IV区出土
10	土師器	小型甕	[13.8]	-	(10.6)	□縁横ナデ	外面ヘラケズリ・ハケ目 内面黒色処理	□縁～胴 上部	良	7.5YR6/3 にぶい褐色	I区P1出土
11	土師器	小型甕	12.4	-	(8.8)	□縁横ナデ	外面ヘラケズリ 内面ヘラナデ	□縁～胴 上部	良	5YR6/6 褐色	カマド出土
12	土師器	甕	-	6.4	(13.1)	外面底部・体部ヘラケズリ	内面ヘラナデ	35	良	5YR5/6 明赤褐色	カマド・I区出土
13	土師器	小型丸底壺	[7.7]	丸底	9.8	外面ヘラケズリ・ミガキ	□縁横ナデ・ミガキ 内面ヘラナデ	70	良	5YR5/8 明赤褐色	I・IV区出土
14	土師器	高坏	16.7	-	(6.7)	坏部□縁横ナデ	底部ヘラケズリ 全体ミガキ 内面ミガキ	坏部100	良	5YR4/3他 にぶい赤褐色	IV区出土
15	土師器	高坏	18.6	15.1	12.9	坏部外面体部横ナデ	底部外面ヘラケズリ 全体ミガキ 内面ミガキ 脚部外面縦ミガキ 内面ヘラナデ・横ナデ	80	良	2.5YR4/6 赤褐色	カマド・II区出土
16	土師器	小型甕	13.7	[3.8]	9	□縁横ナデ	外面ヘラケズリ・ヘラナデ 内面ハケ目	50	良	2.5YR5/6 明赤褐色	I・II区出土
17	土師器	甕?	27	-	(26.5)	□縁横ナデ	外面ヘラケズリ・ナデ 内面ヘラナデ 底部欠損 甕として使用か?	80	良	10YR7/4他 にぶい黄褐色	カマド・I・II・III区出土
番号	器種	器形	長さcm 長径cm	幅cm 短径cm	厚さcm 高さcm	重量g	色調	備考			
18	石製品	白玉	0.5	0.5	0.2	0.12	10GY6/1 緑灰色	孔径0.2cm I区出土			
19	石製品	石製模造品	5	2.4	0.35	7.28	N5/0 灰色	2孔あり 孔径0.15cm I区床面出土			
20	石器	石鏃	3.3	2.2	0.5	2.66	2.5GY6/1 剥ア 灰色	無茎鏃 III区出土			
21	鉄製品	鉄鏃?	(10.4)	(0.9)	(0.5)	11.82	5YR4/6 赤褐色	基部木質付着 III区出土			
22	石器	すり石	4.1	3.5	3.4	59.95	まだら 青灰白色	球状 IV区出土			
23	石器	すり石	9.6	7.4	3	295.96	まだら 灰白褐色	表・裏にすり面 I区出土			
24	石器	すり・敲石	15.5	5.2	5.5	698.26	7.5YR5/3 にぶい褐色	長軸両端・側面角に敲打痕 I区出土			
25	石製品	支脚	25.3	13.7	13.5	4420	黒褐色	面取り後すり加工 一部自然面 全体に赤みを帯びる			

H 6号住居址遺物観察表

[] 推定値・〈 〉 残存値

H 7号住居址



H 7号住居址遺構実測図

遺構はIV-3-くグリッドに位置し、遺構の上部は近年の攪乱に大きく破壊されていた。確認できたのは方形の溝状に掘り込まれた掘方と支柱穴4個、北東コーナーの貯蔵穴と思われる土坑である。規模は東西6.9m、南北6.0mを測る。以前に発掘調査が実施された住居址と思われる。

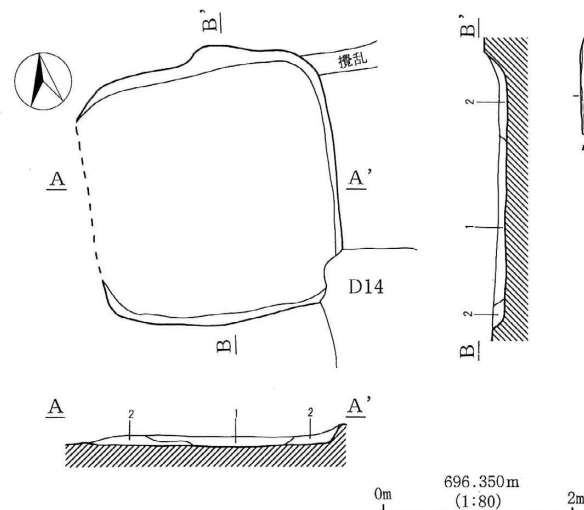
第2節 竪穴状遺構(T a)

T a 1号竪穴状遺構

遺構はIV-1-こグリッドに位置し、西側壁の立ち上がりは消滅していた。規模は東西2.6m、南北2.6m、確認面から底面までの深さは最大で25cmを測る。平面形態は調査状況からやや隅丸の方形と思われる。底面からピット等は確認できなかった。性格は不明である。

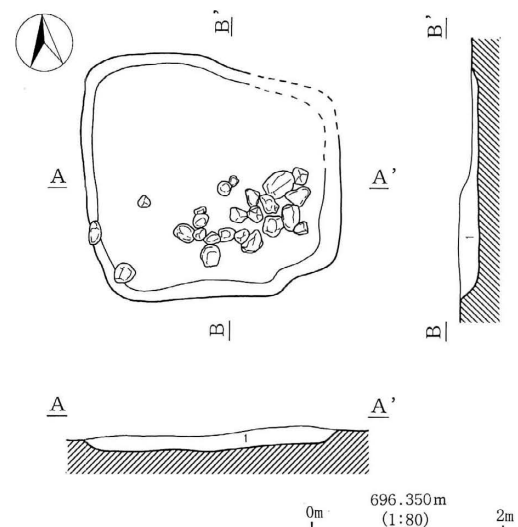
遺物は弥生土器・すり鉢・砥石・鉄製品が出土した。弥生土器は混入品である。

時期は、すり鉢の出土から中近世としたい。



- 1 黒褐色土層 (10YR2/2) 0-ム粒・0-ム7°ロック・軽石・炭化物含む。
- 2 にぶい黄褐色土層 (10YR4/3) 0-ム多量、軽石含む。

T a 1号竪穴状遺構実測図



- 1 黒褐色土層 (10YR2/3) 0-ム粒・軽石・炭化物含む。

T a 2号竪穴状遺構実測図

番号	器種	器形	長さcm	幅cm	厚さcm	重量g	色調	備考
Ta1	鉄製品	角釘	<5.2>	<0.5>	<0.5>	<2.27>	赤褐色	頭部欠損

T a 1号竪穴状遺構遺物観察表

[]推定値・〈 〉残存値

T a 2号竪穴状遺構

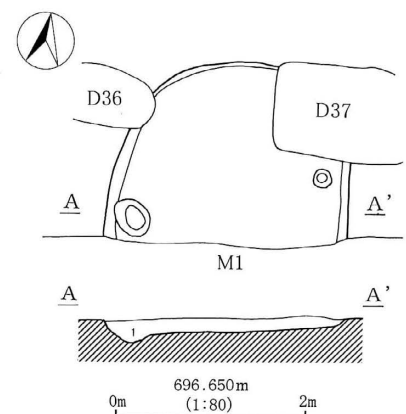
遺構はIV-1-けグリッドに位置し、北東コーナー付近は一部壁の立ち上がりが消滅していた。規模は東西2.4m、南北2.3m、確認面から底面までの深さは最大25cmを測る。平面形態は不整形である。底面には南側を中心に3~10cmの礫が散在していた。性格は不明である。

遺物は土師器・須恵器片が出土した。いずれも小破片である。覆土中からの出土で、付近に古墳時代の住居址が存在するため本址に伴う遺物とは断定できない。時期は断定できなかった。

T a 3号竪穴状遺構

V-10-あグリッドに位置し、M1・D36・D37に切られる。調査規模は東西2.4m、南北1.8m、確認面から底面までの深さは最大20cmを測る。底面からピット2個が確認できた。性格は不明である。

遺物は弥生土器・土師器片が出土した。いずれも小破片である。覆土中の出土で付近に古墳時代の住居址が存在することから、本住居址に伴う遺物とは断定できない。時期は断定できなかった。

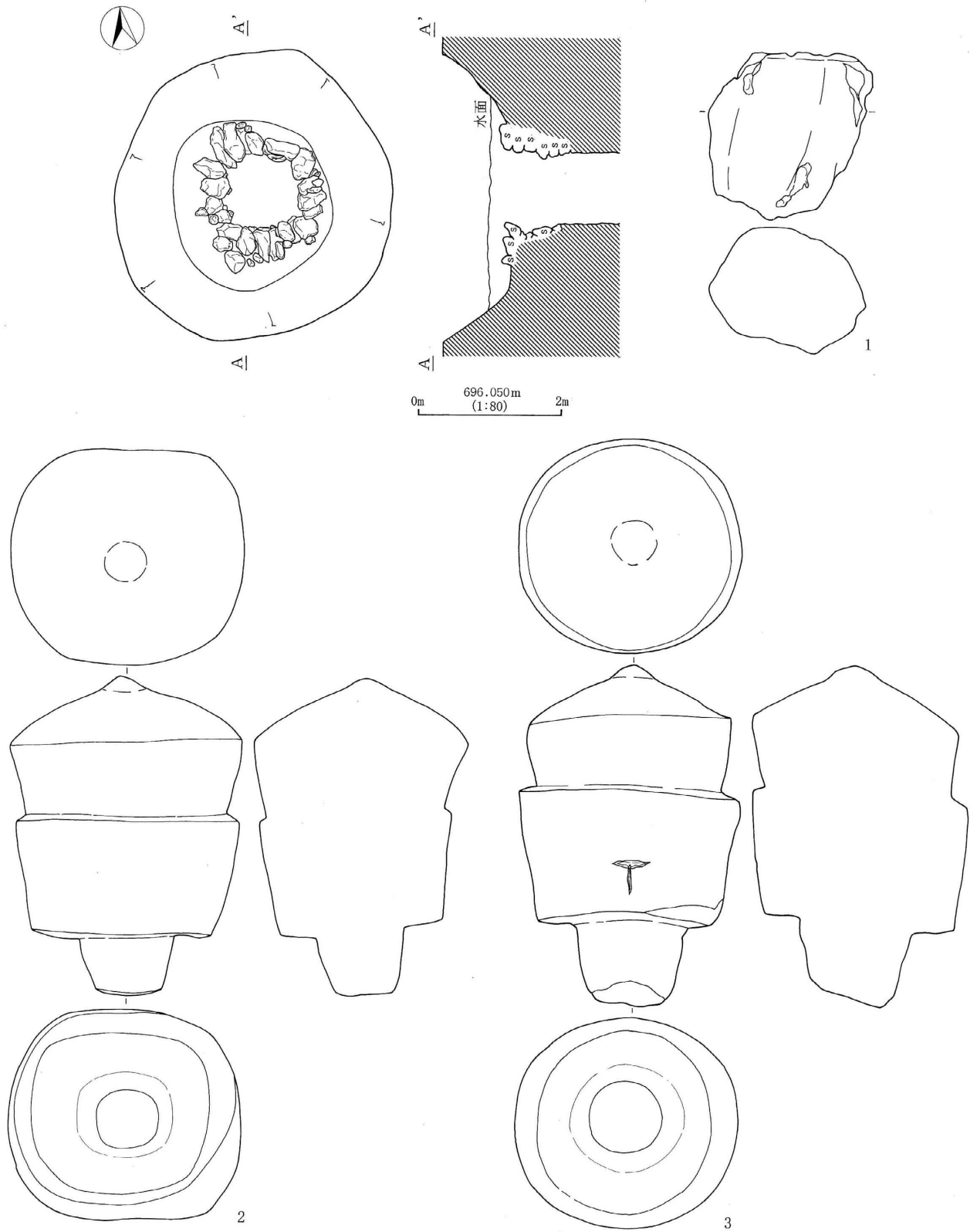


- 1 黒褐色土層 (10YR2/3)
0-ム粒・0-ム7°ロック・炭化物含む。

T a 3号竪穴状遺構実測図

第3節 井戸跡

1号井戸跡



1号井戸跡遺構・遺物実測図

遺構はIV-1-きグリッドに位置する。確認面では径3.9mを測る円形の土坑状を示し、すり鉢状に0.8m掘り下げた位置で積み上げられた川原石の最上段部が確認できた。湧水は確認面から0.6mと浅い位置で認められた。調査は安全性も考慮し、確認面から2mの地点までとした。石積み内部の覆土は暗褐色土で、土師器片・五輪塔・すり鉢片・土鍋・青磁片が出土した。土師器は混入遺物と考えられ、他の遺物から近世としたい。

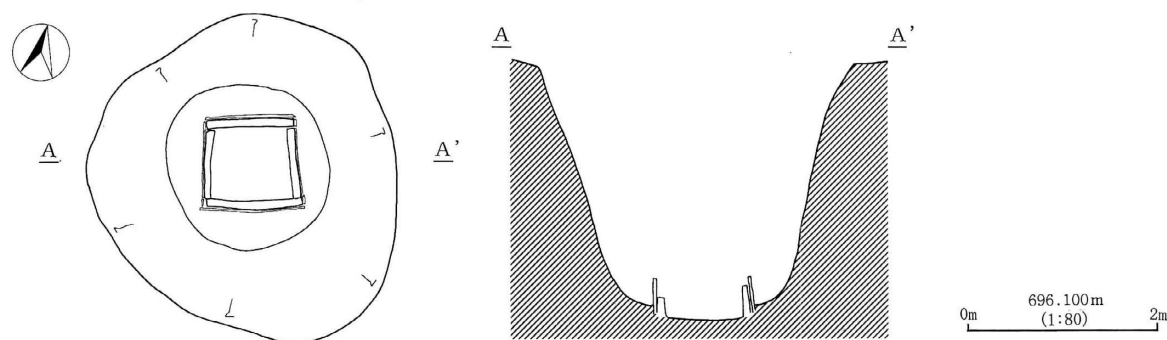
番号	器種	器形	長さcm	幅cm	厚さcm	重量g	色調	備考
			長径cm	短径cm	高さcm			
1	石製品	不明	<10.5>	<11.3>	<8.5>	<285.45>	灰白色	すり加工あり
2	石製品	五輪塔	22	16	14.8	3350	灰色	空風輪 方形に近い形状
3	石製品	五輪塔	23.7	15.5	14.8	1980	灰色	空風輪 風輪部側面に「T」字状刻みあり

1号井戸跡遺物観察表

[]推定値・〈 〉残存値

2号井戸跡

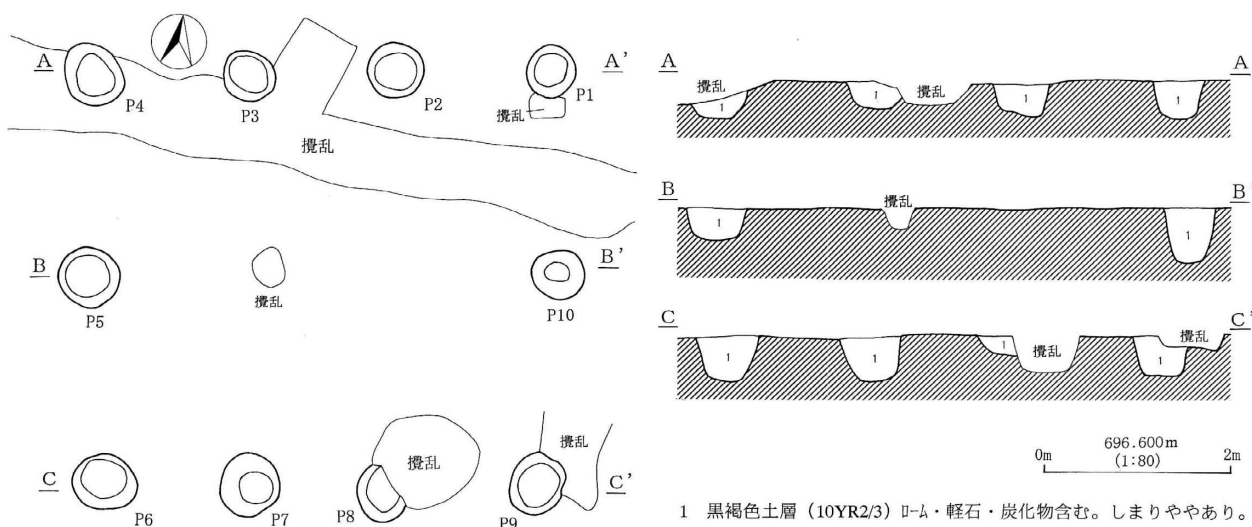
遺構はIV-1-かグリッドに位置する。確認面上では径3.5mを測る不整の円形で、すり鉢状の緩やかな傾斜で2.8m掘り込まれており、底部中央には方形に組まれた木枠が残存していた。湧水は確認面から0.6mと比較的浅い位置で認められた。遺物は土師器片が出土したが混入遺物と考えられる。



2号井戸跡遺構実測図

第4節 掘立柱建物址(F)

F 1号掘立柱建物址



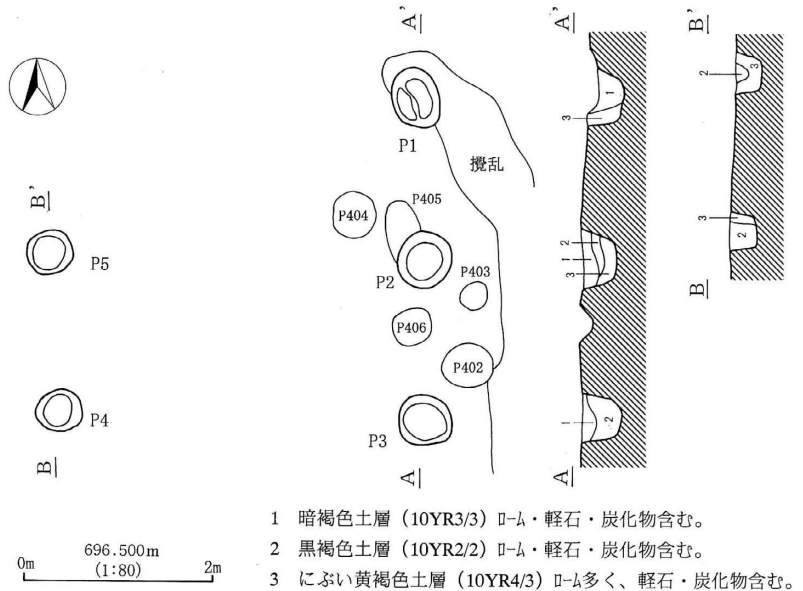
1 黒褐色土層 (10YR2/3) Ⅱ-Ⅲ・軽石・炭化物含む。しまりややあり。

F 1号掘立柱建物址遺構実測図

遺構はVI-3-おグリッド、H1の南1.5mに位置し、方向軸をほぼ同じとする。一部近年の攪乱に破壊される。ピットは10個確認でき、規模はピット中央からの計測で東西4.8~5.0m、南北4.5~4.6mを測る。南北2間×東西3間の側柱で、平面形態は東西に長い長方形である。ピットの規模は確認面上での径55~70cm、深さは32~55cmを測る。時期は、今回実施した調査地域からは古墳時代である5世紀後半から6世紀前葉及び中世の遺構が確認されているが、本遺構の位置及び住居址との方向軸が同一であることから古墳時代と考えられ、住居址と同一時期に存在していた可能性も窺われる。

F2号掘立柱建物址

遺構はVI-6-えグリッドに位置し、周辺地域は近年の構築物によって大きく破壊されている。確認できたピットは5個である。規模は残存ピットからの推定で東西3.9~4.1m、南北3.5mを測る。平面形態は残存状況から方形と思われる。ピットの規模は確認面上での径50~56cm、深さは28~40cmを測る。時期は、遺物の出土が認められないことから確実な時期は断定できないが、調査区周辺の状況から古墳時代の可能性が考えられる。

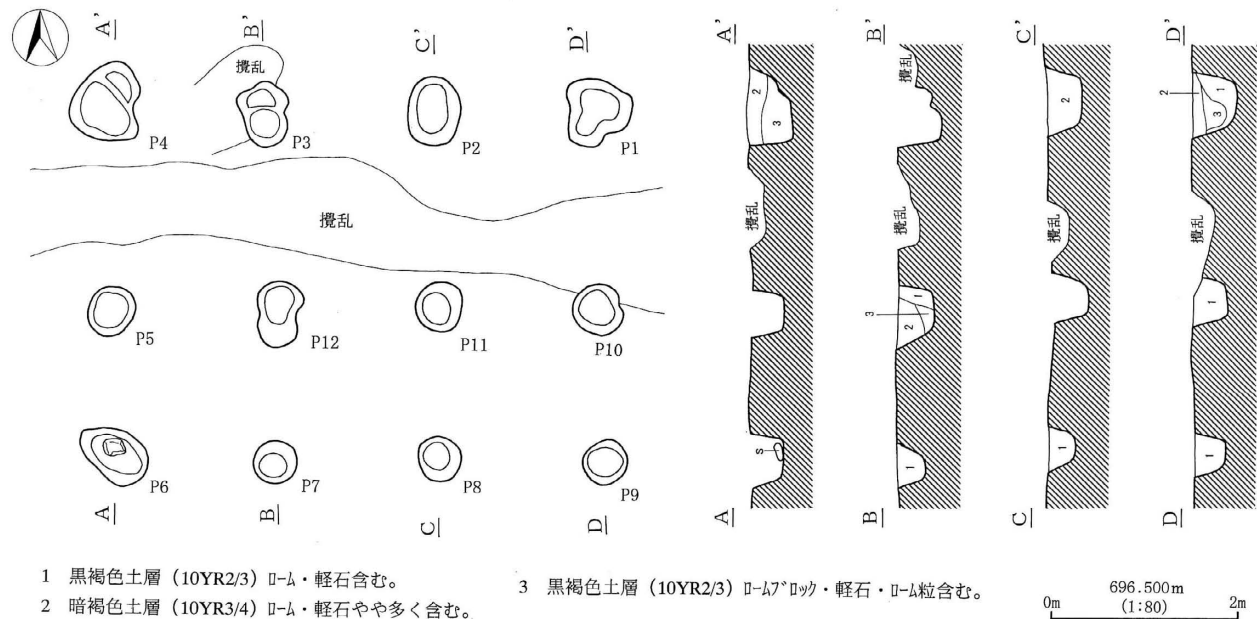


- 1 暗褐色土層 (10YR3/3) ㊦-㊧・軽石・炭化物含む。
- 2 黒褐色土層 (10YR2/2) ㊦-㊧・軽石・炭化物含む。
- 3 にぶい黄褐色土層 (10YR4/3) ㊦-㊧多く、軽石・炭化物含む。

F2号掘立柱建物址遺構実測図

F3号掘立柱建物址

遺構はVI-8-くグリッド、H6の南1.1mに位置し、方向軸をほぼ同じとする。ピットは12個確認でき、規模はピット中央からの計測で東西5.4~5.5m、南北3.7~3.9mを測る。東西3間、南北2間の総柱で、平面形態は東西に長い長方形である。ピットの規模は確認面上での径45~70cm、深さは28~45cmを測る。時期は、今回実施した調査地域からは古墳時代である5世紀後半から6世紀前葉及び中世の遺構が確認されているが、本遺構の位置及び住居址との方向軸が同一であることから古墳時代と考えられ、住居址と同一時期に存在していた可能性も窺われる。



- 1 黒褐色土層 (10YR2/3) ㊦-㊧・軽石含む。
- 2 暗褐色土層 (10YR3/4) ㊦-㊧・軽石や多く含む。
- 3 黒褐色土層 (10YR2/3) ㊦-㊧7°㊦㊧・軽石・㊦-㊧粒含む。

F3号掘立柱建物址遺構実測図

第5節 溝状遺構(M)



M1号溝状遺構

遺構はⅢ-7-こ～Ⅵ-5-いグリッドにかけて存在し、東は調査区域外に延び、西側はM2とT字状に合流する。古墳時代のH3を切り、D1・24・26に切られ、一部近年の攪乱に破壊されている。調査規模は長さ30m、確認面での幅0.85～1.2m、底幅0.42～0.7m、確認面からの深さ0.3～0.5mを測る。覆土はローム・軽石を含む黒褐色土の単層である。

遺物は弥生・古墳時代の土器、中世以降の陶器片が出土した。時期は、5世紀後半と考えられる古墳時代の住居址を切り、中近世と思われる土坑に切られることから、時代幅は広がるが、古墳時代5世紀後半以降～中近世の幅に納めたい。

- 1 黒褐色土層 (10YR2/3) 軽石・ μ -h粒含む。
- 2 黒褐色土層 (10YR2/3) μ -h・軽石含む。

M1号溝状遺構実測図

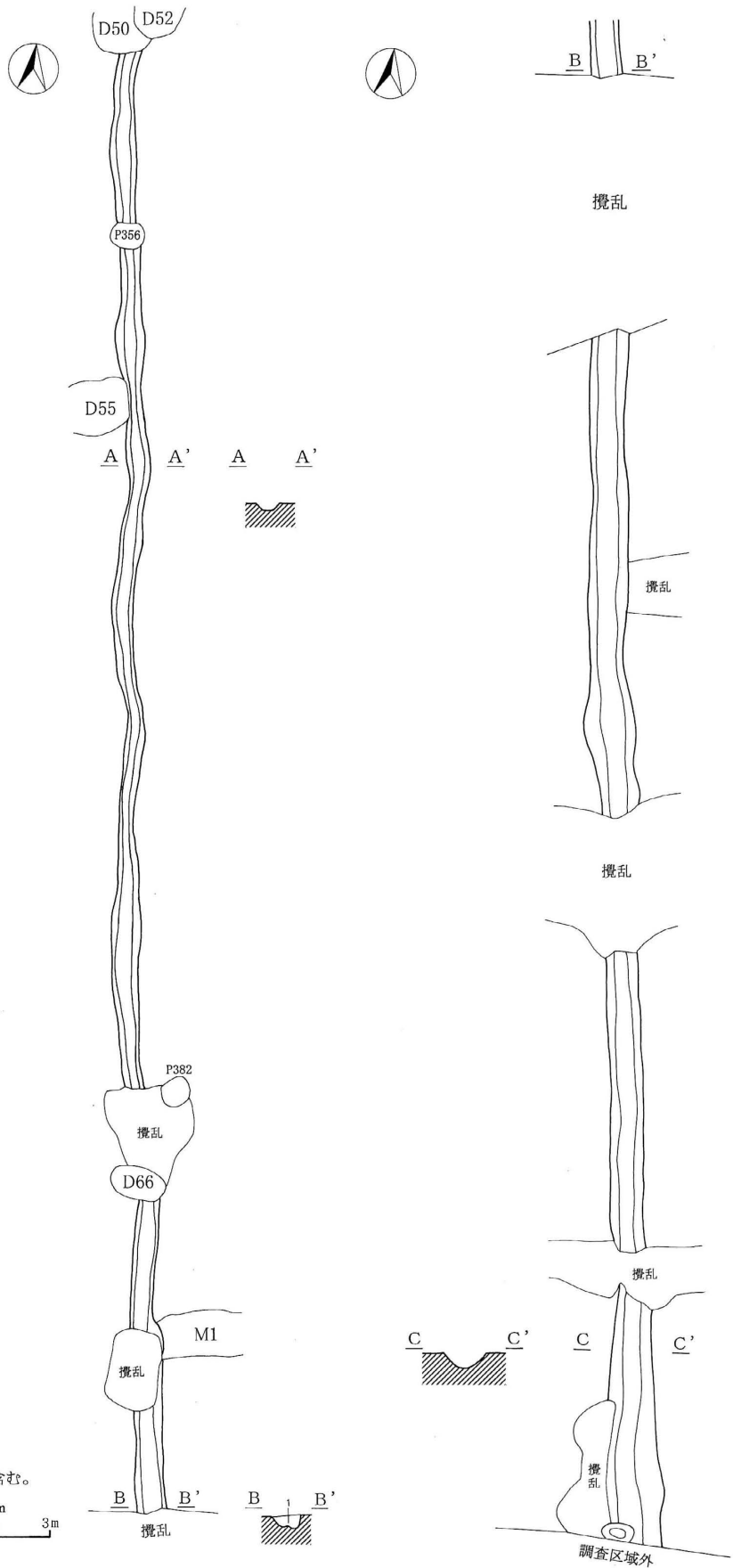
M2号溝状遺構

H22・23年度調査における遺構はIV-6-か～VI-4-けグリッドにかけて存在し、VI-5-いグリッドにてM1と合流する。D50・55・66に切れ、一部近年の攪乱に破壊されている。H22・23年調査範囲における規模は長さ54m、確認面での幅0.35～0.9m、底幅0.2～0.5m、深さは0.15～0.3mを測る。覆土はローム・軽石を含む黒褐色土の単層である。

時期は、M1と合流することから同時期としたい。

1 黒褐色土層 (10YR2/3) 0-4粒・0-47°ロツク・軽石含む。

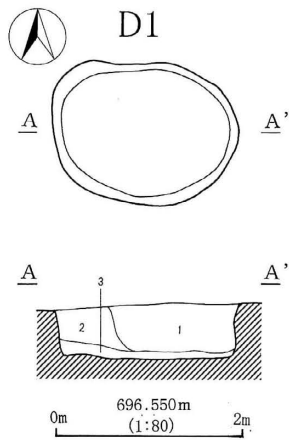
696.500m
(1:120)
0m 3m



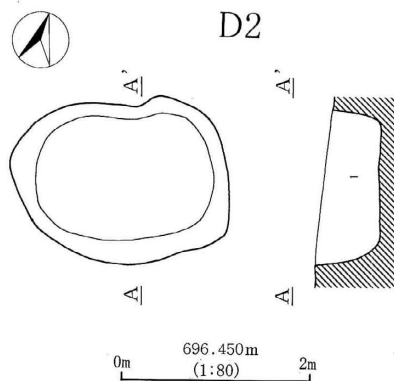
M2号溝状遺構実測図

第6節 土坑(D)

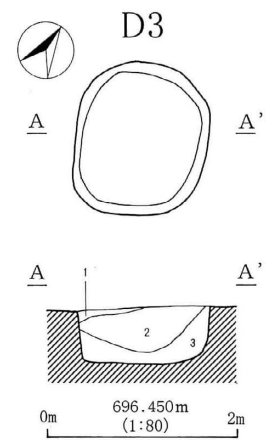
縦穴状遺構と区別するため、直径及び一辺2 m以内の掘り込みを土坑として取り扱った。



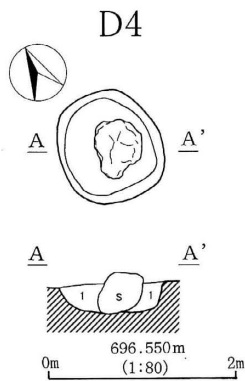
- 1 黒褐色土層 (10YR2/3) 砂・軽石・炭化物含む。
- 2 暗褐色土層 (10YR3/3) 黒色土とD-ム粒の混合土。
- 3 にぶい黄褐色土層 (10YR4/3) 砂主体。



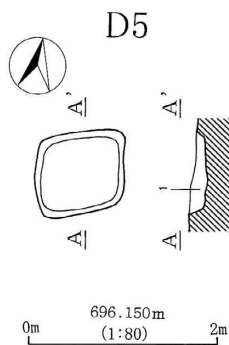
- 1 黒褐色土層 (10YR2/3)
D-ム粒・軽石・炭化物少量含む。



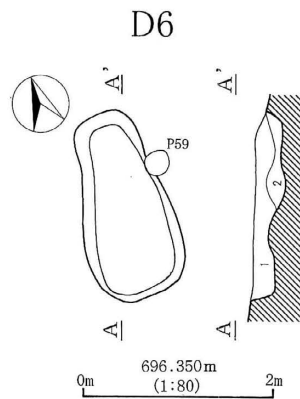
- 1 黒褐色土層 (10YR2/3)
D-ム粒・軽石含む。
- 2 にぶい黄褐色土層 (10YR4/3)
D-ム主体。暗褐色土含む。
- 3 暗褐色土層 (10YR3/4)
D-ム主体。暗褐色土含む。



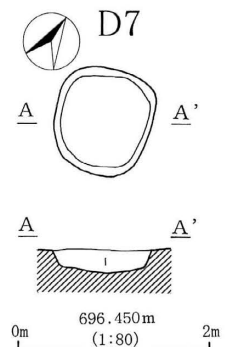
- 1 黒褐色土層 (10YR2/3)
D-ム粒・軽石含む。



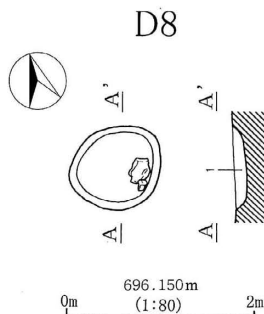
- 1 黒褐色土層 (10YR2/2)
D-ム粒・軽石含む。



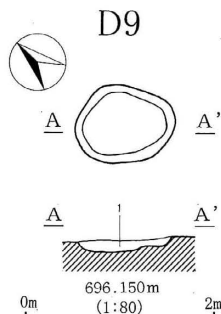
- 1 黒褐色土層 (10YR2/3)
D-ム⁷ツツ・炭化物含む。
- 2 暗褐色土層 (10YR3/4)
D-ム主体。暗褐色土含む。



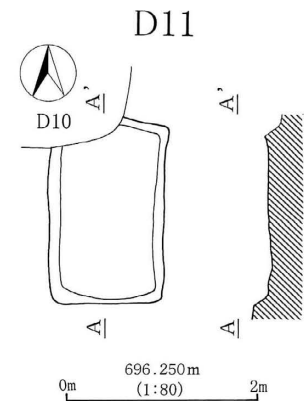
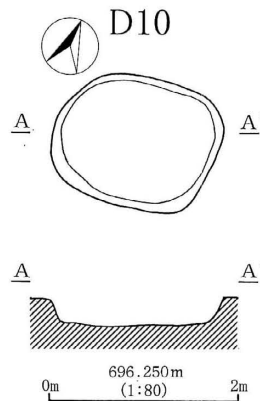
- 1 暗褐色土層 (10YR3/3)
D-ム粒・軽石・炭化物含む。



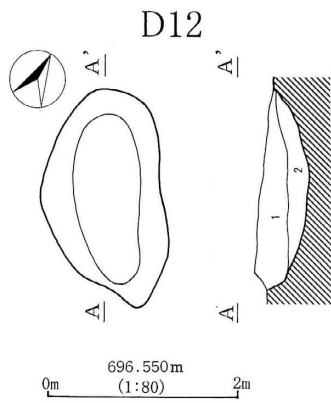
- 1 黒褐色土層 (10YR2/2)
D-ム粒・炭化物含む。



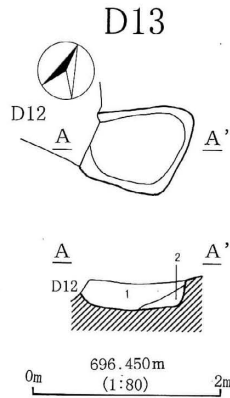
- 1 黒褐色土層 (10YR2/2)
D-ム粒・炭化物含む。



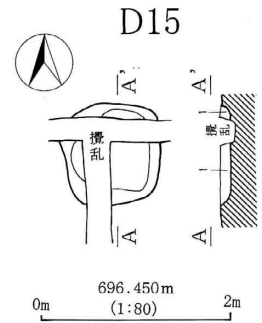
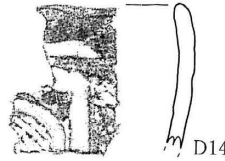
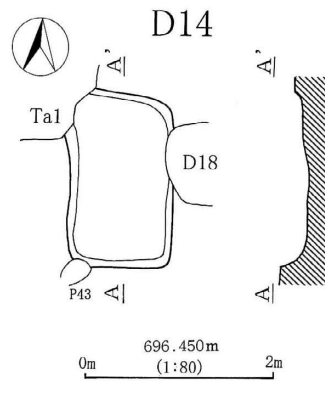
D 1 ~ 11号土坑実測図



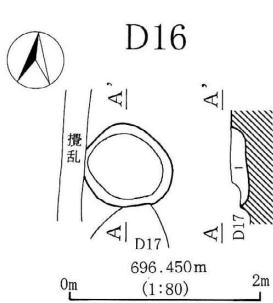
- 1 暗褐色土層 (10YR3/4)
 凹-ム・軽石含む。
- 2 暗褐色土層 (10YR3/3)
 凹-ム粒・軽石・凹-ム7°ブロック含む。



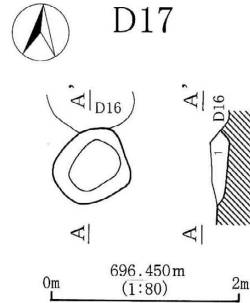
- 1 黒褐色土層 (10YR2/3)
 凹-ム粒・軽石・炭化物含む。
- 2 暗褐色土層 (10YR3/4)
 凹-ム粒多く含む。



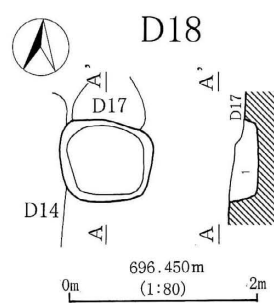
- 1 黒褐色土層 (10YR3/2)
 凹-ム粒・凹-ム7°ブロック
 やや多く含む。



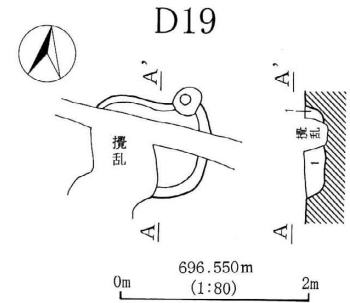
- 1 暗褐色土層 (10YR3/3)
 凹-ム7°ブロック・凹-ム粒
 やや多く含む。



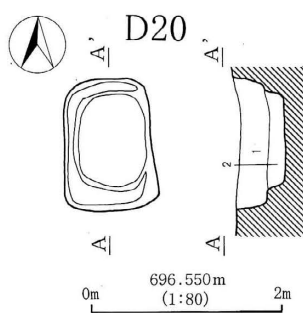
- 1 暗褐色土層 (10YR3/3)
 凹-ム7°ブロック・凹-ム粒多く含む。



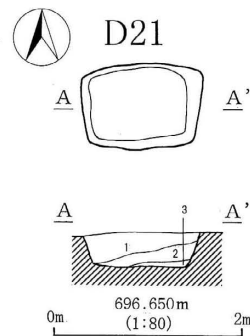
- 1 暗褐色土層 (10YR3/4)
 凹-ム7°ブロック・凹-ム粒多く含む。



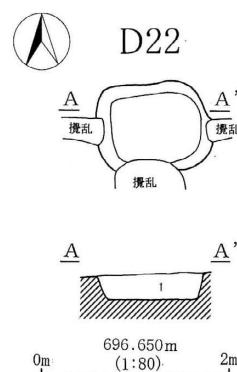
- 1 黒褐色土層 (10YR3/2)
 凹-ム粒・凹-ム7°ブロック
 やや多く含む。



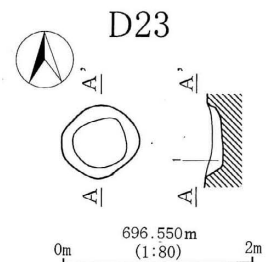
- 1 黒褐色土層 (10YR3/2)
 凹-ム粒・凹-ム7°ブロックやや多く含む。
- 2 暗褐色土層 (10YR3/4)
 凹-ム主体。暗褐色土含む。



- 1 黒褐色土層 (10YR3/2)
 凹-ム粒・凹-ム7°ブロックやや多く含む。
- 2 褐色土層 (10YR4/4)
 凹-ム主体。
- 3 黒褐色土層 (10YR3/2)
 凹-ム粒・凹-ム7°ブロックやや多く、
 黒褐色土7°ブロック含む。



- 1 黒褐色土層 (10YR3/2)
 凹-ム粒・凹-ム7°ブロックやや多く含む。



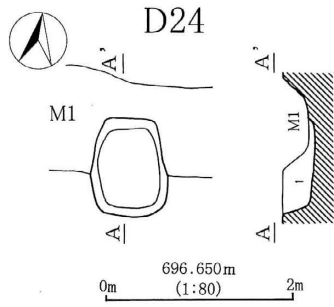
- 1 黒褐色土層 (10YR3/2)
 凹-ム粒・凹-ム7°ブロック
 やや多く含む。

D12~23号土坑実測図

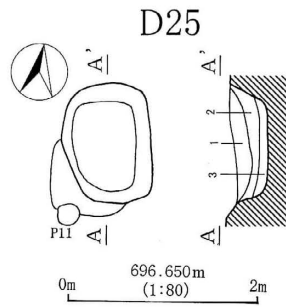
番号	器種	器形	口径cm	底径cm	器高cm	調整・文様	残存率・部位	焼成	色調(外面)	備考
D14	縄文土器	深鉢	-	-	-	外面ナデ 隆帯区画内に縄目 内面ナデ	凹緑破片	良	10YR5/4 にぶい黄褐色	中期後半 加曾利 E30rE4

D14号土坑出土遺物観察表

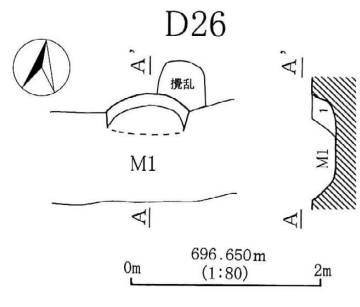
[]推定値・< >残存値



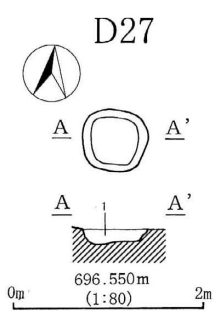
- 1 黒褐色土層 (10YR3/2)
炭化物、 \square - Δ 7° \square ック少量含む。



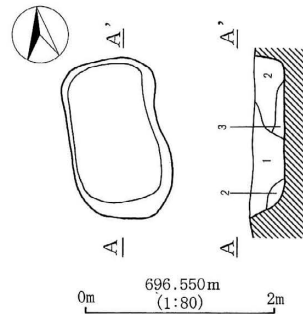
- 1 黒褐色土層 (10YR3/2) \square - Δ 粒・ \square - Δ 7° \square ックやや多く含む。
2 暗褐色土層 (10YR3/3) \square - Δ 粒・ \square - Δ 7° \square ック多く含む。
3 褐色土層 (10YR4/4) \square - Δ 主体。軽石・暗褐色土を含む。



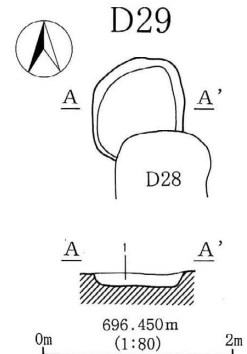
- 1 黒褐色土層 (10YR2/3)
 \square - Δ 粒・軽石・炭化物含む。



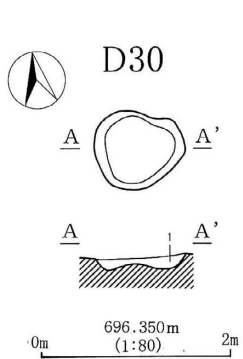
- 1 黒褐色土層 (10YR2/3)
 \square - Δ 粒・炭化物含む。



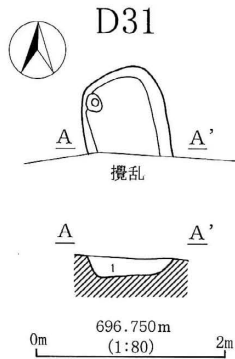
- 1 黒褐色土層 (10YR2/3)
 \square - Δ 粒・ \square - Δ 7° \square ック・炭化物・軽石含む。
2 黒褐色土層 (10YR2/3)
黒褐色土と \square - Δ の混合土。軽石含む。
3 暗褐色土層 (10YR3/4)
 \square - Δ 多く、炭化物・軽石含む。



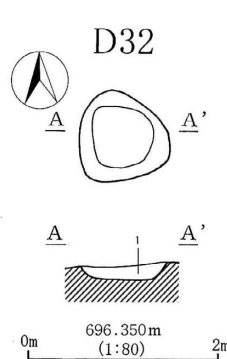
- 1 暗褐色土層 (10YR3/3)
 \square - Δ ・軽石・炭化物含む。



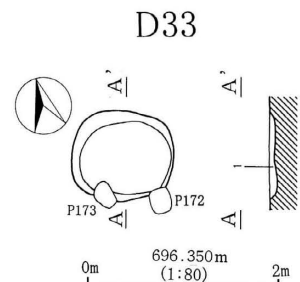
- 1 黒褐色土層 (10YR2/2)
 \square - Δ 粒・軽石含む。



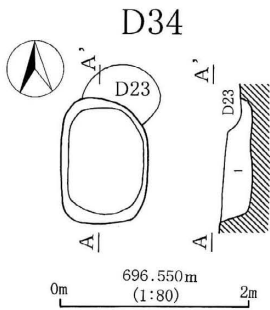
- 1 暗褐色土層 (10YR3/4)
 \square - Δ 粒多く含む。



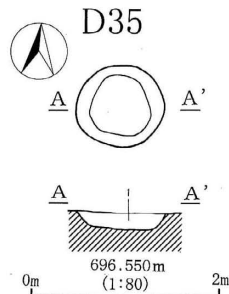
- 1 黒褐色土層 (10YR2/3)
 \square - Δ 粒・軽石・炭化物含む。



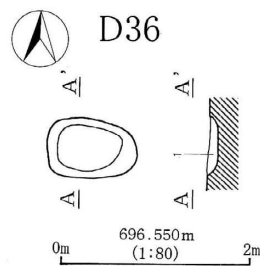
- 1 黒褐色土層 (10YR2/3)
 \square - Δ 粒・軽石・炭化物含む。



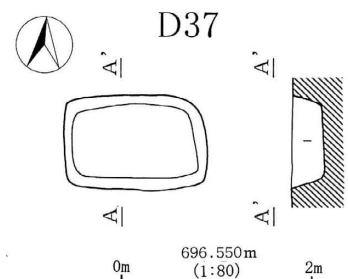
- 1 黒褐色土層 (10YR2/3)
 \square - Δ 粒・ \square - Δ 7° \square ック・炭化物含む。



- 1 黒褐色土層 (10YR2/3)
 \square - Δ 粒・ \square - Δ 7° \square ック・炭化物含む。

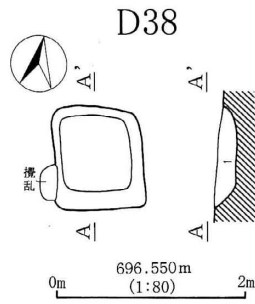


- 1 黒褐色土層 (10YR2/3)
 \square - Δ 粒・ \square - Δ 7° \square ックやや多く、炭化物・焼土含む。

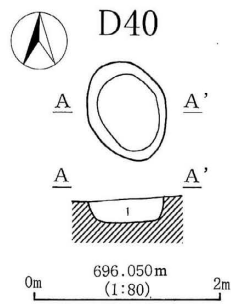


- 1 黒褐色土層 (10YR2/3) \square - Δ 粒・ \square - Δ 7° \square ック・軽石・炭化物含む。

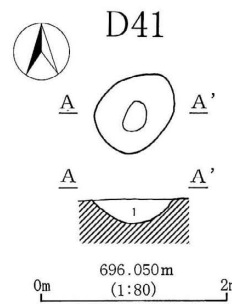
D 24~37号土坑実測図



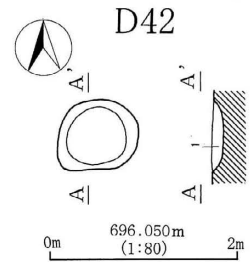
1 黒褐色土層 (10YR2/3)
 □-ム粒やや多く、炭化物・軽石含む。



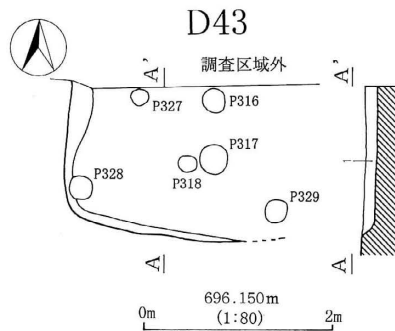
1 黒褐色土層 (10YR2/2)
 □-ム粒・砂少量含む。



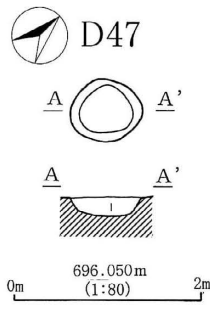
1 黒褐色土層 (10YR2/2)
 □-ム粒・砂少量含む。



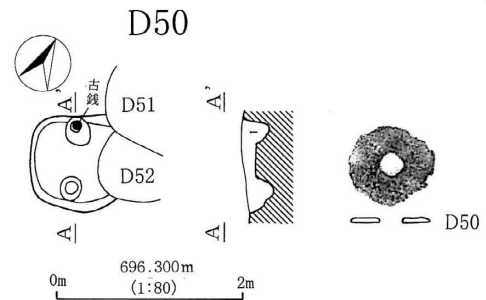
1 黒褐色土層 (10YR2/2)
 □-ム粒・砂少量含む。



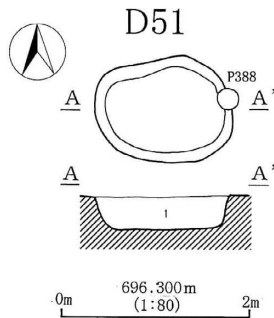
1 黒褐色土層 (10YR2/2)
 □-ム粒・砂少量含む。



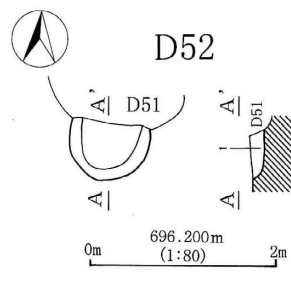
1 黒褐色土層 (10YR2/2)
 □-ム粒・砂少量含む。



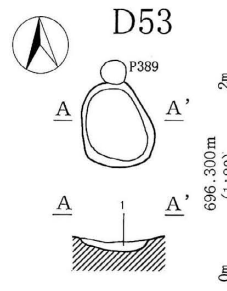
1 黒褐色土層 (10YR2/3)
 □-ム・軽石含む。



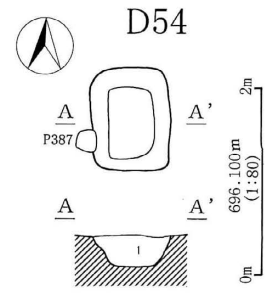
1 黒褐色土層 (10YR2/3)
 □-ム・軽石含む。



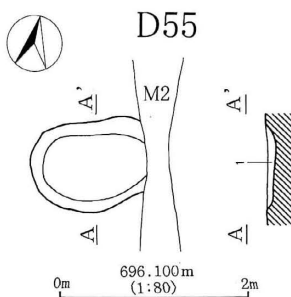
1 黒褐色土層 (10YR2/2)
 □-ム・軽石少量含む。



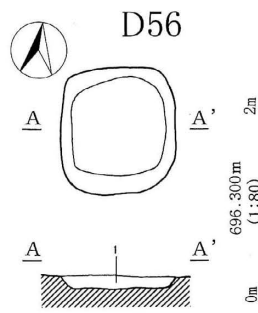
1 黒褐色土層 (10YR2/3)
 □-ム・軽石含む。



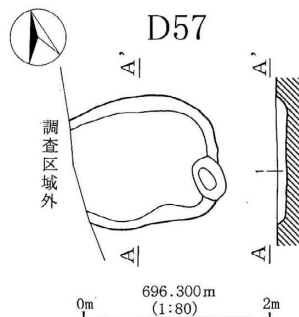
1 黒褐色土層 (10YR2/2)
 □-ム・軽石含む。



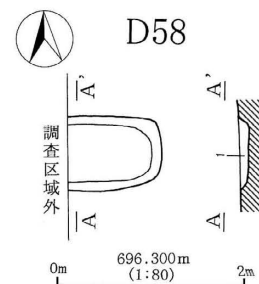
1 黒褐色土層 (10YR2/2)
 □-ム・軽石含む。



1 暗褐色土層 (10YR3/3)
 □-ムと暗褐色土の混合土。

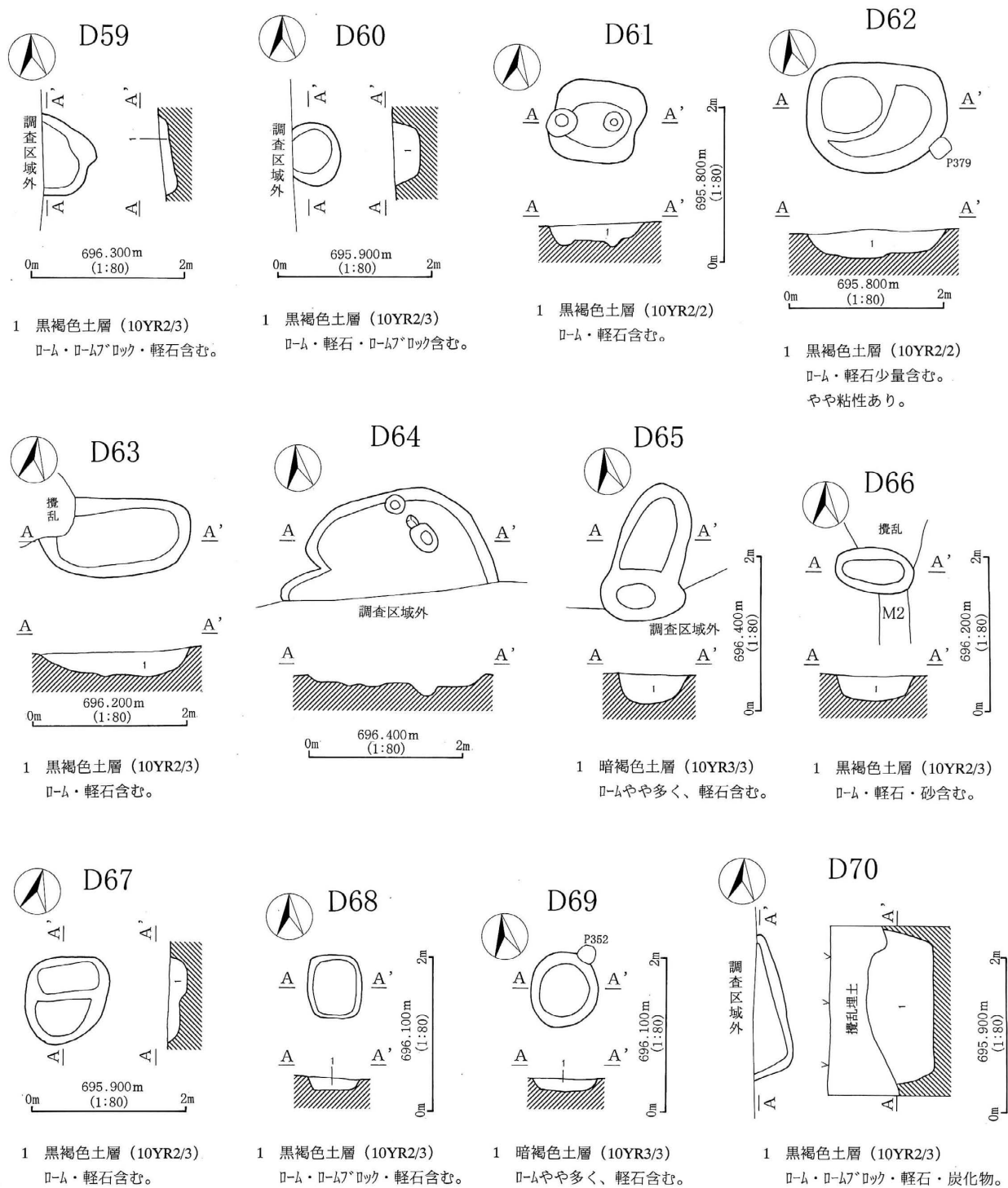


1 暗褐色土層 (10YR3/3)
 □-ムと暗褐色土の混合土。



1 黒褐色土層 (10YR2/3)
 □-ム・□-ム7°□ッ・軽石含む。

D38・40~43・47・50~58号土坑実測図



D59~70号土坑実測図

番号	器種	器形	外形cm	内径cm	最大厚cm	重量g	初鑄年	備考
D50	銅製品	古銭	(2.25)	(0.53)	(0.1)	(1.35)	-	摩耗はげしい

D50号土坑古銭観察表

[]推定値・〈 〉残存値

遺構名	平面形態	南北	東西	深さ	検出位置	出土遺物	備考
D1	円形	154	198	60	VI-4-あ		
D2	円形	172	229	68	VI-4-あ	土銅片、須恵器片、土師器片、弥生土器片	
D3	円形	162	141	60	VI-4-あ		

土坑観察表(1)

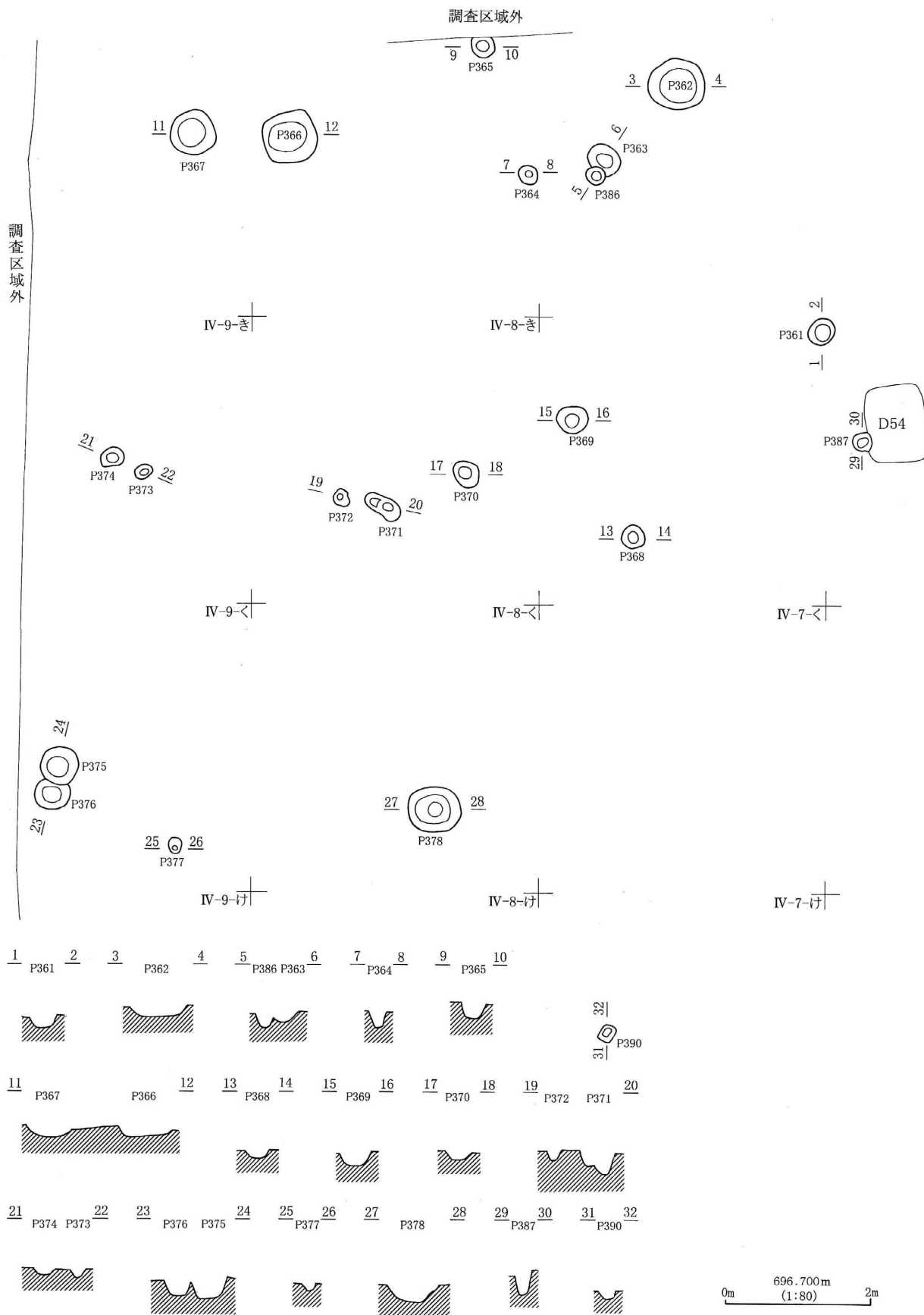
遺構名	平面形態	南北	東西	深さ	検出位置	出土遺物	備考
D4	円形	118	106	34	Ⅵ-3-あ	土師器片	
D5	方形	88	94	19	Ⅳ-4-こ		
D6	楕円形	200	102	38	Ⅳ-3-こ		
D7	円形	113	104	26	Ⅵ-3-あ		
D8	円形	87	97	15	Ⅳ-4-け		
D9	円形	84	106	16	Ⅳ-2-け		
D10	円形	140	180	29	Ⅳ-2-こ		
D11	長方形	<176>	123	21	Ⅳ-2-こ		
D12	楕円形	235	125	44	Ⅳ-1-こ		
D13	方形	98	<96>	32	Ⅳ-1-こ	弥生土器片	
D14	長方形	189	113	28	Ⅲ-10-こ	陶器片、土師器片、弥生土器片	
D15	隅丸方形	108	<106>	9	Ⅲ-10-け		
D16	円形	88	92	19	Ⅲ-10-こ		
D17	円形	84	78	14	Ⅲ-10-こ		
D18	隅丸方形	87	100	32	Ⅲ-10-こ	土師器片	
D19	隅丸方形?	99	<52>	22	Ⅲ-9-け	青磁片、土師器片、弥生土器片	
D20	方形	140	99	53	Ⅲ-9-こ	土師器片	
D21	方形	95	129	36	Ⅲ-8-け		
D22	隅丸方形	<80>	<108>	29	Ⅲ-8-け		
D23	隅丸方形	76	72	19	Ⅲ-9-こ		
D24	方形	<104>	80	36	V-9-あ		
D25	隅丸方形	127	94	40	V-10-い		
D26	?	<43>	<86>	<24>	V-8-あ		
D27	円形	66	70	16	Ⅲ-9-け		
D28	楕円形	172	105	38	Ⅲ-9-け	土師器片	
D29	円形	<80>	95	16	Ⅲ-9-こ		
D30	円形	84	94	16	Ⅲ-10-こ		
D31	長方形?	<90>	91	23	V-10-い		
D32	円形	96	96	19	Ⅲ-10-こ		
D33	円形	96	112	8	Ⅳ-1-こ		
D34	隅丸方形	133	92	34	Ⅲ-9-こ	土師器片	
D35	円形	86	94	20	Ⅲ-9-こ		
D36	円形	64	94	10	Ⅲ-10-こ		
D37	長方形	102	152	34	Ⅲ-9-こ	土師器片	
D38	方形	112	96	22	Ⅲ-9-こ	土師器片	
D39	欠番						
D40	円形	111	86	28	Ⅳ-2-か		
D41	円形	88	84	26	Ⅳ-2-か		
D42	円形	76	85	13	Ⅳ-3-か		
D43	方形?	<166>	<232>	16	Ⅳ-3-か	土師器片、弥生土器片	
D44	欠番						
D45	欠番						
D46	欠番						
D47	円形	66	76	20	Ⅳ-4-き		
D48	欠番						1号井戸に変更
D49	欠番						2号井戸に変更
D50	隅丸方形?	102	<74>	13	Ⅳ-6-か	古銭	
D51	円形	112	144	36	Ⅳ-5-か		
D52	円形?	<60>	86	<12>	Ⅳ-5-か	土鍋片、須恵器片、土師器片2点	
D53	円形	92	80	16	Ⅳ-5-か		
D54	方形	109	84	33	Ⅳ-6-き	弥生土器片	
D55	円形	98	<126>	10	Ⅳ-5-き		
D56	方形	136	124	15	Ⅳ-9-か	土鍋片	
D57	円形	139	<156>	12	Ⅳ-9-か	弥生土器片	
D58	楕円形?	81	<100>	12	Ⅳ-9-か	弥生土器片	
D59	円形?	106	<72>	27	Ⅳ-9-き		
D60	円形	83	<62>	36	Ⅳ-9-け		
D61	隅丸方形	104	116	24	Ⅳ-9-け		
D62	円形	144	180	38	Ⅳ-9-こ		
D63	楕円形	103	<156>	40	Ⅵ-7-あ	弥生土器片	
D64	不整形	<136>	281	17	Ⅵ-7-い	土師器片、弥生土器片	
D65	楕円形	184	109	38	Ⅵ-7-い		
D66	楕円形	58	100	36	Ⅵ-5-あ	須恵器片、弥生土器片	
D67	円形	112	106	25	Ⅵ-8-あ	土師器片	
D68	方形	84	70	19	Ⅳ-6-か		
D69	円形	96	85	18	Ⅳ-5-か		
D70	長方形?	<60>	<44>	<88>	Ⅳ-9-け		

[]推定値・()残存値

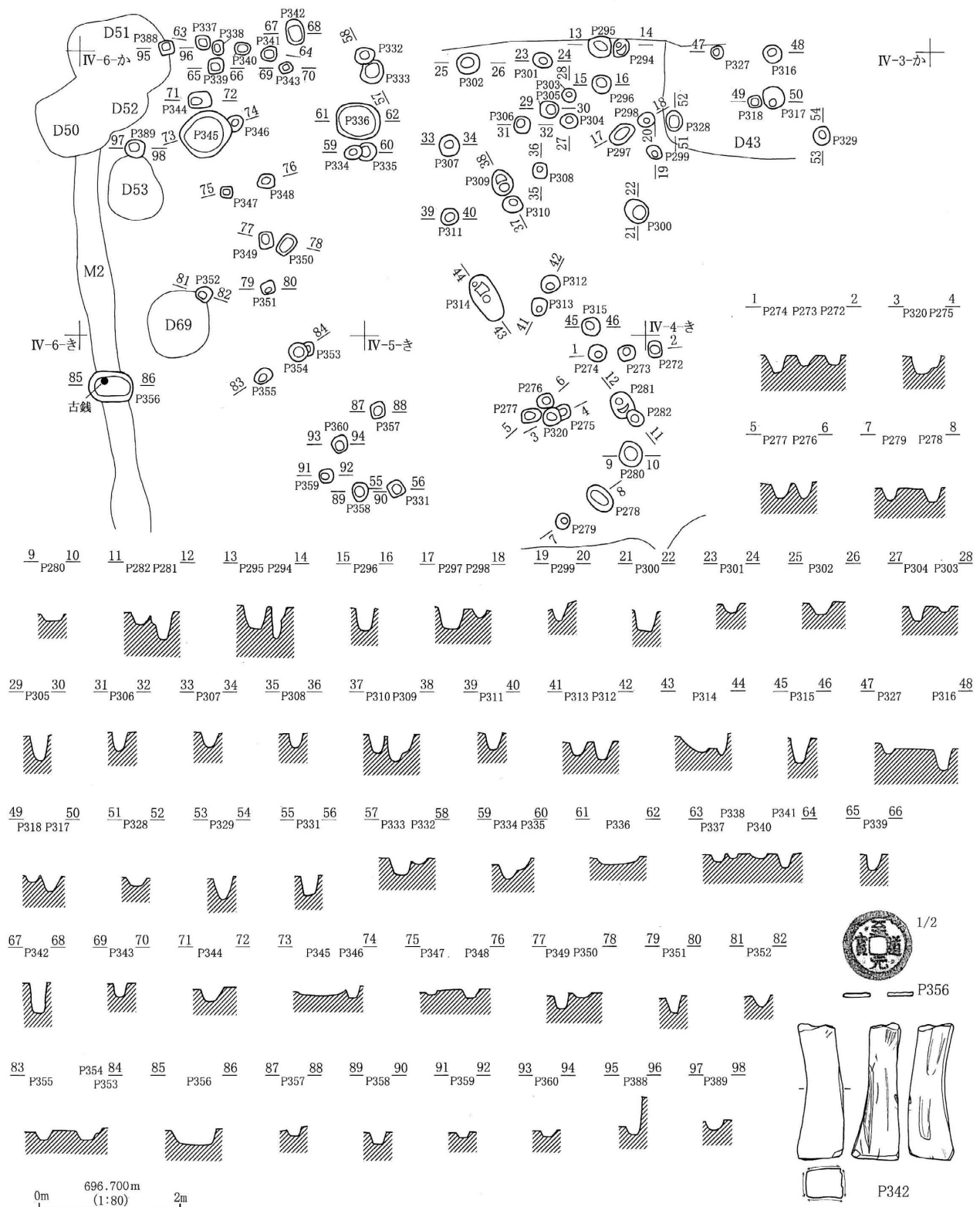
土坑観察表(2)

第7節 ピット(P)

土坑と区別するため直径80cm以内で、規則的な配列を伴わない掘り込みを単独ピットとして取り扱った。



ピット実測図(1)



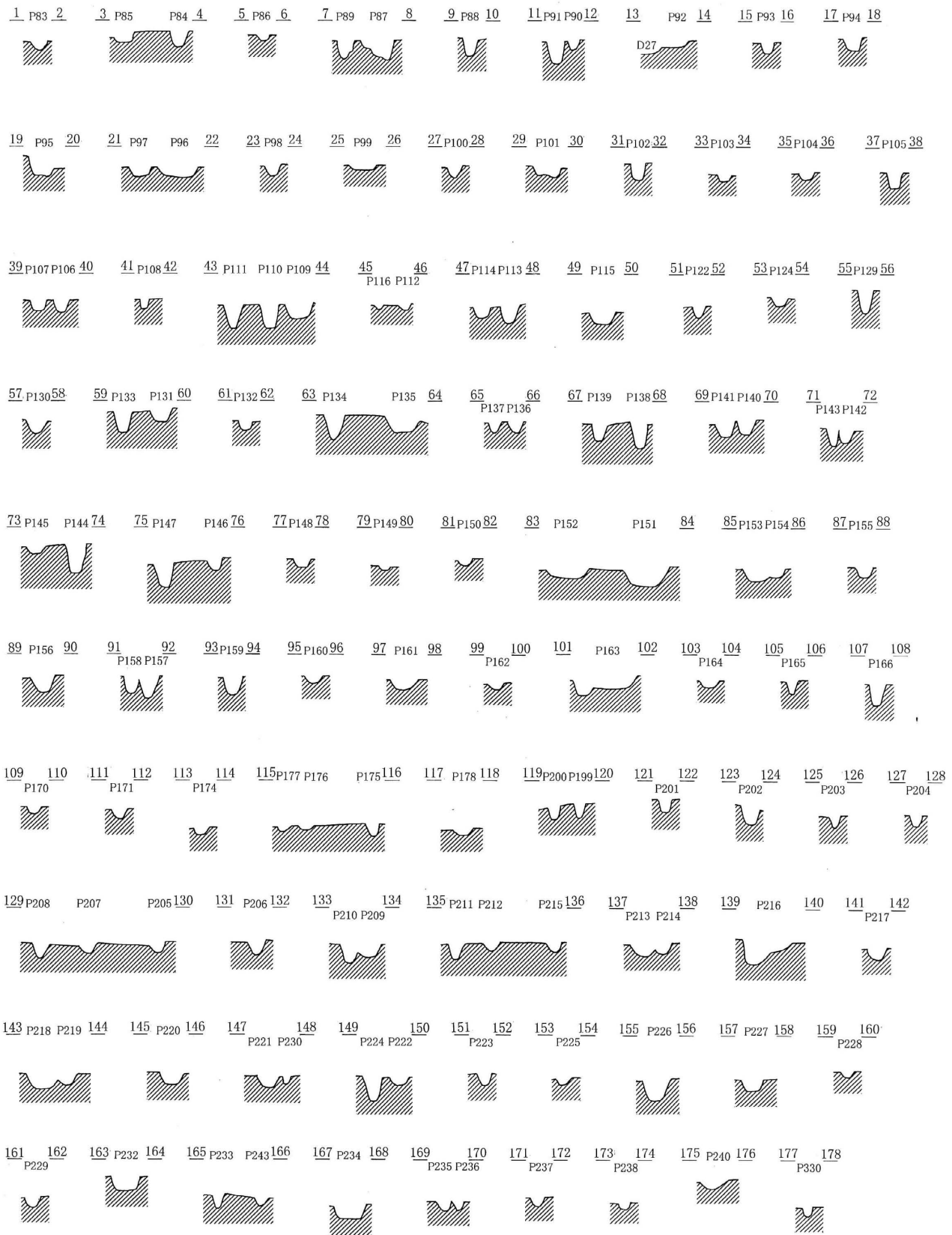
ピット実測図(2)

ピット出土遺物実測図

番号	器種	器形	長さcm	幅cm	厚さcm	重量g	色調	備考
P342	石製品	砥石	〈9.6〉	〈3.3〉	〈3.3〉	〈125.54〉	明ホ-ア 灰色	片側欠損 砥面5 側面条痕顕著
番号	器種	器形	外形cm	内径cm	最大厚cm	重量g	初鋳年	備考
P356	銅製品	古銭	2.42	0.58	0.11	2.57	北宋 995年	至道元寶 真書

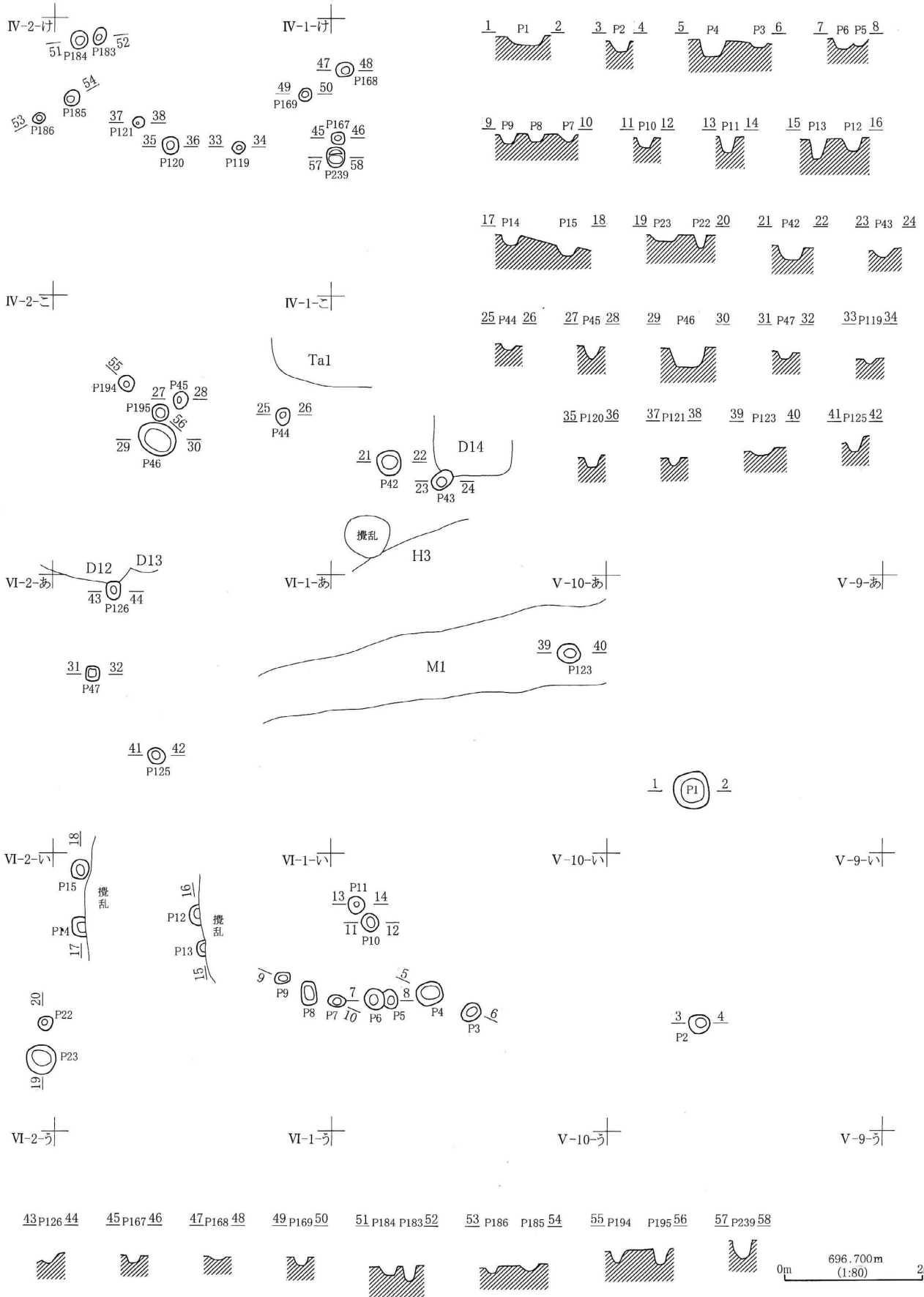
ピット出土遺物観察表

[] 推定値・〈 〉 残存値

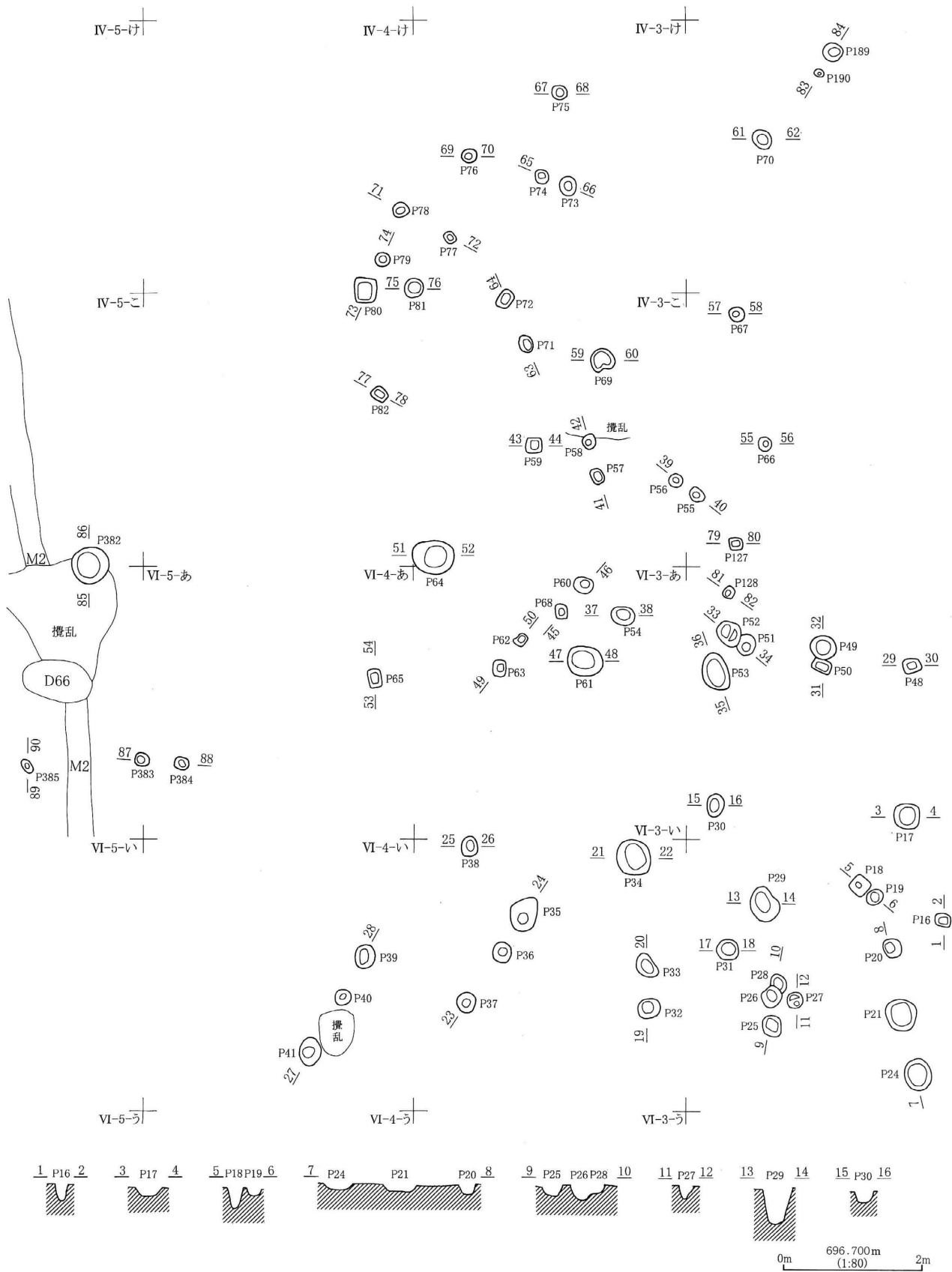


0m 696.700m (1:80) 2m

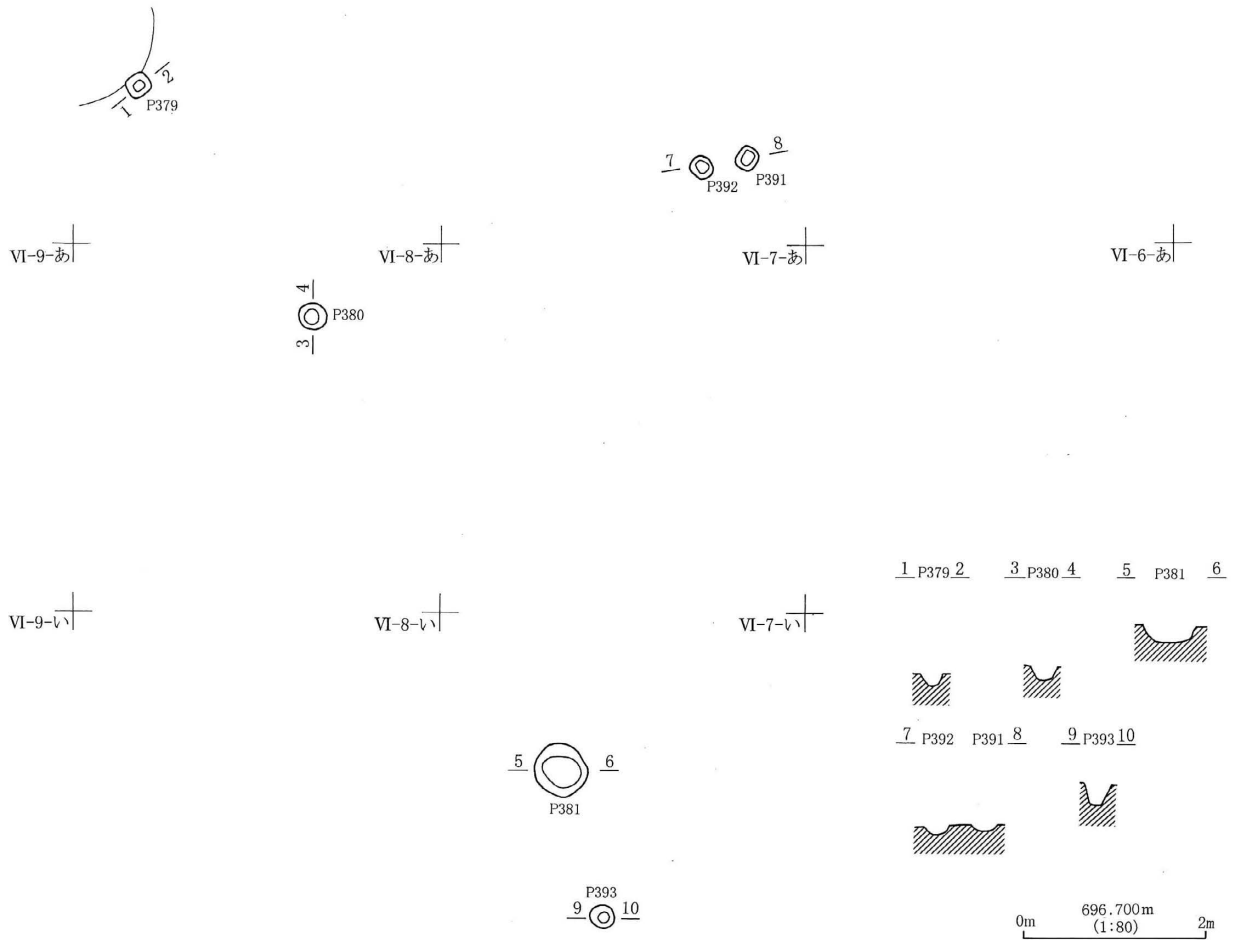
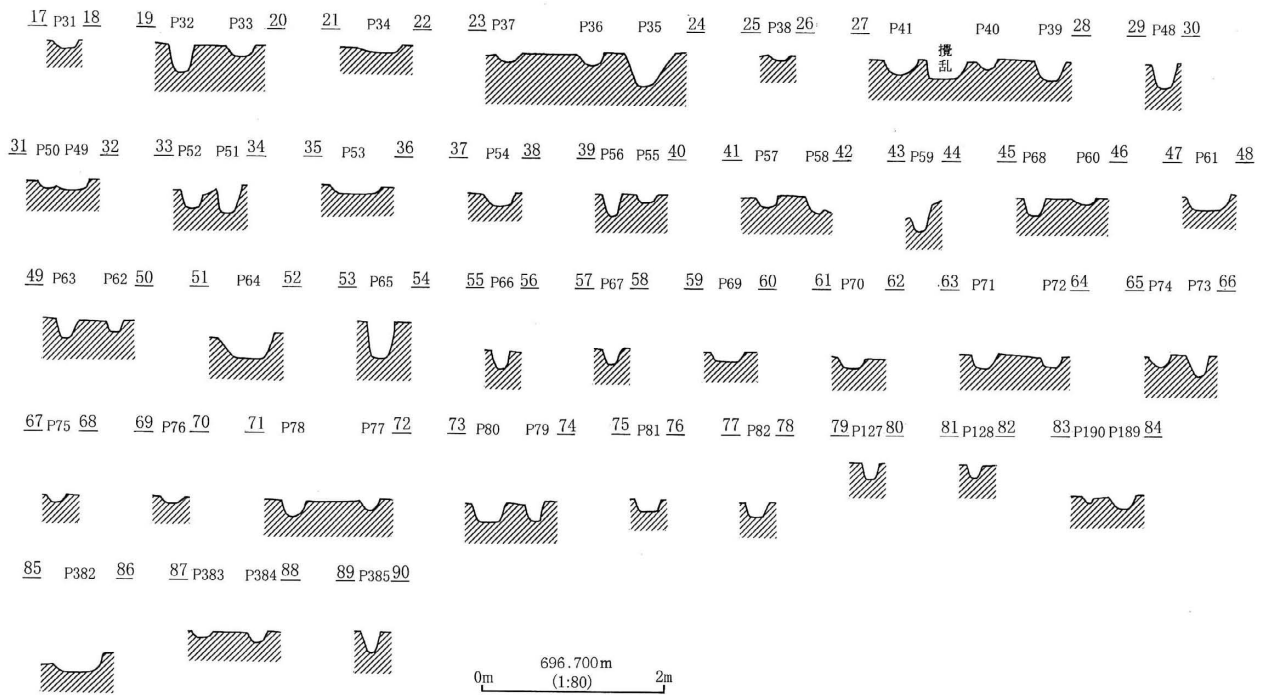
ピット実測図(5)



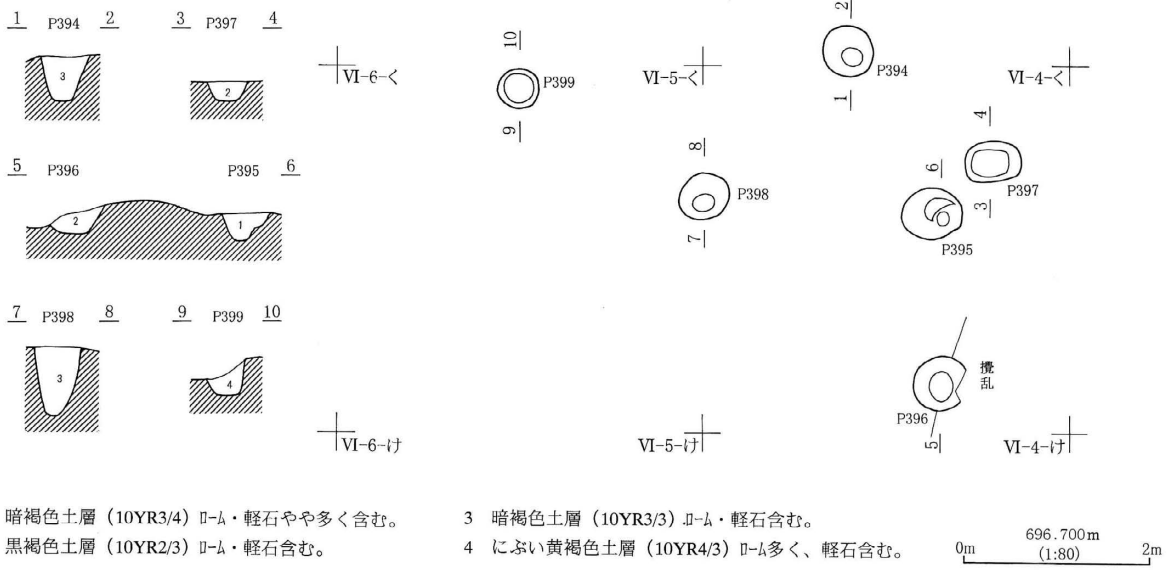
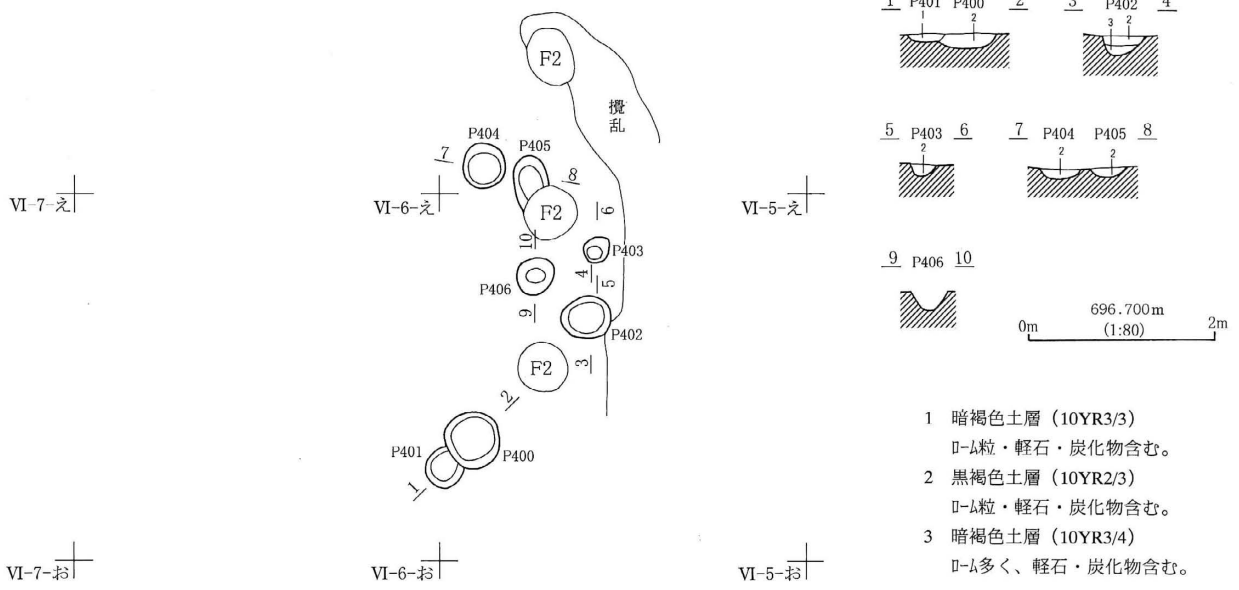
ピット実測図(6)



ピット実測図(7)



ピット実測図(8)



ピット実測図(9)

番号	形態	直径	深さ	検出位置	遺物
1	円形	53	15	V-9-あ	
2	円形	28	16	V-9-い	
3	円形	30	8	V-10-い	
4	円形	38	25	V-10-い	
5	円形	<20>	8	V-10-い	
6	円形	28	16	V-10-い	
7	円形	26	10	VI-1-い	
8	方形	34	12	VI-1-い	
9	方形	22	16	VI-1-い	
10	円形	24	16	V-10-い	
11	円形	24	24	V-10-い	
12	円形	<16>	20	VI-1-い	
13	円形	<13>	28	VI-1-い	

番号	形態	直径	深さ	検出位置	遺物
14	方形?	<20>	15	VI-1-い	
15	円形	26	16	VI-1-い	
16	方形	22	25	VI-2-い	
17	円形	38	13	VI-2-あ	
18	方形	25	31	VI-2-い	
19	円形	25	12	VI-2-い	
20	円形	28	16	VI-2-い	
21	円形	48	14	VI-2-い	
22	円形	21	18	VI-2-い	
23	円形	42	10	VI-2-い	
24	円形	46	12	VI-2-い	
25	隅丸方形	32	16	VI-2-い	
26	円形	30	22	VI-2-い	

ピット観察表(1)

[]推定値< >残存値

番号	形態	直径	深さ	検出位置	遺物
27	円形	24	20	Ⅵ- 2-い	
28	円形	<19>	12	Ⅵ- 2-い	
29	円形	52	54	Ⅵ- 2-い	
30	円形	33	17	Ⅵ- 2-あ	
31	円形	32	10	Ⅵ- 2-い	
32	円形	34	30	Ⅵ- 3-い	土師器片
33	楕円形	40	12	Ⅵ- 3-い	
34	円形	56	10	Ⅵ- 3-い	
35	円形	54	36	Ⅵ- 3-い	
36	円形	30	14	Ⅵ- 3-い	
37	円形	29	10	Ⅵ- 3-い	
38	円形	29	5	Ⅵ- 3-い	土師器片
39	円形	34	22	Ⅵ- 4-い	
40	円形	23	10	Ⅵ- 4-い	
41	円形	41	16	Ⅵ- 4-い	
42	円形	36	21	Ⅲ-10-こ	
43	円形	32	14	Ⅲ-10-こ	
44	円形	24	9	Ⅳ- 1-こ	
45	円形	24	18	Ⅳ- 1-こ	
46	円形	56	30	Ⅳ- 1-こ	
47	方形	20	12	Ⅵ- 1-あ	
48	方形	26	28	Ⅵ- 2-あ	
49	円形	35	12	Ⅵ- 2-あ	
50	方形	29	10	Ⅵ- 2-あ	
51	円形	32	32	Ⅵ- 2-あ	
52	円形	38	21	Ⅵ- 2-あ	
53	楕円形	57	12	Ⅵ- 2-あ	
54	円形	35	14	Ⅵ- 3-あ	
55	円形	24	9	Ⅳ- 3-こ	
56	円形	20	24	Ⅳ- 3-こ	
57	方形	24	14	Ⅳ- 3-こ	
58	円形	20	19	Ⅳ- 3-こ	
59	方形	24	29	Ⅳ- 3-こ	
60	円形	29	8	Ⅵ- 3-あ	
61	円形	52	16	Ⅵ- 3-あ	
62	方形	18	12	Ⅵ- 3-あ	
63	方形	24	22	Ⅵ- 3-あ	
64	円形	62	28	Ⅵ- 4-あ	
65	方形	28	40	Ⅵ- 4-あ	
66	円形	20	20	Ⅳ- 2-こ	
67	円形	21	17	Ⅳ- 2-こ	
68	方形	21	20	Ⅵ- 3-あ	
69	円形	36	12	Ⅳ- 3-こ	
70	円形	28	14	Ⅳ- 2-け	
71	円形	26	17	Ⅳ- 3-こ	
72	方形	28	14	Ⅳ- 3-こ	
73	円形	28	24	Ⅳ- 3-け	
74	円形	20	12	Ⅳ- 3-け	
75	円形	23	8	Ⅳ- 3-け	
76	円形	24	8	Ⅳ- 3-け	
77	方形	18	13	Ⅳ- 3-け	
78	円形	24	18	Ⅳ- 4-け	
79	円形	23	22	Ⅳ- 4-け	
80	方形	37	22	Ⅳ- 4-こ	
81	円形	28	14	Ⅳ- 4-こ	
82	方形	24	16	Ⅳ- 4-こ	
83	円形	20	13	Ⅲ- 9-こ	
84	隅丸方形	24	22	Ⅲ- 9-け	
85	円形	29	14	Ⅲ- 9-け	
86	円形	17	10	Ⅲ- 9-け	
87	円形	53	28	Ⅲ- 9-け	
88	円形	23	26	Ⅲ- 9-け	
89	楕円形	42	22	Ⅲ- 9-け	
90	円形	20	13	Ⅲ- 9-け	
91	円形	32	32	Ⅲ- 9-け	
92	円形	<40>	10	Ⅲ- 9-け	
93	円形	21	16	Ⅲ- 9-け	
94	方形	27	20	Ⅲ- 7-く	
95	円形?	<20>	30	Ⅲ- 8-く	
96	円形	61	16	Ⅲ- 9-く	
97	円形	32	14	Ⅲ- 9-く	
98	円形	24	16	Ⅲ- 9-く	
99	円形	44	8	Ⅲ- 9-く	

番号	形態	直径	深さ	検出位置	遺物
100	円形	22	18	Ⅲ- 9-く	
101	方形	37	17	Ⅲ- 9-く	
102	円形	24	23	Ⅲ- 9-く	
103	円形	20	12	Ⅲ- 9-く	
104	方形	23	11	Ⅲ- 9-く	
105	隅丸方形	22	23	Ⅲ- 9-く	
106	方形	26	16	Ⅲ- 9-く	
107	円形	25	15	Ⅲ- 9-く	
108	円形	16	14	Ⅲ- 9-く	
109	円形	48	23	Ⅲ-10-く	
110	円形	31	35	Ⅲ-10-く	
111	円形	30	33	Ⅲ-10-く	
112	円形	17	8	Ⅲ-10-く	
113	円形	28	28	Ⅲ-10-く	
114	円形	25	16	Ⅲ-10-く	
115	円形	36	17	Ⅲ-10-く	
116	円形	12	5	Ⅲ-10-く	
117	円形	27	44	Ⅳ- 1-く	
118	欠番				
119	方形	17	8	Ⅳ- 1-け	
120	円形	27	18	Ⅳ- 1-け	
121	円形	16	12	Ⅳ- 1-け	
122	円形	16	16	Ⅲ-10-こ	
123	円形	33	12	V-10-あ	
124	円形	24	13	Ⅲ- 8-く	
125	円形	24	21	Ⅵ- 1-あ	
126	円形	26	13	Ⅵ- 1-あ	
127	方形	20	18	Ⅳ- 2-こ	
128	方形	17	13	Ⅵ- 2-あ	
129	円形	22	34	Ⅲ- 8-く	
130	円形	28	20	Ⅲ- 8-く	
131	円形	33	20	Ⅲ- 7-き	
132	円形	22	14	Ⅲ- 7-く	
133	方形	28	29	Ⅲ- 7-き	弥生土器片
134	楕円形	32	34	Ⅲ- 8-き	
135	円形	48	24	Ⅲ- 8-き	
136	方形	20	18	Ⅲ- 8-き	
137	方形	17	16	Ⅲ- 8-き	
138	方形	27	38	Ⅲ- 8-き	
139	方形	24	24	Ⅲ- 8-き	
140	方形	28	21	Ⅲ- 8-き	弥生土器片
141	円形	28	24	Ⅲ- 8-き	
142	円形	22	19	Ⅲ- 8-き	
143	円形	19	26	Ⅲ- 8-き	
144	円形	27	42	Ⅲ- 8-き	
145	隅丸方形	25	12	Ⅲ- 8-き	
146	隅丸方形	20	19	Ⅲ- 9-き	
147	方形	26	35	Ⅲ- 9-き	
148	方形	24	12	Ⅲ- 9-き	
149	方形	16	6	Ⅲ- 9-き	
150	円形	20	12	Ⅲ- 9-き	
151	円形	68	28	Ⅲ- 9-き	
152	円形	80	14	Ⅲ-10-き	
153	円形	40	12	Ⅲ-10-き	
154	円形	36	12	Ⅲ-10-き	
155	方形	26	14	Ⅲ- 9-く	
156	楕円形	52	25	Ⅲ-10-け	
157	円形	40	33	Ⅲ-10-け	
158	円形	26	24	Ⅲ-10-け	
159	円形	30	26	Ⅲ-10-け	
160	円形	26	10	Ⅲ-10-け	
161	円形	38	15	Ⅲ-10-け	
162	隅丸方形	24	11	Ⅲ-10-け	
163	円形	92	30	Ⅲ-10-け	
164	円形	41	10	Ⅲ-10-け	
165	円形	17	20	Ⅲ-10-け	
166	円形	28	32	Ⅲ-10-け	
167	隅丸方形	20	12	Ⅳ- 1-け	
168	円形	24	7	Ⅲ-10-け	
169	円形	18	14	Ⅳ- 1-け	
170	円形	19	12	Ⅲ-10-け	
171	円形	24	14	Ⅲ-10-く	
172	方形	24	14	Ⅳ- 1-く	

ピット観察表(2)

[]推定値・〈 〉残存値

番号	形態	直径	深さ	検出位置	遺物
173	方形	24	12	Ⅳ-1-く	
174	円形	28	12	Ⅲ-10-き	
175	円形	20	19	Ⅲ-10-き	
176	円形	18	8	Ⅲ-10-き	
177	円形	20	8	Ⅲ-10-き	
178	方形	29	10	Ⅲ-10-き	
179	円形	24	13	Ⅳ-1-き	
180	円形	24	16	Ⅳ-1-き	
181	円形	28	24	Ⅳ-1-く	
182	方形	32	24	Ⅳ-1-く	敲石
183	楕円形	26	24	Ⅳ-1-け	
184	円形	25	14	Ⅳ-1-け	
185	円形	24	12	Ⅳ-1-け	
186	円形	18	11	Ⅳ-2-け	
187	楕円形	104	42	Ⅳ-2-け	
188	円形	28	22	Ⅳ-2-く	
189	円形	28	14	Ⅳ-2-け	
190	円形	13	7	Ⅳ-2-け	
191	円形	18	8	Ⅳ-2-く	
192	円形	26	12	Ⅳ-2-け	
193	円形	24	11	Ⅳ-2-く	
194	円形	23	16	Ⅳ-1-こ	
195	円形	24	23	Ⅳ-1-こ	
196	欠番				
197	欠番				
198	円形	26	16	Ⅲ-10-く	
199	方形	18	20	Ⅲ-7-か	
200	方形	20	20	Ⅲ-7-か	
201	方形	21	19	Ⅲ-8-き	
202	円形	28	26	Ⅲ-8-き	
203	円形	19	16	Ⅲ-8-か	
204	円形	18	16	Ⅲ-8-か	
205	隅丸方形	24	16	Ⅲ-8-か	
206	隅丸方形	24	20	Ⅲ-8-か	
207	円形	24	16	Ⅲ-8-か	
208	方形	25	22	Ⅲ-8-か	
209	円形	34	19	Ⅲ-8-か	
210	方形	30	27	Ⅲ-8-か	
211	方形	26	23	Ⅲ-8-か	
212	方形	22	13	Ⅲ-8-か	
213	方形	32	16	Ⅲ-8-か	
214	隅丸方形	26	16	Ⅲ-8-か	
215	方形	20	13	Ⅲ-8-か	
216	円形	79	36	Ⅲ-8-き	
217	円形	24	18	Ⅲ-9-か	
218	方形	44	21	Ⅲ-9-か	
219	方形	36	16	Ⅲ-9-か	
220	隅丸方形	32	18	Ⅲ-9-か	
221	方形	29	16	Ⅲ-9-か	
222	隅丸方形	24	12	Ⅲ-9-か	
223	円形	20	18	Ⅲ-9-か	
224	隅丸方形	29	33	Ⅲ-9-か	
225	円形	21	12	Ⅲ-9-か	
226	楕円形	40	32	Ⅲ-9-か	
227	方形	28	18	Ⅲ-9-き	
228	円形	20	10	Ⅲ-9-き	
229	隅丸方形	20	16	Ⅲ-9-き	
230	円形	14	12	Ⅲ-9-か	
231	円形	25	8	Ⅳ-1-き	
232	円形	<40>	21	Ⅲ-7-き	
233	円形	24	20	Ⅲ-8-お	
234	円形?	<23>	22	Ⅲ-10-お	
235	円形	20	14	Ⅲ-9-お	
236	円形	15	14	Ⅲ-9-お	
237	円形	20	16	Ⅲ-9-お	
238	楕円形	22	11	Ⅲ-10-か	
239	円形	28	27	Ⅳ-1-け	
240	円形	41	14	Ⅲ-9-け	
241	欠番				
242	欠番				
243	隅丸方形	29	12	Ⅲ-8-お	
244	円形	18	11	Ⅳ-1-き	
245	隅丸方形	34	40	Ⅳ-2-く	

番号	形態	直径	深さ	検出位置	遺物
246	円形	23	10	Ⅳ-2-く	
247	円形	28	18	Ⅳ-2-く	
248	円形	19	14	Ⅳ-2-く	
249	円形	20	16	Ⅳ-2-く	
250	円形	24	18	Ⅳ-2-く	
251	円形	21	10	Ⅳ-2-く	
252	円形	20	9	Ⅳ-2-く	
253	円形	<19>	12	Ⅳ-3-く	
254	円形	29	46	Ⅳ-3-く	
255	円形	20	17	Ⅳ-2-き	
256	円形	26	20	Ⅳ-3-く	
257	円形	28	9	Ⅳ-2-き	
258	楕円形	57	10	Ⅳ-2-き	
259	円形	38	32	Ⅳ-2-き	
260	楕円形?	<22>	18	Ⅳ-3-く	
261	円形	21	10	Ⅳ-3-く	
262	円形	24	28	Ⅳ-3-き	
263	円形	20	6	Ⅳ-3-き	
264	円形	20	14	Ⅳ-3-か	
265	円形	18	12	Ⅳ-3-か	
266	楕円形	44	30	Ⅳ-3-き	
267	方形	21	34	Ⅳ-3-き	
268	隅丸方形	26	48	Ⅳ-3-き	
269	方形	22	24	Ⅳ-3-き	
270	円形	22	11	Ⅳ-3-き	
271	円形	30	17	Ⅳ-3-き	
272	円形	23	14	Ⅳ-3-き	
273	円形	24	16	Ⅳ-4-き	
274	円形	24	25	Ⅳ-4-き	
275	隅丸方形	<16>	17	Ⅳ-4-き	
276	円形	20	24	Ⅳ-4-き	
277	円形	28	21	Ⅳ-4-き	
278	楕円形	44	21	Ⅳ-4-き	
279	円形	22	19	Ⅳ-4-き	
280	円形	36	12	Ⅳ-4-き	
281	円形	38	40	Ⅳ-4-き	
282	円形	25	16	Ⅳ-4-き	
283	円形	22	28	Ⅳ-2-か	
284	円形	21	29	Ⅳ-2-か	
285	円形	22	14	Ⅳ-3-き	
286	円形	25	14	Ⅳ-3-か	弥生土器片
287	円形	26	10	Ⅳ-3-か	
288	方形	66	38	Ⅳ-3-き	
289	円形	28	10	Ⅳ-3-か	
290	円形	28	20	Ⅳ-3-か	
291	円形	24	18	Ⅳ-3-か	
292	円形	24	20	Ⅳ-3-か	
293	円形	26	18	Ⅳ-3-か	
294	円形	25	45	Ⅳ-4-か	
295	円形	35	32	Ⅳ-4-か	
296	円形	26	32	Ⅳ-4-か	
297	楕円形	38	31	Ⅳ-4-か	
298	円形	20	13	Ⅳ-4-か	
299	円形	20	25	Ⅳ-4-か	
300	円形	36	30	Ⅳ-4-か	
301	円形	27	14	Ⅳ-4-か	
302	円形	32	18	Ⅳ-4-か	
303	円形	20	9	Ⅳ-4-か	
304	円形	25	21	Ⅳ-4-か	
305	円形	26	34	Ⅳ-4-か	
306	円形	24	26	Ⅳ-4-か	
307	円形	29	20	Ⅳ-4-か	
308	円形	22	20	Ⅳ-4-か	
309	円形	37	36	Ⅳ-4-か	
310	円形	27	25	Ⅳ-4-か	
311	円形	24	24	Ⅳ-4-か	
312	円形	24	27	Ⅳ-4-か	
313	円形	25	20	Ⅳ-4-か	
314	楕円形	69	31	Ⅳ-4-か	
315	円形	24	36	Ⅳ-4-か	
316	円形	26	30	Ⅳ-3-か	
317	円形	32	22	Ⅳ-3-か	
318	円形	20	10	Ⅳ-3-か	

ピット観察表(3)

[]推定値・く)残存値

番号	形態	直径	深さ	検出位置	遺物	番号	形態	直径	深さ	検出位置	遺物
319	方形	20	13	IV-3-き		363	円形	48	14	IV-7-か	
320	円形	28	25	IV-4-き		364	円形	25	23	IV-8-か	
321	円形	68	17	IV-2-け		365	円形	33	23	IV-8-か	
322	円形	18	9	IV-2-け		366	隅丸方形	74	16	IV-8-か	
323	円形	20	8	IV-3-け		367	円形	64	17	IV-9-か	
324	円形	20	6	IV-3-け		368	円形	33	12	IV-7-き	
325	円形	28	25	IV-3-く		369	円形	44	20	IV-7-き	
326	円形	20	38	IV-3-く		370	円形	39	12	IV-8-き	
327	円形	18	14	IV-3-か		371	楕円形	53	35	IV-8-き	
328	円形	28	12	IV-3-か		372	不整形	24	15	IV-8-き	
329	円形	27	33	IV-3-か		373	円形	25	12	IV-9-き	
330	円形	20	14	III-10-き		374	円形	33	8	IV-9-き	
331	方形	22	28	IV-4-き		375	円形	52	30	IV-9-く	
332	円形	27	8	IV-5-か		376	円形	50	22	IV-9-く	
333	円形	34	24	IV-5-か		377	円形	24	11	IV-9-く	
334	円形	20	30	IV-5-か		378	円形	72	24	IV-8-く	
335	円形	25	16	IV-5-か		379	方形	26	14	IV-8-こ	
336	円形	52	11	IV-5-か		380	円形	31	16	VI-8-あ	
337	方形	20	12	IV-5-お		381	円形	60	20	VI-7-い	
338	円形	20	7	IV-5-か		382	円形	54	22	VI-5-あ	弥生土器片
339	方形	21	22	IV-5-か		383	円形	20	8	VI-5-あ	
340	隅丸方形	21	8	IV-5-か		384	円形	22	12	VI-4-あ	
341	円形	22	20	IV-5-か		385	楕円形	21	24	VI-5-あ	
342	楕円形	36	42	IV-5-お	砥石	386	円形	25	20	IV-7-か	
343	方形	18	20	IV-5-か		387	円形	26	34	IV-6-き	
344	方形	31	21	IV-5-か		388	方形	20	52	IV-5-か	
345	円形	68	8	IV-5-か	陶器片、弥生土器片	389	円形	24	15	IV-5-か	
346	円形	24	16	IV-5-か		390	方形	24	12	IV-7-け	
347	方形	16	7	IV-5-か		391	隅丸方形	25	8	IV-7-こ	
348	円形	24	14	IV-5-か		392	方形	26	10	IV-7-こ	
349	方形	24	22	IV-5-か		393	円形	26	26	VI-7-い	
350	方形	30	7	IV-5-か		394	円形	55	50	VI-4-く	
351	方形	19	24	IV-5-か		395	円形	66	30	VI-4-く	
352	円形	24	16	IV-5-か		396	円形	60	32	VI-4-く	
353	隅丸方形?	<7>	8	IV-5-き		397	円形	61	22	VI-4-く	
354	円形	25	17	IV-5-き		398	円形	56	74	VI-5-く	
355	円形	24	13	IV-5-き		399	円形	46	41	VI-5-く	
356	楕円形	62	24	IV-5-き	至道元貫	400	円形	61	17	VI-5-え	
357	方形	22	12	IV-4-き		401	円形	36	12	VI-6-え	
358	円形	26	18	IV-5-き		402	円形	56	23	VI-5-え	
359	円形	20	8	IV-5-き		403	円形	28	14	VI-5-え	
360	方形	22	9	IV-5-き		404	円形	49	10	VI-5-う	
361	円形	36	16	IV-7-き		405	楕円形?	<42>	14	VI-5-え	
362	円形	80	16	IV-7-か		406	円形	42	20	VI-5-え	

ピット観察表(4)

[]推定値、〈 〉残存値

第8節 遺構外遺物



遺構外出土遺物実測図

番号	器種	器形	口径cm	底径cm	器高cm	調整・文様	残存率・部位	焼成	色調(外面)	備考
1	縄文土器	深鉢	-	-	-	外面陰帯に刻み	破片	良	7.5YR5/4 にぶい褐色	後期堀之内
2	縄文土器	深鉢	-	-	-	外面ナデ・沈線文	胴部破片	良	7.5YR6/4 にぶい橙色	後期堀之内

遺構外出土遺物観察表

[]推定値、〈 〉残存値

第9節 まとめ

B地区が所在する湯川右岸に沿って広がる台地周辺は、弥生時代中期後半から中世に至る幅広い時期の遺構が密集する複合遺跡として知られているが、B地区で発見された遺構は、古墳時代中期末から後期初頭(5世紀後半から6世紀初頭)及び、中世から近世にかけての遺構に限られた。古墳時代については、発見された住居址の時期差が比較的狭い範囲に集中しており、同一集落の連続性が推察された。中世以降については、南半は希薄で、北半にかけて密集する傾向が認められた。弥生時代は北のA地区で環濠らしき溝跡が発見されているが、住居址などの遺構が発見されていない。また、奈良平安時代も同様に遺構は発見されなかった。周辺地域全体では弥生・古墳・奈良・平安・中近世に至るまで集落の連続性が認められるが、本調査区に限っては古墳時代中期末から後期初頭の集落及び中近世の集落に限定された状況であった。本遺跡は、弥生時代及び奈良平安時代集落の中心からは若干離れた地域に位置するようである。



岩村田遺跡群 東一本柳遺跡Ⅱ H22年度東区全景(南西から)



岩村田遺跡群 東一本柳遺跡Ⅱ H22年度西区全景(北東から)



岩村田遺跡群 東一本柳遺跡Ⅱ H23年度東区全景(南西から)



岩村田遺跡群 東一本柳遺跡Ⅱ H23年度西区全景(北東から)



H22年度調査東区表土除去作業



H22年度調査西区表土除去作業



H22年度調査区埋め戻し状況



H22年度調査風景(東から)



H23年度調査東区表土除去作業



H23年度調査東区表土除去後状況



H23年度調査東区調査風景(南西から)

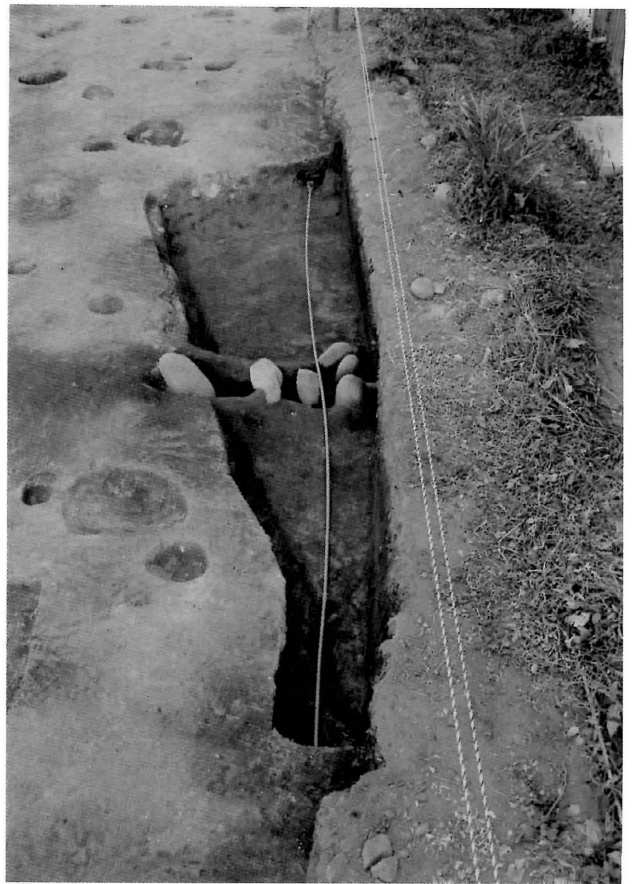


H23年度調査区埋め戻し状況(南東から)

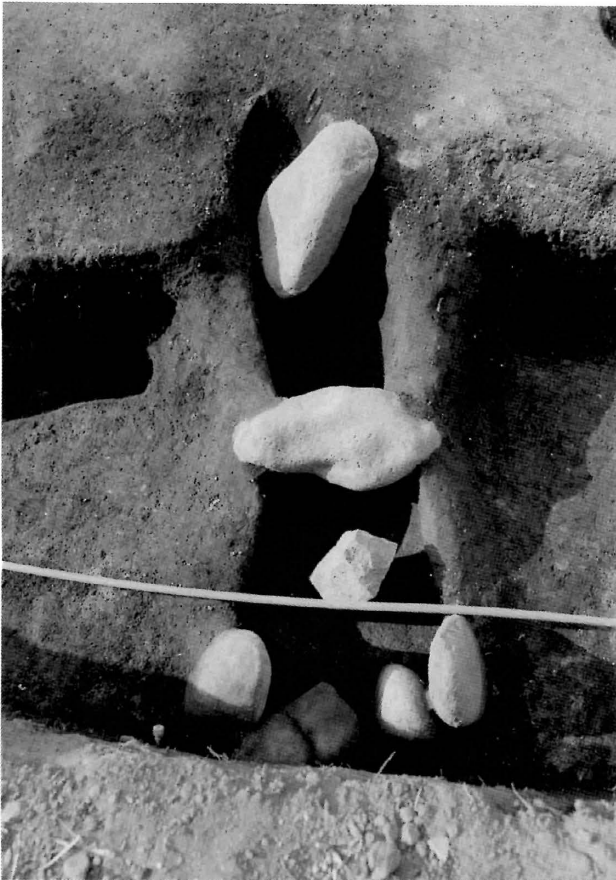
図版十八(B地区)



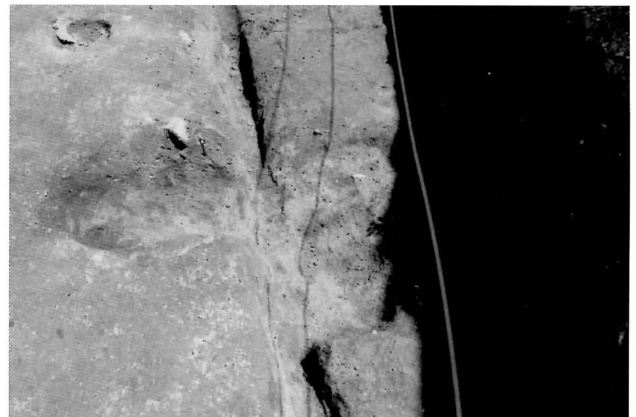
H23年度分 H1号住居址全景(南から)



H22年度分 H1号住居址全景(西から)



H1号住居址カマド



H1号住居址カマド掘方



H1号住居址堀方全景(東から)



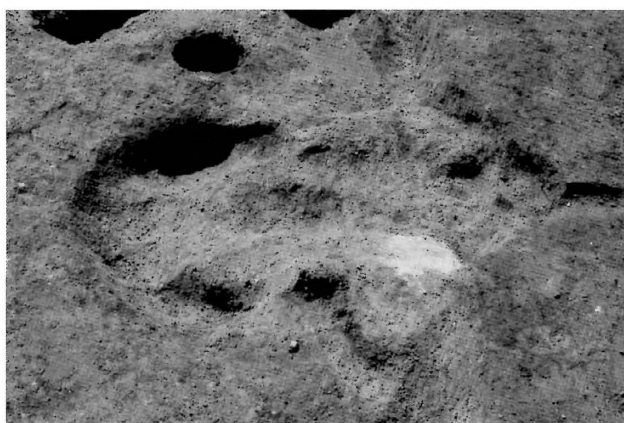
H2号住居址全景(北西から)



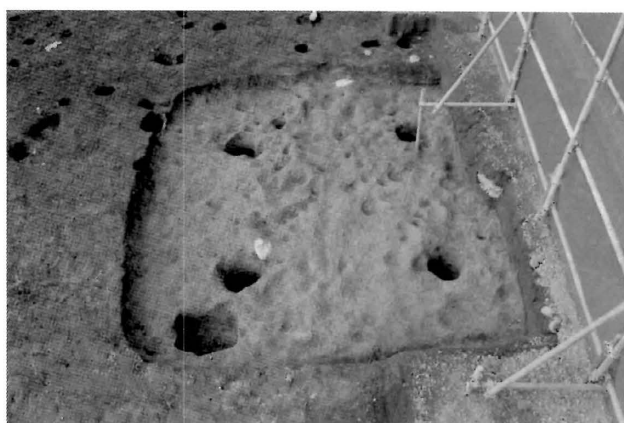
H 2 号住居址遺物出土状況



H 2 号住居址カマド(南から)



H 2 号住居址カマド堀方



H 2 号住居址堀方全景(南から)



H 3 号住居址全景(西から)



H 3 号住居址遺物出土状況(1)



H 3 号住居址遺物出土状況(2)



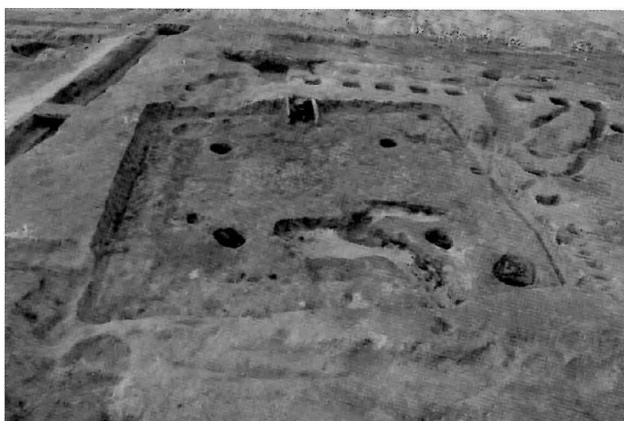
H 3 号住居址遺物出土状況(3)



H 3号住居址掘方全景(北から)



H 4号住居址全景 集石あり(南から)



H 4号住居址全景 集石除去後(南から)



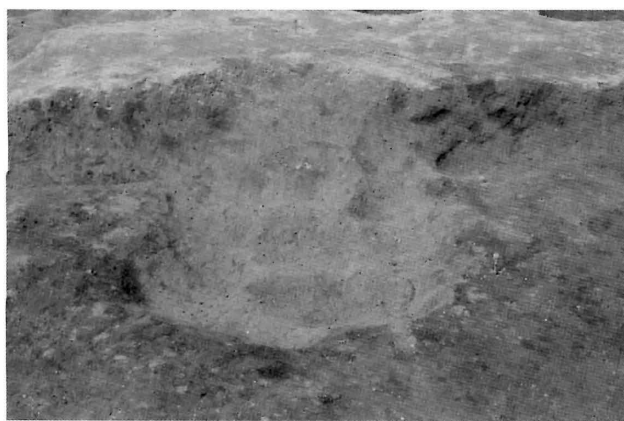
H 4号住居址カマド(南東から)



H 4号住居址カマド 天井石除去後(南から)



H 4号住居址 カマド袖石状況(南から)



H 4号住居址カマド堀方(南から)



H 4号住居址掘方全景(南から)



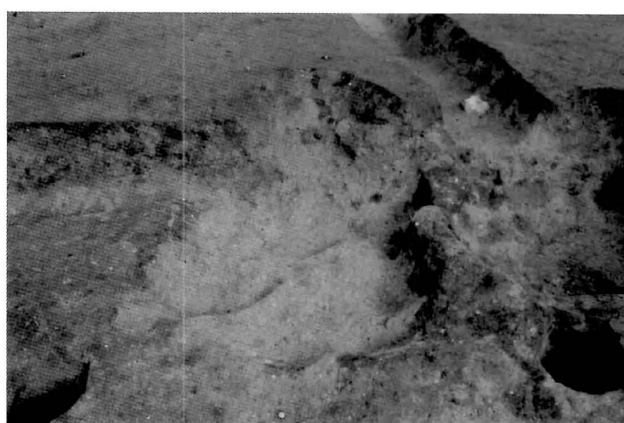
H 5号住居址全景(南から)



H 5号住居址カマド(南西から)



H 5号住居址遺物出土状況



H 5号住居址カマド掘方(南から)



H 5号住居址掘方全景(南から)



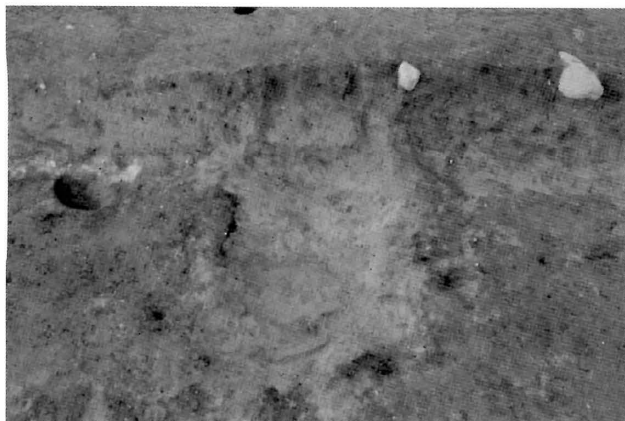
H 6号住居址全景(南から)



H 6号住居址全景 集石あり(東から)



H 6号住居址カマド(南から)



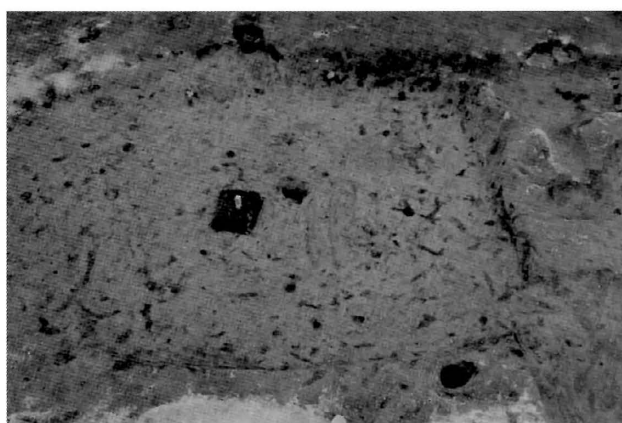
H 6号住居址カマド堀方(南から)



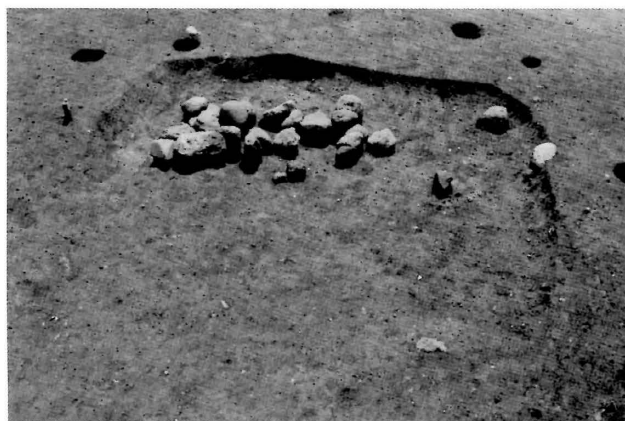
H 6号住居址堀方全景(南から)



H 7号住居址堀方全景(東から)



T a 1号竖穴状遺構全景(南から)



T a 2号竖穴状遺構全景(北から)



T a 3号竖穴状遺構(北から)



1号井戸跡全景(南から)



2号井戸跡全景(南から)



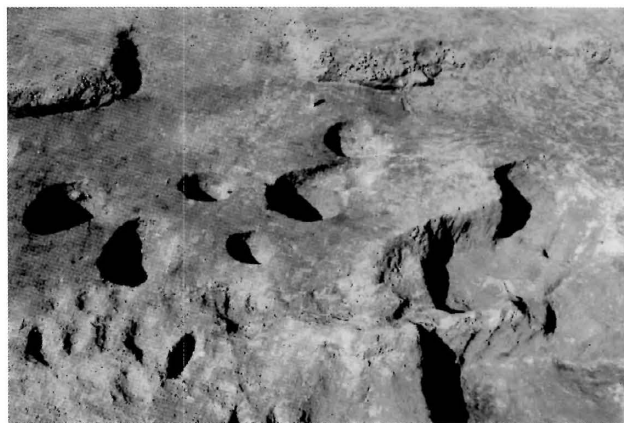
F 1号掘立柱建物址全景(東から)



F 3号掘立柱建物址全景(南から)



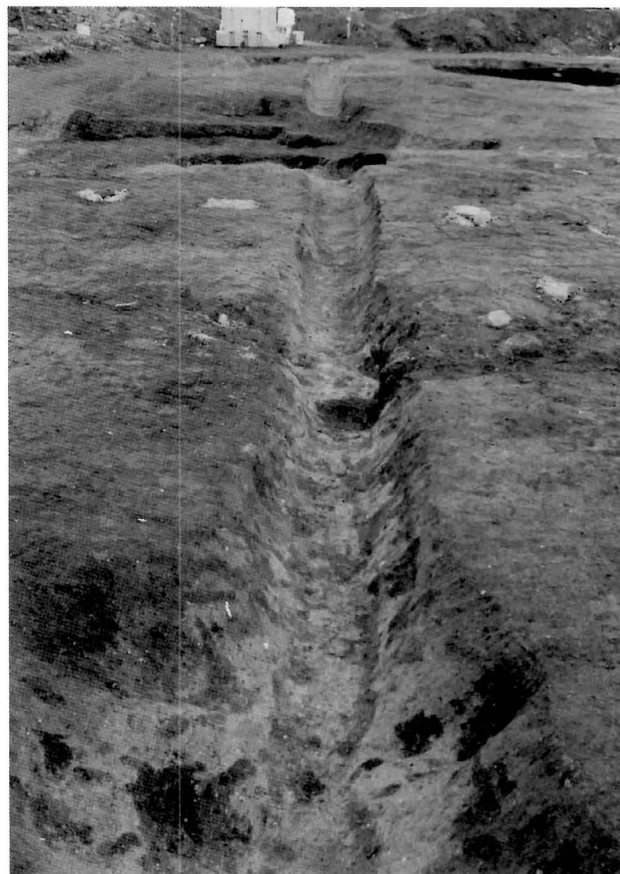
F 2号掘立柱建物址西側ピット全景(北から)



F 2号掘立柱建物址東側ピット全景(東から)



M 1号溝状遺構全景(西から)

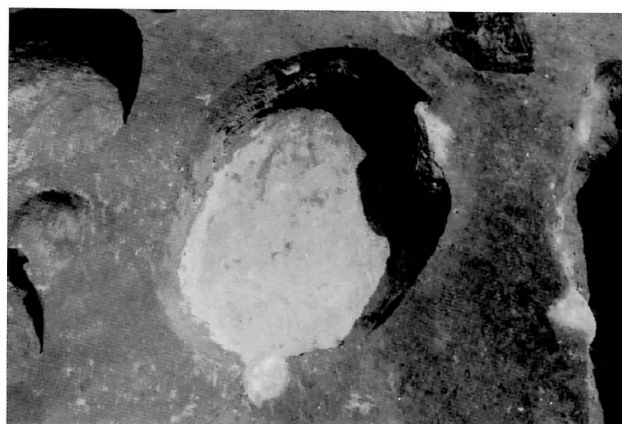


H22年度 M 2号溝状遺構全景(南から)

図版二十四(B地区)



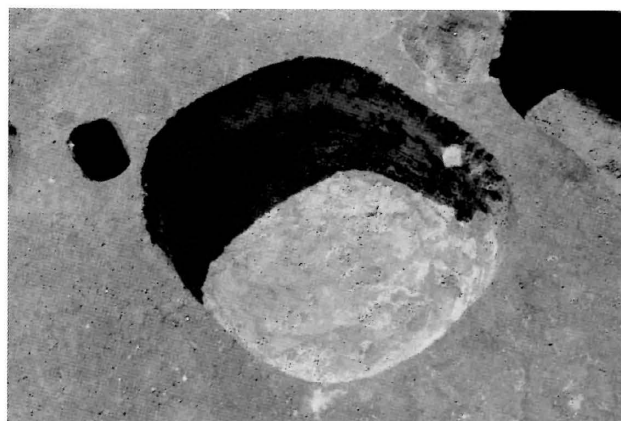
H23年度 M2号溝状遺構全景(北東から)



D1号土坑全景



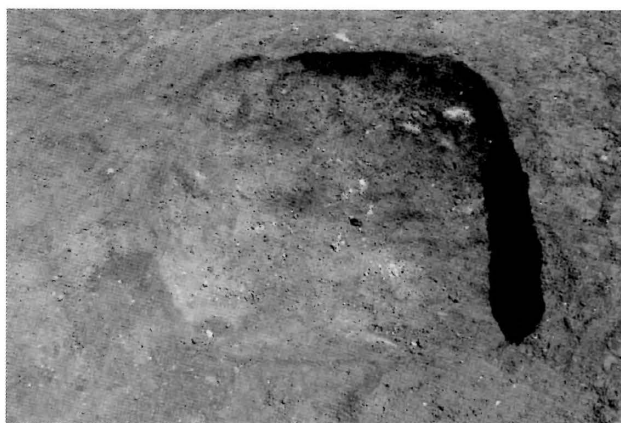
D2号土坑全景



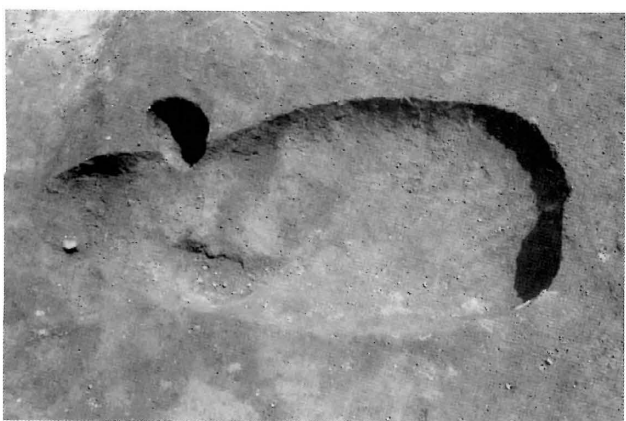
D3号土坑全景



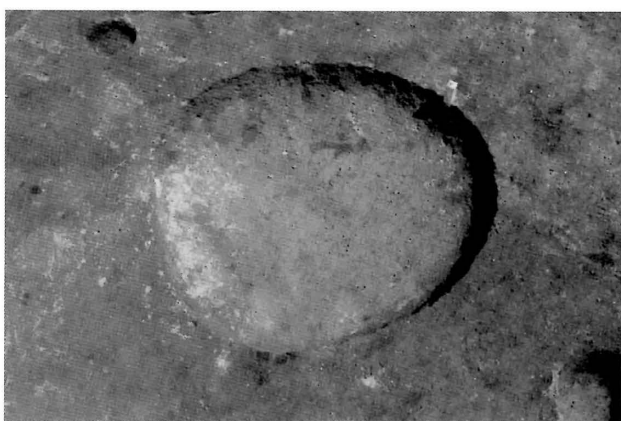
D4号土坑全景



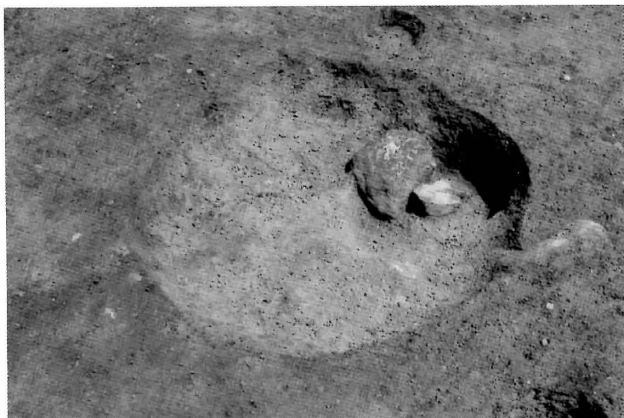
D5号土坑全景



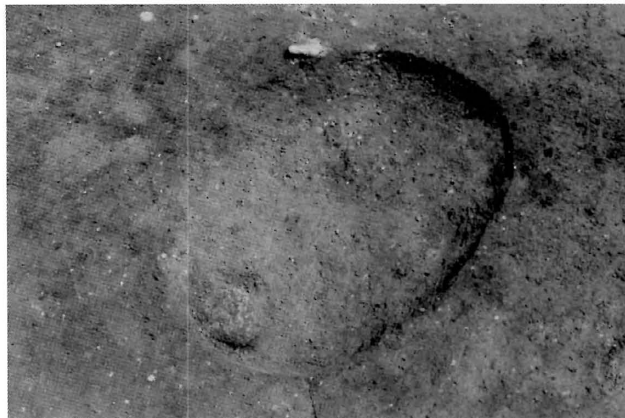
D6号土坑全景



D7号土坑全景



D 8 号土坑全景



D 9 号土坑全景



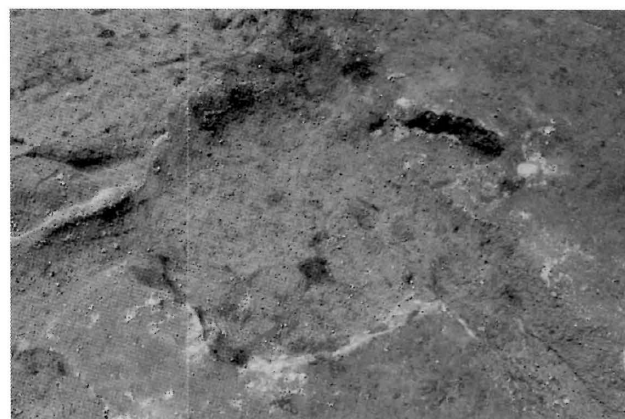
D12号土坑半截状况



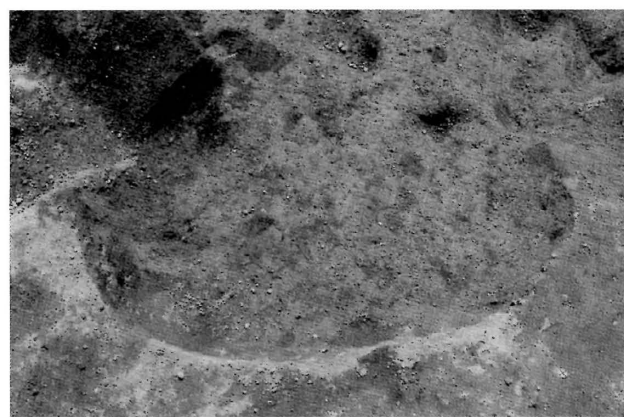
D13号土坑半截状况



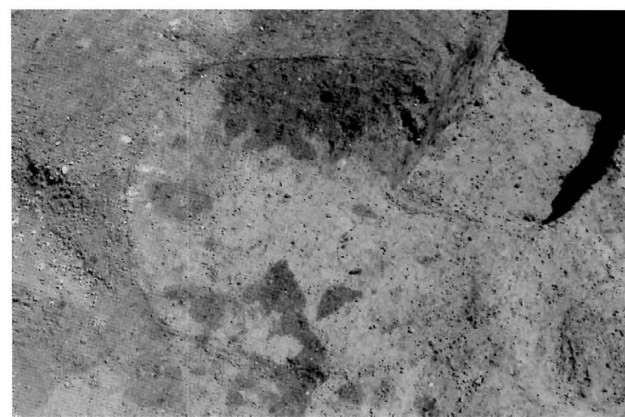
D14号土坑全景



D15号土坑全景

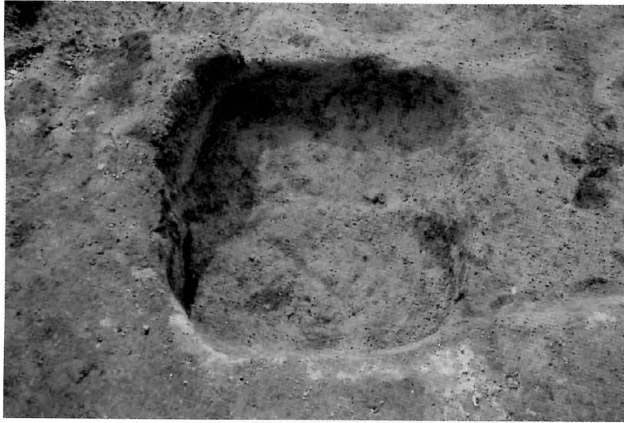


D16号土坑全景



D17号土坑全景

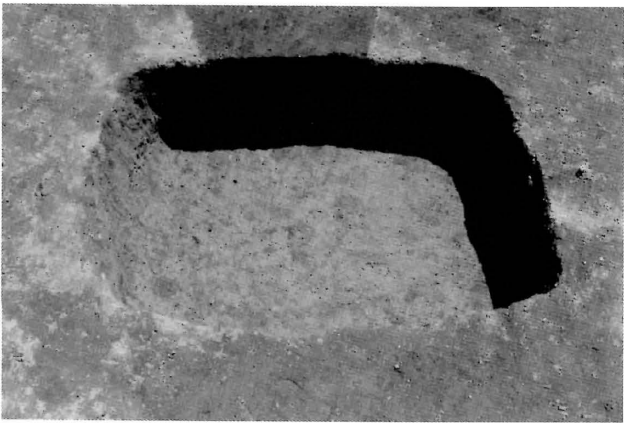
图版二十六(B地区)



D18号土坑全景



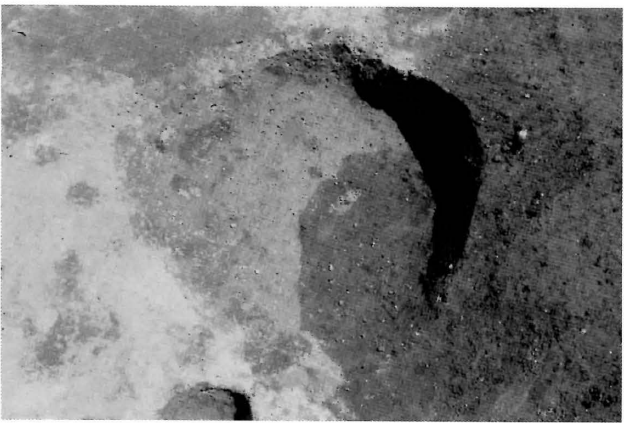
D20号土坑全景



D21号土坑全景



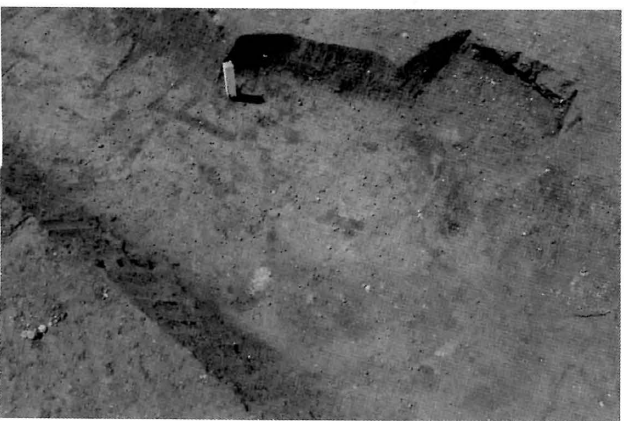
D22号土坑全景



D23号土坑全景



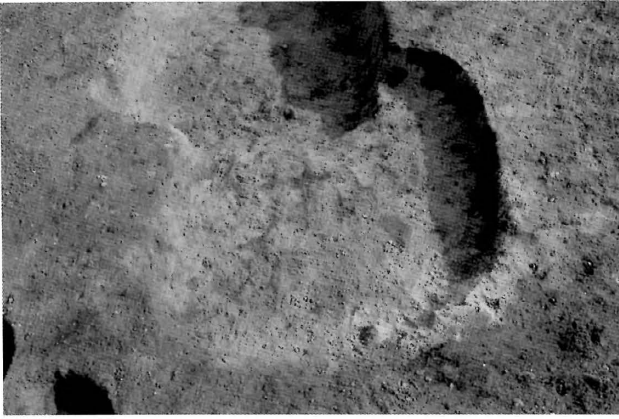
D25号土坑全景



D26号土坑全景



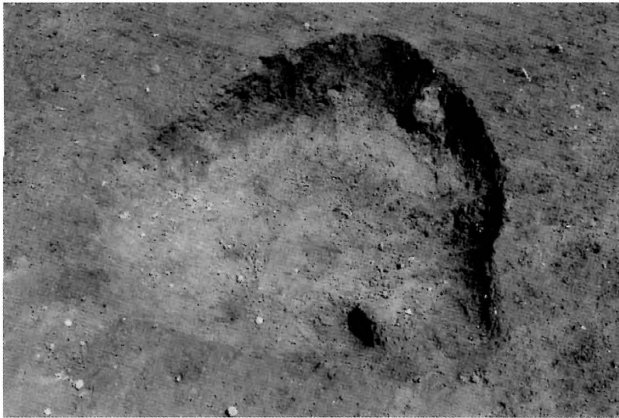
D28号土坑全景



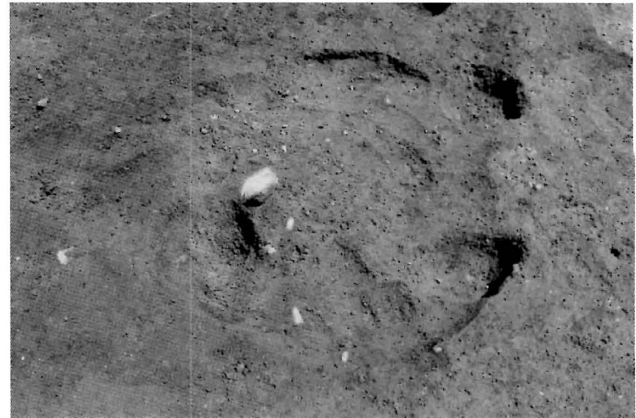
D29号土坑全景



D31号土坑全景



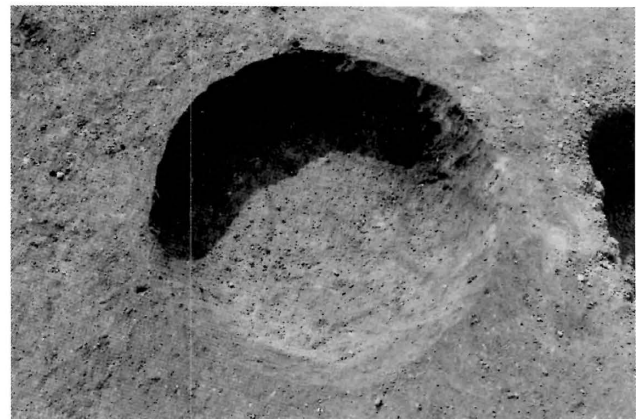
D32号土坑全景



D33号土坑全景



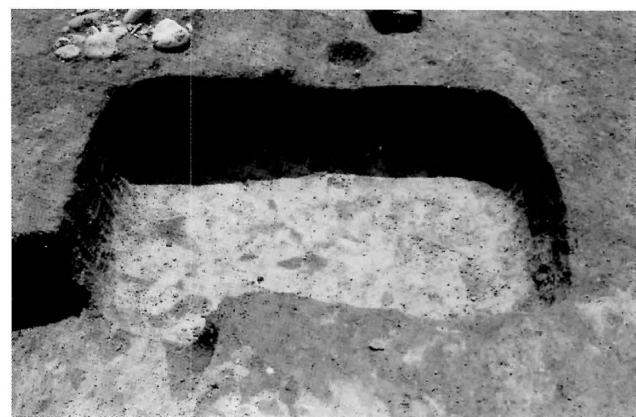
D34号土坑全景



D35号土坑全景

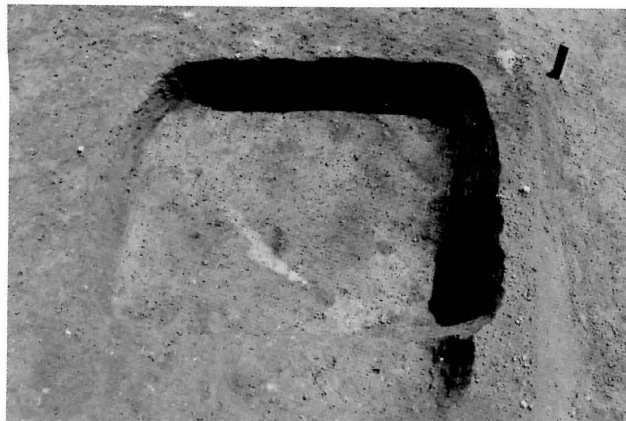


D36号土坑全景



D37号土坑全景

图版二十八(B地区)



D38号土坑全景



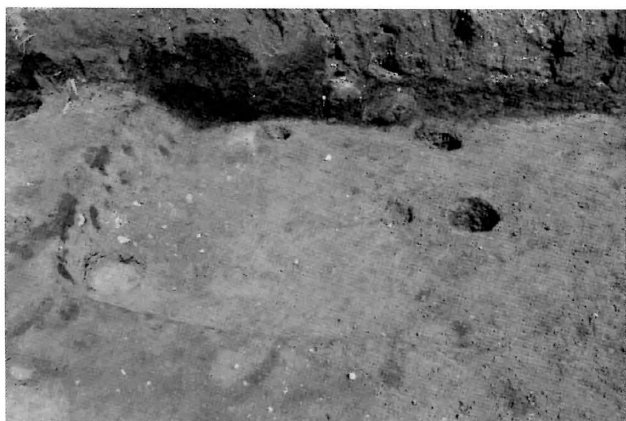
D40号土坑全景



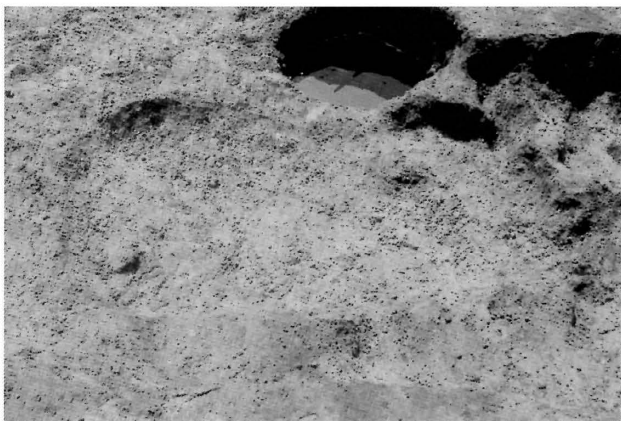
D41号土坑全景



D42号土坑全景



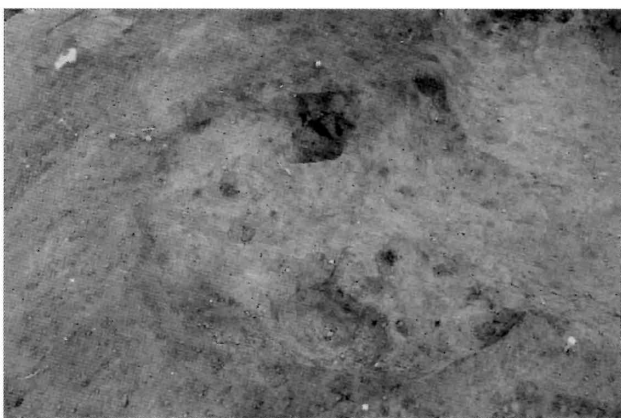
D43号土坑全景(南から)



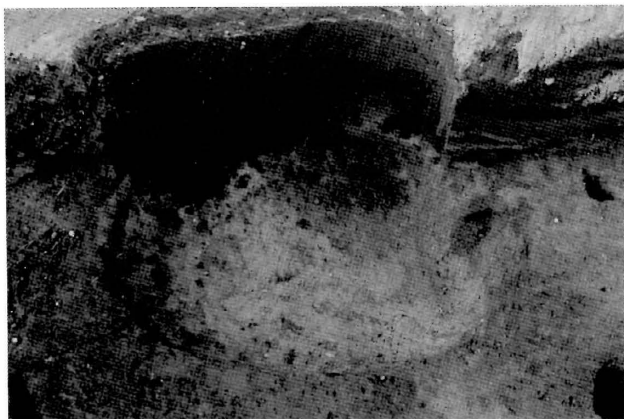
H 7号住居址D 1号土坑



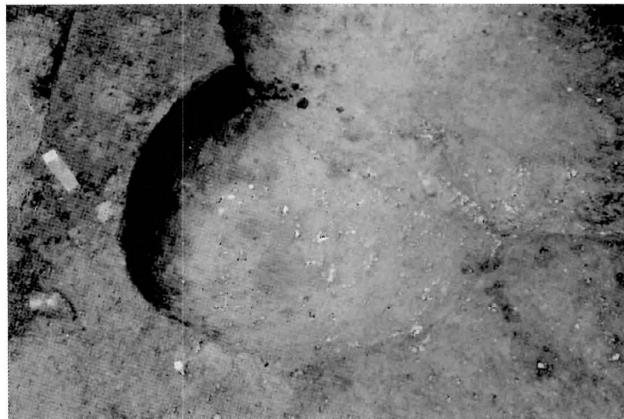
D47号土坑全景(南から)



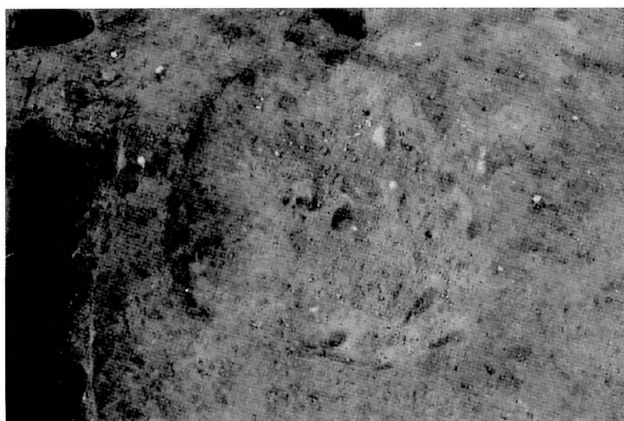
D50号土坑全景



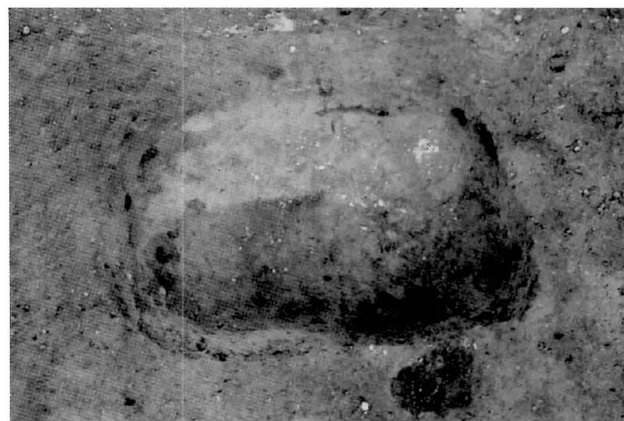
D51号土坑全景



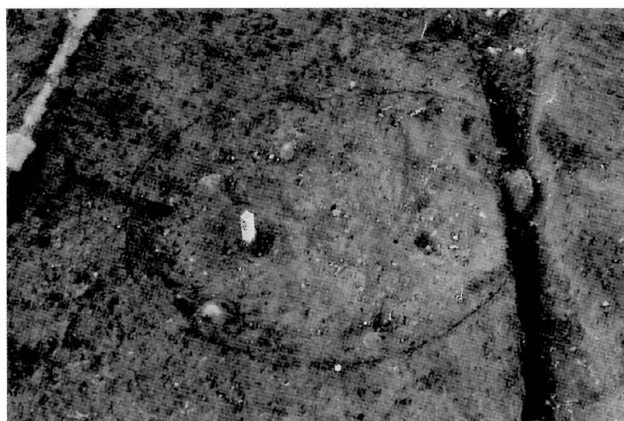
D52号土坑全景



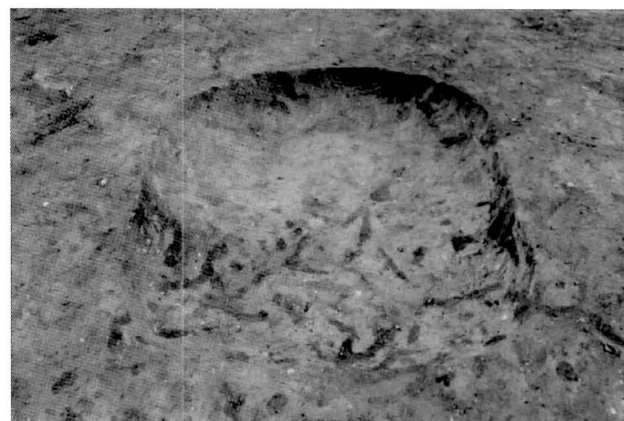
D53号土坑全景



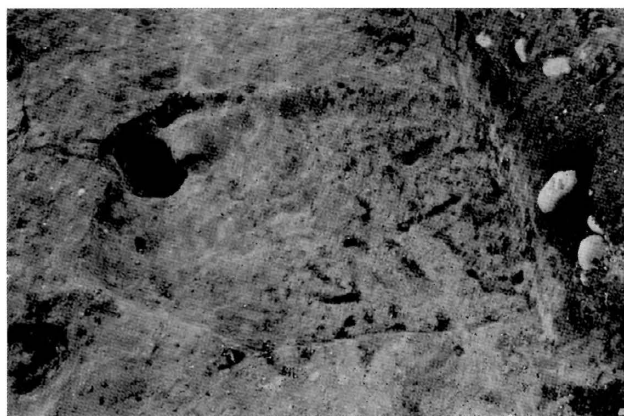
D54号土坑全景



D55号土坑全景



D56号土坑全景



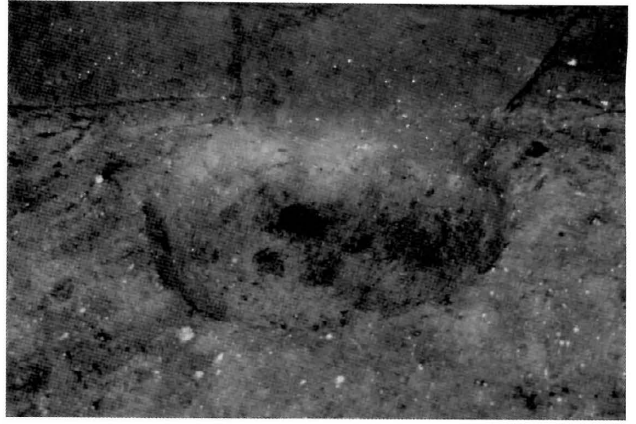
D57号土坑全景



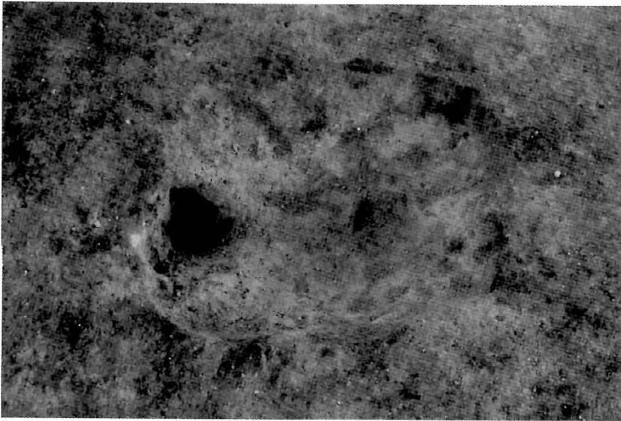
D58号土坑全景



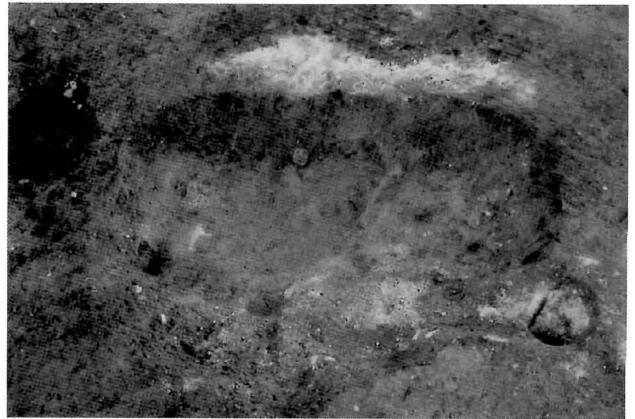
D59号土坑全景



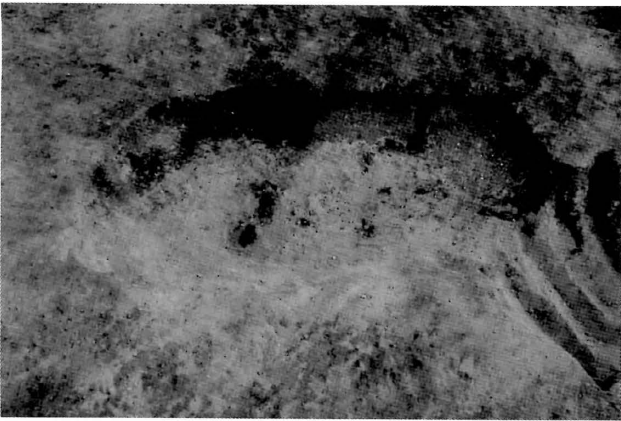
D60号土坑全景



D61号土坑全景



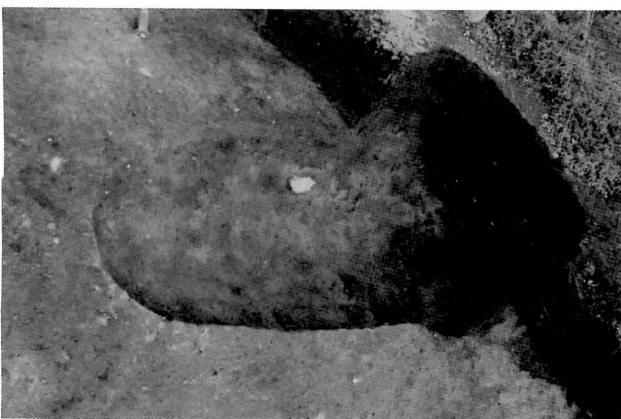
D62号土坑全景



D63号土坑全景



D64号土坑全景



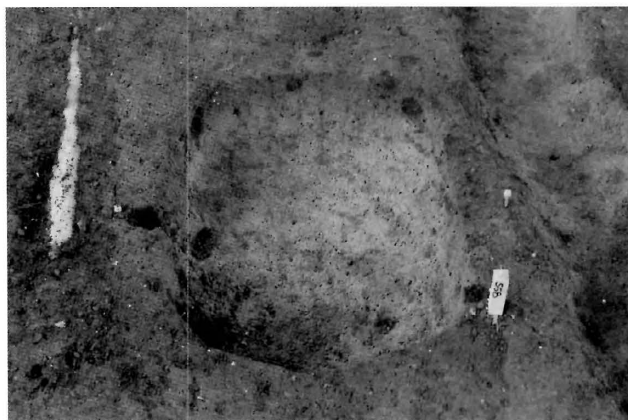
D65号土坑全景



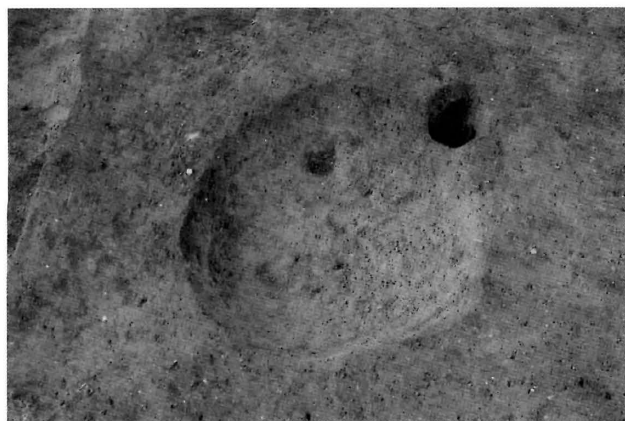
D66号土坑全景



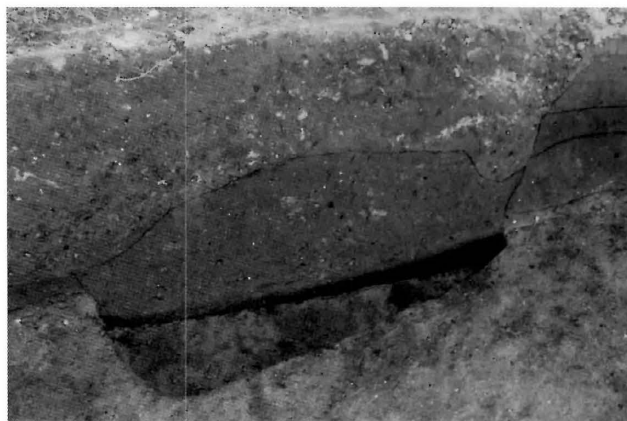
D67号土坑全景



D68号土坑全景



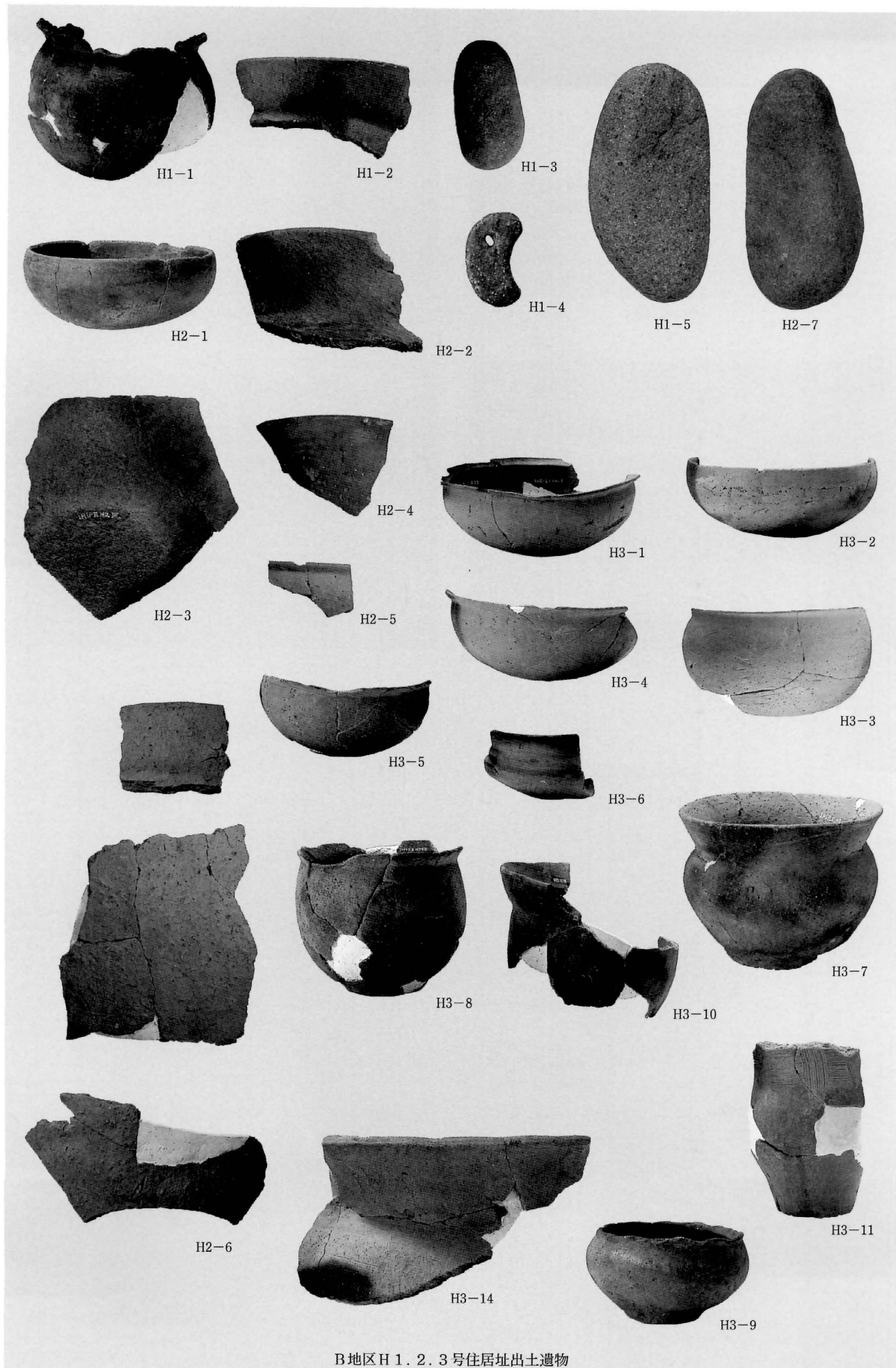
D69号土坑全景



D70号土坑全景



B地区 H5号住居址出土土器

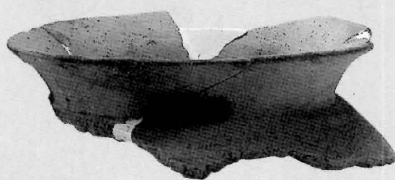




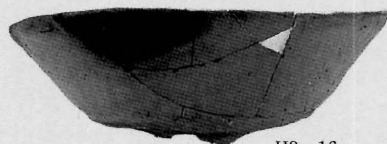
H3-12



H3-13



H3-15



H3-16



H3-21



H4-1



H4-2



H3-17



H3-18



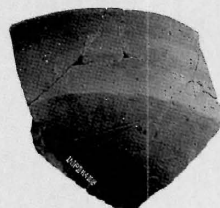
H3-20



H4-3



H4-4



H4-7



H4-5

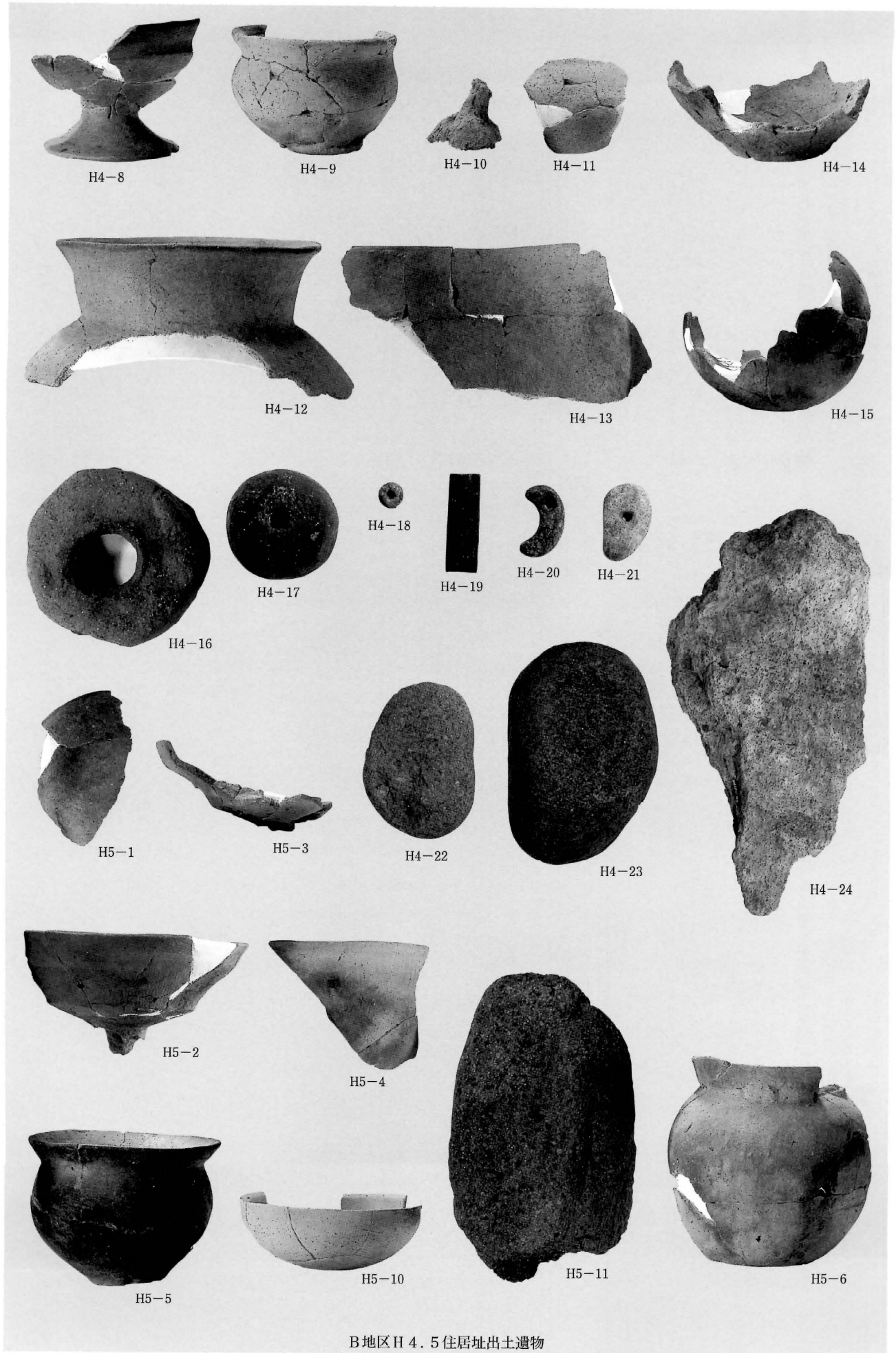


H4-6

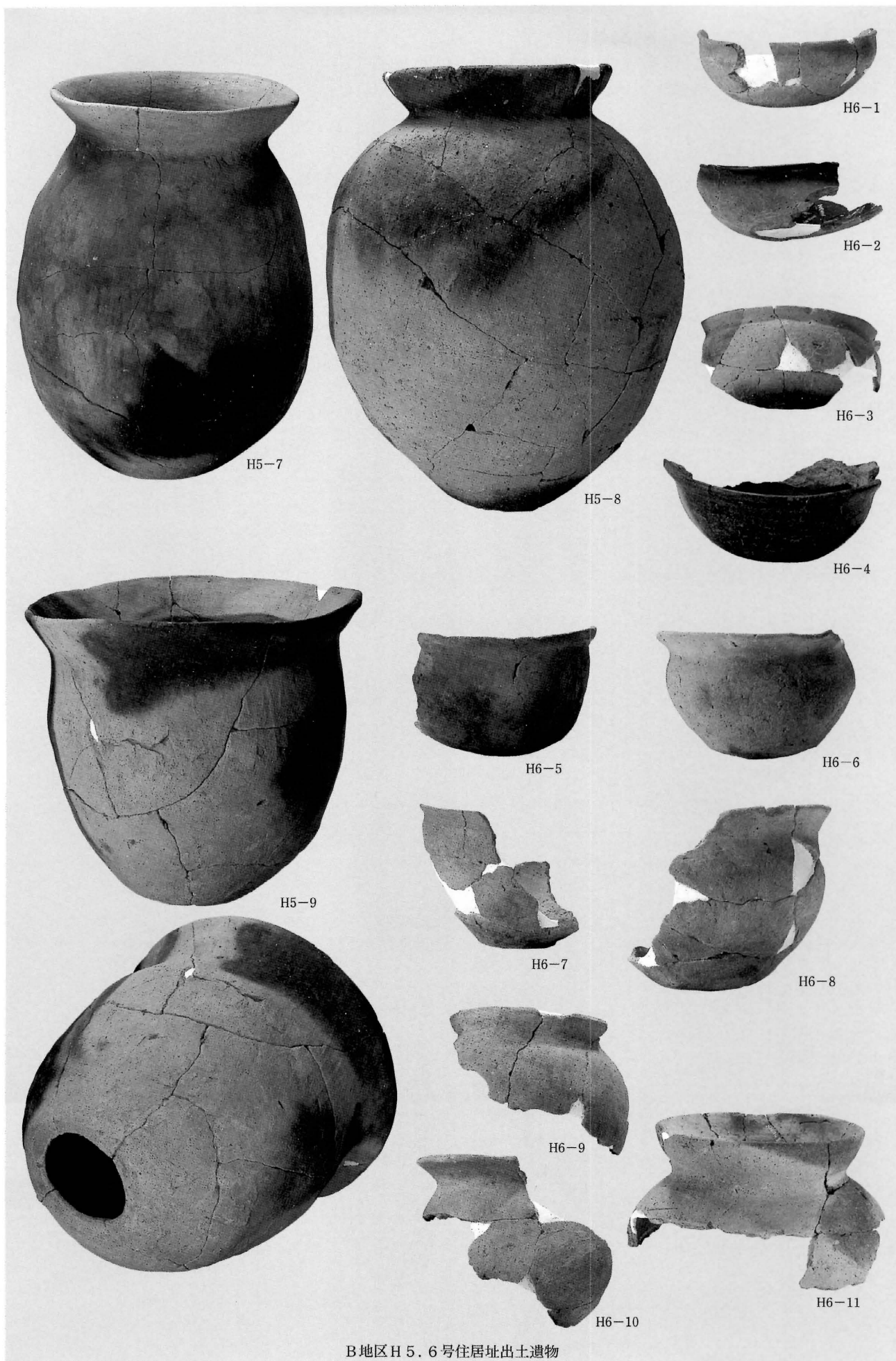


H3-19

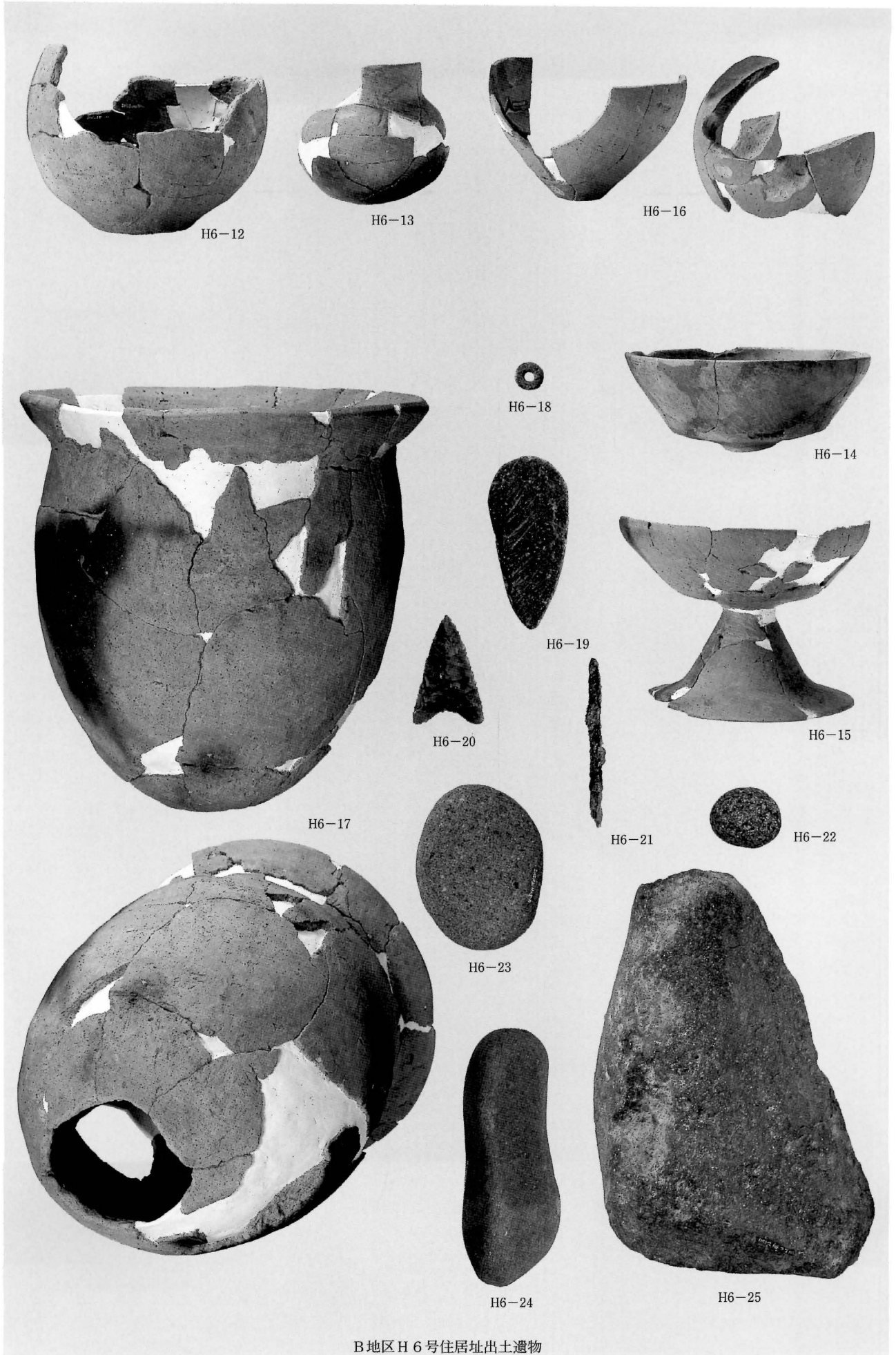
B地区H3.4号住居址出土遗物



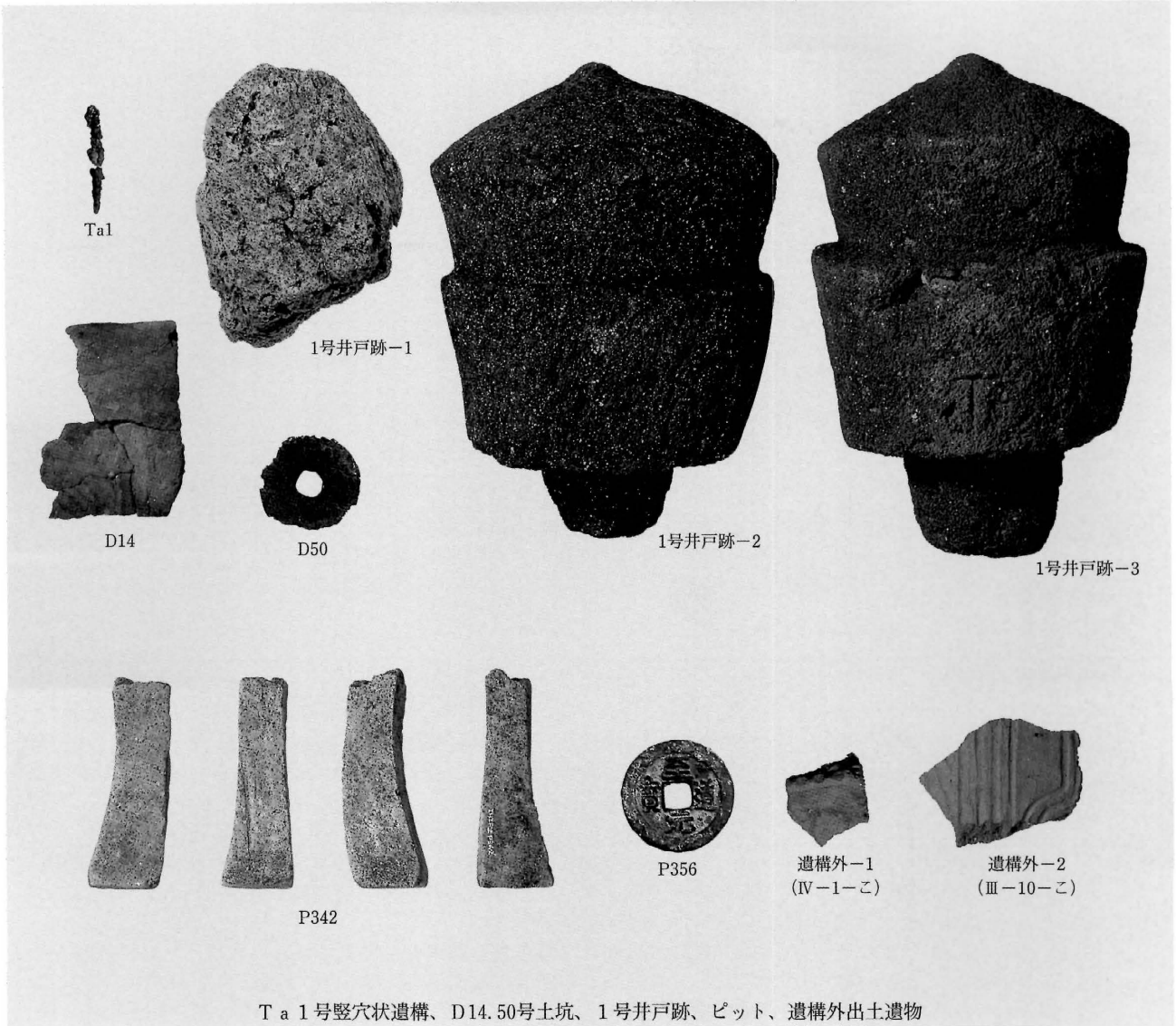
B地区H4.5住居址出土遺物



B地区H5.6号住居址出土遗物



B地区H6号住居址出土遗物



ふりがな	いわむらだいせきぐん ひがしいっぽんやなぎいせきに							
書名	岩村田遺跡群 東一本柳遺跡Ⅱ							
副書名	—							
シリーズ名	佐久市埋蔵文化財調査報告書							
シリーズ番号	第218集							
編著者名	林幸彦 上原学							
編集機関	佐久市教育委員会文化財課							
所在地	385-0006 長野県佐久市志賀5953 TEL 0267-68-7321 FAX 0267-68-7323							
発行年月日	平成 26年(2014)3月							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	発掘期間	発掘面積㎡	発掘原因
		市町村	遺跡番号					
いわむらだいせきぐん ひがしいっぽんやなぎいせき	さくしいわむらだいせき	20217	52	36°16'53"	138°28'7"	20090608 ～ 20090721 20100809 ～ 20101008 20111011 ～ 20111130	H21-1,300 H22-1,400 H23-1,382 合計4,082	市営住宅相生団地建設
岩村田遺跡群 東一本柳遺跡Ⅱ	佐久市岩村田2248-1							
所収遺跡名	種別	主な時代		主な遺構		主な遺物		特記事項
岩村田遺跡群 東一本柳遺跡Ⅱ	集落	縄文・弥生・古墳・平安・中近世		竪穴住居址9軒、掘立柱建物址3棟、竪穴状遺構14基、溝状遺構12条、土坑133基、ピット731個		土器、陶磁器、石製品・石器、鉄器、土製品、銅製品		縄文時代の土器片、弥生時代の土器等、古墳時代の集落、中近世の竪穴状遺構・土坑・ピット、井戸が発見された。
要約	<p>佐久市岩村田市街地の南に位置し、湯川右岸の台地上に展開する遺跡である。周辺地域は湯川の右岸台地上に沿って弥生時代から中近世に至る幅広い時期の複合遺跡が数多く所在し、遺跡の密集地域として知られている。</p> <p>A地区(H21)の調査では弥生時代後期の土器を含む環濠と思われる溝跡、古墳時代の住居址、中世の遺構が発見された。特徴的な遺物としては人形土器の一部(手)が出土した。B地区(H22・23)の調査では、古墳時代の中期末から後期初頭にかけての住居址6軒、他1軒、掘立柱建物址3棟、中近世と考えられる多数の竪穴状遺構・土坑・ピットが発見された。</p> <p>周辺地域では、弥生時代から中近世に至るほぼ連続する時期の集落遺跡が所在していることから、本遺跡も長い間人々の生活の場として利用された地域の一区域であると推察される。縄文時代については、周辺地域をみても、土器など遺物の発見にとどまることから、狩り場としての利用が主であったと考えたい。</p>							

佐久市埋蔵文化財調査報告書 第218集

岩村田遺跡群
東一本柳遺跡Ⅱ

2014年3月

編集・発行 長野県佐久市教育委員会
〒385-8501 長野県佐久市中込3056
文化財課
〒385-0006 長野県佐久市志賀5953
電話 0267-68-7321

印刷所 株式会社 佐久印刷所

